

# CubeSuite Ver.1.40

統合開発環境

ユーザーズマニュアル メッセージ編

対象デバイス

78K0 マイクロコントローラ

78K0R マイクロコントローラ

V850 マイクロコントローラ

本資料に記載の全ての情報は本資料発行時点のものであり、ルネサス エレクトロニクスは、予告なしに、本資料に記載した製品または仕様を変更することがあります。  
ルネサス エレクトロニクスのホームページなどにより公開される最新情報をご確認ください。

## ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。  
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット  
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）  
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

# このマニュアルの使い方

このマニュアルは、78K0 マイクロコントローラ、78K0R マイクロコントローラ、V850 マイクロコントローラ用アプリケーション・システムを開発する際の統合開発環境である CubeSuite について説明します。

CubeSuite は、78K0 マイクロコントローラ、78K0R マイクロコントローラ、V850 マイクロコントローラの統合開発環境（ソフトウェア開発における、設計、実装、デバッグなどの各開発フェーズに必要なツールをプラットフォームである IDE に統合）です。統合することで、さまざまなツールを使い分ける必要がなく、本製品のみを使用して開発のすべてを行うことができます。

**対象者** このマニュアルは、CubeSuite を使用してアプリケーション・システムを開発するユーザを対象としています。

**目的** このマニュアルは、CubeSuite の持つソフトウェア機能をユーザに理解していただき、これらのデバイスを使用するシステムのハードウェア、ソフトウェア開発の参照用資料として役立つことを目的としています。

**構成** このマニュアルは、大きく分けて次の内容で構成しています。

第1章	概 説
第2章	出力形式
第3章	メッセージ種別
第4章	コンポーネント番号
第5章	メッセージ番号
第6章	メッセージ
付録A	ウインドウ・リファレンス
付録B	索 引

**読み方** このマニュアルを読むにあたっては、電気、論理回路、マイクロコンピュータに関する一般的知識が必要となります。

<b>凡 例</b>	データ表記の重み	: 左が上位桁、右が下位桁
	アクティブ・ロウの表記	: <code>~xxx~</code> （端子、信号名称に上線）
	注	: 本文中につけた注の説明
	注意	: 気をつけて読んでいただきたい内容
	備考	: 本文中の補足説明
	数の表記	: 10進数 ... xxxxx
		16進数 ... 0xxxxxx

**関連資料**

関連資料は暫定版の場合がありますが、この資料では「暫定」の表示をしておりません。あらかじめご了承ください。

資料名	資料番号		
	和文	英文	
CubeSuite 統合開発環境 ユーザズ・マニュアル	起動編	R20UT0256J	R20UT0256E
	解析編	R20UT0265J	R20UT0265E
	プログラミング編	R20UT0266J	R20UT0266E
	メッセージ編	このマニュアル	R20UT0267E
	コーディング編 (CX コンパイラ)	R20UT0259J	R20UT0259E
	ビルド編 (CX コンパイラ)	R20UT0261J	R20UT0261E
	78K0 コーディング編	R20UT0004J	R20UT0004E
	78K0 ビルド編	R20UT0005J	R20UT0005E
	78K0 デバッグ編	R20UT0262J	R20UT0262E
	78K0 設計編	R20UT0006J	R20UT0006E
	78K0R コーディング編	U19382J	U19382E
	78K0R ビルド編	U19385J	U19385E
	78K0R デバッグ編	R20UT0263J	R20UT0263E
	78K0R 設計編	R20UT0007J	R20UT0007E
	V850 コーディング編	U19383J	U19383E
	V850 ビルド編	U19386J	U19386E
	V850 デバッグ編	R20UT0264J	R20UT0264E
	V850 設計編	R20UT0257J	R20UT0257E

**注意** 上記関連資料は、予告なしに内容を変更することがあります。設計などには、必ず最新の資料を使用してください。

〔メ モ〕

〔メ モ〕

〔メ モ〕

# 目 次

第 1 章 概 説 …	10
第 2 章 出力形式 …	11
2.1 CubeSuite 操作時 …	11
2.2 ビルド・ツール実行時 …	11
2.2.1 CX 実行時 …	11
2.2.2 CA78K0, CA78K0R, CA850 実行時 …	12
第 3 章 メッセージ種別 …	13
3.1 CubeSuite 操作時 …	13
3.2 ビルド・ツール実行時 …	13
第 4 章 コンポーネント番号 …	14
4.1 CubeSuite 操作時 …	14
4.2 ビルド・ツール実行時 …	14
4.2.1 CX 実行時 …	14
4.2.2 CA78K0, CA78K0R, CA850 実行時 …	14
第 5 章 メッセージ番号 …	15
5.1 CubeSuite 操作時 …	15
5.2 ビルド・ツール実行時 …	15
5.2.1 CX 実行時 …	15
5.2.2 CA78K0, CA78K0R 実行時 …	15
5.2.3 CA850 実行時 …	16
第 6 章 メッセージ …	17
6.1 内部エラー …	18
6.2 フェイタル・エラー …	21
6.3 アボート・エラー …	143
6.4 インフォメーション …	199
6.5 選 択 …	206
6.6 ワーニング …	214
付録 A ウィンドウ・リファレンス …	291
A.1 説 明 …	291





## 第1章 概 説

このマニュアルでは、CubeSuite が出力する内部エラー・メッセージ、フェイタル・エラー・メッセージ、アボート・エラー・メッセージ、インフォメーション・メッセージ、選択メッセージ、ワーニング・メッセージについて説明します。

メッセージは、[出力パネル](#)、または[メッセージダイアログ](#)などに出力されます。

## 第2章 出力形式

この章では、エラー・メッセージの出力形式について説明します。

### 2.1 CubeSuite 操作時

CubeSuite 操作時における出力形式は、次のとおりです。

#### (1) ファイル名と行番号を含む場合

```
ファイル名 (行番号) : メッセージ種別 コンポーネント番号 メッセージ番号 : メッセージ
```

#### (2) ファイル名と行番号を含まない場合

```
メッセージ種別 コンポーネント番号 メッセージ番号 : メッセージ
```

**備考** 下記内容が連続した文字列として出力されます。

メッセージ種別 : 1文字の英字

コンポーネント番号 : 2桁の数値

メッセージ番号 : 5桁の数値

### 2.2 ビルド・ツール実行時

ビルド・ツール実行時における出力形式は、次のとおりです。

#### 2.2.1 CX 実行時

##### (1) ファイル名と行番号を含む場合

```
ファイル名 (行番号) : メッセージ種別 コンポーネント番号 メッセージ番号 : メッセージ
```

##### (2) ファイル名と行番号を含まない場合

```
メッセージ種別 コンポーネント番号 メッセージ番号 : メッセージ
```

**備考** 下記内容が連続した文字列として出力されます。

メッセージ種別 : 1文字の英字

コンポーネント番号 : 05

メッセージ番号 : 5桁の数値

## 2.2.2 CA78K0, CA78K0R, CA850 実行時

### (1) ファイル名と行番号を含む場合

```
ファイル名 (行番号) : ビルド・ツール名 error メッセージ種別 メッセージ番号 : メッセージ
```

### (2) ファイル名と行番号を含まない場合

```
メッセージ種別 メッセージ番号 メッセージ
```

**備考 1.** 下記内容が連続した文字列として出力されます。

メッセージ種別 : 1文字の英字

メッセージ番号 : 4桁の数値

2. C0101, C0103, C0104 などの内部エラーは、次の出力形式となります。

```
[ファイル名 <行番号> メッセージ] メッセージ種別 メッセージ番号 メッセージ
```

3. **出力パネル**に表示されるビルド・ツールの内部エラーはヘルプを表示する機能に対応していません。

## 第3章 メッセージ種別

この章では、CubeSuite が出力するメッセージ種別について説明します。

### 3.1 CubeSuite 操作時

CubeSuite 操作時におけるメッセージ種別（1文字の英字）は、次のように分類されています。

表3-1 メッセージ種別（CubeSuite 操作時）

メッセージ種別	説明
C	内部エラー：処理を終了（中断）します。 内部エラーが発生しました。
E	フェイタル・エラー：処理を終了（中断）します。 エラーが発生しました。
M	インフォメーション：情報を通知します。 メッセージを確認してください。その後、処理を継続します。
Q	選択：選択した処理を実行します。 処理を継続するうえで何らかの選択が必要な場合に出力します。
W	ワーニング：警告を通知します。 メッセージを確認してください。その後、処理を継続します。

### 3.2 ビルド・ツール実行時

ビルド・ツール実行時におけるメッセージ種別（1文字の英字）は、次のように分類されています。

表3-2 メッセージ種別（ビルド・ツール実行時）

メッセージ種別	説明
C	内部エラー：処理を中止します。 出力オブジェクトは生成しません。
E	フェイタル・エラー：一定数以上発生した場合、処理を中止します。 出力オブジェクトは生成しません。
F	アボート・エラー：処理を中止します。 出力オブジェクトは生成しません。
W	ワーニング：処理を続行します。 出力オブジェクトを生成します（ユーザが意図したものとは異なる可能性があります）。

**注意** ライブラリアンでは、アボート・エラー以外はすべて正常終了となります。

## 第4章 コンポーネント番号

この章では、CubeSuite が出力するコンポーネント番号について説明します。

### 4.1 CubeSuite 操作時

CubeSuite 操作時におけるコンポーネント番号（2桁の数値）は、次のように分類されています。

表 4 1 コンポーネント番号

コンポーネント番号	説明
00	共通処理
01	アップデート・マネージャ/インストール関連/ライセンス・マネージャ
02	統合開発環境フレームワーク
03	設計ツール（端子配置）
04	設計ツール（コード生成）
05	ビルド・ツール（CX）
06	デバッグ・ツール（エミュレータ/シミュレータ）
08	解析ツール
10	書き込みツール
12	デバッグ・ツール（エミュレータ/シミュレータ）
13	デバッグ・ツール（シミュレータ）
14	メモリ・バンク配置支援ツール
16	CX CubeSuite 向け情報入出力 DLL
17	コンソール

### 4.2 ビルド・ツール実行時

ビルド・ツール実行時におけるコンポーネント番号（2桁の数値）は、次のとおりです。

#### 4.2.1 CX 実行時

ビルド・ツール（CX）実行時のコンポーネント番号は、「05」となります。

#### 4.2.2 CA78K0, CA78K0R, CA850 実行時

ビルド・ツール（CA78K0, CA78K0R, CA850）実行時には、コンポーネント番号は出力されません。

## 第5章 メッセージ番号

この章では、CubeSuite が出力するメッセージ番号について説明します。

### 5.1 CubeSuite 操作時

CubeSuite 操作時におけるメッセージ番号は、コンポーネント番号（「4.1 CubeSuite 操作時」を参照してください）に続けて出力される、5桁の数値となります。

### 5.2 ビルド・ツール実行時

ビルド・ツール実行時におけるメッセージ番号は、次のとおりです。

#### 5.2.1 CX 実行時

ビルド・ツール（CX）実行時のメッセージ番号は、コンポーネント番号（05）に続けて出力される、5桁の数値となります。

#### 5.2.2 CA78K0, CA78K0R 実行時

ビルド・ツール（CA78K0, CA78K0R）実行時におけるメッセージ番号（4桁の数値）は、次のように分類されています。

表 5 1 メッセージ番号（CA78K0, CA78K0R 実行時）

メッセージ番号	説明
0nnn	C コンパイラがエラーを検出した際のメッセージ番号
2nnn	アセンブラがエラーを検出した際のメッセージ番号
3nnn	リンカがエラーを検出した際のメッセージ番号
4nnn	オブジェクト・コンバータがエラーを検出した際のメッセージ番号
5nnn	ライブラリアンがエラーを検出した際のメッセージ番号
6nnn	リスト・コンバータがエラーを検出した際のメッセージ番号
7nnn	変数／関数情報ファイル生成ツールがエラーを検出した際のメッセージ番号
9nnn	スタック見積もりツールがエラーを検出した際のメッセージ番号

備考 nは数字です。

### 5.2.3 CA850 実行時

ビルド・ツール（CA850）実行時におけるメッセージ番号（4桁の数値）は、次のように分類されています。

表 5 2 メッセージ番号（CA850 実行時）

メッセージ番号	説明
1nnn ~ 2nnn, 5nnn ~ 7nnn	C コンパイラがエラーを検出した際のメッセージ番号
3nnn	アセンブラがエラーを検出した際のメッセージ番号
4nnn	リンカがエラーを検出した際のメッセージ番号
84nn ~ 85nn	ROM 化プロセッサがエラーを検出した際のメッセージ番号
86nn ~ 87nn	ヘキサ・コンバータがエラーを検出した際のメッセージ番号
82nn ~ 83nn	アーカイバがエラーを検出した際のメッセージ番号
80nn ~ 81nn	セクション・ファイル・ジェネレータがエラーを検出した際のメッセージ番号
88nn	ディスクアセンブラがエラーを検出した際のメッセージ番号
90nn ~ 91nn	ダンプ・コマンドがエラーを検出した際のメッセージ番号
93nn ~ 95nn	スタック見積もりツールがエラーを検出した際のメッセージ番号
96nn	クロス・リファレンス・ツールがエラーを検出した際のメッセージ番号
97nn	メモリ・レイアウト視覚化ツールがエラーを検出した際のメッセージ番号

**備考** n は数字です。



## 第6章 メッセージ

この章では、CubeSuite が出力するメッセージについて説明します。

## 6.1 内部エラー

表 6 1 内部エラー

Cxxxx	[メッセージ]	内部エラーです (xxxx はメッセージ番号の番号部分です)。
	[説明]	次の行以降にメッセージ番号の記載がない場合には、制限事項になっていないかを確認してください。制限事項になっていない場合は、特約店、または当社までご連絡ください。
C0101	[メッセージ]	Internal error
	[説明]	内部エラーが起きました。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
C0103	[メッセージ]	Intermediate file error
	[説明]	中間ファイルの内容に誤りがあります。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
C0104	[メッセージ]	Illegal use of register
	[説明]	レジスタの使い方に誤りがあります。
C0106	[メッセージ]	Stack overflow ' オーバフロー要因'
	[説明]	スタックのオーバフローが起きました。 オーバフロー要因は stack, あるいは heap です。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
C2921	[メッセージ]	Assembler internal error
	[説明]	アセンブラ自身に内部エラーが発生しました。
	[対処方法]	もう一度アセンブルを実行してください。 エラーが解決できない場合には、特約店、または当社までご連絡ください。
C3113	[メッセージ]	Linker internal error
	[説明]	リンカ自身に内部エラーが発生しました。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
C4999	[メッセージ]	Object Converter internal error
	[説明]	オブジェクト・コンバータ自身に内部エラーが発生しました。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
C5100	[メッセージ]	Internal error
	[説明]	内部エラーが発生しました。
C6999	[メッセージ]	Internal error
	[説明]	コマンド内部エラーです。
C8113	[メッセージ]	Linker internal error
	[説明]	リンカ自身に内部エラーが発生しました。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
C9690	[メッセージ]	xxx
	[説明]	コンパイル・エラー xxx が発生しました。

C9691	[メッセージ]	null pointer access
	[説明]	NULL ポインタにアクセスしようとしてしました。
C9692	[メッセージ]	index out of range
	[説明]	配列の範囲外にアクセスしようとしてしました。
C9790	[メッセージ]	xxx
	[説明]	コンパイル・エラー xxx が発生しました。
C9791	[メッセージ]	null pointer access
	[説明]	NULL ポインタにアクセスしようとしてしました。
C9792	[メッセージ]	index out of range
	[説明]	配列の範囲外にアクセスしようとしてしました。
C05nnnnn	[メッセージ]	内部エラーが発生しました。
	[メッセージ]	内部エラーが発生しました (情報)。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
C0560901	[メッセージ]	内部エラーが発生しました。(不正なリンケージステータス (number) です。)
C0560903	[メッセージ]	内部エラーが発生しました。(メモリに配置できませんでした。)
C0560904	[メッセージ]	内部エラーが発生しました。(リロケーション・タイプ (number) がありません。)
C0560905	[メッセージ]	内部エラーが発生しました。( " string" が不正です。)
C0560906	[メッセージ]	内部エラーが発生しました。(未定義の外部シンボル ( " string" ) がみつかりました。)
C0560907	[メッセージ]	内部エラーが発生しました。(GP-symbol 情報が取得できませんでした。)
C0592nnn	[メッセージ]	内部エラーが起きました。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
C0592100	[メッセージ]	内部エラーが起きました。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
C0592200	[メッセージ]	内部エラーが発生しました。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
C0100001	[メッセージ]	xxx が空です。
C0190000	[メッセージ]	デバイスの指定が不正です。
C0600000	[メッセージ]	内部エラーです。
C0600001	[メッセージ]	引数が正しくありません。(xxx=yyy)
C0600002	[メッセージ]	引数が正しくありません。(xxx=nullptr)
C0600003	[メッセージ]	すでに登録済みです。
C0600004	[メッセージ]	登録されていません。
C0602000	[メッセージ]	すでに接続済みです。
C0602001	[メッセージ]	すでに切断済みです。
C0602002	[メッセージ]	デバイスファイルは未設定です。
C0602003	[メッセージ]	未ハンドルの例外が発生しました。
C0602100	[メッセージ]	ターゲットとの接続を確認してください。

C0602101	[メッセージ]	ターゲットとの接続を確認し、ターゲットの電源を入れてください。
C0602103	[メッセージ]	ターゲットを外してください。
C0602104	[メッセージ]	ターゲットの電源を切り、ターゲットを外してください。
C0602200	[メッセージ]	ID コードが間違っています。フラッシュメモリを消去しました。
C0602201	[メッセージ]	ID コードが無効になっています。フラッシュメモリを消去しました。
C0602202	[メッセージ]	ID コードが間違っています。
C1700000	[メッセージ]	Callback イベント (ID = xxx) の実行に失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再起動してください。
C1700001	[メッセージ]	Hook イベント (ID = xxx) の実行に失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再起動してください。
C1700002	[メッセージ]	関数実行に失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再起動してください。
C1700003	[メッセージ]	スクリプト実行に失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再起動してください。
C1700004	[メッセージ]	文字列の表示に失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再起動してください。
C1710000	[メッセージ]	指定された名前が不正です。
	[対処方法]	CubeSuite を再起動してください。改善されない場合は再インストールしてください。
C1710001	[メッセージ]	指定された名前は既に使用されています。
	[対処方法]	CubeSuite を再起動してください。改善されない場合は再インストールしてください。
C1710002	[メッセージ]	必要な DLL の取得に失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再起動してください。改善されない場合は再インストールしてください。
C1710003	[メッセージ]	指定された名前が見つかりませんでした。
	[対処方法]	CubeSuite を再起動してください。改善されない場合は再インストールしてください。

## 6.2 フェイタル・エラー

表 6 2 フェイタル・エラー

E0062	[メッセージ]	【78K0】 Function Information File : Unknown Mapping for ' 配置属性指定対象 '
	[説明]	【78K0】 関数情報ファイル中に不正なマッピング属性が指定されています。
	[対処方法]	【78K0】 マッピング属性は、C、またはバンク番号を指定してください。
E0074	[メッセージ]	【78K0】 Variable Information File : syntax error ' エラー内容 '
	[説明]	【78K0】 変数情報ファイルに構文エラーがあります。
	[対処方法]	【78K0】 変数情報ファイルを編集して、構文エラーを修正してください。
	[メッセージ]	【78K0R】 Variable/Function Information File : syntax error ' エラー内容 '
	[説明]	【78K0R】 変数 / 関数情報ファイルに構文エラーがあります。
	[対処方法]	【78K0R】 変数 / 関数情報ファイルを編集して、構文エラーを修正してください。
E0102	[メッセージ]	Too many errors
	[説明]	文法の誤りやコンパイルの制限によるエラーの合計が 30 を越えました。 C コンパイラは処理を継続しますが、これ以降のエラー・メッセージは出力しません。 これ以前のエラーが多数のエラーを引き起こしている可能性があります。これ以前のエラーを最初に取り除いてください。
E0105	[メッセージ]	Register overflow : simplify expression
	[説明]	式が複雑すぎるので使用できるレジスタがなくなりました。
	[対処方法]	エラーとなっている複雑な式を単純化してください。
E0108	[メッセージ]	Compiler limit : too much automatic data in function
	[説明]	関数のオートマチック変数に割り当てられた領域が 64 K バイトの制限を越えました。
	[対処方法]	64 K バイトを越えないように、変数を減らしてください。
E0109	[メッセージ]	Compiler limit : too much parameter of function
	[説明]	関数のパラメータに割り当てられた領域が 64 K バイトの制限を越えました。
	[対処方法]	64 K バイトを越えないように、パラメータを減らしてください。
E0110	[メッセージ]	Compiler limit : too much code defined ' セクション名 ' in file
	[説明]	セクション名に割り当てられた領域が、制限を越えました。
E0111	[メッセージ]	Compiler limit : too much global data defined in file
	[説明]	ファイル内のグローバル変数に割り当てられた領域が 64 K バイトの制限を越えました。
E0113	[メッセージ]	Compiler limit : too many local lables
	[説明]	1 関数内の内部ラベル数が処理限界数を越えました。
	[対処方法]	関数本体が大きすぎます。 関数を分割してください。

E0115	[メッセージ]	【78K0】 Compiler limit : too much code defined in file for a bank
	[説明]	【78K0】 ファイル内のコードに割り当てられた領域がバンクのサイズの制限を越えました。
	[対処方法]	【78K0】 ファイル内のコード・サイズがバンクのサイズを越えないように、ファイル、関数を分割してください。
E0116	[メッセージ]	Compiler limit : too many function definitions in file
	[説明]	ファイル内の関数定義数が処理限界数を越えました。
	[対処方法]	関数定義数が処理限界数を越えないように、分割してください。
E0117	[メッセージ]	Compiler limit : too many source lines in file
	[説明]	ファイル内のソース行数が処理限界数を越えました。
	[対処方法]	ソース行数が処理限界数を越えないように、分割してください。
E0201	[メッセージ]	Unknown character '16 進数'
	[説明]	指定された内部コードを持つ文字は認識することができません。
E0202	[メッセージ]	Unexpected EOF
	[説明]	関数の途中でファイルが終了しました。
E0301	[メッセージ]	Syntax error
	[説明]	構文エラーが起きました。
	[対処方法]	ソースに記述ミスがないか確かめてください。
E0303	[メッセージ]	Expected identifier
	[説明]	goto 文の識別子が必要です。
	[対処方法]	goto 文に指定する識別子を正しく記述してください。
E0305	[メッセージ]	Compiler limit : too many identifiers with block scope
	[説明]	1つのブロック内でブロック・スコープを持つシンボルの数が多すぎます。
E0306	[メッセージ]	Illegal index , indirection not allowed
	[説明]	ポインタの値をとらない式に添字が使われています。
E0307	[メッセージ]	Call of non-function '変数名'
	[説明]	変数名が関数名として使われています。
E0308	[メッセージ]	Improper use of a typedef name
	[説明]	typedef 名が正しく使われていません。
E0311	[メッセージ]	Number syntax
	[説明]	定数の表現が誤っています。
E0312	[メッセージ]	Illegal octal digit
	[説明]	8進数字としてふさわしくないものがあります。
E0313	[メッセージ]	Illegal hexadecimal digit
	[説明]	16進数字としてふさわしくないものがあります。
E0314	[メッセージ]	Too big constant
	[説明]	定数が大きすぎて表現できません。
E0315	[メッセージ]	Too small constant
	[説明]	定数が小さすぎて表現できません。

E0316	[メッセージ]	Too many character constants
	[説明]	文字定数が2文字を越えています。
E0317	[メッセージ]	Empty character constant
	[説明]	文字定数 ' ' の中が空になっています。
E0318	[メッセージ]	No terminated string literal
	[説明]	文字列の終わりに ' ' がありません。
E0319	[メッセージ]	Changing string literal
	[説明]	文字列リテラルの書き換えを行っています。
E0321	[メッセージ]	Compiler limit : too many characters in string literal
	[説明]	文字列リテラルの文字数が509を越えました。
E0322	[メッセージ]	Ellipsis requires three periods
	[説明]	Cコンパイラは、"..."を検出しましたが"..."である必要があります。
E0323	[メッセージ]	Missing '区切り子'
	[説明]	区切り子に誤りがあります。
E0324	[メッセージ]	Too many }'s
	[説明]	"{"と"}"が正しく対応していません。
E0325	[メッセージ]	No terminated comment
	[説明]	コメントの終わりに"/"がありません。
E0326	[メッセージ]	Illegal binary digit
	[説明]	2進数としてふさわしくないものがあります。
E0327	[メッセージ]	Hex constants must have at least one hex digit
	[説明]	16進型定数表記では、少なくとも1桁の16進数が必要です。
E0329	[メッセージ]	Compiler limit : too many comment nesting
	[説明]	コメントのネストの数が255の制限を越えました。
E0334	[メッセージ]	[78K0] '-SM' option specified-float & double keywords are not allowed
	[説明]	[78K0] スタティック・モデル指定オプション(-sm)が指定されました。float型、およびdouble型は許されません。
E0341	[メッセージ]	[78K0] '-MF' option specified for bank function - '関数修飾子' keyword is not allowed
	[説明]	[78K0] バンク機能をサポートするための関数情報ファイル指定オプション(-mf)が指定されたため、この関数修飾子を使用することができません。
E0342	[メッセージ]	'関数修飾子' keyword is not allowed
	[説明]	この関数修飾子を使用することができません。
E0402	[メッセージ]	Incompatible type conversion
	[説明]	代入文で許されない型変換が行われています。
E0403	[メッセージ]	Illegal indirection
	[説明]	整数型の式に*演算子が使われています。
E0404	[メッセージ]	Incompatible structure type conversion
	[説明]	構造体同士、または構造体への代入文で両辺の型が異なります。

E0405	[メッセージ]	Illegal lvalue
	[説明]	左辺値として正しくないものがあります。
E0406	[メッセージ]	Cannot modify a const object '変数名'
	[説明]	const 属性の変数の書き換えを行っています。
E0407	[メッセージ]	Cannot write for read/only sfr 'SFR 名'
	[説明]	read only の sfr に対し、書き込みを行っています。
E0408	[メッセージ]	Cannot read for write/only sfr 'SFR 名'
	[説明]	write only の sfr に対し、読み出しを行っています。
E0409	[メッセージ]	Illegal SFR access 'SFR 名'
	[説明]	sfr に対して不正なデータの読み出し、または書き込みを行っています。
E0414	[メッセージ]	Expected pointer
	[説明]	ポインタが必要です。
E0501	[メッセージ]	Expression syntax
	[説明]	式の構文エラーが起きました。
E0502	[メッセージ]	Compiler limit : too many parentheses
	[説明]	式の中のかっこのネストが32を越えました。
E0507	[メッセージ]	Expected integral index
	[説明]	配列の添字に許されるのは整数型の式だけです。
E0508	[メッセージ]	Too many actual arguments
	[説明]	関数呼び出しで指定された引数の数が、引数の型のリスト、または関数定義で指定されたパラメータの数より多い状態です。
E0509	[メッセージ]	Too few actual arguments
	[説明]	関数呼び出しで指定された引数の数が、引数の型のリスト、または関数定義で指定されたパラメータの数より少ない状態です。
E0512	[メッセージ]	Cannot call function in norec function
	[説明]	norec 関数中で関数呼び出しを行っています。 関数呼び出しは、norec 関数中では行うことができません。
E0513	[メッセージ]	Illegal structure/union member 'メンバ名'
	[説明]	構造体の参照で、定義されていないメンバを指しています。
E0514	[メッセージ]	Expected structure/union pointer
	[説明]	"->" 演算子の前の式が、構造体、または共用体へのポインタではなく、構造体、または共用体の名前です。
	[対処方法]	"->" 演算子の前の式を構造体、または共用体へのポインタにしてください。
E0515	[メッセージ]	Expected structure/union name
	[説明]	"." 演算子の前の式が、構造体、または共用体の名前ではなく、構造体、または共用体へのポインタです。
	[対処方法]	"." 演算子の前の式を構造体、または共用体変数にしてください。
E0516	[メッセージ]	Zero sized structure '構造体名'
	[説明]	構造体の大きさが0です。



E0517	[メッセージ]	Illegal structure operation
	[説明]	構造体に使用できない演算子を使用しています。
E0518	[メッセージ]	Illegal structure/union comparison
	[説明]	2個の構造体, または共用体と比較することができません。
E0519	[メッセージ]	Illegal bit field operation
	[説明]	ビット・フィールドに対して許されない記述があります。
E0520	[メッセージ]	Illegal use of pointer
	[説明]	ポインタに対して使用できる演算子は, 加減, 代入, 関係, 間接 (*), メンバ参照 (->) だけです。
E0521	[メッセージ]	Illegal use of floating
	[説明]	浮動小数点変数に対して, 使用することができない演算子を使用されています。
E0523	[メッセージ]	Illegal bit, boolean type operation
	[説明]	bit, boolean 型変数に対して許されない演算を行っています。
E0524	[メッセージ]	'&' on constant
	[説明]	定数のアドレスは得られません。
E0525	[メッセージ]	'&' requires lvalue
	[説明]	'&' 演算子は左辺値に代入する式にのみ使用可能です。
E0526	[メッセージ]	'&' on register variable
	[説明]	レジスタ変数のアドレスは得ることができません。
E0527	[メッセージ]	'&' on bit, boolean ignored
	[説明]	ビット・フィールド, bit, boolean 型変数のアドレスは得ることができません。
E0529	[メッセージ]	Sizeof returns zero
	[説明]	sizeof 式の値が0になっています。
E0530	[メッセージ]	Illegal sizeof operand
	[説明]	sizeof 式のアペランドは, 識別子, または型名でなければなりません。
E0531	[メッセージ]	Disallowed conversion
	[説明]	不正なキャストを行っています。
	[対処方法]	キャストが間違っていないか確かめてください。 定数をポインタにキャストしている場合, メモリ・モデルにより範囲外のアドレスとなる場合もこのエラーになります。
E0532	[メッセージ]	Pointer on left, needs integral right: '演算子'
	[説明]	左辺オペラントがポインタであるので, 右辺オペラントは整数値でなければなりません。
E0533	[メッセージ]	Invalid left-or-right operand: '演算子'
	[説明]	左辺, または右辺オペラントが, 演算子に対して不正です。
E0534	[メッセージ]	Divide check
	[説明]	/ 演算, % 演算の除数が0です。
E0535	[メッセージ]	Invalid pointer addition
	[説明]	2つのポインタを加算してはなりません。

E0536	[メッセージ]	Must be integral value addition
	[説明]	ポインタに加算できるものは整数値のみです。
E0537	[メッセージ]	Illegal pointer subtraction
	[説明]	ポインタ同士の減算は同じ型でなければなりません。
E0538	[メッセージ]	Illegal conditional operator
	[説明]	条件演算子が正しく記述されていません。
E0539	[メッセージ]	Expected constant expression
	[説明]	定数式が必要です。
E0541	[メッセージ]	Function argument has void type
	[説明]	関数の引数が void 型です。
E0544	[メッセージ]	【78K0】 Illegal type for parameter in noauto or norec function prototype
	[説明]	【78K0】 noauto, norec 関数のプロトタイプ宣言において、許していない型のパラメータ宣言がされています。
E0546	[メッセージ]	Too few actual argument for inline function '関数名'
	[説明]	インライン展開する関数の関数呼び出しで指定された引数の個数が仕様で規定するパラメータの数より少ない状態です。
E0549	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified-recursive function is not allowed
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されました。再帰呼び出しは許されません。
E0550	[メッセージ]	Cannot call function in __flashf function
	[説明]	__flashf 関数の中からは関数を呼び出すことができません。
E0551	[メッセージ]	Cannot call long type library in __flashf function
	[説明]	__flashf 関数の中からは long 型のライブラリを呼び出すことができません。
E0602	[メッセージ]	Compiler limit : too many characters in logical source line
	[説明]	論理ソース行の文字数が 2048 を越えました。
E0603	[メッセージ]	Compiler limit : too many labels
	[説明]	ラベル数が 33 を越えました。
E0604	[メッセージ]	Case not in switch
	[説明]	case 文が正しい位置に記述されていません。
E0605	[メッセージ]	Duplicate case 'ラベル名'
	[説明]	switch 文の中で同じ case ラベルが二度以上記述されています。
E0606	[メッセージ]	Non constant case expression
	[説明]	case 文で整数定数以外のものを指定しています。
E0607	[メッセージ]	Compiler limit : too many case labels
	[説明]	switch 文の case ラベルが 257 を越えました。
E0608	[メッセージ]	Default not in switch
	[説明]	default 文が正しい位置に記述されていません。
E0609	[メッセージ]	More than one 'default'
	[説明]	switch 文の中で default 文が複数記述されています。

E0610	[メッセージ]	Compiler limit : block nest level too depth
	[説明]	ブロックのネストが 45 を越えました。
E0611	[メッセージ]	Inappropriate 'else'
	[説明]	if と else の対応がとれていません。
E0617	[メッセージ]	Do statement must have 'while'
	[説明]	do の終わりには while が必要です。
E0620	[メッセージ]	Break/continue error
	[説明]	break, continue 文の位置が誤っています。
E0621	[メッセージ]	Void function '関数名' cannot return value
	[説明]	void 宣言した関数が値を返しています。
E0623	[メッセージ]	No effective code and data , cannot create output file
	[説明]	有効なコードやデータがないため、出力ファイルを作成することができません。
E0701	[メッセージ]	External definition syntax
	[説明]	関数が正しく定義されていません。
E0702	[メッセージ]	Too many callt functions
	[説明]	callt 関数の宣言が多すぎます。callt 関数は最大 32 個まで宣言することができます。
	[対処方法]	callt 関数宣言の数を減らしてください。
E0703	[メッセージ]	Function has illegal storage class
	[説明]	関数が不正な記憶クラスで指定されています。
E0704	[メッセージ]	Function returns illegal type
	[説明]	関数の戻り値が不正な型です。
E0705	[メッセージ]	【78K0】 Too many parameters in noauto or norec function
	[説明]	【78K0】 noauto, norec 関数のパラメータが多すぎます。
	[対処方法]	【78K0】 パラメータを減らしてください。
E0706	[メッセージ]	Parameter list error
	[説明]	関数パラメータ・リスト中に誤りがあります。
E0707	[メッセージ]	Not parameter '文字列'
	[説明]	関数定義でパラメータでないものを宣言しています。
E0708	[メッセージ]	【78K0R】 Illegal parameters in rtos_task function
	[説明]	【78K0R】 RTOS タスク関数のパラメータが不適切です。
	[対処方法]	【78K0R】 パラメータを 1 つ以下にしてください。 サイズが 4 バイトを超えるパラメータを指定することはできません。
E0709	[メッセージ]	Different bank direction specified same file
	[説明]	同一ファイルに対して異なるバンク指定が行われました。
E0710	[メッセージ]	Illegal strage class
	[説明]	関数の外部で auto, register 宣言がおこなわれているか、または関数内で boolean 変数が定義されています。
E0711	[メッセージ]	Undeclared '変数名' : function '関数名'
	[説明]	宣言されていない変数が使用されています。

E0712	[メッセージ]	Declaration syntax
	[説明]	宣言文が文法に合っていません。
E0713	[メッセージ]	Redefined ' シンボル名 '
	[説明]	同じシンボルが2回以上定義されています。
	[対処方法]	シンボルの定義は1回にしてください。
E0715	[メッセージ]	Too many sreg variables
	[説明]	sreg 変数の宣言が多すぎます。
E0716	[メッセージ]	【78K0】 Not allowed automatic data in noauto function
	[説明]	【78K0】 noauto 関数中ではオートマチック変数を使用することはできません。
E0717	[メッセージ]	【78K0】 Too many automatic data in noauto or norec function
	[説明]	【78K0】 noauto, norec 関数のオートマチック変数が多すぎます。
	[対処方法]	【78K0】 noauto, norec 関数のオートマチック変数を減らしてください。使用可能な変数の数については、「CubeSuite コーディング編」のユーザーズ・マニュアルを参照してください。
E0718	[メッセージ]	Too many bit, boolean type variables
	[説明]	bit, boolean 型変数が多すぎます。
	[対処方法]	bit, boolean, __boolean 型変数を減らしてください。使用可能な変数の数については、「CubeSuite コーディング編」のユーザーズ・マニュアルを参照してください。
E0719	[メッセージ]	Illegal use of type
	[説明]	型名が不正に使用されています。
E0720	[メッセージ]	Illegal void type for ' 識別子 '
	[説明]	識別子を void で宣言しています。
E0722	[メッセージ]	Illegal keyword for rtos_task function
	[説明]	RTOS 用タスク関数に対し、許されない関数修飾子が指定されました。
E0723	[メッセージ]	【78K0】 Illegal type for parameter in noauto or norec function
	[説明]	【78K0】 noauto, norec 関数のパラメータの型が大きすぎます。
E0724	[メッセージ]	Structure redefinition
	[説明]	同じ構造体が再定義されています。
E0726	[メッセージ]	Function cannot be structure/union member
	[説明]	関数は、構造体、または共用体のメンバであってはなりません。
E0727	[メッセージ]	Unknown size structure/union ' 名前 '
	[説明]	サイズが未定義の構造体、または共用体があります。
E0728	[メッセージ]	Compiler limit : too many structure/union members
	[説明]	構造体、または共用体のメンバが256を越えています。
E0729	[メッセージ]	Compiler limit : structure/union nesting
	[説明]	構造体、または共用体のネストが15を越えています。
E0730	[メッセージ]	Bit field outside of structure
	[説明]	構造体の外でビット・フィールドの宣言が行われています。

E0731	[メッセージ]	Illegal bit field type
	[説明]	ビット・フィールドの型に整数型以外の型を指定しています。
E0732	[メッセージ]	Too long bit field size
	[説明]	ビット・フィールド宣言のビット指定数とその型のビット数を越えています。
E0733	[メッセージ]	Negative bit field size
	[説明]	ビット・フィールド宣言のビット指定数が負です。
E0734	[メッセージ]	Illegal enumeration
	[説明]	列挙型宣言が文法に合っていません。
E0735	[メッセージ]	Illegal enumeration constant
	[説明]	列挙定数が不正です。
E0736	[メッセージ]	Compiler limit : too many enumeration constants
	[説明]	列挙定数の数が 255 を越えました。
E0737	[メッセージ]	Undeclared structure/union/enum tag
	[説明]	タグが宣言されていません。
E0738	[メッセージ]	Compiler limit : too many pointer modifying
	[説明]	ポインタの定義で間接演算子 (*) の数が 12 を越えました。
E0739	[メッセージ]	Expected constant
	[説明]	配列の宣言で添字に変数を使用しています。
E0740	[メッセージ]	Negative subscript
	[説明]	配列の大きさの指定が負です。
E0741	[メッセージ]	Unknown size array ' 配列名 '
	[説明]	配列の大きさが不定です。
	[対処方法]	配列の大きさを指定してください。
E0742	[メッセージ]	Compiler limit : too many array modifying
	[説明]	配列の宣言が 12 次元を越えています。
E0743	[メッセージ]	Array element type cannot be function
	[説明]	関数の配列は許されません。
E0747	[メッセージ]	Function prototype mismatch
	[説明]	関数プロトタイプ宣言に誤りがあります。
	[対処方法]	関数本体とパラメータ、戻り値の型などが同じか確認してください。
E0750	[メッセージ]	Initializer syntax
	[説明]	初期化が文法にあっていません。
E0751	[メッセージ]	Illegal initialization
	[説明]	初期値設定の定数とその変数の型に合っていません。
E0753	[メッセージ]	Cannot initialize static with automatic
	[説明]	オートマチック変数を使って、スタティック変数を初期化することができません。
E0756	[メッセージ]	Too many initializers ' 配列名 '
	[説明]	宣言された配列の要素数より初期値の方が大きいです。

E0757	[メッセージ]	Too many structure initializers
	[説明]	宣言された構造体のメンバ数より初期値の方が大きいです。
E0758	[メッセージ]	Cannot initialize a function '関数名'
	[説明]	関数を初期化することができません。
E0759	[メッセージ]	Compiler limit : initializers too deeply nested
	[説明]	初期化要素のネストの深さが制限を越えました。
E0765	[メッセージ]	Undefined static function '関数名'
	[説明]	同一ファイル内に実体がない static 宣言された関数を参照しました。
E0766	[メッセージ]	【78K0】 Illegal type for automatic data in noauto or norec function
	[説明]	【78K0】 noauto, norec 関数のオートマチック変数の型が大きいです。
E0768	[メッセージ]	【78K0R】 Cannot allocate interrupt function in RAM area
	[説明]	【78K0R】 割り込み発生時に分岐できないので、RAM 領域に割り込み関数を配置できません。
E0769	[メッセージ]	【78K0R】 __far is not allowed for callt/interrupt function
	[説明]	【78K0R】 callt / 割り込み関数に __far 修飾子を使用することはできません。
E0770	[メッセージ]	Parameters are not allowed for interrupt function
	[説明]	割り込み関数には引数は許されません。
E0771	[メッセージ]	Interrupt function must be void type
	[説明]	割り込み関数は、void 型でなくてはなりません。
E0772	[メッセージ]	【78K0】 Callt/callf/noauto/norec/__banked/__pascal are not allowed for interrupt function
	[説明]	【78K0】 割り込み関数は、callt, callf, noauto, norec, __banked, __pascal 宣言を指定することができません。
	[メッセージ]	【78K0R】 Callt are not allowed for interrupt function
	[説明]	【78K0R】 割り込み関数は、callt 宣言を指定することができません。
E0773	[メッセージ]	Cannot call interrupt function
	[説明]	割り込み関数をコールできません。
E0774	[メッセージ]	Interrupt function can't use with the other kind interrupts
	[説明]	1つの割り込み関数を他の種類の割り込みに使用することはできません。
E0775	[メッセージ]	Cannot call rtos_task function
	[説明]	RTOS タスクを呼び出すことはできません。
E0776	[メッセージ]	【78K0】 Cannot call ret_int/ret_wup except in rtos_interrupt_handler
	[説明]	【78K0】 RTOS 割り込みハンドラ以外で、ret_int/ret_wup システム・コールは呼び出せません。
	[メッセージ]	【78K0R】 Cannot call ret_int/_kernel_int_entry
	[説明]	【78K0R】 ret_int/_kernel_int_entry システム・コールを呼び出すことはできません。

E0777	[メッセージ]	【78K0】 Not call ret_int/ret_wup in rtos_interrupt_handler
	[説明]	【78K0】 RTOS 割り込みハンドラにおいて、ret_int/ret_wup システム・コールを呼び出していません。
	[メッセージ]	【78K0R】 Cannot allocate rtos_system_call
	[説明]	【78K0R】 RTOS システム・コール関数を配置することはできません。
E0778	[メッセージ]	Cannot call ext_tsk in interrupt function
	[説明]	割り込み関数/割り込みハンドラで、ext_tsk システム・コールを呼び出すことはできません。
E0780	[メッセージ]	Zero width for bit field 'メンバ名'
	[説明]	ビット・フィールド宣言のビット指定数が0のメンバに、メンバ名を指定していません。
E0781	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified-variable parameters are not allowed
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されました。可変長引数は許されません。
E0782	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified-structure & union parameter is not allowed
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されました。構造体、および共用体型の引数は許されません。
E0783	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified-structure & union return vallue is not allowed
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されました。構造体、および共用体型の返却値は許されません。
E0784	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified-too many parameters of function
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されました。関数引数が、3 引数 6 バイトの制限を越えています。
E0785	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified-expected function prototype
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されました。関数プロトタイプ宣言がありません。
E0788	[メッセージ]	Cannot allocate a __flash function '関数名'
	[説明]	__flash 関数を配置することはできません。
E0789	[メッセージ]	'-ZF' option did not specify - cannot allocate an EXT_FUNC function '関数名'
	[説明]	フラッシュ領域のオブジェクト作成オプション (-zf) が指定されていません。#pragma EXT_FUNC で指定した関数は配置することができません。
E0790	[メッセージ]	【78K0】 Callt/callf/__interrupt are not allowed for EXT_FUNC function '関数名'
	[説明]	【78K0】 #pragma EXT_FUNC で指定した関数には、callt/callf/__interrupt 宣言を指定することはできません。
	[メッセージ]	【78K0R】 Callt/__interrupt are not allowed for EXT_FUNC function '関数名'
	[説明]	【78K0R】 #pragma EXT_FUNC で指定した関数には、callt/__interrupt 宣言を指定することはできません。

E0791	[メッセージ]	【78K0】 '-ZF' option specified - cannot allocate a callt/callf function '関数名'
	[説明]	【78K0】 フラッシュ領域のオブジェクト作成オプション (-zf) が指定されました。callt/callf 関数は配置することができません。
	[メッセージ]	【78K0R】 '-ZF' / '-ZX' option specified - cannot allocate a callt function '関数名'
	[説明]	【78K0R】 フラッシュ領域のオブジェクト作成オプション (-zf), または RAM 配置オプション (-zx) が指定されました。callt 関数は配置することができません。
E0794	[メッセージ]	Too many parameters in __flashf function
	[説明]	__flashf 関数のパラメータが多すぎます。
E0795	[メッセージ]	Illegal type for parameter in __flashf function
	[説明]	__flashf 関数のパラメータに許されない型を指定しています。
E0796	[メッセージ]	Too many automatic data in __flashf function
	[説明]	__flashf 関数のオートマチック変数が多すぎます。
E0797	[メッセージ]	Illegal type for automatic data in __flashf function
	[説明]	__flashf 関数のオートマチック変数に許されない型を指定しています。
E0799	[メッセージ]	Cannot allocate '変数名' out of 'アドレス範囲'
	[説明]	絶対番地配置指定が行われた変数名に対するアドレス指定が、指定可能なアドレス範囲を越えています。
E0801	[メッセージ]	Undefined control
	[説明]	# で始まるもので、キーワードとして認識できないものがあります。
E0802	[メッセージ]	Illegal preprocess directive
	[説明]	プリプロセス指令に誤りがあります。
	[対処方法]	プリプロセス指令 (#pragma など) がファイルの先頭に記述されているか、または間違いがないか確認してください。
E0803	[メッセージ]	Unexpected non-whitespace before preprocess directive
	[説明]	プリプロセス指令の前に空白文字以外の文字があります。
E0805	[メッセージ]	Misplaced else or elif
	[説明]	#if, #ifdef, #ifndef と #else, #elif の対応がとれていません。
E0806	[メッセージ]	Misplaced endif
	[説明]	#if, #ifdef, #ifndef と #endif の対応がとれていません。
E0807	[メッセージ]	Compiler limit : too many conditional inclusion nesting
	[説明]	条件コンパイルのネストが 255 を越えました。
E0810	[メッセージ]	Cannot find include file 'ファイル名'
	[説明]	インクルード・ファイルが見つかりません。
	[対処方法]	環境変数 INC78K0, INC78K0R にインクルード・ファイルのあるパスを設定するか、-i でパスを設定してください。
E0811	[メッセージ]	Too long file name 'ファイル名'
	[説明]	ファイル名が長すぎます。



E0812	[メッセージ]	Include directive syntax
	[説明]	#include 文の定義でファイル名が" ", または <> で正しく囲まれていません。
E0813	[メッセージ]	Compiler limit : too many include nesting
	[説明]	インクルード・ファイルのネストが 50 を越えました。
	[対処方法]	インクルード・ファイルのネストを 50 以下になるようにソースを修正してください。
E0814	[メッセージ]	Illegal macro name
	[説明]	マクロ名が正しくありません。
E0815	[メッセージ]	Compiler limit : too many macro nesting
	[説明]	マクロのネストが 200 を越えました。
E0818	[メッセージ]	Redeclared parameter in macro ' マクロ名 '
	[説明]	マクロ定義内のパラメータ・リストに同じ識別子が現れています。
E0821	[メッセージ]	Illegal macro parameter ' マクロ名 '
	[説明]	関数形式マクロで ( ) 内の記述が正しくありません。
E0822	[メッセージ]	Missing ) ' マクロ名 '
	[説明]	関数形式マクロで #define 定義の同じ行内に " ) " が見つかりません。
E0823	[メッセージ]	Too long macro expansion ' マクロ名 '
	[説明]	マクロ展開時の実引数が長すぎます。
E0826	[メッセージ]	Compiler limit : too many macro defines
	[説明]	マクロ定義数が 10000 を越えました。
E0827	[メッセージ]	Compiler limit : too many macro parameters
	[説明]	1 つのマクロ定義, 呼び出しのパラメータが 31 を越えました。
E0828	[メッセージ]	Not allowed #undef for system macro name
	[説明]	システム・マクロ名が #undef により指定されています。
E0830	[メッセージ]	【78K0】 No chip specifier : #pragma pc ( )
	[説明]	【78K0】 デバイス種別指定がありません。
E0831	[メッセージ]	【78K0】 Illegal chip specifier : '#pragma pc ( デバイス種別 )'
	[説明]	【78K0】 デバイス種別指定に誤りがあります。 #pragma 指令によるデバイス名の指定が C ソースの先頭以外に記述されています。
E0833	[メッセージ]	Expected #asm
	[説明]	#asm がありません。
E0834	[メッセージ]	Expected #endasm
	[説明]	#endasm がありません。
E0838	[メッセージ]	Duplicated pragma VECT or INTERRUPT or RTOS_INTERRUPT ' 文字列 '
	[説明]	#pragma VECT ' 文字列 ', INTERRUPT ' 文字列 ', または RTOS_INTERRUPT ' 文字列 ' が重複しています。
E0839	[メッセージ]	Unrecognized pragma VECT or INTERRUPT or RTOS_INTERRUPT ' 文字列 '
	[説明]	認識されない #pragma VECT ' 文字列 ', INTERRUPT ' 文字列 ', または RTOS_INTERRUPT ' 文字列 ' があります。

E0842	[メッセージ]	Unrecognized pragma SECTION ' 文字列'
	[説明]	認識されない #pragma SECTION ' 文字列' があります。
E0843	[メッセージ]	Unspecified start address of ' セクション名'
	[説明]	#pragma section の AT の後に正しい開始アドレスが指定されていません。
E0845	[メッセージ]	Cannot allocate ' セクション名' out of ' アドレス範囲'
	[説明]	指定された開始アドレスには指定されたセクションは配置できません。
E0847	[メッセージ]	Different BANK or SP_SWITCH specified on same interrupt function ' 関数名'
	[説明]	同名の割り込み関数に対して異なるレジスタ・バンク指定, あるいはスタック切り替え指定が行われました。
E0853	[メッセージ]	Unrecognized pragma NAME ' モジュール名'
	[説明]	'モジュール名' 中に認識できない文字があります。
E0854	[メッセージ]	Undefined rtos_task ' 文字列'
	[説明]	RTOS タスクの実体が定義されていません。
E0855	[メッセージ]	Cannot assign rtos_interrupt_handler to non-maskable and software interrupt
	[説明]	RTOS 割り込みハンドラでは, ノンマスクブル割り込み, およびソフトウェア割り込みを指定することはできません。
E0858	[メッセージ]	Unrecognized pragma 'pragma 文字列' ' 不正文字列'
	[説明]	認識されない #pragma 'pragma 文字列' ' 不正文字列' があります。
E0859	[メッセージ]	【78K0】 Cannot allocate EXT_TABLE out of 0x80-0xff80
	[説明]	【78K0】 フラッシュ領域分岐テーブルの先頭アドレスは 0x80 - 0xff80 でなければなりません。
	[対処方法]	【78K0】 フラッシュ領域分岐テーブルの先頭アドレスを指定可能な範囲内に指定してください。
E0860	[メッセージ]	【78K0】 Redefined #pragma EXT_TABLE
	[説明]	【78K0】 #pragma EXT_TABLE が再定義されています。
E0861	[メッセージ]	No EXT_TABLE specifier
	[説明]	フラッシュ領域分岐テーブルの先頭アドレス指定がありません。
	[対処方法]	-zf オプションは, 「セルフ書き換え機能を持つフラッシュ・メモリ製品」においてセルフ書き換え機能を使用する場合にのみ指定してください。
E0862	[メッセージ]	Illegal EXT_FUNC id specifier : out of 0x0-0xff
	[説明]	#pragma EXT_FUNC で指定するフラッシュ領域中の関数の ID 値は 0x0 - 0xff でなければなりません。
E0863	[メッセージ]	Redefined #pragma EXT_FUNC name ' 関数名'
	[説明]	#pragma EXT_FUNC で指定する関数名が再定義されています。
E0864	[メッセージ]	Redefined #pragma EXT_FUNC id 'ID 値'
	[説明]	#pragma EXT_FUNC で指定する ID 値が再定義されています。
E0865	[メッセージ]	Out of range - cannot allocate an EXT_FUNC function ' 関数名'
	[説明]	フラッシュ領域分岐テーブルのアドレスが範囲を越えました。 #pragma EXT_FUNC で指定した関数は配置することができません。

E0866	[メッセージ]	#pragma section found after C body. cannot include file containing #pragma section and without C body at the line
	[説明]	Cの本文記述後に #pragma section 構文がありました。 これ以降、#pragma section 構文があり、Cの本文（変数や関数の外部参照宣言を含む）のないファイルは、インクルードすることができません。
E0867	[メッセージ]	#pragma section found after C body. cannot specify #include after #pragma section in this file
	[説明]	Cの本文記述後に #pragma section 構文がありました。 これ以降、#include 文を記述することはできません。
E0868	[メッセージ]	#include found after C body. cannot specify #pragma section after #include directive
	[説明]	Cの本文記述後に #include 文がありました。 これ以降、#pragma section 構文を記述することはできません。
E0873	[メッセージ]	【78K0R】 '-ZX' option specified - cannot specify #pragma interrupt /rtos_interrupt
	[説明]	【78K0R】 -zx オプションが指定されました。#pragma 指令により割り込み関数やRTOS 割り込みハンドラを指定することはできません。
	[対処方法]	【78K0R】 __interrupt / __interrupt_brk / __rtos_interrupt 修飾子を用いて指定してください。
E0899	[メッセージ]	#error で指定された文字列が出力されます。
	[説明]	#error 文字列が指定されました。
E1305	[メッセージ]	cannot remove temporary directory 'dir'
	[説明]	テンポラリ・ファイル作成のために用意した作業用フォルダ dir を削除できません。
E1307	[メッセージ]	cannot unlink temporary file 'file'
	[説明]	テンポラリ・ファイル file を削除できません。
E2043	[メッセージ]	illegal argument for function
	[説明]	関数 function の引数が不正です。
E2103	[メッセージ]	illegal header name
	[説明]	#include で指定されたヘッダ名の文字列が正しくありません。
E2104	[メッセージ]	cannot find include file 'file'
	[説明]	#include ディレクティブにおいて指定されたファイル file が見つかりません。
E2111	[メッセージ]	illegal token 'token'
	[説明]	不正なトークン token が認識されました。
E2113	[メッセージ]	unexpected EOF
	[説明]	構文上許されない位置でファイルが終了しています。
E2114	[メッセージ]	non-terminated comment
	[説明]	コメントを閉じる “/” がありません。
E2116	[メッセージ]	illegal expression syntax
	[説明]	前処理制御中の式の記述が正しくありません。
E2117	[メッセージ]	compiler limit: too long identifier 'name...' [num]
	[説明]	識別子の名前が長すぎます。この処理系の最大値は、内部識別子の場合 1023、外部識別子の場合 1022 です。

E2118	[メッセージ]	compiler limit: too many characters in string literal [ <i>num</i> ]
	[説明]	文字列リテラルが長すぎます。この処理系の最大値は 32766 です。
E2123	[メッセージ]	compiler limit: too many macro parameters [ <i>num</i> ]
	[説明]	マクロのパラメータの数が多すぎます。この処理系の最大値は 127 です。
E2124	[メッセージ]	illegal macro name ' <i>name</i> '
	[説明]	マクロ名 <i>name</i> が正しくありません。
E2125	[メッセージ]	System reserved macro ' <i>name</i> ' must not be redefined.
	[説明]	マクロ <i>name</i> はシステムで予約されているため再定義できません。
E2126	[メッセージ]	System reserved macro ' <i>name</i> ' must not be undefined.
	[説明]	システムで予約されているマクロ <i>name</i> 定義を取り消すことはできません。
E2129	[メッセージ]	illegal macro parameter ' <i>name</i> '
	[説明]	マクロのパラメータ <i>name</i> が正しくありません。
E2130	[メッセージ]	macro ' <i>name</i> ': mismatch number of parameters
	[説明]	マクロ <i>name</i> のパラメータ数が一致しません。
E2131	[メッセージ]	macro ' <i>name</i> ': missing ')'
	[説明]	パラメータを持つマクロ <i>name</i> 定義において “)” が欠けています。
E2133	[メッセージ]	illegal operand for '#' operator
	[説明]	マクロ定義において “#” 演算子にパラメータ以外のものが指定されました。
E2134	[メッセージ]	compiler limit: too long stringizing result [ <i>num</i> ]
	[説明]	文字列化した結果が長すぎます。この処理系の最大値は 32766 です。
E2135	[メッセージ]	illegal operand for '##' operator
	[説明]	マクロ定義においてトークン連結の記述が正しくありません。
E2136	[メッセージ]	illegal pasting result
	[説明]	トークン連結を行った結果が正しくありません。
E2137	[メッセージ]	compiler limit: too long pasting result [ <i>num</i> ]
	[説明]	トークン連結を行った結果が長すぎます。この処理系の最大値は 32766 です。
E2138	[メッセージ]	macro ' <i>name</i> ' illegal parameter syntax
	[説明]	マクロ <i>name</i> のパラメータの記述が正しくありません。
E2151	[メッセージ]	illegal preprocessing directive syntax
	[説明]	前処理指令の記述に誤りがあります。
E2152	[メッセージ]	illegal number ' <i>name</i> ' in conditional inclusion.
	[説明]	#if に続く式で <i>name</i> のような整数でないものは指定できません。
E2155	[メッセージ]	compiler limit: too many conditional inclusion nestings [ <i>num</i> ]
	[説明]	“#if” ~ “#endif” におけるネスティング回数が限界を越えています。この処理系の最大値は 255 です。
E2156	[メッセージ]	misplaced '#else' or '#elif'
	[説明]	“#else” か “#elif” の場所が不適当です。

E2157	[メッセージ]	misplaced '#endif'
	[説明]	“ #endif” の場所が不適当です。
E2159	[メッセージ]	illegal include directive syntax
	[説明]	#include の記述が正しくありません。
E2164	[メッセージ]	unexpected non-whitespace before preprocessing directive
	[説明]	前処理指令の前に空白文字類以外の文字があります。
E2165	[メッセージ]	unrecognized pragma directive '#pragma directive', ignored
	[説明]	#pragma directive は認識されません。このプリAGMA指令は無視されます。
E2170	[メッセージ]	illegal integral/floating constant
	[説明]	整数型、または浮動小数点型定数の表記が正しくありません。
E2171	[メッセージ]	constant out of range
	[説明]	定数値が表現できる範囲を越えています。
E2173	[メッセージ]	illegal octal digit
	[説明]	8進数の記述に誤りがあります。
E2174	[メッセージ]	illegal hexadecimal digit
	[説明]	16進数の記述に誤りがあります。
E2175	[メッセージ]	octal digit out of range
	[説明]	8進数値で表現できる範囲を越えています。
E2177	[メッセージ]	empty character constant
	[説明]	文字定数が空です。
E2178	[メッセージ]	illegal binary digit
	[説明]	2進数の記述に誤りがあります。
E2201	[メッセージ]	Syntax error
	[説明]	文の記述形式がまちがっています。
E2202	[メッセージ]	Illegal operand
	[説明]	オペランドの記述が不正です。
E2203	[メッセージ]	Illegal register
	[説明]	記述できないレジスタが指定されました。
E2204	[メッセージ]	Illegal character
	[説明]	ソース・モジュール中に、不正な文字の記述があります。
E2205	[メッセージ]	Unexpected LF in string
	[説明]	文字列が閉じる前に、改行コードが現れました。
E2206	[メッセージ]	Unexpected EOF in string
	[説明]	文字列が閉じる前に、ファイルの終わりになりました。
E2207	[メッセージ]	Unexpected null code in string
	[説明]	文字列中に、ヌル・コード (00H) が記述されました。
E2210	[メッセージ]	name: not defined
	[説明]	name が定義されていません。

E2211	[メッセージ]	redeclaration of <i>name</i>
	[説明]	<i>name</i> が再宣言されています。
E2213	[メッセージ]	Nothing is declared.
	[説明]	宣言子が何も指定されていません。
E2214	[メッセージ]	Void object is not allowed.
	[説明]	void オブジェクトは許されていません。
E2217	[メッセージ]	Undeclared function ' <i>function</i> ' is calld.
	[説明]	宣言のない関数 <i>function</i> が呼ばれました。
E2220	[メッセージ]	Both 'signed' and 'unsigned' are specified.
	[説明]	“signed” と “unsigned” の両方が指定されています。
E2221	[メッセージ]	illegal type specifier combination
	[説明]	型指定子の組み合わせが正しくありません。
E2236	[メッセージ]	Typedef declaration must not have initializer.
	[説明]	typedef 宣言に初期化子を含むことはできません。
E2237	[メッセージ]	too many initializers
	[説明]	初期化子の数が多すぎます。
E2238	[メッセージ]	illegal initializer
	[説明]	初期化子が正しくありません。
E2240	[メッセージ]	Local static function is not allowed.
	[説明]	ローカル・スコープで static 関数を宣言することはできません。
E2250	[メッセージ]	Array size is not given.
	[説明]	配列のサイズが与えられていません。
E2251	[メッセージ]	Array size must be greater than zero.
	[説明]	配列のサイズは0より大きくなければなりません。
E2252	[メッセージ]	Array type has incomplete element type.
	[説明]	配列の要素の型が不完全です。
E2253	[メッセージ]	compiler limit : array size is too large [0x0ffffff]
	[説明]	配列のサイズが大きすぎます。この処理系の最大値は 0xffffffff です。
E2260	[メッセージ]	compiler limit: complicated type modifiers [ <i>num</i> ]
	[説明]	派生型修飾が多すぎます。この処理系の最大値は 16 です。
E2261	[メッセージ]	illegal storage class specifier combination
	[説明]	記憶クラス指示子の指定の組み合わせが正しくありません。
E2262	[メッセージ]	illegal use of 'enum'
	[説明]	型指定子 “enum” の使用方法が正しくありません。
E2263	[メッセージ]	illegal use of 'struct'
	[説明]	型指定子 “struct” の使用方法が正しくありません。
E2265	[メッセージ]	illegal use of 'union'
	[説明]	型指定子 “union” の使用方法が正しくありません。

E2266	[メッセージ]	illegal use of ' <i>specifier</i> '
	[説明]	記憶域クラス指定子 “ <i>specifier</i> ” の使用方法が正しくありません。
E2274	[メッセージ]	illegal use of 'typedef'
	[説明]	記憶域クラス指定子 “typedef” の使用方法が正しくありません。
E2280	[メッセージ]	Void function cannot return value.
	[説明]	void 型関数で戻り値が指定されています。
E2281	[メッセージ]	Function has illegal storage class.
	[説明]	関数に対する記憶クラスの指定が正しくありません。
E2282	[メッセージ]	Array of function is not allowed.
	[説明]	関数の配列は許されていません。
E2283	[メッセージ]	illegal return type: function
	[説明]	関数の戻り値を関数型とすることはできません。
E2284	[メッセージ]	illegal return type: array
	[説明]	関数の戻り値を配列型とすることはできません。
E2285	[メッセージ]	'Void' in parameter list
	[説明]	関数宣言で引数宣言並びの中に void 型が指定されています。void 型は単一でのみ使用できます。
E2286	[メッセージ]	Function requires return value.
	[説明]	戻り値を持つ関数において戻り値が指定されていません。
E2288	[メッセージ]	return type mismatch <i>type1</i> ( <i>type2</i> )
	[説明]	return 文で示された戻り値の型 <i>type2</i> が関数の戻り型 <i>type1</i> と一致しません。
E2290	[メッセージ]	argument type mismatch <i>type1</i> ( <i>type2</i> )
	[説明]	実引数の型 <i>type2</i> が関数宣言時の仮引数の型 <i>type1</i> と一致しません。
E2292	[メッセージ]	Argument <i>name</i> is missing.
	[説明]	関数定義において宣言されている仮引数名 <i>name</i> が見つかりません。
E2296	[メッセージ]	illegal first argument '...', requires a named argument
	[説明]	関数の第一引数には “...” は使えません。
E2300	[メッセージ]	'Struct'/union' size must not be zero.
	[説明]	構造体、または共用体のサイズは0にはできません。
E2301	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Too complex expression
	[説明]	【78K0】【78K0R】 式が複雑すぎます。
	[メッセージ]	【V850】 illegal bit-field type
	[説明]	【V850】 ビット・フィールドに対し指定することのできない型が指定されています。
E2302	[メッセージ]	Absolute expression expected
	[説明]	リロケータブルな式が記述されています。

E2303	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal expression
	[説明]	【78K0】【78K0R】 式の記述形式に誤りがあります。
	[メッセージ]	【V850】 illegal bit-field size
	[説明]	【V850】 ビット・フィールドの幅を指定する定数式の値は、指定された型のオブジェクトを構成するビット数を越えることはできません。
E2304	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal symbol in expression 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 式の中に使用できないシンボルが記述されています。
	[メッセージ]	【V850】 'name' has incomplete type.
	[説明]	【V850】 name の型が不完全型です。
E2305	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Too long string as constant
	[説明]	【78K0】【78K0R】 文字定義の長さの制限（4文字）を越えています。
	[メッセージ]	【V850】 Field 'name' declared as a function.
	[説明]	【V850】 メンバ name の型が関数型です。
E2306	[メッセージ]	Illegal number
	[説明]	数値の記述に誤りがあります。
E2307	[メッセージ]	Division by zero
	[説明]	0 で除算をしています。
E2308	[メッセージ]	Too large integer
	[説明]	定数の値が 16 ビットを越えています。
E2309	[メッセージ]	Illegal bit value
	[説明]	ビット値の記述に誤りがあります。
E2310	[メッセージ]	Bit value out of range
	[説明]	ビット値として記述可能な範囲（0 - 7）を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内の値に変更してください。
E2311	[メッセージ]	Operand out of range (n)
	[説明]	指定された値が、値として記述可能な範囲（0 - 7）を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内の値に変更してください。
E2312	[メッセージ]	【78K0】 Operand out of range (byte)
	[説明]	【78K0】 オペランドの値が範囲（00H - FFH）を越えたか、あるいはオペランド中の byte の値が範囲（-128 ~ +127）を越えました。
	[対処方法]	【78K0】 記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
	[メッセージ]	【78K0R】 Operand out of range (byte)
	[説明]	【78K0R】 byte として記述可能な範囲（00H - 0FFH）を越えました。
	[対処方法]	【78K0R】 記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2313	[メッセージ]	Operand out of range (addr5)
	[説明]	【78K0】 addr5 として記述可能な範囲（40H - 7EH）を越えました。 【78K0R】 addr5 として記述可能な範囲（80H - BFH）を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内の値に変更してください。



E2314	[メッセージ]	Operand out of range (addr11)
	[説明]	addr11 として記述可能な範囲 (800H - FFFH) を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内の値に変更してください。
E2315	[メッセージ]	Operand out of range (saddr)
	[説明]	【78K0】 saddr として記述可能な範囲 (0FE20H - 0FF1FH) を越えました。 【78K0R】 saddr として記述可能な範囲 (0FFE20H - 0FFF1FH) を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内の値に変更してください。
E2316	[メッセージ]	【78K0】 Operand out of range (addr16)
	[説明]	【78K0】 addr16 として記述可能な範囲 (対象デバイスによって異なる) を越えました。
	[メッセージ]	【78K0R】 Operand out of range (\$!addr20)
	[説明]	【78K0R】 addr20 として記述可能な範囲 (00000H - 0FFFFFFH) を越えたか、あるいは分岐命令の次のアドレスからの相対距離を計算した結果、(-32768 ~ +32767) の範囲を越えています。
E2317	[メッセージ]	Even expression expected
	[説明]	ワード・アクセスに奇数アドレスを記述しています。
E2318	[メッセージ]	Operand out of range (sfr)
	[説明]	SFR/SFRP 疑似命令のオペランドが記述可能な範囲を越えているか、あるいは SFRP 疑似命令のオペランドとして奇数の値が記述されています。
E2319	[メッセージ]	Operand out of range (word)
	[説明]	word として記述可能な範囲 (0000H - 0FFFFH) を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2320	[メッセージ]	Operand out of range (20bit)
	[説明]	20bit として記述可能な範囲 (00000H - 0FFFFFFH) を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2321	[メッセージ]	Operand out of range (addr20)
	[説明]	addr20 として記述可能な範囲 (0000H - 0FFFFFFH) を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2322	[メッセージ]	【78K0】 Illegal operand, EFR is used as addr16
	[説明]	【78K0】 オペランドの記述が不正です。EFR は、addr16 として使われます。
	[メッセージ]	【78K0R】 Illegal operand, 2ndSFR is used as addr16
	[説明]	【78K0R】 オペランドの記述が不正です。2ndSFR は、addr16 として使われます。
[対処方法]	【78K0】 【78K0R】 オペランドを addr16 と同様な記述へ変更してください。	
E2323	[メッセージ]	Illegal operand, 2ndSFR.bit is used as addr16.bit
	[説明]	オペランドの記述が不正です。 2ndSFR.bit は、addr16.bit として使われます。
	[対処方法]	オペランドを addr16.bit と同様な記述へ変更してください。

E2324	[メッセージ]	Illegal operand, SFR can't be used as addr16
	[説明]	オペランドの記述が不正です。 SFR は、addr16 として使うことはできません。
	[対処方法]	オペランドを SFR で記述してください。
E2325	[メッセージ]	Illegal operand, SFR.bit can't be used as addr16.bit
	[説明]	オペランドの記述が不正です。 SFR.bit は、addr16.bit として使うことはできません。
	[対処方法]	オペランドを SFR.bit で記述してください。
E2326	[メッセージ]	Illegal SFR access in operand
	[説明]	オペランドのアクセスできない SFR シンボルを記述しています。
E2327	[メッセージ]	【78K0】 Illegal bank access in operand
	[説明]	【78K0】 オペランドにアクセスできないシンボルを記述しています。
	[メッセージ]	【78K0R】 Operand out of range (addr20)
	[説明]	【78K0R】 addr20 として記述可能な範囲 (00000H - 0FFFFFFH) を越えたか、あるいは分岐命令の次のアドレスからの相対距離を計算した結果、(-128 ~ +127) の範囲を越えています。
E2328	[メッセージ]	Operand out of range (n)
	[説明]	指定された値が、n (1 - 7) の範囲を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2329	[メッセージ]	Operand out of range (n)
	[説明]	指定された値が、n (1 - 15) の範囲を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2330	[メッセージ]	Operand out of range (addr16 / BR or CALL)
	[説明]	addr16 として記述可能な範囲 (0H - FFFFH) を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2331	[メッセージ]	Operand out of range (addr16 / NUMBER)
	[説明]	addr16 (数値定数、および NUMBER 属性のシンボル) として記述可能な範囲 (0H - FFFFH) を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2332	[メッセージ]	Operand out of range (!addr16 / ADDRESS)
	[説明]	addr16 (ADDRESS 属性のシンボル) として記述可能な範囲を越えました。
	[対処方法]	以下の記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。 - F0000H ~ FFFFFH - MAA に 0 を設定したときにミラーされる領域、または MAA に 1 を設定したときにミラーされる領域 ミラー領域の詳細については、各デバイスのユーザーズ・マニュアルを参照してください。

E2333	[メッセージ]	Operand out of range (ES:!addr16 / ADDRESS)
	[説明]	ES:!addr16 (ADDRESS 属性のシンボル) として記述可能な範囲 (0H - FFFFFH) を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2334	[メッセージ]	Operand out of range (!addr16.bit / ADDRESS)
	[説明]	!addr16.bit として記述可能な範囲を越えました。
	[対処方法]	以下の記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。 - F0000H - FFFFFH - MAA に 0 を設定したときにミラーされる領域, または MAA に 1 を設定したときにミラーされる領域 ミラー領域の詳細については, 各デバイスのユーザーズ・マニュアルを参照してください。
E2335	[メッセージ]	Operand out of range (ES:!addr16.bit / ADDRESS)
	[説明]	ES:!addr16.bit として記述可能な範囲 (0H - FFFFFH) を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2336	[メッセージ]	Operand out of range (addr / BR or CALL)
	[説明]	疑似命令 BR/CALL のオペランド addr として記述可能な範囲を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2337	[メッセージ]	Illegal mnemonic, use another mnemonic or option -COMPATI
	[説明]	78K0R で使用できない 78K0 の命令を使っています。
	[対処方法]	別の命令で記述するか, -compati オプションを使ってください。
E2338	[メッセージ]	Operand out of range (EQU operand)
	[説明]	疑似命令 EQU のオペランドとして記述可能な範囲 (0H - 0FFFFFFH) を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。
E2339	[メッセージ]	Operand out of range (word / ADDRESS)
	[説明]	word (ADDRESS 属性のシンボル) として記述可能な範囲を越えました。
	[対処方法]	以下の記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。 - F0000H ~ FFFFFH - MAA に 0 を設定したときにミラーされる領域, または MAA に 1 を設定したときにミラーされる領域 ミラー領域の詳細については, 各デバイスのユーザーズ・マニュアルを参照してください。
E2340	[メッセージ]	Operand out of range (ES:word / ADDRESS)
	[説明]	ES:word (ADDRESS 属性のシンボル) として記述可能な範囲 (0000H - 0FFFFFFH) を越えました。
	[対処方法]	記述可能な範囲内のオペランドに変更してください。

E2341	[メッセージ]	Illegal size for Option Bytes
	[説明]	ユーザ・オプション・バイト, およびオンチップ・デバッグ・オプション・バイトを指定するセグメントが5バイト【78K0】, または4バイト【78K0R】で指定されていません。
	[対処方法]	ユーザ・オプション・バイト, およびオンチップ・デバッグ・オプション・バイトを指定するセグメントを5バイト【78K0】, または4バイト【78K0R】で指定してください。
E2342	[メッセージ]	Illegal value for Option Bytes
	[説明]	ユーザ・オプション・バイト, およびオンチップ・デバッグ・オプション・バイトを指定するセグメントに配置した値が不正です。
	[対処方法]	正しい値を配置してください。配置する値については, デバイスのユーザーズ・マニュアルを参照してください。
E2343	[メッセージ]	Illegal Option Bytes segment
	[説明]	ユーザ・オプション・バイト, およびオンチップ・デバッグ・オプション・バイトを指定するセグメントが複数指定されています。
	[対処方法]	ユーザ・オプション・バイト, およびオンチップ・デバッグ・オプション・バイトを指定するセグメントを1つにしてください。
E2347	[メッセージ]	Local extern ' <i>symbol</i> ' is put into the next unit.
	[説明]	局所スコープで外部リンケージを持つ宣言子 <i>symbol</i> が初期化されています。
E2349	[メッセージ]	Initialization of non-auto pointer using non-number initializer is not position independent.
	[説明]	自動変数以外のポインタ変数の値以外の初期値を用いた初期化の指示に対するコードは, ポジション・インディペンデントではありません。
E2361	[メッセージ]	New style function definition has old style parameter declaration(s).
	[説明]	新しい関数定義形式で, 古い引数宣言形式が使われています。
E2374	[メッセージ]	The bit-field object ' <i>name</i> ' is put into the next unit.
	[説明]	ビット・フィールド <i>name</i> は境界を越えるため, 次の領域に配置されます。
E2401	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal symbol for PUBLIC ' <i>シンボル名</i> '
	[説明]	【78K0】【78K0R】 このシンボルは PUBLIC 宣言できません。
	[メッセージ]	【V850】 syntax error
	[説明]	【V850】 構文に誤りがあります。
E2402	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal symbol for EXTRN/EXTBIT ' <i>シンボル名</i> '
	[説明]	【78K0】【78K0R】 このシンボルは EXTRN/EXTBIT 宣言できません。
	[メッセージ]	【V850】 Label ' <i>label</i> ' not defined
	[説明]	【V850】 ラベル <i>label</i> が定義されていません。
E2403	[メッセージ]	Can't define PUBLIC symbol ' <i>シンボル名</i> '
	[説明]	すでに PUBLIC 宣言されたシンボルに, PUBLIC 宣言できないシンボル定義しました。
	[対処方法]	saddr.bit 以外のビット項を定義したシンボルは PUBLIC 宣言できないので, PUBLIC 宣言を取り消すか, EQU の定義を変更してください。

E2404	[メッセージ]	Public symbol is undefined 'シンボル名'
	[説明]	PUBLIC 宣言されたシンボルが定義されていません。
E2405	[メッセージ]	Illegal bit symbol
	[説明]	機械語命令のオペランドのビット・シンボルに、前方参照のシンボル、あるいはビット・シンボルとして不当なシンボルを使用しています。
	[対処方法]	ビット・シンボルには、後方参照、あるいは EXTBIT 宣言したシンボルを記述してください。
E2406	[メッセージ]	Can't refer forward bit symbol 'シンボル名'
	[説明]	ビット・シンボルを前方参照しているか、または式の中にビット・シンボルを記述しています。
E2407	[メッセージ]	Undefined symbol reference 'シンボル名'
	[説明]	未定義シンボルを使用しています。
E2408	[メッセージ]	Multiple symbol definition 'シンボル名'
	[説明]	シンボル名が重複して定義されています。
E2409	[メッセージ]	Too many symbols in operand
	[説明]	1 行以内に記述可能なオペランドのシンボル個数が、制限を越えました。
E2410	[メッセージ]	Phase error
	[説明]	アセンブル中にシンボルの値が変化しました（たとえば、BR 疑似命令の最適化処理によって変化したラベルをオペランドの中に用いて定義した EQU シンボルなど）。
E2411	[メッセージ]	[78K0] [78K0R] This symbol is reserved 'シンボル名'
	[説明]	[78K0] [78K0R] 指定したシンボルは予約語になっています。
	[メッセージ]	[V850] label is not in switch
	[説明]	[V850] case ラベル、または default ラベルが switch 文の中にありません。
E2412	[メッセージ]	duplicate 'case num:' in switch
	[説明]	switch 文中の case ラベル <i>num</i> が重複しています。 <i>num</i> は数値として展開されている場合があります。
E2413	[メッセージ]	duplicate 'default:' in switch
	[説明]	switch 文中で default ラベルが重複しています。
E2414	[メッセージ]	'break' not in loop nor switch
	[説明]	“break” が繰り返し文、または switch 文の外にあります。
E2415	[メッセージ]	'continue' not in loop
	[説明]	“continue” が繰り返し文の外にあります。
E2420	[メッセージ]	argument <i>num</i> expected for function call <i>function</i>
	[説明]	関数呼び出し <i>function</i> において <i>num</i> 番目以降の引数が指定されていません。
E2421	[メッセージ]	unexpected argument <i>num</i> for function call <i>function</i>
	[説明]	関数呼び出し <i>function</i> において <i>num</i> 番目以降の引数が余分に指定されています。
E2422	[メッセージ]	undefined static function ' <i>function</i> '
	[説明]	呼び出された static 関数 <i>function</i> がファイル内で定義されていません。

E2502	[メッセージ]	Illegal segment name
	[説明]	セグメント名として不正なシンボルが記述されています。
E2503	[メッセージ]	Different segment type 'セグメント名'
	[説明]	同名セグメント定義において、セグメントのタイプが異なっています。
E2504	[メッセージ]	Too many segments
	[説明]	定義できるセグメントの制限（256個）を越えています。
E2505	[メッセージ]	Current segment is not exist
	[説明]	ENDS 疑似命令が、セグメントが作られる前、あるいは一度セグメントが終了したあとに、次のセグメントが作られる前に記述されました。
E2506	[メッセージ]	Can't describe DB, DW, DS, ORG, label in BSEG
	[説明]	DB, DW, DS, ORG 疑似命令をビット・セグメント内で記述しています。
E2507	[メッセージ]	Can't describe opcodes outside CSEG
	[説明]	機械語命令, BR 疑似命令をコード・セグメント以外で記述しています。
E2508	[メッセージ]	Can't describe DBIT outside BSEG
	[説明]	DBIT 疑似命令をビット・セグメント以外で記述しています。
E2509	[メッセージ]	Illegal address specified
	[説明]	アブソリュート・セグメントとして配置したアドレスが、そのセグメントに対応する範囲を越えています。
E2510	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Location counter overflow
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ロケーション・カウンタがセグメントに対応した範囲を越えました。
	[メッセージ]	【V850】 cannot cast: type1 to type2
	[説明]	【V850】 type1 から type2 へのキャストはできません。
E2511	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Segment name expected
	[説明]	【78K0】【78K0R】 再配置属性が AT のセグメント定義疑似命令でセグメント名が指定されていません。
	[メッセージ]	【V850】 expression must be arithmetic or pointer type.
	[説明]	【V850】 expression は算術型、またはポインタ型にしてください。
E2512	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Segment size is odd numbers 'セグメント名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 再配置属性 callt0 のセグメントが奇数サイズで記述されています。
	[メッセージ]	【V850】 expression must be arithmetic type.
	[説明]	【V850】 expression は算術型にしてください。
E2513	[メッセージ]	【78K0R】 Too many line number data
	[説明]	【78K0R】 ライン・ナンバ情報が最大値を越えています。
	[メッセージ]	【V850】 expression must be pointer type or zero.
	[説明]	【V850】 expression はポインタ型、または0にしてください。

E2515	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Security ID is not supported for this device
	[説明]	【78K0】【78K0R】 セキュリティ ID は、指定されているデバイスでは使用できません。
	[メッセージ]	【V850】 <i>expression</i> must be integral type.
	[説明]	【V850】 <i>expression</i> は整数型にしてください。
E2516	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Option Bytes is not supported for this device
	[説明]	【78K0】【78K0R】 オプション・バイトは、指定されているデバイスでは使用できません。
	[メッセージ]	【V850】 <i>expression</i> must be constant expression.
	[説明]	【V850】 <i>expression</i> は定数式にしてください。
E2517	[メッセージ]	【78K0】 Illegal bank number
	[説明]	【78K0】 不正なバンク指定が記述されています。
	[メッセージ]	【V850】 One of the operands for '[' must be pointer type and the other must be of integral type.
	[説明]	【V850】 “[ ]” に対するオペランドの一方はポインタ型に、もう一方は整数型にしてください。
E2518	[メッセージ]	illegal operand for unary '&'
	[説明]	単項演算子 “&” のオペランドが正しくありません。
E2519	[メッセージ]	<i>exception</i> has occurred at compile time.
	[説明]	コンパイル時に浮動小数点関連で例外 <i>exception</i> が発生しました。
E2522	[メッセージ]	<i>name</i> is not a member.
	[説明]	<i>name</i> は集成体のメンバではありません。
E2523	[メッセージ]	illegal LHS of ' <i>operator</i> ' operator(must be modifiable Lvalue)
	[説明]	<i>operator</i> 演算子の左辺に代入先として不正なものが置かれています。
E2524	[メッセージ]	illegal type combination for ' <i>operator</i> '( <i>type1</i> , <i>type2</i> )
	[説明]	<i>operator</i> 演算子に対する型の組み合わせ ( <i>type1</i> , <i>type2</i> ) が正しくありません。
E2526	[メッセージ]	Operands of ' <i>operator</i> ' operator must have same type( <i>type1</i> , <i>type2</i> ).
	[説明]	<i>operator</i> 演算子の両辺 ( <i>type1</i> , <i>type2</i> ) の型は同じ型にしてください。
E2529	[メッセージ]	invaoid use of void expression
	[説明]	void 式が正しくありません。
E2530	[メッセージ]	Operand of '()' must be function type.
	[説明]	“ () ” 演算子のオペランドは関数にしてください。
E2532	[メッセージ]	Operand of ' <i>operator</i> ' must be pointer type.
	[説明]	<i>operator</i> 演算子のオペランドはポインタ型にしてください。
E2533	[メッセージ]	Operand of '.' must be 'struct'/'union' object.
	[説明]	“ . ” 演算子は構造体、または共用体で使用してください。
E2535	[メッセージ]	Operand of '->' must be pointer to 'struct'/'union' object.
	[説明]	“ -> ” 演算子は構造体、または共用体へのポインタで使用してください。



E2550	[メッセージ]	Operand of 'sizeof' must not be <i>type</i> .
	[説明]	“ sizeof ” のオペランドに <i>type</i> を指定できません。
E2551	[メッセージ]	unknown size('struct', 'union' or array)
	[説明]	オブジェクト・サイズが必要な演算子にサイズの不明な集合体が指定されました。
E2552	[メッセージ]	unknown size (function)
	[説明]	オブジェクト・サイズが必要な演算子にサイズの不明な関数が指定されました。
E2553	[メッセージ]	cannot convert non-lvalue array to pointer
	[説明]	左辺値でない配列はポインタに変換できません。
E2556	[メッセージ]	unknown size ('enum')
	[説明]	オブジェクトのサイズが必要な演算子にサイズの不明な列挙子が指定されました。
E2601	[メッセージ]	Nesting over of include
	[説明]	インクルード・ファイルのネスティングできる制限 (8 レベル) を越えています。
E2602	[メッセージ]	Must be specified switches
	[説明]	スイッチ名が指定されていません。
E2603	[メッセージ]	Too many switches described
	[説明]	スイッチ名の記述が制限 (1 モジュール内で 1000 個以内) を越えています。
E2604	[メッセージ]	Nesting over of IF-classes
	[説明]	IF/_IF 節のネスティングの制限 (8 レベル) を越えています。
E2605	[メッセージ]	Needless ELSE statement exists
	[説明]	必要のないところに ELSE 文が存在しています。
E2606	[メッセージ]	Needless ENDIF statement exists
	[説明]	必要のないところに ENDIF 文が存在しています。
E2607	[メッセージ]	Missing ELSE or ENDIF
	[説明]	IF 文, または _IF 文に対となる ELSE 文, ENDIF 文の対応がとれていません。
E2608	[メッセージ]	Missing ENDIF
	[説明]	IF 文, または _IF 文と ENDIF 文の対応がとれていません。
E2609	[メッセージ]	Illegal ELSEIF statement
	[説明]	ELSE 文のあとに, ELSEIF 文, または _ELSEIF 文が記述されています。
E2610	[メッセージ]	Multiple symbol definition (MACRO) 'シンボル名'
	[説明]	マクロ名として定義しようとしたシンボルが, すでに定義されています。
E2611	[メッセージ]	Illegal syntax of parameter
	[説明]	マクロの仮パラメータの記述に誤りがあります。
E2612	[メッセージ]	Too many parameter
	[説明]	1 マクロ定義の仮パラメータの個数が制限 (16 個) を越えています。
E2613	[メッセージ]	Same name parameter described 'シンボル名'
	[説明]	1 マクロ定義の仮パラメータとして, 同名のシンボルが指定されました。
E2614	[メッセージ]	Can't nest macro definition
	[説明]	マクロ定義の中でマクロ定義を行っています。



E2615	[メッセージ]	Illegal syntax of local symbol
	[説明]	LOCAL 疑似命令のオペランド記述に誤りがあります。
E2616	[メッセージ]	Too many local symbols
	[説明]	1つのマクロ・ボディ内で記述できるローカル・シンボル数の制限（64個）を越えています。
E2617	[メッセージ]	Missing ENDM
	[説明]	マクロ定義疑似命令に対応する ENDM 文がありません。
E2618	[メッセージ]	Illegal syntax of ENDM
	[説明]	ENDM 文の記述に誤りがあります。
E2619	[メッセージ]	Illegally defined macro
	[説明]	参照したマクロは、定義時に誤りがあります。
E2620	[メッセージ]	Illegal syntax of actual parameter
	[説明]	マクロの実パラメータの記述に誤りがあります。
E2621	[メッセージ]	Nesting over of macro reference
	[説明]	マクロ参照において、ネスティングできる制限（8レベル）を越えています。
E2622	[メッセージ]	Illegal syntax of EXITM
	[説明]	EXITM 文の記述に誤りがあります。
E2623	[メッセージ]	Illegal operand of REPT
	[説明]	REPT 疑似命令のオペランドに許されていない式が記述されています。
E2624	[メッセージ]	More than ??RAFFFF
	[説明]	マクロ展開の際にローカル・シンボルの置き換えが、65535個を越えました。
E2625	[メッセージ]	Unexpected ENDM
	[説明]	余分な ENDM 文が現れました。
E2626	[メッセージ]	Can't describe LOCAL macro definition
	[説明]	マクロ・ボディ以外の通常ソース・ステートメント中に、LOCAL 疑似命令が記述されました。
E2627	[メッセージ]	More than two segments in this include/macro
	[説明]	インクルード・ファイル、マクロ・ボディ、rept-endm ブロック、irp-endm ブロック中に、2つ以上のセグメントが存在しています。
E2630	[メッセージ]	unrecognized interrupt request name ' <i>name</i> '
	[説明]	#pragma 指令により不正な割り込み要求が指定されています。
E2631	[メッセージ]	Interrupt request name ' <i>name</i> ' is already specified.
	[説明]	割り込み要求名 <i>name</i> はすでに指定されています。
E2632	[メッセージ]	illegal directive '#pragma <i>directive</i> ', function name must be specified
	[説明]	#pragma <i>directive</i> 指令には関数名が必要です。
E2633	[メッセージ]	cannot specify interrupt attribute ' <i>direct</i> ', function ' <i>function</i> ' is already defined.
	[説明]	関数定義よりも後ろで、割り込みハンドラを直接配置指定することはできません。

E2636	[メッセージ]	Multiple interrupt request names are specified for function ' <i>function</i> ', 'direct' cannot be specified.
	[説明]	関数 <i>function</i> には、複数の割り込み要求が指定されています。複数の割り込みが指定された関数には、直接配置指定 (direct) ができません。
E2638	[メッセージ]	Interrupt function must be void type.
	[説明]	割り込みとして宣言された関数の戻り型は void 型にしてください。
E2639	[メッセージ]	illegal function type for software interrupt function, must be void (unsigned int).
	[説明]	ソフトウェア例外の割り込み (トラップ割り込み) として宣言された関数は引数に unsigned int 型を 1 つしか持つことができません。
E2640	[メッセージ]	illegal function type for interrupt function, must be void (void).
	[説明]	割り込みとして宣言された関数 (ソフトウェア例外を除く) は引数を持つことはできません。
E2641	[メッセージ]	cannot call interrupt function
	[説明]	割り込みとして宣言された関数を呼び出すことはできません。
E2642	[メッセージ]	Function ' <i>function</i> ' is already defined, 'block_interrupt' must be specified before function definition.
	[説明]	割り込み禁止は関数定義の後ろでは指定できません。
E2644	[メッセージ]	Function ' <i>function</i> ' is already defined without '__interrupt'.
	[説明]	関数 <i>function</i> が割り込みハンドラと指定されましたが、 <i>function</i> はすでに割り込み指定なしで定義されています。
E2646	[メッセージ]	Both interrupt and RTOS interrupt attributes are specified.
	[説明]	通常の割り込みとリアルタイム OS 用の割り込みを同時に指定することはできません。
E2647	[メッセージ]	Specifying interrupt name ' <i>name</i> ' is not allowed.
	[説明]	割り込み要求名に RESET, および RST は指定できません。
E2648	[メッセージ]	unknown cpu type, cannot use interrupt request name
	[説明]	デバイス指定がないため、割り込み要求名を使用することはできません。
E2649	[メッセージ]	Interrupt function ' <i>function</i> ' with 'direct' is undefined.
	[説明]	直接配置指定された関数 <i>function</i> が、ファイル内に定義されていません。
E2650	[メッセージ]	illegal directive '#pragma section', section name must be specified
	[説明]	#pragma 指令によるセクション割り当てにおいて、セクション名が指定されていません。
E2651	[メッセージ]	illegal directive '#pragma section', unrecognized section name ' <i>name</i> '
	[説明]	#pragma 指令によるセクション割り当てにおいて、不正なセクション名 <i>name</i> が指定されています。
E2652	[メッセージ]	illegal directive '#pragma section', 'begin' or 'end' must be specified
	[説明]	#pragma 指令によるセクション割り当てには "begin" や "end" が必要です。
E2653	[メッセージ]	Directive '#pragma section' is nested.
	[説明]	#pragma 指令によるセクション割り当て指定がネストしています。

E2654	[メッセージ]	inconsistent section for ' <i>symbol</i> '
	[説明]	シンボル <i>symbol</i> に対してセクションが矛盾しています。
E2655	[メッセージ]	misplaced '#pragma section section end'
	[説明]	"#pragma section section end" の位置が不適当です。
E2660	[メッセージ]	cannot write, read only I/O register ' <i>regname</i> '
	[説明]	リード属性のみを持つ内部周辺 I/O レジスタ <i>regname</i> にデータを書き込むことはできません。
E2661	[メッセージ]	cannot read, write only I/O register ' <i>regname</i> '
	[説明]	ライト属性のみを持つ内部周辺 I/O レジスタ <i>regname</i> からデータを読み出すことはできません。
E2662	[メッセージ]	cannot access for I/O register bit number ' <i>regname</i> '
	[説明]	内部周辺 I/O レジスタ <i>regname</i> に対するビット・アクセスの記述において、アクセス不可能な位置を指定しています。
E2663	[メッセージ]	I/O register bit number must be integral type.
	[説明]	内部周辺機能用レジスタに対するビット位置の指定は整数値で記述してください。
E2664	[メッセージ]	Specifying bit number for I/O register ' <i>regname</i> ' is not allowed.
	[説明]	内部周辺 I/O レジスタ <i>regname</i> のビットに対して、ビット・アクセスを指定することはできません。
E2665	[メッセージ]	unknown cpu type, cannot use I/O register
	[説明]	ターゲット・デバイスが不明のため、内部周辺 I/O レジスタを使用することはできません。
E2666	[メッセージ]	illegal operand (I/O register ' <i>regname</i> ') for unary '&'
	[説明]	内部周辺 I/O レジスタ <i>regname</i> のアドレスを求めることはできません。
E2670	[メッセージ]	unexpected EOF, missing '#pragma endasm'
	[説明]	アセンブラ挿入の終わりの指定が見つかりません。
E2681	[メッセージ]	First argument for __set_il is out of range.
	[説明]	割り込みレベルの値が指定可能な範囲を越えています。割り込みレベルとして設定できるのは -1 ~ +8 の整数です。
E2682	[メッセージ]	Second argument for __set_il must be string literal ("Interrupt Request Name")
	[説明]	割り込みレベルを設定する関数の第二引数には、割り込み要求名を示す文字列を指定してください。
E2685	[メッセージ]	illegal argument for __set_il(int, "Interrupt Request Name")
	[説明]	割り込みレベルを設定する関数の引数が間違っています。第一引数は整数型、第二引数は割り込み要求名を指定してください。
E2692	[メッセージ]	Both interrupt attribute and 'rtos_task' are specified.
	[説明]	関数に対して、リアルタイム OS 用のタスクと割り込みを同時に指定することはできません。

E2693	[メッセージ]	Function ' <i>function</i> ' is already defined, 'rtos_task' must be specified before function definition.
	[説明]	関数を、関数定義よりも後ろでリアルタイム OS 用のタスクとして指定することはできません。
E2694	[メッセージ]	Function ' <i>function</i> ' is already defined without 'rtos_interrupt'.
	[説明]	関数 <i>function</i> が割り込みハンドラと指定されましたが、 <i>function</i> はすでにリアルタイム OS 用の割り込み指定なしで定義されています。
E2695	[メッセージ]	cannot call rtos_task function
	[説明]	リアルタイム OS 用のタスクとして指定された関数を呼び出すことはできません。
E2696	[メッセージ]	Rtos system call ' <i>function</i> ' is already defined, cannot specify '#pragma kind'
	[説明]	すでに関数 <i>function</i> と同名の関数が定義、または宣言されています。リアルタイム OS の #pragma 指令によりシステム・コールを有効にすることができません。
E2697	[メッセージ]	Rtos system call ' <i>name</i> ' is called in the function, for which rtos interrupt attribute is not specified.
	[説明]	リアルタイム OS 用の割り込み指定のない関数で、システム・コール <i>name</i> が呼ばれています。 <i>name</i> を通常の関数呼び出しとみなします。
E2698	[メッセージ]	cannot call rtos_interrupt function
	[説明]	リアルタイム OS 用の割り込みハンドラとして指定された関数を呼び出すことはできません。
E2701	[メッセージ]	Duplicated GP symbol for RTOS interrupt function ' <i>function</i> '
	[説明]	リアルタイム OS 用の割り込みハンドラとして指定された関数 <i>function</i> には、すでに別の gp シンボルが割り当てられています。
E2702	[メッセージ]	Specifying interrupt name ' <i>name</i> ' is not allowed for rtos_interrupt.
	[説明]	割り込み要求名に <i>name</i> は指定できません。
E2712	[メッセージ]	unexpected end-of-line (missing ' ')
	[説明]	セクション・ファイルにおけるセクション名は “[ ]” で囲んでください。
E2713	[メッセージ]	unexpected character(s) ' <i>token</i> '
	[説明]	セクション・ファイルに余分なトークン <i>token</i> があります。セクション・ファイルの形式を確認してください。
E2714	[メッセージ]	Variable, function or file name is missing.
	[説明]	セクション・ファイルの変数情報の記述が不正です。
E2715	[メッセージ]	illegal function/variable name ' <i>symbol</i> '
	[説明]	シンボル <i>symbol</i> は、不正な関数名、または変数名です。
E2716	[メッセージ]	Section name is not specified.
	[説明]	セクション名が指定されていません。
E2717	[メッセージ]	unrecognized section name ' <i>section</i> '
	[説明]	不正なセクション名 <i>section</i> が指定されています。
E2746	[メッセージ]	Too long section name[256]
	[説明]	セクション名が長すぎます。256 文字以下にしてください。

E2747	[メッセージ]	inconsistent section name for ' <i>symbol</i> '
	[説明]	シンボル <i>symbol</i> に対してセクション名が矛盾しています。
E2749	[メッセージ]	Function ' <i>function</i> ' is already defined without ' <i>__multi_interrupt</i> '.
	[説明]	関数 <i>function</i> が多重割り込み関数と指定されましたが、すでに多重割り込み指定なしに定義されています。
E2750	[メッセージ]	Both interrupt and multi interrupt attributes are specified.
	[説明]	通常の割り込みと多重割り込みを、同時に指定することはできません。
E2751	[メッセージ]	Both RTOS interrupt and multi interrupt attributes are specified.
	[説明]	リアルタイム OS 用の割り込みと多重割り込みを、同時に指定することはできません。
E2752	[メッセージ]	cannot call <i>function</i> function
	[説明]	<i>function</i> 関数を呼ぶことはできません。
E2760	[メッセージ]	unknown cpu type, cannot use <i>directive</i>
	[説明]	ターゲット・デバイス指定がないため、 <i>directive</i> を使用することはできません。
E2781	[メッセージ]	result of comparison is always <i>status</i>
	[説明]	比較式が常に <i>status</i> になります。
E2783	[メッセージ]	statement with no effect
	[説明]	意味のない文があります。
E2785	[メッセージ]	Conversion may lose significant digit
	[説明]	データが失われている可能性があります。
E2801	[メッセージ]	Illegal debug information
	[説明]	ソース・ファイル中のデバッグ情報が不正です。
	[対処方法]	コンパイルを、もう一度実行してください。
E3102	[メッセージ]	Directive syntax error
	[説明]	ディレクティブの記述がまちがっています。
E3107	[メッセージ]	Name ' <i>名前</i> ' in directive has already defined
	[説明]	ディレクティブのメモリ領域として、予約語、またはすでに定義している名前を定義しようとした。 この名前（予約語、メモリ空間名、メモリ領域名）は、すでに登録されています。
E3108	[メッセージ]	Overlapped memory area ' <i>メモリ領域1</i> ' and ' <i>メモリ領域2</i> '
	[説明]	メモリ・ディレクティブでメモリ領域のアドレスが重複しています。
E3109	[メッセージ]	Memory area ' <i>メモリ領域名</i> ' too long name (up to 256 characters)
	[説明]	ディレクティブ中でのメモリ領域名の指定が長すぎます。 ディレクティブ中でのメモリ領域名の長さの制限は 256 文字です。
E3110	[メッセージ]	Memory area ' <i>メモリ領域名</i> ' already defined
	[説明]	メモリ・ディレクティブで指定されたメモリ領域は、すでに登録されています。
E3111	[メッセージ]	Memory area ' <i>メモリ領域名</i> ' redefinition out of range
	[説明]	メモリ・ディレクティブで指定されているメモリ領域の範囲は、再定義可能な範囲を越えています。

E3112	[メッセージ]	Segment 'セグメント名' wrong allocation type
	[説明]	マージ・ディレクティブでセグメントの配置型の指定が間違っています。
E3114	[メッセージ]	Illegal number
	[説明]	ディレクティブ中の数値の記述に誤りがあります。
E3115	[メッセージ]	Too large value (up to 1048575/0FFFFFFH)
	[説明]	ディレクティブ中で、1048575 (0FFFFFFH) を越える値が記述されました。
E3116	[メッセージ]	Memory area 'メモリ領域名' definition out of range
	[説明]	メモリ・ディレクティブにおいて、メモリ領域の先頭アドレスとサイズの和が、1048575 (0FFFFFFH) を越えました。
E3117	[メッセージ]	Too Many line number data (up to 65535/0FFFFFFH) in the same name segment 'segment'
	[説明]	1セクションの最大ライン・ナンバ・エントリ数 65535 を越えています。
E3200	[メッセージ]	illegal alignment value
	[説明]	整列条件の指定に誤りがあります。
E3201	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Multiple segment definition 'セグメント名' in merge directive
	[説明]	【78K0】【78K0R】 マージ・ディレクティブで指定されたセグメントは、すでに登録されています (同じセグメントを複数のマージ・ディレクティブで割り付け指定しようとしています)。
	[メッセージ]	【V850】 illegal character
	[説明]	【V850】 扱うことのできない文字が現れました。
E3202	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Segment type mismatch 'セグメント1' in file 'セグメント2' - ignored
	[説明]	【78K0】【78K0R】 このセグメントと同じ名前で、異なるセグメント・タイプの再配置属性を持つセグメントが存在しています。
	[メッセージ]	【V850】 illegal expression
	[説明]	【V850】 式の構成に誤りがあります。
E3203	[メッセージ]	illegal expression (string)
	[説明]	式の要素 string に誤りがあります。
E3204	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Memory area/space '名前' not defined
	[説明]	【78K0】【78K0R】 マージ・ディレクティブで指定されたメモリ領域名 / メモリ空間名は、定義されていません。
	[メッセージ]	【V850】 illegal expression (-label)
	[説明]	【V850】 (-ラベル) の形式の式が用いられています。
E3205	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Name '名前' in directive has bad attribute
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ディレクティブのセグメント名、メモリ領域名、メモリ空間名のいずれかに、指定できないものを記述しています (メモリ領域名を指定すべきところにメモリ空間名を指定したなど)。
	[メッセージ]	【V850】 illegal expression (-label - label)
	[説明]	【V850】 (-ラベル - ラベル) の形式の式が用いられています。

E3206	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Segment 'セグメント名' can't allocate to memory-ignored
	[説明]	【78K0】【78K0R】 セグメントをメモリ領域に割り付けることができません（セグメントを割り付けるのに十分なメモリ領域が存在しません）。
	[メッセージ]	【V850】 illegal expression (label + label)
	[説明]	【V850】（ラベル + ラベル）の形式の式が用いられています。
E3207	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Segment 'セグメント名' has illegal segment type
	[説明]	【78K0】【78K0R】 このセグメントの型情報が不正です。
	[メッセージ]	【V850】 illegal expression (labels have different reference types)
	[説明]	【V850】異なる形式のラベル参照（#label, label, および \$label）の間に演算が指定されています。
E3208	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Segment 'セグメント名' may not change attribute
	[説明]	【78K0】【78K0R】 アセンブル時に再配置属性を AT xxxxxH' としたセグメント、または ORG 疑似命令により作成したセグメントに対し、ディレクティブで結合型を変更しようとした。
	[メッセージ]	【V850】 illegal expression (labels in different sections)
	[説明]	【V850】異なるセクションに属するラベル間に演算が指定されています。
E3209	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Segment 'セグメント名' may not change arrangement
	[説明]	【78K0】【78K0R】 アセンブル時に再配置属性を AT xxxxxH' としたセグメント、または ORG 疑似命令により作成したセグメントに対し、ディレクティブで配置アドレスを変更しようとした。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 リンク時に結合型を指定するセグメントに対しては、アセンブル時に配置アドレスを指定しないでください。
	[メッセージ]	【V850】 illegal expression (labels must be defined)
	[説明]	【V850】ラベル同士の演算は同一ファイル内に定義してください。
E3210	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Segment 'セグメント名' is not exist-ignored
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ディレクティブで指定されたセグメントが存在しません。
	[メッセージ]	【V850】 illegal expression (not + nor -)
	[説明]	【V850】 +, - 以外の演算が用いられています。
E3211	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Bank type mismatch 'シンボル名' in file 'ファイル名' -ignored
	[説明]	【78K0】【78K0R】 シンボルのバンク番号の指定に矛盾があります。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 シンボルのバンク番号が正しいことを確認してください。
	[メッセージ]	【V850】 floating exception(function)
	[説明]	【V850】 as850 が内部的に用いている浮動小数点演算ライブラリの関数 function において、浮動小数点演算に誤りがあります。



E3212	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Default segment can't allocate to memory-ignored
	[説明]	【78K0】【78K0R】 デフォルト・セグメントをメモリ領域に割り付けることができません。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 ROM 範囲内に -gb, -gi, -go のデータを配置することができるかを確認してください。
	[メッセージ]	【V850】 symbol already defined as label
	[説明]	【V850】 指定されたシンボルはすでにラベルとして定義されています。
E3213	[メッセージ]	label <i>identifier</i> redefined
	[説明]	ラベル <i>identifier</i> が複数回定義されています。
E3214	[メッセージ]	【78K0R】 Segment ' <i>セグメント名</i> ' can 't allocated on SELFRAM
	[説明]	【78K0R】 このセグメントはセルフ RAM と内部 RAM が重複する領域に配置されたため、セルフ・プログラミング時にはデータが破壊される場合があります。-self が指定されているため、この領域に配置することはできません。 ユーザーズ・マニュアル「78K0R セルフ・プログラミング・ライブラリ」を参照ください。
	[対処方法]	【78K0R】 配置を見直してください。
	[メッセージ]	【V850】 <i>identifier</i> redefined
	[説明]	【V850】 <i>identifier</i> が複数回定義されています。
E3215	[メッセージ]	illegal operand (access width mismatch)
	[説明]	オペランドに異なるアクセス幅の内部周辺 I/O レジスタを指定しています。
E3216	[メッセージ]	illegal operand (cannot read I/O register which does not have read access)
	[説明]	オペランドに指定した内部周辺 I/O レジスタは読み出し禁止です。
E3217	[メッセージ]	illegal operand (cannot use bit I/O register)
	[説明]	オペランドに内部周辺 I/O レジスタのフラグのビットを指定することはできません。
E3218	[メッセージ]	illegal operand (cannot write I/O register which does not have write access)
	[説明]	オペランドに指定した内部周辺 I/O レジスタは書き込み禁止です。
E3219	[メッセージ]	illegal operand (inconsistent bit position)
	[説明]	ビット操作命令で指定したビット位置が矛盾しています。
E3220	[メッセージ]	illegal operand ( <i>identifier</i> is reserved word)
	[説明]	名前に予約語 <i>identifier</i> が用いられています。
E3221	[メッセージ]	illegal operand (label - label)
	[説明]	分岐命令に対し、(ラベル - ラベル) の形式の式が指定されています。
E3222	[メッセージ]	illegal operand (label not allowed)
	[説明]	オペランドにラベルを指定することのできない命令に対し、ラベルが指定されています。
E3223	[メッセージ]	illegal operand (label not allowed for setf/shl...)
	[説明]	setf 命令、またはシフト命令に対し、ラベルが指定されています。
E3224	[メッセージ]	illegal operand (label reference for jmp must be #label)
	[説明]	jmp 命令に対し、絶対アドレス参照 (#label) 以外のものが指定されています。



E3225	[メッセージ]	illegal operand (must be evaluated positive or zero)
	[説明]	式の評価結果が負になりました。
E3226	[メッセージ]	illegal operand (must be even displacement)
	[説明]	奇数のディスプレースメントが指定されています。
E3227	[メッセージ]	illegal operand (must be immediate, label or symbol for hi/lo/hi1)
	[説明]	hi, lo, および hi1 に対し、イミディエト、ラベル、またはシンボル以外のものが指定されています。
E3228	[メッセージ]	illegal operand (must be register)
	[説明]	レジスタ以外のものが指定されています。
E3229	[メッセージ]	illegal operand (needs base register)
	[説明]	ベース・レジスタを指定する必要があります。
E3230	[メッセージ]	illegal operand (range error in displacement)
	[説明]	ディスプレースメントとして指定された値が指定可能な値の範囲を越えています。
E3231	[メッセージ]	illegal operand (range error in immediate)
	[説明]	イミディエトとして指定された値が指定可能な値の範囲を越えています。
E3232	[メッセージ]	illegal operand (.local parameter)
	[説明]	.local 疑似命令に指定されたパラメータが不正です。
E3233	[メッセージ]	illegal operand (local symbol parameter)
	[説明]	.local 疑似命令に指定されたパラメータがシンボルではありません。
E3234	[メッセージ]	illegal operand (macro parameter)
	[説明]	.macro 疑似命令に指定されたパラメータが不正です。
E3235	[メッセージ]	illegal operand (macro name)
	[説明]	.macro 疑似命令に定義されたマクロ名が不正です。
E3236	[メッセージ]	illegal operand (macro argument)
	[説明]	マクロ呼び出しに指定されたパラメータが不正です。
E3237	[メッセージ]	illegal operand (.irepeat argument)
	[説明]	.irepeat 疑似命令に指定された引数が不正です。
E3238	[メッセージ]	illegal operand (.irepeat parameter)
	[説明]	.irepeat 疑似命令に指定されたパラメータが不正です。
E3239	[メッセージ]	illegal operand (can not use r0 as source in V850E mode)
	[説明]	V850Ex コア指定時には、ソース・オペランドに r0 を指定することはできません。
E3240	[メッセージ]	illegal operand (can not use r0 as destination in V850E mode)
	[説明]	V850Ex コア指定時には、デスティネーション・オペランドに r0 を指定することはできません。
E3241	[メッセージ]	illegal operand (too many registers)
	[説明]	pushm / popm 命令に指定されたレジスタ数が多すぎます。
E3242	[メッセージ]	illegal operand (label is already defined on section)
	[説明]	.option sdata / .option data に指定したラベルは、すでに section セクションに定義されています。

E3244	[メッセージ]	illegal origin value( <i>value</i> )
	[説明]	.org 疑似命令において値 ( <i>value</i> ) の指定に誤りがあります。
E3245	[メッセージ]	<i>identifier</i> is reserved word
	[説明]	予約語を用いることのできない場所において予約語 <i>identifier</i> が用いられています。
E3246	[メッセージ]	illegal section
	[説明]	セクション中に記述することのできない命令が記述されています。
E3247	[メッセージ]	illegal size value
	[説明]	サイズの指定に誤りがあります。
E3248	[メッセージ]	illegal symbol reference (\$ <i>symbol</i> )
	[説明]	シンボルに対し "\$", または "#" が指定されています。
E3249	[メッセージ]	illegal syntax
	[説明]	構成に誤りがあります。
E3250	[メッセージ]	illegal syntax <i>string</i>
	[説明]	<i>string</i> の構成に誤りがあります。
E3251	[メッセージ]	illegal id value
	[説明]	指定された ID 値が不正です。整数を指定してください。
E3252	[メッセージ]	id already defined as symbol " <i>identifier</i> "
	[説明]	指定された ID 値は、シンボル名 " <i>identifier</i> " としてすでに予約されています。
E3253	[メッセージ]	symbol " <i>identifier</i> " already defined as another id
	[説明]	指定されたシンボル名 " <i>identifier</i> " は、異なる ID 値ですすでに予約されています。
E3254	[メッセージ]	can not reference .ext_func symbol " <i>identifier</i> "
	[説明]	.ext_func 疑似命令を用いて指定されたシンボルは、分岐命令以外で参照することはできません。
E3255	[メッセージ]	cannot access for I/O register bit number " <i>I/O register</i> "
	[説明]	I/O レジスタ名 " <i>I/O register</i> " に指定したビット番号が間違っています。
E3258	[メッセージ]	cannot access I/O register(" <i>I/O register</i> ")
	[説明]	オペランドに指定した内部周辺 I/O レジスタ " <i>I/O register</i> " はアクセス禁止です。
E3259	[メッセージ]	can not use r1 as destination in mul/mulu.
	[説明]	mul / mulu 命令のデスティネーション・レジスタにはアセンブラ予約レジスタ (r1) を指定できません。
E3260	[メッセージ]	token too long
	[説明]	トークンの長さが限界を越えています。限界値は 1037 です。
E3261	[メッセージ]	illegal condition code.
	[説明]	指定された条件コードが不正です。 【V850E2】 adf, sbf 命令の条件コードに 0xd は指定できません。

E3301	[メッセージ]	Relocatable object code address out of range (file 'ファイル名', segment 'セグメント名', address xxxxxH, type 'アドレッシング・タイプ')
	[説明]	<p>入力したオブジェクト・モジュール・ファイル・中に含まれるリロケータブル・オブジェクト・コードの修正情報が、オブジェクト・コードの存在しないアドレスに対して出力されています (リロケーション・エントリのアドレスが、オリジン・データの範囲外にあります)。</p> <p>(注意事項)</p> <p>メッセージの中で、'address xxxxxH' として表示されるアドレスは、セグメント配置後の絶対アドレスです。</p>
	[対処方法]	シンボルの参照が正しいことを確認してください。
E3302	[メッセージ]	Illegal symbol index in line number (file 'ファイル名', segment 'セグメント名')
	[説明]	<p>入力したオブジェクト・モジュール・ファイル中に含まれるデバッグ用行番号情報に誤りがあり、シンボル情報を正しく参照していません。行番号のインデクスとシンボル・インデクスの対応がとれていません。</p>
E3303	[メッセージ]	Can't find symbol index in relocatable object code (file 'ファイル名', segment 'セグメント名', address xxxxxH, type 'アドレッシング・タイプ')
	[説明]	<p>入力したオブジェクト・モジュール・ファイル中に含まれるリロケータブル・コードの修正情報に誤りがあり、シンボル情報を正しく参照していません。リロケーション・エントリとシンボル・インデクスの対応がとれていません。</p> <p>(注意事項)</p> <p>メッセージの中で、'address xxxxxH' として表示されるアドレスは、セグメント配置後の絶対アドレスです。</p>
	[対処方法]	シンボル、変数などの参照方法が正しいことを確認してください。
E3304	[メッセージ]	Operand out of range (file 'ファイル名', segment 'セグメント名', symbol 'シンボル名', address xxxxxH, type 'アドレッシング・タイプ')
	[説明]	<p>リロケータブル・オブジェクト・コードの解決に用いているオペランド値が、命令に対応したオペランドの値の範囲を越えています。</p> <p>(注意事項)</p> <p>メッセージの中で、'address xxxxxH' として表示されるアドレスは、セグメント配置後の絶対アドレスです。</p>
	[対処方法]	オペランド値をアドレッシング・タイプごとに定められているオペランドの範囲に納まるように、ソースを記述してください。
E3305	[メッセージ]	Even value expected (file 'ファイル名', segment 'セグメント名', symbol 'シンボル名', address xxxxxH, type 'アドレッシング・タイプ')
	[説明]	<p>callt, または saddrp アドレッシングのリロケータブル・オブジェクト・コード解決に用いているオペランド値が奇数になりました (callt, または saddrp アドレッシングのオペランドは偶数でなければなりません)。</p> <p>(注意事項)</p> <p>メッセージの中で、'address xxxxxH' として表示されるアドレスは、セグメント配置後の絶対アドレスです。</p>

E3306	[メッセージ]	A multiple of 4 value expected (segment 'セグメント名', address xxxxxH, type'アドレスリング・タイプ')
	[説明]	saddr アドレッシングのリロケータブル・オブジェクト・コードの解決に用いているオペランド値が、4の倍数になりませんでした。 (注意事項) メッセージの中で、'address xxxxH' として表示されるアドレスは、セグメント配置後の絶対アドレスです。
E3403	[メッセージ]	Symbol 'シンボル名' unmatched type in file 'ファイル名 1'. First defined in file 'ファイル名 2'
	[説明]	同名外部定義/参照シンボルの型が、ファイル1とファイル2で異なります。
E3404	[メッセージ]	Multiple Symbol definition 'シンボル名' in file 'ファイル名 1'. First defined in file 'ファイル名 2'
	[説明]	オブジェクト・モジュール・ファイル1中で定義されているPUBLICシンボルは、オブジェクト・モジュール・ファイル2ですすでにPUBLIC宣言されています。
E3405	[メッセージ]	Undefined symbol 'シンボル名' in file 'ファイル名'
	[説明]	ファイルでEXTRN宣言されているシンボルは、ほかのファイルでPUBLIC宣言されていません。
E3410	[メッセージ]	Multiple module name definition 'モジュール名' in file 'ファイル 1'. First defined in file 'ファイル 2'
	[説明]	オブジェクト・モジュール・ファイル1のモジュール名と、オブジェクト・モジュール・ファイル2のモジュール名が同じです。
E3415	[メッセージ]	【78K0】 Compiler options are mixed in file 'ファイル名 1'. First specified in file 'ファイル名 2'
	[説明]	【78K0】 プログラム全体で同じ指定でなければいけないコンパイラの最適化オプションに関して、異なる指定をしたオブジェクト・ファイルが入力されました。同じ指定でコンパイルし直してください。
E3424	[メッセージ]	-ZF REL and not -ZF REL are mixed in file 'ファイル名'
	[説明]	フラッシュ・メモリ内蔵製品のブート領域ROMプログラムのロード・モジュールと、フラッシュ領域プログラムのオブジェクト・モジュールをリンクする際、このオブジェクト・モジュールの中にコンパイル時に-zfオプションを指定していないものがあります。
E3425	[メッセージ]	There are different function ID in same name '関数名' (file 'ファイル名')
	[説明]	コンパイラでEXT_FUNC宣言された同名の関数が、異なるID値を持っています。

E3426	[メッセージ]	【78K0】 Multiple input BOOT file 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】 フラッシュ・メモリ内蔵製品のブート領域 ROM プログラムのロード・モジュールと、フラッシュ領域プログラムのオブジェクト・モジュールをリンクする際、ブート領域 ROM プログラムのロード・モジュールが複数入力されました。
	[メッセージ]	【78K0R】 Multiple input BOOT file "ファイル名 1". First input file 'ファイル名 2'
	[説明]	【78K0R】 フラッシュ・メモリ内蔵製品のブート領域 ROM プログラムのロード・モジュールと、フラッシュ領域プログラムのオブジェクト・モジュールをリンクする際、ブート領域 ROM プログラムのロード・モジュールが複数入力されました。
	[対処方法]	【78K0R】 ブート領域 ROM プログラムのロード・モジュール・ファイルを1つだけ指定してください。
E3427	[メッセージ]	BOOT REL and -ZF REL are mixed in file 'ファイル名'
	[説明]	-zb オプション指定時のリンクにおいて、コンパイル時に -zf オプション指定されたオブジェクト・モジュールが入力されています。
E3428	[メッセージ]	FLASH start address larger than ROM max address
	[説明]	フラッシュ・メモリ領域の先頭のアドレスが、対象デバイスの ROM エンド・アドレスより大きくなっています。
E3429	[メッセージ]	BOOT segment 'セグメント名' are found in FLASH file 'ファイル名'
	[説明]	フラッシュ・メモリ内蔵製品のブート領域 ROM プログラムのロード・モジュールと、フラッシュ領域 ROM プログラムのオブジェクト・モジュールのリンク時に、このオブジェクト・モジュールにフラッシュ・メモリ領域の先頭のアドレスより小さい配置アドレスのセグメントが存在しています。
E3430	[メッセージ]	Different FLASH address in file 'ファイル名'
	[説明]	入力ファイルのフラッシュ・メモリ領域の先頭アドレスが、すべて同じではありません。
E3431	[メッセージ]	There are different function name in same ID (関数名) (file 'ファイル名')
	[説明]	コンパイラで EXT_FUNC 宣言された複数の関数が、同じ ID 値をもっています。
E3432	[メッセージ]	Illegal allocate an EXT_FUNC function '関数名' (file 'ファイル名')
	[説明]	-zb オプション指定時のリンクにおいて、コンパイラ EXT_FUNC 宣言された関数の実体が存在しています。
E3433	[メッセージ]	Can't find FLASH start address in file 'ファイル名'
	[説明]	フラッシュのスタート・アドレスが見つかりません。
	[対処方法]	-zb を指定した LMF ファイルを入力してください。
E4200	[メッセージ]	Undefined symbol 'シンボル名'
	[説明]	アドレスが解決していないシンボルがあります。
	[対処方法]	シンボル値の定義をしてください。 このシンボルを外部参照シンボルとして参照しますが、外部定義していないときは、このシンボル値を定義しているモジュール外で外部定義してください。
E4201	[メッセージ]	Out of address range
	[説明]	ロード・モジュール・ファイルのオブジェクトのアドレスが範囲を越えています。
E4231	[メッセージ]	',' is expected at the end of directive.
	[説明]	ディレクティブの終わりには ";" (セミコロン) が必要です。

E4232	[メッセージ]	`) is expected.
	[説明]	“)” が必要です。
E4233	[メッセージ]	name is expected at the beginning of directive.
	[説明]	ディレクティブは名前（セグメント名/セクション名/シンボル名）ではじめてください。
E4234	[メッセージ]	section name is expected at the beginning of section directive.
	[説明]	セクション・ディレクティブはセクション名ではじめてください。
E4235	[メッセージ]	':', '=' or '@' is expected to follow name.
	[説明]	ディレクティブの始まりの名前の後ろには “:”, “=”, “@” のいずれかが必要です。
E4236	[メッセージ]	'=' is expected to follow section name.
	[説明]	出力セクション名の後ろには “=” が必要です。
E4237	[メッセージ]	too many `)`.
	[説明]	“{” に対応する “)” が多すぎます。
E4238	[メッセージ]	illegal character ( <i>number</i> ).
	[説明]	リンク・ディレクティブに不正な文字 ( <i>number</i> ) が存在しています。
E4239	[メッセージ]	<i>string</i> needs effective parameter.
	[説明]	<i>string</i> には有効なパラメータが必要です。
E4240	[メッセージ]	<i>string</i> is illegal in segment directive.
	[説明]	セグメント・ディレクティブにおいて <i>string</i> を指定することはできません。
E4241	[メッセージ]	<i>string</i> is illegal in section directive.
	[説明]	セクション・ディレクティブにおいて <i>string</i> を指定することはできません。
E4242	[メッセージ]	<i>string</i> is illegal in symbol directive.
	[説明]	シンボル・ディレクティブにおいて <i>string</i> を指定することはできません。
E4243	[メッセージ]	<i>string</i> is illegal in file specification field.
	[説明]	ファイル名を指定する部分に <i>string</i> を指定することはできません。
E4244	[メッセージ]	<i>string</i> illegal in segment name field.
	[説明]	セグメント名を指定する部分に <i>string</i> を指定することはできません。
E4245	[メッセージ]	<i>string</i> specified to segment " <i>segment</i> " more than once in same or other directive.
	[説明]	<i>string</i> がセグメント <i>segment</i> に対し、同じセグメント・ディレクティブ、または別のセグメント・ディレクティブにおいて複数回指定されています。
E4246	[メッセージ]	<i>string</i> specified to section " <i>section</i> " more than once in same or other directive.
	[説明]	<i>string</i> がセクション <i>section</i> に対し、同じセクション・ディレクティブ、または別のセクション・ディレクティブにおいて複数回指定されています。
E4247	[メッセージ]	<i>string</i> specified to symbol " <i>symbol</i> " more than once in same or other directive.
	[説明]	<i>string</i> がシンボル <i>symbol</i> に対し、同じシンボル・ディレクティブ、または別のシンボル・ディレクティブにおいて複数回指定されています。
E4248	[メッセージ]	segment " <i>segment</i> " already defined.
	[説明]	セグメント <i>segment</i> はすでに定義されています。

E4249	[メッセージ]	section " <i>section</i> " already defined at line( <i>number</i> ).
	[説明]	セクション <i>section</i> は <i>number</i> 行目においてすでに定義されています。
E4250	[メッセージ]	symbol " <i>symbol</i> " already defined at line( <i>number</i> ).
	[説明]	シンボル <i>symbol</i> は <i>number</i> 行目においてすでに定義されています。
E4251	[メッセージ]	illegal segment type " <i>string</i> ".
	[説明]	セグメント・タイプとして指定することのできない <i>string</i> が指定されています。
E4252	[メッセージ]	illegal section type " <i>string</i> ".
	[説明]	セクション・タイプとして指定することのできない <i>string</i> が指定されています。
E4253	[メッセージ]	illegal attribute character ' <i>character</i> '
	[説明]	セクション属性として指定することのできない <i>character</i> が指定されています。
E4254	[メッセージ]	<i>string</i> in segment directive of non LOAD segment is illegal.
	[説明]	セグメント・タイプに LOAD を指定してないセグメント・ディレクティブにおいて <i>string</i> を指定することはできません。
E4267	[メッセージ]	unknown symbol kind " <i>string</i> ".
	[説明]	シンボル種別として指定することのできない <i>string</i> が指定されています。
E4268	[メッセージ]	symbol kind " <i>string</i> " specified more than once in same or other directive.
	[説明]	シンボル種別 <i>string</i> が同じディレクティブ、または別のディレクティブにおいて複数回指定されています。
E4271	[メッセージ]	section attribute ' <i>attribute</i> ' of section " <i>section</i> " and segment attribute ' <i>attribute</i> ' of segment " <i>segment</i> " do not match.
	[説明]	セクション <i>section</i> のセクション属性 <i>attribute</i> とこのセクションの割り付けが指示されているセグメント <i>segment</i> のセグメント属性が一致しません。
	[対処方法]	セクション属性 G は無視し、セクション属性 A, W, X がそれぞれセグメント属性 R, W, X に相当するものとして一致するようにしてください。
E5101	[メッセージ]	Invalid sub command
	[説明]	サブコマンド名が誤っています。
E5102	[メッセージ]	Invalid syntax
	[説明]	サブコマンドのパラメータ指定に誤りがあります。
E5103	[メッセージ]	Illegal input file-different target chip (file : <i>ファイル名</i> )
	[説明]	入力したオブジェクト・モジュール・ファイルの対象デバイス指定に、誤りがあります。
E5104	[メッセージ]	Illegal library file-different target chip (file : <i>ファイル名</i> )
	[説明]	指定ライブラリ・ファイルの対象デバイスに誤りがあります。
E5105	[メッセージ]	Module not found (module : <i>ファイル名</i> )
	[説明]	指定モジュールがライブラリ・ファイル中に存在しません。
E5106	[メッセージ]	Module already exists (module : <i>ファイル名</i> )
	[説明]	同名のモジュールが、すでに更新ライブラリ・ファイル、またはほかの入力ファイル内に存在しています。

E5107	[メッセージ]	Master library file is not specify
	[説明]	以前のオペレーションで、まだ更新ライブラリ・ファイルの指定がされていないのに、' 'での置き換えが指定されました。
E5108	[メッセージ]	Multiple transaction file (file : ファイル名)
	[説明]	入力オブジェクト・モジュール・ファイル名が重複しています。
E5109	[メッセージ]	Public symbol already exists (symol : シンボル名)
	[説明]	同名の外部定義シンボル名が、すでに更新ライブラリ・ファイル、またはほかの入力ファイル内に存在しています。
E5110	[メッセージ]	File specification conflicted (file : ファイル名)
	[説明]	指定した入力ファイル名と出力ファイル名が一致しています。
E5111	[メッセージ]	Illegal file format (file : ファイル名)
	[説明]	更新ライブラリ・ファイル、またはほかの入力ファイルのフォーマットが異常です。
E5112	[メッセージ]	Library file not found (file : ファイル名)
	[説明]	指定したライブラリ・ファイルが見つかりません。
E5113	[メッセージ]	Object module file not found (file : ファイル名)
	[説明]	指定したオブジェクト・モジュール・ファイルが見つかりません。
E5114	[メッセージ]	No free space for temporary file
	[説明]	ディスク上のテンポラリ・ファイルを作成するための十分な空き容量がありません。
E5115	[メッセージ]	Not enough memory
	[説明]	プログラムが動作するための、十分なメモリが確保できません。
E5116	[メッセージ]	Sub command Buffer full
	[説明]	サブコマンドの継続行の長さが制限 (128x15 文字) を越えています。 サブコマンド・ファイル中のサブコマンドの 1 行の長さが制限 (128 文字) を越えています。
E5117	[メッセージ]	Can not use device file
	[説明]	入力ファイルにデバイス型のファイルが指定されました。 list コマンドの入出力ファイルに CLOCK が指定されました。 出力オブジェクト・モジュール・ファイル、または出力ライブラリ・ファイルに PRN, CON, CLOCK が指定されました。
E5118	[メッセージ]	Illegal path (file : ファイル名)
	[説明]	指定ファイルのパス名に誤りがあります。
E7001	[メッセージ]	The link error was found. Please input an error-free file.
	[説明]	リンク時にエラーが発生しています
	[対処方法]	エラーが発生せず、リンク可能なファイルを入力してください。
E7201	[メッセージ]	multiple defined symbol 'symbol'
	[説明]	多重定義シンボル <i>symbol</i> が存在します。
E7202	[メッセージ]	redeclaration of 'symbol'
	[説明]	<i>symbol</i> が再宣言されています。



E7203	[メッセージ]	undefined symbol ' <i>symbol</i> '
	[説明]	<i>symbol</i> が未定義です。
E7204	[メッセージ]	undefined label ( <i>.Lnum</i> )
	[説明]	<i>.Lnum</i> のラベルが未定義です。
E7205	[メッセージ]	Argument type mismatch is detected where ' <i>caller</i> ' calls ' <i>callee</i> '.
	[説明]	インライン展開時に <i>caller</i> と <i>callee</i> の引数の型に違いがあります。
E7206	[メッセージ]	Return value type mismatch is detected where ' <i>caller</i> ' calls ' <i>callee</i> '.
	[説明]	インライン展開時に <i>caller</i> と <i>callee</i> の戻り値の型に違いがあります。
E7207	[メッセージ]	interrupt request ' <i>name</i> ' already specified
	[説明]	割り込み要求名 <i>name</i> はすでに指定されています。
E7208	[メッセージ]	inconsistent section for ' <i>symbol</i> '
	[説明]	<i>symbol</i> に対してセクションが矛盾しています。
E8102	[メッセージ]	Directive syntax error
	[説明]	ディレクティブの記述がまちがっています。
E8107	[メッセージ]	Name ' <i>名前</i> ' in directive has already defined
	[説明]	ディレクティブのメモリ領域として、予約語、またはすでに定義している名前を定義しようとした。 この名前（予約語、メモリ空間名、メモリ領域名）は、すでに登録されています。
E8108	[メッセージ]	Overlapped memory area ' <i>メモリ領域1</i> ' and ' <i>メモリ領域2</i> '
	[説明]	メモリ・ディレクティブでメモリ領域のアドレスが重複しています。
E8109	[メッセージ]	Memory area ' <i>メモリ領域名</i> ' too long name (up to 256 characters)
	[説明]	ディレクティブ中でのメモリ領域名の指定が長すぎます。 ディレクティブ中でのメモリ領域名の長さの制限は256文字です。
E8110	[メッセージ]	Memory area ' <i>メモリ領域名</i> ' already defined
	[説明]	メモリ・ディレクティブで指定されたメモリ領域は、すでに登録されています。
E8111	[メッセージ]	Memory area ' <i>メモリ領域名</i> ' redefinition out of range
	[説明]	メモリ・ディレクティブで指定されているメモリ領域の範囲は、再定義可能な範囲を越えています。
E8112	[メッセージ]	Segment ' <i>セグメント名</i> ' wrong allocation type
	[説明]	マージ・ディレクティブでセグメントの配置型の指定が間違っています。
E8114	[メッセージ]	Illegal number
	[説明]	ディレクティブ中の数値の記述に誤りがあります。
E8115	[メッセージ]	Too large value (up to 1048575/0FFFFFFH)
	[説明]	ディレクティブ中で、1048575 (0FFFFFFH) を越える値が記述されました。
E8116	[メッセージ]	Memory area ' <i>メモリ領域名</i> ' definition out of range
	[説明]	メモリ・ディレクティブにおいて、メモリ領域の先頭アドレスとサイズの和が、1048575 (0FFFFFFH) を越えました。

E8117	[メッセージ]	Too Many line number data (up to 65535/0FFFFH) in the same name segment 'segment'
	[説明]	1セクションの最大ライン・ナンバ・エン트리数 65535 を越えています。
E8200	[メッセージ]	illegal alignment value
	[説明]	整列条件の指定に誤りがあります。
E8201	[メッセージ]	Multiple segment definition 'セグメント名' in merge directive
	[説明]	マージ・ディレクティブで指定されたセグメントは、すでに登録されています (同じセグメントを複数のマージ・ディレクティブで割り付け指定しようとしています)。
E8202	[メッセージ]	Segment type mismatch 'セグメント1' in file 'セグメント2'-ignored
	[説明]	このセグメントと同じ名前で、異なるセグメント・タイプの再配置属性を持つセグメントが存在しています。
E8203	[メッセージ]	illegal expression (string)
	[説明]	式の要素 string に誤りがあります。
E8204	[メッセージ]	Memory area/space '名前' not defined
	[説明]	マージ・ディレクティブで指定されたメモリ領域名 / メモリ空間名は、定義されていません。
E8205	[メッセージ]	Name '名前' in directive has bad attribute
	[説明]	ディレクティブのセグメント名、メモリ領域名、メモリ空間名のいずれかに、指定できないものを記述しています (メモリ領域名を指定すべきところにメモリ空間名を指定したなど)。
E8206	[メッセージ]	Segment 'セグメント名' can't allocate to memory-ignored
	[説明]	セグメントをメモリ領域に割り付けることができません (セグメントを割り付けるのに十分なメモリ領域が存在しません)。
E8207	[メッセージ]	Segment 'セグメント名' has illegal segment type
	[説明]	このセグメントの型情報が不正です。
E8208	[メッセージ]	Segment 'セグメント名' may not change attribute
	[説明]	アセンブル時に再配置属性を AT xxxxxH' としたセグメント、または ORG 疑似命令により作成したセグメントに対し、ディレクティブで結合型を変更しようとした。
E8209	[メッセージ]	Segment 'セグメント名' may not change arrangement
	[説明]	アセンブル時に再配置属性を AT xxxxxH' としたセグメント、または ORG 疑似命令により作成したセグメントに対し、ディレクティブで配置アドレスを変更しようとした。
	[対処方法]	リンク時に結合型を指定するセグメントに対しては、アセンブル時に配置アドレスを指定しないでください。
E8210	[メッセージ]	Segment 'セグメント名' is not exist-ignored
	[説明]	ディレクティブで指定されたセグメントが存在しません。
E8211	[メッセージ]	Bank type mismatch 'シンボル名' in file 'ファイル名'-ignored
	[説明]	シンボルのバンク番号の指定に矛盾があります。
	[対処方法]	シンボルのバンク番号が正しいことを確認してください。

E8212	[メッセージ]	Default segment can't allocate to memory-ignored
	[説明]	デフォルト・セグメントをメモリ領域に割り付けることができません。
	[対処方法]	ROM 範囲内に -gb, -gi, -go のデータを配置することができるかを確認してください。
E8214	[メッセージ]	Segment 'セグメント名' can't allocated on SELFRAM
	[説明]	このセグメントはセルフ RAM と内部 RAM が重複する領域に配置されたため、セルフ・プログラミング時にはデータが破壊される場合があります。-self が指定されているため、この領域に配置することはできません。 ユーザーズ・マニュアル「78K0R セルフ・プログラミング・ライブラリ」を参照ください。
	[対処方法]	配置を見直してください。
E8301	[メッセージ]	Relocatable object code address out of range (file 'ファイル名', segment 'セグメント名', address xxxxxH, type 'アドレッシング・タイプ')
	[説明]	入力したオブジェクト・モジュール・ファイル・中に含まれるリロケータブル・オブジェクト・コードの修正情報が、オブジェクト・コードの存在しないアドレスに対して出力されています (リロケーション・エントリのアドレスが、オリジン・データの範囲外にあります。 (注意事項) メッセージの中で、'address xxxxH' として表示されるアドレスは、セグメント配置後の絶対アドレスです。
	[対処方法]	シンボルの参照が正しいことを確認してください。
E8302	[メッセージ]	Illegal symbol index in line number (file 'ファイル名', segment 'セグメント名')
	[説明]	入力したオブジェクト・モジュール・ファイル中に含まれるデバッグ用行番号情報に誤りがあり、シンボル情報を正しく参照していません。行番号のインデクスとシンボル・インデクスの対応がとれていません。
E8303	[メッセージ]	Can't find symbol index in relocatable object code (file 'ファイル名', segment 'セグメント名', address xxxxxH, type 'アドレッシング・タイプ')
	[説明]	入力したオブジェクト・モジュール・ファイル中に含まれるリロケータブル・コードの修正情報に誤りがあり、シンボル情報を正しく参照していません。リロケーション・エントリとシンボル・インデクスの対応がとれていません。 (注意事項) メッセージの中で、'address xxxxH' として表示されるアドレスは、セグメント配置後の絶対アドレスです。
	[対処方法]	シンボル、変数などの参照方法が正しいことを確認してください。
E8304	[メッセージ]	Operand out of range (file 'ファイル名', segment 'セグメント名', symbol 'シンボル名', address xxxxxH, type 'アドレッシング・タイプ')
	[説明]	リロケータブル・オブジェクト・コードの解決に用いているオペランド値が、命令に対応したオペランドの値の範囲を越えています。 (注意事項) メッセージの中で、'address xxxxH' として表示されるアドレスは、セグメント配置後の絶対アドレスです。
	[対処方法]	オペランド値をアドレッシング・タイプごとに定められているオペランドの範囲に納まるように、ソースを記述してください。

E8305	[メッセージ]	Even value expected (file 'ファイル名', segment 'セグメント名', symbol 'シンボル名', address xxxxxH, type 'アドレッシング・タイプ')
	[説明]	callt, または saddrp アドレッシングのリロケータブル・オブジェクト・コード解決に用いているオペランド値が奇数になりました (callt, または saddrp アドレッシングのオペランドは偶数でなければなりません)。 (注意事項) メッセージの中で, 'address xxxxH' として表示されるアドレスは, セグメント配置後の絶対アドレスです。
E8306	[メッセージ]	A multiple of 4 value expected (segment 'セグメント名', address xxxxxH, type 'アドレッシング・タイプ')
	[説明]	saddr アドレッシングのリロケータブル・オブジェクト・コードの解決に用いているオペランド値が, 4 の倍数になりませんでした。 (注意事項) メッセージの中で, 'address xxxxH' として表示されるアドレスは, セグメント配置後の絶対アドレスです。
E8403	[メッセージ]	Symbol 'シンボル名' unmatched type in file 'ファイル名 1'. First defined in file 'ファイル名 2'
	[説明]	同名外部定義/参照シンボルの型が, ファイル 1 とファイル 2 で異なります。
E8404	[メッセージ]	Multiple Symbol definition 'シンボル名' in file 'ファイル名 1'. First defined in file 'ファイル名 2'
	[説明]	オブジェクト・モジュール・ファイル 1 中で定義されている PUBLIC シンボルは, オブジェクト・モジュール・ファイル 2 ですすでに PUBLIC 宣言されています。
E8405	[メッセージ]	Undefined symbol 'シンボル名' in file 'ファイル名'
	[説明]	ファイルで EXTRN 宣言されているシンボルは, ほかのファイルで PUBLIC 宣言されていません。
E8410	[メッセージ]	Multiple module name definition 'モジュール名' in file 'ファイル 1'. First defined in file 'ファイル 2'
	[説明]	オブジェクト・モジュール・ファイル 1 のモジュール名と, オブジェクト・モジュール・ファイル 2 のモジュール名が同じです。
E8424	[メッセージ]	-ZF REL and not -ZF REL are mixed in file 'ファイル名'
	[説明]	フラッシュ・メモリ内蔵製品のブート領域 ROM プログラムのロード・モジュールと, フラッシュ領域プログラムのオブジェクト・モジュールをリンクする際, このオブジェクト・モジュールの中にコンパイル時に -zf オプションを指定していないものがあります。
E8425	[メッセージ]	There are different function ID in same name '関数名' (file 'ファイル名')
	[説明]	コンパイラで EXT_FUNC 宣言された同名の関数が, 異なる ID 値を持っています。
E8426	[メッセージ]	Multiple input BOOT file "ファイル名 1'. First input file 'ファイル名 2'
	[説明]	フラッシュ・メモリ内蔵製品のブート領域 ROM プログラムのロード・モジュールと, フラッシュ領域プログラムのオブジェクト・モジュールをリンクする際, ブート領域 ROM プログラムのロード・モジュールが複数入力されました。
	[対処方法]	ブート領域 ROM プログラムのロード・モジュール・ファイルを 1 つだけ指定してください。

E8427	[メッセージ]	BOOT REL and -ZF REL are mixed in file 'ファイル名'
	[説明]	-zb オプション指定時のリンクにおいて、コンパイル時に -zf オプション指定されたオブジェクト・モジュールが入力されています。
E8428	[メッセージ]	FLASH start address larger than ROM max address
	[説明]	フラッシュ・メモリ領域の先頭のアドレスが、対象デバイスの ROM エンド・アドレスより大きくなっています。
E8429	[メッセージ]	BOOT segment 'セグメント名' are found in FLASH file 'ファイル名'
	[説明]	フラッシュ・メモリ内蔵製品のブート領域 ROM プログラムのロード・モジュールと、フラッシュ領域 ROM プログラムのオブジェクト・モジュールのリンク時に、このオブジェクト・モジュールにフラッシュ・メモリ領域の先頭のアドレスより小さい配置アドレスのセグメントが存在しています。
E8431	[メッセージ]	There are different function name in same ID (関数名) (file 'ファイル名')
	[説明]	コンパイラで EXT_FUNC 宣言された複数の関数が、同じ ID 値をもっています。
E8432	[メッセージ]	Illegal allocate an EXT_FUNC function '関数名' (file 'ファイル名')
	[説明]	-zb オプション指定時のリンクにおいて、コンパイラ EXT_FUNC 宣言された関数の実体が存在しています。
E8433	[メッセージ]	Can't find FLASH start address in file 'ファイル名'
	[説明]	フラッシュのスタート・アドレスが見つかりません。
	[対処方法]	-zb を指定した LMF ファイルを入力してください。
E9300	[メッセージ]	プロジェクト・ファイル(ファイル名)が見つかりませんでした。
	[説明]	プロジェクト・ファイルが存在しません。
	[対処方法]	ファイルが存在するか確認してください。
E9301	[メッセージ]	プロジェクト・ファイル(ファイル名)の読み込みでエラーが発生しました
	[説明]	プロジェクト・ファイルの読み込み時にエラーが発生しました。 プロジェクト・ファイルが読み込み禁止である可能性があります。
E9302	[メッセージ]	不正なフォーマットがプロジェクト・ファイル(ファイル名)で見つかりました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルが、不正なフォーマットです。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルで不正なフォーマットを発見した場合に発生します。該当部を修正するか、プロジェクトを作り直してください。
E9303	[メッセージ]	ファイル名の起動に失敗しました。
	[説明]	sk78k0/k0r/850 の起動に失敗しました。
	[対処方法]	sk78k0.exe および sk78k0r.exe, sk850.exe の起動に失敗した場合に発生します。起動し直してください。再度失敗する場合には、正常にインストールされていない可能性があるため、再インストールしてください
E9310	[メッセージ]	一時ファイル(ファイル名)を作成できませんでした。
	[説明]	一時ファイルを作成できませんでした。
	[対処方法]	フォルダがファイルを作成可能な状態にあるか確認してください。
E0020001	[メッセージ]	製品一覧ファイル (xxxx) が見つかりません。
E0020002	[メッセージ]	このデバイスには対応していません。
E0020003	[メッセージ]	ファイルの読み込みエラーが発生しました。

E0021001	[メッセージ]	製品ファイル (xxxx) が見つかりません。
E0021002	[メッセージ]	このデバイスには対応していません。
E0021003	[メッセージ]	ファイルの読み込みエラーが発生しました。
E0021004	[メッセージ]	デバイス依存情報のアップデートに失敗しました。
E0022001	[メッセージ]	このデバイスには対応していません。
E0022002	[メッセージ]	端子情報ファイル (xxxx) が見つかりません。
E0022003	[メッセージ]	ファイルの読み込みエラーが発生しました。
E0023001	[メッセージ]	このデバイスには対応していません。
E0023002	[メッセージ]	デバイスファイル (xxxx) が見つかりません。
E0023003	[メッセージ]	デバイス拡張情報ファイル (xxxx) が見つかりません。
E0023004	[メッセージ]	ファイルの読み込みエラーが発生しました。
E0023005	[メッセージ]	xxxx は、デバイスファイルではありません。
E0023006	[メッセージ]	V850 マイクロコントローラは、未サポート。
E0023007	[メッセージ]	78K マイクロコントローラは、未サポート。
E0023008	[メッセージ]	78K0/78K0S、V850 マイクロコントローラは、未サポート。
E0023009	[メッセージ]	78K0R マイクロコントローラは、未サポート。
E0023010	[メッセージ]	78K0R、V850 マイクロコントローラは、未サポート。
E0023015	[メッセージ]	同じデバイス依存情報ファイルが複数存在します。デバイス依存情報ファイルをアンインストール もしくは Device_Custom フォルダから削除してください。 Device フォルダ : aaaa bbbb (XXXX/YYYYYのデバイス依存情報ファイルをアンインストールしてください。) Device_Custom フォルダ : cccc dddd (Device_Custom フォルダのデバイス依存情報ファイルと一覧ファイルの両方を削除してください。)
E0024001	[メッセージ]	このデバイスには対応していません。
E0024002	[メッセージ]	デバイス拡張情報ファイル (xxxx) が見つかりません。
E0024003	[メッセージ]	ファイルの読み込みエラーが発生しました。
E0025001	[メッセージ]	このデバイスには対応していません。
E0025002	[メッセージ]	デバイスファイル (xxxx) が見つかりません。
E0025003	[メッセージ]	端子情報ファイル (xxxx) が見つかりません。
E0025004	[メッセージ]	デバイス拡張情報ファイル (xxxx) が見つかりません。
E0025005	[メッセージ]	ファイルの読み込みエラーが発生しました。
E0100000	[メッセージ]	CubeSuite アップデート・マネージャの起動に失敗しました。 CubeSuite を再インストールしてください。
E0100002	[メッセージ]	アップデートを確認するためには製品のライセンスが必要です。ライセンス・マネージャを起動してライセンスを登録してください。

E0100003	[メッセージ]	"xxx" の起動に失敗しました。 "yyy" の読み込みに失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再インストールしてください。 それでも解決しない場合は、メッセージに記載されたファイルのあるフォルダのファイルをすべて削除してから再インストールしてください。
E0100004	[メッセージ]	"xxx" の書き込みに失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再インストールしてください。 それでも解決しない場合は、メッセージに記載されたファイルのあるフォルダのファイルをすべて削除してから再インストールしてください。
E0100005	[メッセージ]	"xxx" の起動に失敗しました。
	[対処方法]	インストーラならアップデートをやり直してください。 インストール済みのツールなら再インストールしてください。
E0100006	[メッセージ]	"xxx" の再起動に失敗しました。
	[対処方法]	手動で起動してください。
E0100007	[メッセージ]	CubeSuite アップデート・マネージャがインストールされていません。
	[対処方法]	CubeSuite アップデート・マネージャをインストールしてください。
E0100008	[メッセージ]	この CubeSuite アップデート・マネージャはインストールしたフォルダから移動されているため起動できません。
	[対処方法]	[スタート] メニューから起動してください。
E0100009	[メッセージ]	"xxx" の読み込みに失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再インストールしてください。 それでも解決しない場合は、メッセージに記載されたファイルのあるフォルダのファイルをすべて削除してから再インストールしてください。
E0100010	[メッセージ]	"xxx" の起動に失敗しました。 "yyy" の書き込みに失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再インストールしてください。 それでも解決しない場合は、メッセージに記載されたファイルのあるフォルダのファイルをすべて削除してから再インストールしてください。
E0110000	[メッセージ]	アップデート情報の取得に失敗しました。(エラーコード:xxx)
E0110001	[メッセージ]	アップデート情報の取得に失敗しました。(エラーコード:xxx) サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再確認してください。
	[対処方法]	サーバに問題がある可能性があります。 しばらく時間を置いてから再度確認してください。
E0110002	[メッセージ]	アップデート情報の取得に失敗しました。 接続がタイムアウトしました。
	[対処方法]	ネットワークの設定（プロキシ、ファイアウォール）に問題がある可能性があります。 ブラウザでインターネット上のサイトが表示できるか確認してください。



E0110003	[メッセージ]	アップデート情報の取得に失敗しました。 サーバが見つかりません。
	[対処方法]	ネットワークの設定 (DNS) に問題がある可能性があります。 ブラウザでインターネット上のサイトが表示できるか確認してください。
E0110004	[メッセージ]	アップデートが見つかりませんでした。
	[説明]	すでに最新の状態か、サポートされていないもの (未サポートのデバイス依存情報など) を取得しようとした場合に表示されます。
E0120000	[メッセージ]	必要なファイルが見つかりませんでした。ソフトウェアのバージョンが古い場合は最新バージョンに更新してください。
E0120001	[メッセージ]	ダウンロードに失敗しました。 xxx
E0120002	[メッセージ]	ダウンロードは中止されました。
E0120003	[メッセージ]	依存するアップデートのダウンロードに失敗したため、インストールできませんでした。
E0120004	[メッセージ]	インストールは中止されました。
E0120005	[メッセージ]	インストールに失敗しました。(エラーコード :xxx)
E0120006	[メッセージ]	別のプログラムによってアップデートが実行されています。完了後に再度実行してください。
E0120007	[メッセージ]	管理者権限の取得に失敗しました。
	[対処方法]	管理者でないユーザを指定した場合はやり直してください。
E0120008	[メッセージ]	依存するアップデートのインストールに失敗したため、インストールできませんでした。
E0120009	[メッセージ]	インストーラが見つかりません。
	[対処方法]	アップデートをやり直してください。
E0120010	[メッセージ]	必要なファイルをインストールするためのインストーラの起動に失敗しました。
	[対処方法]	アップデート・マネージャを起動してアップデートしてください。
E0120011	[メッセージ]	インストールが完了しませんでした。
	[説明]	インストーラ、またはアップデート・マネージャを起動したのち、インストールが完了する前にインストーラ、またはアップデート・マネージャを終了した場合に表示されます。
E0120012	[メッセージ]	必要なファイルが見つかりませんでした。アップデートを確認するためには製品のライセンスが必要です。ライセンス・マネージャを起動してライセンスを登録してください。
E0120013	[メッセージ]	アップデート・マネージャの起動がキャンセルされました。
E0120014	[メッセージ]	インストールが中断されました。次回ツール起動時に再開されます。
	[対処方法]	ツールが起動中ならいったん終了して起動し直してください。
E0120015	[メッセージ]	インストールを完了するには、システムを再起動する必要があります。
	[対処方法]	Windows を再起動してください。
E0120016	[メッセージ]	別のプログラムが必要なファイルをインストールしています。完了後に再度実行してください。



E0130000	[メッセージ]	コピーする対象が選択されていません。
E0130001	[メッセージ]	削除する対象が選択されていません。
E0130002	[メッセージ]	表示を復元する対象が選択されていません。
E0130003	[メッセージ]	"xxx" の削除に失敗しました。
E0140001	[メッセージ]	Windows xxx は、本製品の動作保証対象外の OS です。 本製品をインストールすることはできません。 インストールを中止します。
	[説明]	保証対象以外の Windows で統合インストーラを起動したときに表示されます。
E0140002	[メッセージ]	インストール情報を書き込む権限がありません。 インストールには、管理者権限が必要です。 インストールを中止します。
	[説明]	管理者権限のないユーザで起動したときに表示されます。
E0140003	[メッセージ]	.NET Framework 2.0 がインストールされていません。 本製品のインストールには、.NET Framework 2.0 が必要です。 インストールを中止します。
	[説明]	.NET Framework 2.0 が未インストールのホスト・マシンで統合インストーラを起動したときに表示されます。
E0140004	[メッセージ]	OS の言語が判別できません。 インストールを中止します。
	[説明]	Windows のレジストリが読めなくて言語識別ができなかったときに表示されます。 インストールを中止します。
E0140005	[メッセージ]	ファイル (xxx) が参照できません。 本製品のインストールに必要なファイルが壊れている可能性があります。 インストールを中止します。
	[説明]	構成不足、または情報ファイルが壊れているときに表示されます。
E0140008	[メッセージ]	本製品のインストールに必要なファイルを操作できませんでした。 インストールを中止します。
	[説明]	問い合わせ用の情報／アップデート機能で使用する情報のファイルをホスト・マシンにコピーできなかったときに表示されます。
E0140009	[メッセージ]	本製品のインストールに必要なファイル (xxx) をコピーできません。 コピー先に同名のファイルが存在します。 インストールを中止します。
	[説明]	問い合わせ用の情報／アップデート機能で使用する情報のファイルをホスト・マシンにコピーできなかったときに表示されます。
E0140010	[メッセージ]	インストールに必要な情報が取得できません。 CubeSuiteinstall.ini : xxx
	[説明]	本製品のインストールに必要な情報が設定されていない時に表示されます。 ファイルが壊れている可能性があります。
E0140012	[メッセージ]	使用許諾ファイルが参照できません。 本製品のインストールに必要なファイルが揃っていないか。壊れている可能性があります。 インストールを中止します。

E0140013	[メッセージ]	使用許諾が表示できません。 ファイルが壊れている可能性があります。 インストールを中止します。
E0140014	[メッセージ]	前回のインストール先フォルダ情報が取得できません。 インストールを中止します。
	[説明]	前回のインストール先を記録した情報ファイルが存在するのに、情報を読み込めなかったときに表示されます。
E0140015	[メッセージ]	インストール先に指定されたドライブは存在しないか、ネットワーク上にあるディスクです。 ローカル・ディスクのドライブを指定してください。
	[説明]	インストール先フォルダに、存在しないドライブを指定したとき、不正な文字を指定したとき、またはローカル・ディスクでないドライブを指定したときに表示されます。
E0140016	[メッセージ]	インストール先フォルダの指定が正しくありません。
	[説明]	インストール先フォルダに、フォルダとして使用できない文字が指定されたときに表示されます。
E0140017	[メッセージ]	ディスクの空き容量が不足しています。 インストール先のディスク容量を確保してください。
	[説明]	ディスクの空き容量が足りないときに表示されます。
E0140019	[メッセージ]	インストールに失敗しました。 OSを再起動してください。
	[説明]	一部ツールのインストールに失敗したが、成功したインストールで再起動の必要があるときに表示されます。
E0140020	[メッセージ]	インストールに失敗しました。 インストール完了前に中断されました。 OSの再起動が必要です。
	[説明]	インストールを中断して、完了した部分（中断前）の一部ツールのインストールに失敗したが、成功したインストールで再起動の必要があるときに表示されます。
E0140021	[メッセージ]	失敗したインストールがあります。 指定したツールのインストールが完了していません。
	[説明]	失敗したインストールがあったときに表示されます。
E0140023	[メッセージ]	インストールに失敗しました。 インストール完了前に中断されました。
	[説明]	インストールを途中で中断し、完了した部分（中断前）のインストールで失敗があったときに表示されます。
E0140024	[メッセージ]	本製品のインストールに必要なフォルダが作成できませんでした。 インストールを中止します。
	[説明]	他ツールとの連携用情報を配置するフォルダが作成できなかったときに表示されます。
E0140026	[メッセージ]	アップデート・マネージャが起動できませんでした。
	[説明]	セットアップ完了 ウィンドウで [アップデート・マネージャを起動] にチェックがあるときに、アップデート・マネージャの起動に失敗したときに表示されます。

E0140027	[メッセージ]	インストール状況の確認ができませんでした。 インストールを中止します。
	[説明]	ツールがインストールされているかどうかをチェックする状況で、レジストリが参照できなかったときに表示されます。
E0140028	[メッセージ]	「CubeSuite Utilities」がインストールされています。 インストールを開始する前に、 「アプリケーションの追加と削除」(Windows2000の場合)、 「プログラムの追加と削除」(WindowsXPの場合)、 「プログラムと機能」(Windows Vistaの場合)で 「CubeSuite Utilities」を削除してください。 インストールを中止します。
	[説明]	統合インストーラ起動時、CubeSuite 関連ツールとして「CubeSuite Utilities」だけがインストールされている状態を検出したときに表示されます。 インストールフォルダを変更する場合は、いったんすべての CubeSuite 関連ツールをアンインストールする必要があります。 インストールを開始する前に「CubeSuite Utilities」を削除してください。
	[対処方法]	「CubeSuite Utilities」をアンインストールしてから、統合インストーラを起動してください。
E0140030	[メッセージ]	インストール準備用画面 (xxx) を開けませんでした。 インストールを中止します。
	[説明]	フリー・ツール用の自己解凍形式ファイルを実行する際、インストール準備画面を表示できなかったとき、本エラーが表示されます。
E0140037	[メッセージ]	E1 用 USB ドライバインストーラが起動できませんでした。
E0180000	[メッセージ]	無効なライセンス・キーです。
E0180001	[メッセージ]	"xxxxxx" このライセンス・キーはすでに登録されています。
E0180002	[メッセージ]	"xxxxxx" このライセンス・キーを登録するには "yyyyyy" を先に登録する必要があります。
E0182000	[メッセージ]	ライセンス情報を "xxx" に書き込めませんでした。
E0190000	[メッセージ]	CubeSuite ライセンス・マネージャの起動に失敗しました。 CubeSuite を再インストールしてください。
E0190001	[メッセージ]	ライセンス情報を保存するフォルダが見つかりません。 CubeSuite を再インストールしてください。
E0200001	[メッセージ]	致命的なエラーが発生しました。
	[説明]	致命的なエラーが発生したときに表示されます。
	[対処方法]	CubeSuite をアップデートしてください。 サポートに問い合わせてください。
E0200002	[メッセージ]	プログラム (プログラム名) の起動に失敗しました。
	[説明]	IDE から Windows のプログラムを実行しようとして失敗したときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。

E0200003	[メッセージ]	エクスプローラで開けませんでした。
	[説明]	何らかの理由で開けなかったときに発生します。
	[対処方法]	エクスプローラへのパスを確認してください。
E0200004	[メッセージ]	指定したアプリケーションで開けませんでした。
	[説明]	プロジェクトツリーでファイルを指定したアプリケーションで開けなかった場合に発生します。
	[対処方法]	実行可能なアプリケーションを指定したかどうかを確認してください。
E0200005	[メッセージ]	クリップボードの設定に失敗しました。
	[説明]	クリップボードにデータを設定できなかったときに発生します。
	[対処方法]	メモリが足りない場合があります。
E0200006	[メッセージ]	ヘルプを開けませんでした。
	[説明]	ヘルプを開けなかったときに発生します。
	[対処方法]	CubeSuite をアップデートしてください。 サポートに問い合わせてください。
E0200007	[メッセージ]	対象アイテムが移動先アイテムと同列にないため移動できません。
	[説明]	ツリー上にてサブ・アイテムの同階層への移動に失敗したときに表示されます。
E0201001	[メッセージ]	名前の変更に失敗しました。
	[説明]	名前の変更に失敗したときに発生します。
	[対処方法]	ファイル名を変更する場合は、ファイルへのアクセス権を確認してください。
E0201002	[メッセージ]	ファイルまたはフォルダが読み取り専用設定されていないか確認してください。
	[説明]	プロジェクト情報の保存に失敗した場合に発生します。
	[対処方法]	フォルダ、またはファイルが読み取り専用になっていないか確認してください。
E0201003	[メッセージ]	ファイルが見つかりません。
	[説明]	ビルドに必要なファイル（ソースファイルなど）が見つからないことを表します。
E0201004	[メッセージ]	フォルダが見つかりません。
	[説明]	バック時に、コピー先フォルダが見つからないことを表します。
	[対処方法]	バック先のフォルダが読み取り専用になっていないか確認してください。
E0201005	[メッセージ]	フォルダの作成に失敗しました。
E0201006	[メッセージ]	xxx の読み込みに失敗しました。
	[説明]	ファイルの読み込みに失敗したときに発生します。
	[対処方法]	ファイルへのアクセス権を確認してください。
E0201007	[メッセージ]	xxx の書き込みに失敗しました。
	[説明]	ファイルへの書き込みに失敗したときに発生します。
	[対処方法]	ファイルへのアクセス権を確認してください。
E0201008	[メッセージ]	ファイル xxx の yyy への移動に失敗しました。
	[説明]	ファイルの移動に失敗したときに発生します
	[対処方法]	ファイルへのアクセス権を確認してください。

E0201009	[メッセージ]	一時ファイルの作成に失敗しました。
	[説明]	一時ファイルを作成できなかったときに表示されます。
	[対処方法]	ファイルへのアクセス権を確認してください。
E0201010	[メッセージ]	一時ファイルの削除に失敗しました。
	[説明]	一時ファイルを削除できなかったときに表示されます。
	[対処方法]	ファイルへのアクセス権を確認してください。
E0201011	[メッセージ]	xxxの保存に失敗しました。
	[説明]	ファイルの保存に失敗しました。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0201012	[メッセージ]	コピーできませんでした。
E0201013	[メッセージ]	ファイル xxx の作成に失敗しました。
	[説明]	ファイルを作成できなかったときに表示されます。
	[対処方法]	ファイルへのアクセス権を確認してください。
E0201015	[メッセージ]	ファイル xxx の保存設定に失敗しました。
	[説明]	ファイルの保存設定に失敗しました。
	[対処方法]	ファイル内容が不正の可能性があります。
E0202001	[メッセージ]	プロジェクトの作成に失敗しました。
	[説明]	プロジェクトの作成に失敗したことを表します。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0202002	[メッセージ]	プロジェクトの読み込みに失敗しました。
	[説明]	プロジェクトの読み込みに失敗したことを表します。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0202003	[メッセージ]	プロジェクトの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクトの保存に失敗したことを表します。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0202004	[メッセージ]	プロジェクトのバックに失敗しました。
	[説明]	プロジェクトのバックに失敗したことを表します。
	[対処方法]	バック先のフォルダに不正なパスを指定していないか、またはバック先のフォルダが読み取り専用になっていないか確認してください。
E0202005	[メッセージ]	プロジェクト・ファイルが壊れています。
	[説明]	ファイルの解析に失敗した場合に発生します。
	[対処方法]	開く対象は、CubeSuite 用プロジェクト・ファイルを指定してください。
E0202006	[メッセージ]	変換が可能なプロジェクト・ファイルではありません。
	[説明]	CubeSuite で扱えるプロジェクト・ファイル以外を開こうとした場合に発生します。
	[対処方法]	開く対象は、CubeSuite で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。
E0202007	[メッセージ]	プロジェクト情報を復元できません。
	[説明]	プロジェクト情報の復元、または変換に失敗した場合に発生します。また、流用元プロジェクトの構成抽出に失敗した場合にも発生します。
	[対処方法]	開く対象は、CubeSuite で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。

E0202008	[メッセージ]	有効なプロジェクト・ファイルではありません。
	[説明]	プロジェクト情報の復元に失敗したときに発生します。
	[対処方法]	開く対象は、CubeSuite で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。
E0202009	[メッセージ]	指定した項目をプロジェクトから外せませんでした。
	[説明]	削除に失敗したときに発生します。
	[対処方法]	削除できない項目です。
E0202010	[メッセージ]	サブプロジェクトの追加に失敗しました。
	[説明]	追加に失敗したときに発生します。
	[対処方法]	ファイルが存在するか、またはファイルが破壊されていないか確認してください。
E0202011	[メッセージ]	プロジェクト情報が無効です。
	[説明]	ファイルの解析に失敗したときに発生します。
	[対処方法]	開く対象は、CubeSuite で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。
E0202012	[メッセージ]	有効なプロジェクト情報がありません。
	[説明]	プロジェクト情報の復元、または変換に失敗したときに発生します。また、流用元プロジェクトの構成抽出に失敗した場合にも発生します。
	[対処方法]	開く対象は、CubeSuite で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。
E0202013	[メッセージ]	アイテム情報を復元できません。
	[説明]	プロジェクト情報の復元、または変換に失敗したときに発生します。また、流用元プロジェクトの構成抽出に失敗した場合にも発生します。
	[対処方法]	開く対象は、CubeSuite で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。
E0202014	[メッセージ]	ファイル情報を復元できません。
	[説明]	プロジェクト情報の復元、または変換に失敗したときに発生します。また、流用元プロジェクトの構成抽出に失敗した場合にも発生します。
	[対処方法]	開く対象は、CubeSuite で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。
E0202015	[メッセージ]	カテゴリ情報を復元できません。
	[説明]	プロジェクト情報の復元、または変換に失敗したときに発生します。また、流用元プロジェクトの構成抽出に失敗した場合にも発生します。
	[対処方法]	開く対象は、CubeSuite で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。
E0202016	[メッセージ]	同一 ID を持つサブプロジェクトがすでに登録されています。
	[説明]	同一 ID であるサブプロジェクトを追加しようとしたときに発生します。
	[対処方法]	同一 ID のサブプロジェクトは追加できません。追加したいサブプロジェクト・ファイルを流用元として、新規サブプロジェクトの追加を行ってください。
E0202017	[メッセージ]	ビルド・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのビルド・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202018	[メッセージ]	ビルド・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのビルド・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。

E0202019	[メッセージ]	共通オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへの共通オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202020	[メッセージ]	共通オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからの共通オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202021	[メッセージ]	コンパイル・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのコンパイル・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202022	[メッセージ]	コンパイル・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのコンパイル・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202023	[メッセージ]	アセンブル・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのアセンブル・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202024	[メッセージ]	アセンブル・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのアセンブル・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202025	[メッセージ]	リンク・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのリンク・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202026	[メッセージ]	リンク・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのリンク・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202027	[メッセージ]	ライブラリ・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのライブラリ・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202028	[メッセージ]	ライブラリ・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのライブラリ・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202029	[メッセージ]	オブジェクト・コンバート・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのオブジェクト・コンバート・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202030	[メッセージ]	オブジェクト・コンバート・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのオブジェクト・コンバート・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。



E0202031	[メッセージ]	コンパイル・ビルド設定オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのコンパイル・ビルド設定オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202032	[メッセージ]	コンパイル・ビルド設定オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのコンパイル・ビルド設定オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202033	[メッセージ]	アセンブル・ビルド設定オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのアセンブル・ビルド設定オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202034	[メッセージ]	アセンブル・ビルド設定オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのアセンブル・ビルド設定オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202035	[メッセージ]	個別コンパイル・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへの個別コンパイル・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202036	[メッセージ]	個別コンパイル・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからの個別コンパイル・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202037	[メッセージ]	個別アセンブル・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへの個別アセンブル・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202038	[メッセージ]	個別アセンブル・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからの個別アセンブル・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202039	[メッセージ]	プロジェクトの操作が禁止されています。
	[説明]	プロジェクトの操作禁止中（ビルド中）にプロジェクトの構成を変更しようとしたときに発生します。
	[対処方法]	現在の処理が終了するまでお待ちください。
E0202040	[メッセージ]	プロジェクトの操作を許可できませんでした。
	[説明]	プロジェクトの操作禁止を解除失敗時に発生します。
	[対処方法]	現在の処理が終了するまでお待ちください。
E0202041	[メッセージ]	ビルド中はプロジェクトを閉じたり、ウィンドウを閉じたりすることはできません。
	[説明]	プロジェクトのクローズに失敗したときに発生します。
	[対処方法]	ビルド中はプロジェクトを閉じることができません。



E0202042	[メッセージ]	検索中はプロジェクトを閉じたり、ウインドウを閉じたりすることはできません。
	[説明]	プロジェクトのクローズに失敗したときに発生します。
	[対処方法]	検索中はプロジェクトを閉じることができません。
E0202044	[メッセージ]	オブジェクト・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのオブジェクト・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202045	[メッセージ]	ROM 化プロセス・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへの ROM 化プロセス・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202046	[メッセージ]	ROM 化プロセス・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからの ROM 化プロセス・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202047	[メッセージ]	アーカイブ・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのアーカイブ・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202048	[メッセージ]	アーカイブ・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのアーカイブ・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202049	[メッセージ]	変換が可能な PM+ 用プロジェクト・ファイルではありません。
	[説明]	V6.00 より古い PM+ 用プロジェクト (*.prj) を開こうとした場合に発生します。
	[対処方法]	V1 で扱うことができるのは、PM+ プロジェクト・フォーマット V6.00 以上です。開く対象は、CubeSuite で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。
E0202050	[メッセージ]	保存先に指定した場所が不正です。プロジェクト・フォルダ以外のフォルダを指定してください。
	[説明]	作成場所として指定したパスが不正です。
	[対処方法]	作成場所を指定し直してください。
E0202051	[メッセージ]	セクション・ファイル・ジェネレート・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのセクション・ファイル・ジェネレート・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202052	[メッセージ]	セクション・ファイル・ジェネレート・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのセクション・ファイル・ジェネレート・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202053	[メッセージ]	クロス・リファレンス・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのクロス・リファレンス・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。

E0202054	[メッセージ]	クロス・リファレンス・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのクロス・リファレンス・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202055	[メッセージ]	メモリ・レイアウト視覚化オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのメモリ・レイアウト視覚化オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202056	[メッセージ]	メモリ・レイアウト視覚化オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのメモリ・レイアウト視覚化オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202057	[メッセージ]	ダンプ・オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのダンプ・オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202058	[メッセージ]	ダンプ・オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのダンプ・オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202059	[メッセージ]	メモリ・バンク配置オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのメモリ・バンク配置オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202060	[メッセージ]	メモリ・バンク配置オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのメモリ・バンク配置オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202061	[メッセージ]	変数／関数情報オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへの変数／関数情報オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202062	[メッセージ]	変数／関数情報オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからの変数／関数情報オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202063	[メッセージ]	リンク・ディレクティブ設定情報の保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのリンク・ディレクティブ設定データの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202064	[メッセージ]	リンク・ディレクティブ設定情報の復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのリンク・ディレクティブ設定データの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。

E0202065	[メッセージ]	プロジェクトに登録可能なファイル数の上限 (xxx 個) を越えました。
	[説明]	プロジェクトにファイルを追加中に、登録可能なファイルの上限数を越えました。
	[対処方法]	不要なファイルをプロジェクトから外して、登録ファイル数を減らしてください。
E0202066	[メッセージ]	使用しているツール・バージョンでは扱えないプロジェクト・ファイルです。
	[説明]	互換性のないプロジェクト・ファイルを読み込もうとしました。
	[対処方法]	指定されたプロジェクト・ファイルを作成したツール・バージョンと同一か確認してください。必要であれば、統合開発環境フレームワークとプラグインをアップデートしてください。
E0202067	[メッセージ]	ヘキサ出力オプションの保存に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルへのヘキサ出力オプションの保存に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0202068	[メッセージ]	ヘキサ出力オプションの復元に失敗しました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルからのヘキサ出力オプションの復元に失敗しました。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。
E0203001	[メッセージ]	ビルド中にエラーが発生しました。
	[説明]	ビルド中にエラーが発生したことを表します。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0203002	[メッセージ]	リビルド中にエラーが発生しました。
	[説明]	リビルド中にエラーが発生したことを表します。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0203003	[メッセージ]	クリーン中にエラーが発生しました。
	[説明]	クリーン中にエラーが発生したことを表します。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0203004	[メッセージ]	ビルドの停止でエラーが発生しました。
	[説明]	ビルドの停止でエラーが発生したことを表します。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0203005	[メッセージ]	バッチ・ビルドに失敗しました。
	[説明]	バッチ・ビルドダイアログから、バッチ・ビルドを実行したときに、例外（ビルド・エラー以外）が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	ビルド・ツールが存在するか確認してください。
E0203006	[メッセージ]	バッチ・リビルドに失敗しました。
	[説明]	バッチ・ビルドダイアログから、バッチ・リビルドを実行したときに、例外（ビルド・エラー以外）が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	ビルド・ツールが存在するか確認してください。
E0203007	[メッセージ]	バッチ・クリーンに失敗しました。
	[説明]	バッチ・ビルドダイアログから、バッチ・クリーンを実行したときに、例外（ビルド・エラー以外）が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	ビルド・ツールが存在するか確認してください。

E0203008	[メッセージ]	ビルド・モードの設定に失敗しました。
	[説明]	ビルド・モード設定 ダイアログでエラー時に表示されます。
	[対処方法]	入力値が正しいことを確認してください。
E0203009	[メッセージ]	ビルド・オプション一覧の表示に失敗しました。
	[説明]	ビルド・オプション一覧の表示に失敗したときに表示されます。
	[対処方法]	ビルド・ツールのインストールを確認してください。
E0203010	[メッセージ]	依存関係の更新に失敗しました。
	[説明]	ファイルの依存関係の更新に失敗したときに表示されます。
	[対処方法]	ファイルへのアクセス権、またはCソース中に不正なパスが入力されていないことを確認してください。
E0203011	[メッセージ]	リンク順設定に失敗しました。
	[説明]	リンク順設定に失敗したときに表示されます。
	[対処方法]	リンク順の指定が間違っていないか確認してください。
E0203012	[メッセージ]	アセンブルに失敗しました。
	[説明]	コマンドを実行できなかった場合に発生します。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0203013	[メッセージ]	コンパイルに失敗しました。
	[説明]	コマンドを実行できなかった場合に発生します。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0203014	[メッセージ]	プロジェクトにビルダが設定されていません。
	[対処方法]	ビルド・ツールが正しくインストールされているか、確認してください。
E0203015	[メッセージ]	ビルド・モードの追加に失敗しました。
	[説明]	ビルド・モード設定 ダイアログで追加の失敗時に表示されます。
	[対処方法]	入力値が正しいことを確認してください。
E0203016	[メッセージ]	ビルド・モード名の変更に失敗しました。
	[説明]	不正なビルド・モード名の入力時に表示されます。
	[対処方法]	入力値が正しいことを確認してください。
E0203017	[メッセージ]	現在のビルド・モードの変更に失敗しました。
	[説明]	存在しないビルド・モードが指定されました
	[対処方法]	入力値が正しいことを確認してください。
E0203018	[メッセージ]	ビルド・モードの複製に失敗しました。
	[説明]	存在しないビルド・モードが指定されました
	[対処方法]	入力値が正しいことを確認してください。
E0203019	[メッセージ]	ビルド・モードの削除に失敗しました。
	[説明]	存在しないビルド・モードが指定されました。
	[対処方法]	入力値が正しいことを確認してください。

E0203021	[メッセージ]	同名のビルド・モードがすでに存在します。
	[説明]	同名のビルド・モードがすでに存在するときに表示されます。
	[対処方法]	入力値が正しい事を確認してください。
E0203023	[メッセージ]	ビルド中です。
	[説明]	ビルド中にビルドを行おうとしたときに発生します。
	[対処方法]	ビルドが完了するまでお待ちください。
E0203025	[メッセージ]	インクルード・パスの設定数が上限 (xxx) を越えました。
	[説明]	インクルードパスの設定数がビルド開始時に上限を越えていたときに表示されます。
	[対処方法]	追加のインクルードパスを減らしてください。
E0203026	[メッセージ]	ライブラリ・パスの設定数が上限 (xxx) を越えました。
	[説明]	ライブラリパスの設定数がビルド開始時に上限を越えていたときに表示されます。
	[対処方法]	追加のインクルードパスを減らしてください。
E0203027	[メッセージ]	ライブラリ・ファイルの設定数が上限 (xxx) を越えました。
	[説明]	ライブラリの設定数がビルド開始時に上限を越えていたときに表示されます。
	[対処方法]	使用するライブラリファイルを減らしてください。
E0203028	[メッセージ]	プロジェクトで使用するコンパイラ・パッケージ (xxx) が1つもインストールされていません。
	[説明]	コンパイラ・パッケージが1つもインストールされていない時に表示されます。
	[対処方法]	ビルド・ツールが正しくインストールされているか、確認してください。
E0204001	[メッセージ]	ダウンロードに失敗しました。
	[説明]	ダウンロード実行中にエラーが発生した場合に発生します。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか、またはメモリマッピングを確認してください。
E0205002	[メッセージ]	編集できませんでした。
	[説明]	何らかの理由で編集できなかった場合に発生します。
E0205003	[メッセージ]	検索または置換に失敗しました。
	[説明]	何らかの理由で検索または置換に失敗した場合に発生します。
	[対処方法]	メモリが不足している場合があります。
E0205004	[メッセージ]	xxxの検索または置換に失敗しました。
	[説明]	何らかの理由で検索または置換に失敗した場合に発生します。
	[対処方法]	メモリが不足している場合があります。
E0206001	[メッセージ]	現在検索中です。検索が完了するまで次の検索は実行できません。
	[説明]	検索中に検索しようとした場合に表示されます。
	[対処方法]	検索を中断するか、完了するまでお待ちください。
E0207001	[メッセージ]	メモリへの書き込みに失敗しました。
	[説明]	メモリパネルで、[Enter] キーを押下して書き込むときに、デバッグ・ツールのエラーが発生しました。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。

E0207002	[メッセージ]	指定した範囲は、書き込みできないメモリ領域を含んでいます。
	[説明]	メモリ初期化 ダイアログにて、[OK] ボタンを押下したときに発生します。
	[対処方法]	指定した範囲に、書き込みできないメモリ領域を含んでいないかを確認してください。
E0207003	[メッセージ]	フラッシュ・オプションへの書き込みに失敗しました。
	[説明]	[フラッシュ・オプション設定] ダイアログにて、[書き込み] ボタンを押下したときに発生します。
	[対処方法]	デバッグツールの接続、および設定に問題がないか確認してください。
E0208001	[メッセージ]	ブレーク・イベントを削除できませんでした。
	[説明]	エディタ パネル、および逆アセンブル パネルでブレークポイントを削除できなかったときに発生します。
	[対処方法]	デバッグ・ツールと接続できているか確認してください。
E0208002	[メッセージ]	ブレーク・イベントを設定できませんでした。
	[説明]	エディタ パネル、および逆アセンブル パネルでブレークポイントを設定できなかったときに発生します。
	[対処方法]	設定値が不正の可能性があります。 デバッグ・ツールと接続できているか確認してください。
E0208003	[メッセージ]	ダウンロード後にファイル (xxx) が変更されているため、このパネルからのイベント設定や PC 位置の変更など、行番号に依存する設定はできません。
	[説明]	ダウンロード後にファイルが変更されているときに発生します。
	[対処方法]	ビルドされた新しいモジュールをダウンロードしてください。
E0208004	[メッセージ]	アクション・イベントの設定に失敗しました。
E0208005	[メッセージ]	トレース・イベントを設定できませんでした。
	[説明]	エディタ パネル、および逆アセンブル パネルでトレースイベントを設定できなかったときに発生します。
	[対処方法]	設定値が不正の可能性があります。 デバッグ・ツールと接続できているか確認してください。
E0208006	[メッセージ]	タイマ・イベントを設定できませんでした。
	[説明]	エディタ パネル、および逆アセンブル パネルでタイマ・イベントを設定できなかったときに発生します。
	[対処方法]	設定値が不正の可能性があります。 デバッグ・ツールと接続できているか確認してください。
E0208009	[メッセージ]	指定した場所にイベントの設定はできません。
	[説明]	[イベント設定] メニューで発生します。
	[対処方法]	シンボル情報がない場合に発生します。
E0208010	[メッセージ]	イベントを無効にできませんでした。
	[説明]	[イベント設定] メニューで発生します。
	[対処方法]	シンボル情報がない場合に発生します。

E0208011	[メッセージ]	イベントを削除できませんでした。
	[説明]	[イベント設定] メニューで発生します。
	[対処方法]	シンボル情報がない場合に発生します。
E0208012	[メッセージ]	イベントを有効にできませんでした。
	[説明]	[イベント設定] メニューで発生します。
	[対処方法]	シンボル情報がない場合に発生します。
E0208013	[メッセージ]	アクション・イベントは xxx 個まで設定可能です。
	[説明]	提示されている数までアクション・イベントを登録できます。
	[対処方法]	不要なアクション・イベントは削除してください。
E0209001	[メッセージ]	プログラムのリセットで失敗しました。
	[説明]	[リセット] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0209002	[メッセージ]	プログラムの実行に失敗しました。
	[説明]	[実行] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0209003	[メッセージ]	プログラムの停止に失敗しました。
	[説明]	[停止] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0209004	[メッセージ]	ステップ・インの実行に失敗しました。
	[説明]	[ステップ・イン] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0209005	[メッセージ]	ステップ・オーバの実行に失敗しました。
	[説明]	[ステップ・オーバ] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0209006	[メッセージ]	リターン・アウトに失敗しました。
	[説明]	[リターン・アウト] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0209007	[メッセージ]	PC 値の設定に失敗しました。
	[説明]	[PC をここに設定] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0209008	[メッセージ]	ここまで実行の実行に失敗しました。
	[説明]	ここまで [実行] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0209009	[メッセージ]	リスタートに失敗しました。
	[説明]	[リスタート] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0209010	[メッセージ]	ここまでリターンに失敗しました。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。



E0209011	[メッセージ]	フック処理の実行に失敗しました (xxx.yyy)。
	[説明]	フック処理に失敗したときに表示されます。
	[対処方法]	フック処理の記述に間違いがないか確認してください。
E0210001	[メッセージ]	デバッグ・ツールの終了に失敗しました。
	[説明]	[デバッグ・ツールから切断] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0210002	[メッセージ]	デバッグ・ツールの開始に失敗しました。
	[説明]	[デバッグ・ツールへの接続] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0210003	[メッセージ]	デバッグ・ツールとの接続が切断されたためデバッグを中止します。
	[説明]	USB 接続または ICE の電源が切れたときに表示されます。
	[対処方法]	エミュレータの電源を確認してください。 USB ケーブルが切断されていないか確認してください。
E0210004	[メッセージ]	カバレッジ結果の再利用情報の保存に失敗しました。 [再試行] : もう一度保存し直します。 [キャンセル] : 切断処理を続けます。
	[説明]	カバレッジ結果の保存に失敗したときに表示されます。
	[対処方法]	ファイルへのアクセス権を確認してください。
E0210005	[メッセージ]	カバレッジ結果の再利用に失敗しました。 [再試行] : もう一度読み込み直します。 [キャンセル] : 接続処理を続けます。
	[説明]	カバレッジ結果の読み込みに失敗したときに表示されます。
	[対処方法]	ファイルへのアクセス権を確認してください。
E0210006	[メッセージ]	デバッグ・ツールとの通信でタイム・アウトが発生したため、デバッグ・ツールから切断します。
	[説明]	デバッグ・ツールとの通信でタイム・アウトが発生した時に表示されます。
	[対処方法]	エミュレータの電源を確認してください。 USB ケーブルが切断されていないか確認してください。
E0210007	[メッセージ]	デバッグ・ツールへのデータ設定に失敗しました
	[説明]	デバッグ・ツールへの、データの設定に失敗した時に表示されます。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。 エミュレータの電源を確認してください。 USB ケーブルが切断されていないか確認してください。
E0213001	[メッセージ]	デバイス情報の初期化に失敗しました。
	[説明]	インストールされていないデバイス情報を使用するプロジェクトの読み込み、または変換を行おうとした場合に発生します。 デバイス情報関連ファイルが破損しています。



E0213002	[メッセージ]	サポート対象外のマイクロコントローラです。
	[説明]	インストールされていないデバイス情報を使用するプロジェクトの読み込み、または変換を行おうとした場合に発生します。 デバイス情報関連ファイルが破損しています。
E0213003	[メッセージ]	マイクロコントローラ情報の取得に失敗しました。
	[説明]	マイクロコントローラ情報使用時に対象の情報を取得できなかった場合に発生します。
	[対処方法]	正しいマイクロコントローラ情報関連ファイルがインストールされているかを確認してください。
E0218001	[メッセージ]	存在しないビルド・モードが指定されました。
	[説明]	IDE をコマンド起動した場合に、表示するエラーです。
	[対処方法]	プロジェクトで定義されているビルド・モードを指定してください。
E0218002	[メッセージ]	不正なコマンドライン・オプションが指定されました。
	[説明]	定義されていない組み合わせのオプションが指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	正しいオプションを指定してください。
E0218003	[メッセージ]	不明なコマンドライン・オプション xxx が指定されました。
	[説明]	IDE でもプラグインでも処理されないオプションが指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	正しいオプションを指定してください。
E0218004	[メッセージ]	/bb,/bc,/bcb,/br は同時に指定できません。
	[説明]	/bb,/bc,/bcb,/br オプションが同時に指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	/bb,/bc,/bcb,/br オプションを同時に指定しないでください。
E0218005	[メッセージ]	xxx オプションは、パラメータを {1} 個までしか指定できません。
	[説明]	オプションに指定可能な個数以上のパラメータが指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	指定可能な数のパラメータを指定してください。
E0218006	[メッセージ]	有効なプロジェクト・ファイルを指定してください。
	[説明]	コマンドラインからの起動時にプロジェクトファイルが指定されていない場合に表示されます。
	[対処方法]	有効なプロジェクトファイルを指定してください。
E0218007	[メッセージ]	xxx オプションは、yyy には指定できません。
	[説明]	コマンドラインから GUI モードで起動時に GUI モードで使用できないオプションが指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	コマンドラインから GUI モードで起動時に無効なオプションを指定しないでください。
E0219001	[メッセージ]	外部ツールの実行に失敗しました。
	[説明]	[ツール] メニュー、[< ツール名 >] メニューで外部ツールを実行したときに、ファイルがないなどで実行できなかった場合に表示されます。
	[対処方法]	指定されたコマンドのパスが正しいことを確認してください。

E0220001	[メッセージ]	ソースヘジャンプに失敗しました。
	[説明]	[ソースヘジャンプ] メニュー実行時に何かしらの例外が発生したときに表示されま す。
	[対処方法]	指定された位置にソース情報がない可能性があります。その場合、ここからはジャン プできません。 対象のソース・ファイルが存在するかどうか確認してください。 デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0220002	[メッセージ]	逆アセンブルヘジャンプに失敗しました。
	[説明]	[逆アセンブルヘジャンプ] メニュー実行時に何かしらの例外が発生したときに表 示されます。
	[対処方法]	指定された位置からジャンプ先アドレスを取得できなかった可能性があります。その 場合、ここからはジャンプできません。 デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0220003	[メッセージ]	メモリヘジャンプに失敗しました。
	[説明]	[メモリヘジャンプ] メニュー実行時に何かしらの例外が発生したときに表示されま す。
	[対処方法]	指定された位置からジャンプ先アドレスを取得できなかった可能性があります。その 場合、ここからはジャンプできません。 デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0220004	[メッセージ]	このときのローカル変数を表示に失敗しました。
	[説明]	このときの [ローカル変数を表示] メニューの実行時に何かしらのエラーが発生した ときに表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。
E0220005	[メッセージ]	移動できませんでした。
	[説明]	逆アセンブル パネルの移動コマンドで失敗したときに発生します。
	[対処方法]	移動先のアドレスの解決に失敗したときに発生します。
E0220006	[メッセージ]	削除に失敗しました。
	[説明]	削除に失敗したときに発生します。
	[対処方法]	ファイルの削除の場合、ファイルへのアクセス権限を確認してください。
E0220007	[メッセージ]	クリアに失敗しました。
	[説明]	クリアに失敗したときに発生します。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0220008	[メッセージ]	xxx の実行に失敗しました。
	[説明]	実行に失敗したときに発生します。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0222001	[メッセージ]	プロジェクトの作成場所が存在しません。
	[説明]	プロジェクトの作成場所に指定したフォルダが存在しないことを表します。
	[対処方法]	存在するフォルダを指定してください。

E0222002	[メッセージ]	プロジェクト名が不正です。ファイル名として使用できる文字を入力してください。
	[説明]	プロジェクト名にファイル名として使用できない文字が使われています。
	[対処方法]	プロジェクト名を指定し直してください。
E0222003	[メッセージ]	プロジェクトの作成場所が不正です。パス名として使用できる文字を入力してください。
	[説明]	作成場所として指定したパスが不正です。
	[対処方法]	作成場所を指定し直してください。
E0222005	[メッセージ]	プロジェクト・フォルダ xxx の作成に失敗しました。
	[説明]	指定されたフォルダの作成に失敗しました。
	[対処方法]	表示されているメッセージを元に対処してください。
E0222006	[メッセージ]	流用元のプロジェクトが存在しません。
	[説明]	指定されたプロジェクトが見つかりません。
	[対処方法]	プロジェクトを指定し直してください。
E0222007	[メッセージ]	流用元のプロジェクト名が不正です。ファイル名として使用できる文字を入力してください。
	[説明]	指定されたプロジェクトのプロジェクト名が不正です。
	[対処方法]	プロジェクトを指定し直してください。
E0222009	[メッセージ]	現在開いているプロジェクトは流用元に指定できません。
	[説明]	指定されたプロジェクトが開かれています。
	[対処方法]	プロジェクトを指定し直してください。
E0222010	[メッセージ]	流用元プロジェクトとしてプロジェクト・ファイルが指定されていません。
	[説明]	指定されたファイルが不正です。
	[対処方法]	プロジェクトを指定し直してください。
E0222011	[メッセージ]	パスを含むファイル名が長すぎます。xxx 文字以内になしてください。
	[説明]	プロジェクト名および作成場所として指定したパスが長すぎます。
	[対処方法]	プロジェクト名、または作成場所を指定し直してください。
E0222012	[メッセージ]	サブプロジェクト名が不正です。メイン・プロジェクトと同じ場所に、同名のサブプロジェクトは作成できません。
	[説明]	指定された作成場所に、同名（拡張子を除く）のメイン・プロジェクトが存在しています。
	[対処方法]	プロジェクト名、または作成場所を指定し直してください。
E0222013	[メッセージ]	作成可能なマイクロコントローラが1つも存在しません。インストールの確認をお願いします。
	[説明]	マイクロコントローラが見つかりません。
	[対処方法]	CubeSuite が正しくインストールされていることを確認してください。
E0223001	[メッセージ]	指定したファイルを開けませんでした。
	[説明]	プロジェクト・ツリーパネルでファイルを開けなかったときに発生します。
	[対処方法]	ファイルが存在するか、またはファイルが破壊されていないか確認してください。ファイルへのアクセス権限を確認してください。

E0223002	[メッセージ]	xxx の削除に失敗しました。
	[説明]	ファイルなどの削除に失敗したときに表示されます。
	[対処方法]	ファイルの削除の場合、ファイルへのアクセス権限を確認してください。
E0223003	[メッセージ]	指定したファイル xxx を開けませんでした。
	[説明]	エディタ パネルでファイルを開けなかったときに発生します。
	[対処方法]	ファイルが存在するか、またはファイルが破壊されていないか確認してください。 ファイルへのアクセス権限を確認してください。 ファイルがサポートされていない形式でないか確認してください。
E0223004	[メッセージ]	文字コードの判別に失敗しました。
	[説明]	エディタ パネルでファイルの文字コードの判別に失敗したときに発生します。
	[対処方法]	ファイルが破壊されていないか確認してください。 ファイルがサポートされていない形式でないか確認してください。
E0223005	[メッセージ]	これ以上文字を入力できません。
	[説明]	エディタ パネルでファイルの文字コードの判別に失敗したときに発生します。
	[対処方法]	文字数が制限を越えています。
E0223006	[メッセージ]	プロジェクト・ツリーに登録可能なカテゴリのネスト数の上限 (xxx 個) を越えました。
	[説明]	プロジェクト・ツリーにカテゴリを追加中に、登録可能なカテゴリのネスト数の上限を越えた場合に発生します。
	[対処方法]	カテゴリのネスト数の上限を越えないようにプロジェクトに登録してください。
E0233001	[メッセージ]	これ以上新しいパネルを開けませんでした。
	[説明]	新しいエディタ パネルを開けないときに発生します。
	[対処方法]	エディタ パネルの上限は 100 パネルです。不要なパネルを閉じてから新しく開いてください。
E0233002	[メッセージ]	バイナリファイルはサポートしていません。
	[説明]	エディタでバイナリを読み込もうとしたときに表示されます。
	[対処方法]	テキスト・ファイルを開いてください。
E0233003	[メッセージ]	指定したファイルを表示できませんでした。
	[説明]	OS に、ファイルの拡張子に対するアプリケーションが割り当てられていません。 表示できるエディタの数を越えた場合に表示されます。 外部エディタが開けない場合に表示されます。
	[対処方法]	ファイルへのアクセス権を確認してください。 表示しているエディタの数を減らしてください。
E0233004	[メッセージ]	同時に開くことのできるエディタ パネルの上限を越えました。作業を継続するには、いくつかのエディタ パネルを閉じてください。
	[説明]	CubeSuite 起動中に同時に開くことのできるエディタ パネルの上限は 100 です。100 に達するまでに、メモリ確保に失敗した場合も上限扱いとして、このメッセージが表示されます。
	[対処方法]	いくつかのエディタ パネルを閉じてください。

E0255001	[メッセージ]	指定されたフォントを選択できませんでした。
	[説明]	フォント ダイアログで、例外が起きたときに表示されます。
	[対処方法]	利用可能なフォントを選択してください。
E0261001	[メッセージ]	リンク・ディレクティブ・ファイルの生成に失敗しました。
	[説明]	リンク・ディレクティブ・ファイルの生成に失敗した際に表示されます。
	[対処方法]	正しい設定情報を入力してください。 ファイルを書き込み可能な状態にしてください。 プロジェクトをファイル追加/編集可能な状態にしてください。
E0261002	[メッセージ]	コピーできませんでした。この属性のセクションは、指定のセグメントに含めることができません。
	[説明]	セクションのコピー時に、属性の関係により含めることができないセグメント内にコピーしようとした際に表示されます。
	[対処方法]	コピー元のセクションの属性を変更してください。 コピー先のセグメントの属性を変更してください。
E0261003	[メッセージ]	リンク・ディレクティブ生成 ダイアログを開けませんでした。
	[説明]	リンク・ディレクティブ生成 ダイアログを開くことに失敗した場合に表示されます。
	[対処方法]	正しいマイクロコントローラ情報を設定してください。
E0262001	[メッセージ]	ソース・コンバータの起動に失敗しました。
	[説明]	ソース・コンバータ起動時に必要なファイルを作れなかったときに表示されます。
	[対処方法]	作成するプロジェクトの場所を変更するなどして再試行してください。
E0300001	[メッセージ]	端子配置に必要なファイル'ファイル名'が見つかりません。
	[対処方法]	必要なファイルがインストールされていない可能性があるため、ファイルがインストールされているか確認してください。
E0300002	[メッセージ]	端子配置に必要なファイル'ファイル名'が読み込めませんでした。
	[対処方法]	必要なファイルが壊れている可能性があるため、正しいファイルをインストールし直してください。
E0300003	[メッセージ]	端子配置に必要な情報が読み込めませんでした。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルが保存されたときと同じ状態で開けないときに表示されます。CubeSuite のインストール状態を確認してください。
E0400000	[メッセージ]	指定された関数名はすでに存在します。別の名前を指定してください。
E0400001	[メッセージ]	指定されたファイル名はすでに存在します。別の名前を指定してください。
E0400002	[メッセージ]	関数名には次の文字以外は使えません。_, a-z, A-Z, 0-9。
E0400003	[メッセージ]	ファイル名には次の文字以外は使えません。_, a-z, A-Z, 0-9。
E0400004	[メッセージ]	生成先フォルダは無効です。“[出力設定]->[ファイル生成モード]->[生成先フォルダ]”を確認してください。
E0400005	[メッセージ]	xxx の保存に失敗しました
E0400006	[メッセージ]	このプロジェクトはサポートしていません。
E0400007	[メッセージ]	このコンパイラはサポートしていません。
E0400008	[メッセージ]	このデバイスはサポートしていません。
E0400009	[メッセージ]	プロジェクト・ファイルが壊れています。

E0400010	[メッセージ]	ポーレートが許容範囲を超えています。
E0400011	[メッセージ]	有効なレジスタ名ではありません。もう一度入力してください。
E0400012	[メッセージ]	ファイルの出力に失敗しました :
E0400013	[メッセージ]	xxxの保存に失敗しました。
E0400014	[メッセージ]	生成先フォルダは無効です！ “[出力設定]->[ファイル生成モード]->[生成先フォルダ]” をチェックしてください。
	[対処方法]	コード生成部のプロパティの [出力設定] → [ファイル生成モード] → [生成先フォルダ] で、パスを指定してください。
E0511101	[メッセージ]	" 文字列" オプションで指定された " パス名" はフォルダです。入力ファイルを指定してください。
E0511102	[メッセージ]	" 文字列" オプションで指定されたファイル " ファイル名" が見つかりません。
E0511103	[メッセージ]	" 文字列" オプションで指定された " パス名" はフォルダです。出力ファイルを指定してください。
E0511104	[メッセージ]	" 文字列" オプションで指定された出力先フォルダ " フォルダ名" が見つかりません。
E0511107	[メッセージ]	" 文字列" オプションで指定された " パス名" が見つかりません。
	[説明]	" 文字列" オプションで指定された " パス名" (ファイル名またはフォルダ名) が見つかりません。
E0511108	[メッセージ]	" 文字列" は認識されないオプションです。
E0511109	[メッセージ]	" 文字列" オプションに引数は指定できません。
E0511110	[メッセージ]	" 文字列" オプションに引数を指定してください。
E0511111	[メッセージ]	" 文字列" オプションにパラメータは指定できません。
E0511112	[メッセージ]	" 文字列" オプションにパラメータを指定してください。
	[説明]	" 文字列" オプションはパラメータが必要です。パラメータを指定してください。
E0511113	[メッセージ]	" 文字列" オプションに指定された引数が不正です。
E0511114	[メッセージ]	"-O 文字列" オプションに指定された引数が不正です。
E0511115	[メッセージ]	"-O 文字列" オプションの指定が不正です。
E0511116	[メッセージ]	"-O 文字列" は認識されないオプションです。
E0511117	[メッセージ]	" 文字列" オプションに指定されたパラメータが不正です。
E0511118	[メッセージ]	" 文字列" オプションにはシンボルを指定してください。
E0511119	[メッセージ]	"-Xr" オプションで指定されたレジスタ " レジスタ名" は、コンパイラ・システムで予約されています。
E0511120	[メッセージ]	" 文字列" オプションには値 1 ~ 値 2 を指定してください。
	[説明]	指定されたサイズ・オプションの値が、最小値から最大値の値を越えています。
	[対処方法]	サイズ・オプションの値は、最小値から最大値の間で指定してください。
E0511121	[メッセージ]	"-o" オプションと " 文字列" オプションを同時に指定したとき、複数ソース・ファイルを入力できません。
E0511122	[メッセージ]	" 文字列" オプションにはオブジェクト・ファイルを指定してください。
E0511124	[メッセージ]	"-C" オプションまたは "-Xcommon" オプションのどちらかを指定してください。
E0511125	[メッセージ]	デバイス・ファイルが見つかりません。

E0511126	[メッセージ]	デバイス・ファイル"ファイル名"の読み込みに失敗しました。
E0511127	[メッセージ]	サポートしていないデバイスが指定されました。
E0511129	[メッセージ]	コマンド・ファイル"ファイル名"が複数回読まれています。
E0511130	[メッセージ]	コマンド・ファイル"ファイル名"が読み込めません。
E0511131	[メッセージ]	コマンド・ファイル"ファイル名"の構文が認識できません。
E0511132	[メッセージ]	テンポラリ・フォルダを作成できません。
E0511133	[メッセージ]	ソース・ファイルが複数の場合は"文字列"オプションにはフォルダを指定してください。
E0511134	[メッセージ]	指定された入力ファイル"ファイル名"が見つかりません。
E0511135	[メッセージ]	指定された入力ファイル"パス名"はフォルダです。
E0511136	[メッセージ]	テンポラリ・ファイル"ファイル名"の削除に失敗しました。
E0511137	[メッセージ]	テンポラリ・フォルダ"フォルダ名"の削除に失敗しました。
E0511138	[メッセージ]	入力ファイル"ファイル名"のオープンに失敗しました。
E0511139	[メッセージ]	出力ファイル"ファイル名"のオープンに失敗しました。
E0511140	[メッセージ]	入力ファイル"ファイル名"のクローズに失敗しました。
E0511141	[メッセージ]	出力ファイル"ファイル名"の書き込みに失敗しました。
E0511142	[メッセージ]	"文字列"オプションには入力ファイルを複数指定できません。
E0511145	[メッセージ]	"文字列1"オプションで指定された"文字列2"は使用できません。
E0511148	[メッセージ]	ファイル"ファイル名"が複数の出力先指定オプションで同時に指定されています。
	[対処方法]	ファイル"ファイル名"が複数の出力先指定オプションで同時に指定されています。異なるファイル名を指定してください。
E0511150	[メッセージ]	"文字列1"オプションと"文字列2"オプションが矛盾しています。
E0511152	[メッセージ]	"文字列1"オプションには"文字列2"オプションが必要です。
E0511154	[メッセージ]	CXを構成するファイル"ファイル名"が見つかりません。再インストールしてください。
E0511155	[メッセージ]	"文字列"オプションには他のオプションが必要です。
E0511157	[メッセージ]	このデバイスには、"文字列1"オプションもしくは、"文字列2"オプションが必要です。
E0511158	[メッセージ]	このデバイスは、"文字列"オプションをサポートしていません。
E0511159	[メッセージ]	"文字列"オプションが指定されている時はソースファイルは指定できません。
E0511160	[メッセージ]	このデバイスには、"文字列"オプションが必要です。
E0511161	[メッセージ]	ファイル"ファイル名"の削除に失敗しました。
E0512001	[メッセージ]	テンポラリ・ファイル"ファイル名"の削除に失敗しました。
E0520001	[メッセージ]	ファイルの最終行が改行で終了していません。
	[対処方法]	ファイルの最終行が改行で終了していません。改行を追加してください。
E0520002	[メッセージ]	ファイルの最終行の最後にバックスラッシュがあります。
	[メッセージ]	ファイルの最終行の最後にバックスラッシュがあります。削除してください。



E0520006	[メッセージ]	ファイルの最後までコメントが閉じられていません。
	[対処方法]	ファイルの最後までコメントが閉じられていません。閉じ忘れていないコメントがないか確認してください。
E0520007	[メッセージ]	不明なトークンがあります。
	[対処方法]	不明なトークンがあります。該当箇所を確認してください。
E0520008	[メッセージ]	クォーテーションを閉じられていません。
	[対処方法]	文字列のクォーテーションが閉じられていません。クォーテーションを閉じてください。
E0520010	[メッセージ]	"#" はここには書けません。
	[説明]	"#" が正しくない位置に記述されています。
E0520011	[メッセージ]	不明な前処理指令があります。
E0520012	[メッセージ]	前に構文エラーがあるため、ここより文法の解析を再開します。
E0520013	[メッセージ]	ファイル名がありません。
E0520014	[メッセージ]	前処理指令の後に不正な文字があります。
E0520017	[メッセージ]	" " がありません。
E0520018	[メッセージ]	" " がありません。
E0520019	[メッセージ]	数値の後に不正な文字があります。
E0520020	[メッセージ]	識別子 "文字列" は定義されていません。
E0520022	[メッセージ]	不正な 16 進数です。
E0520023	[メッセージ]	定数の値が大きすぎます。
E0520024	[メッセージ]	不正な 8 進数です。
	[説明]	不正な 8 進数です。8 進数に '8', ',' '9' は記述できません。
E0520025	[メッセージ]	引用文字列は少なくとも 1 文字を含まなければなりません。
E0520027	[メッセージ]	char 型の値が範囲を越えています。
E0520028	[メッセージ]	式は定数値を持つ必要があります。
E0520029	[メッセージ]	式がありません。
E0520030	[メッセージ]	浮動小数点数定数値が範囲を越えています。
E0520031	[メッセージ]	式は整数型を持つ必要があります。
E0520032	[メッセージ]	式は算術型を持つ必要があります。
E0520033	[メッセージ]	行番号がありません。
	[説明]	#line の後の行番号がありません。
E0520034	[メッセージ]	不正な行番号です。
	[説明]	#line の後の行番号が不正です。
E0520036	[メッセージ]	この前処理指令のための #if がありません。
E0520037	[メッセージ]	この前処理指令のための #endif がありません。
E0520038	[メッセージ]	この前処理指令は許可されていません -- #else はすでにあります。
	[説明]	#else がすでにあるため、このディレクティブは不正です。
E0520040	[メッセージ]	識別子がありません。
E0520041	[メッセージ]	式は算術型かポインタ型を持つ必要があります。



E0520042	[メッセージ]	オペランドの型が適合しません ("型1" と "型2")。
E0520044	[メッセージ]	式はポインタ型を持つ必要があります。
E0520045	[メッセージ]	既定義名に対して #undef を使用できません。
E0520046	[メッセージ]	"マクロ名" を再定義することはできません。
	[説明]	"マクロ名" は既定義マクロです。再定義することはできません。
E0520047	[メッセージ]	マクロ "マクロ名" の適合しない再定義があります (宣言位置 行番号)。
	[説明]	マクロ "マクロ名" の再定義が、行番号行での定義と適合しません。
E0520049	[メッセージ]	マクロの引数名が重複しています。
E0520050	[メッセージ]	マクロ定義の最初を "##" とすることはできません。
E0520051	[メッセージ]	マクロ定義の最後を "##" とすることはできません。
E0520052	[メッセージ]	マクロの引数名がありません。
E0520053	[メッセージ]	"," がありません。
E0520054	[メッセージ]	マクロに対する引数が足りません。
E0520055	[メッセージ]	マクロに対する引数が多すぎます。
E0520056	[メッセージ]	sizeof のオペランドに関数は書けません。
E0520057	[メッセージ]	この演算子は定数式では使用できません。
E0520058	[メッセージ]	この演算子はプリプロセッサ用の式には使用できません。
E0520059	[メッセージ]	定数式の中で関数を呼び出すことはできません。
E0520060	[メッセージ]	この演算子は整数型定数式には使用できません。
E0520061	[メッセージ]	整数演算の結果が範囲を越えました。
E0520062	[メッセージ]	シフト数が負数です。
	[説明]	シフト数が負数です。ANSI-C では未定義の動作となります。
E0520063	[メッセージ]	シフト数が多すぎます。
E0520064	[メッセージ]	宣言は何も宣言できません。
E0520065	[メッセージ]	"," がありません。
E0520066	[メッセージ]	enum の値が "int" の範囲を越えています。
E0520067	[メッセージ]	"}" がありません。
E0520070	[メッセージ]	不完全型は許されていません。
E0520071	[メッセージ]	sizeof のオペランドにビット・フィールドは指定できません。
E0520075	[メッセージ]	"**" 演算子のオペランドはポインタ型である必要があります。
E0520077	[メッセージ]	宣言に記憶域クラスまたは型指定子がありません。
E0520078	[メッセージ]	引数宣言に初期化子は書けません。
E0520079	[メッセージ]	型指定子がありません。
E0520080	[メッセージ]	記憶域クラスはここでは指定できません。
E0520081	[メッセージ]	複数の記憶域クラスが指定されました。
	[説明]	複数の記憶域クラスが指定されました。記憶域クラスは1つしか指定できません。
E0520083	[メッセージ]	型修飾子が複数回指定されました。
	[説明]	型修飾子が複数回指定されました。型修飾子は2回以上指定できません。

E0520084	[メッセージ]	不正な型指定子の組み合わせです。
E0520085	[メッセージ]	引数に対する記憶域クラスが不正です。
E0520086	[メッセージ]	関数に対する記憶域クラスが不正です。
E0520087	[メッセージ]	型指定子はここでは使用できません。
E0520088	[メッセージ]	関数の配列は許されていません。
E0520089	[メッセージ]	void 型の配列は許されていません。
E0520090	[メッセージ]	関数を返す関数は許されていません。
E0520091	[メッセージ]	配列を返す関数は許されていません。
E0520092	[メッセージ]	引数の識別子リストは関数定義でのみ利用できます。
E0520093	[メッセージ]	関数型は typedef に指定できません。
E0520094	[メッセージ]	配列のサイズは正の整数でなければなりません。
E0520095	[メッセージ]	配列が大きすぎます。
E0520096	[メッセージ]	コンパイル単位は少なくとも 1 つの宣言を含まなければなりません。
E0520097	[メッセージ]	この型の値は関数返却値にできません。
E0520098	[メッセージ]	この型の配列は許されていません。
E0520099	[メッセージ]	ここでの宣言は引数宣言でなければなりません。
E0520100	[メッセージ]	引数名が重複しています。
E0520101	[メッセージ]	"シンボル名" はすでにこのスコープで宣言されています。
E0520102	[メッセージ]	列挙型の前方宣言は標準ではありません。
E0520104	[メッセージ]	構造体または共用体が大きすぎます。
E0520105	[メッセージ]	ビット・フィールドのサイズが不正です。
E0520106	[メッセージ]	ビット・フィールドの型が不正です。
E0520107	[メッセージ]	サイズ 0 のビット・フィールドは名前を持ってません。
E0520109	[メッセージ]	式は関数型または関数ポインタ型でなければなりません。
E0520110	[メッセージ]	タグ名または定義がありません。
E0520112	[メッセージ]	"while" がありません。
E0520114	[メッセージ]	タイプ"シンボル" は参照されていますが定義されていません。
E0520115	[メッセージ]	continue 文はループの中でのみ使用できます。
E0520116	[メッセージ]	break 文はループまたは switch の中でのみ使用できます。
E0520118	[メッセージ]	void 関数は値を返せません。
E0520119	[メッセージ]	"型名" 型へのキャストは許されていません。
E0520120	[メッセージ]	返却値の型が関数の型と合っていない。
E0520121	[メッセージ]	case ラベルは switch の中でのみ使用できます。
E0520122	[メッセージ]	default ラベルは switch の中でのみ使用できます。
E0520123	[メッセージ]	この case ラベルの値はすでにこの switch の中で使用されています。
E0520124	[メッセージ]	default ラベルはすでにこの switch の中で使用されています。
E0520125	[メッセージ]	"(" がありません。
E0520126	[メッセージ]	式は左辺値である必要があります。

E0520127	[メッセージ]	文がありません。
E0520129	[メッセージ]	ブロック・スコープの関数は extern 記憶域クラスのみ指定できます。
E0520130	[メッセージ]	"{" がありません。
E0520132	[メッセージ]	式は構造体か共用体へのポインタでなければなりません。
E0520134	[メッセージ]	フィールド名がありません。
E0520136	[メッセージ]	種別 " シンボル名 " はフィールド " フィールド名 " を持ちません。
E0520137	[メッセージ]	式は変更可能な左辺値である必要があります。
E0520138	[メッセージ]	レジスタ変数に対するアドレス演算子は許されていません。
E0520139	[メッセージ]	ビット・フィールドに対するアドレス演算子は許されていません。
E0520140	[メッセージ]	関数呼び出しに対する引数が多すぎます。
E0520141	[メッセージ]	名前なしでプロトタイプ宣言された引数は関数定義がある場合には許されていません。
E0520142	[メッセージ]	式はオブジェクト型へのポインタである必要があります。
E0520144	[メッセージ]	型 " 型名 1 " の値は型 " 型名 2 " の実体の初期化には使用できません。
E0520145	[メッセージ]	種別 " シンボル名 " は初期化できません。
E0520146	[メッセージ]	初期化子が多すぎます。
E0520147	[メッセージ]	宣言は " 宣言 " (宣言位置 行番号) と整合しません。
E0520148	[メッセージ]	種別 " シンボル名 " はすでに初期化されています。
E0520149	[メッセージ]	グローバル・スコープの宣言ではこの記憶域クラスを指定できません。
E0520151	[メッセージ]	typedef 名は引数として再宣言できません。
E0520154	[メッセージ]	式は構造体または共用体型である必要があります。
E0520157	[メッセージ]	式は整数定数式である必要があります。
E0520158	[メッセージ]	式は左辺値か関数指示子である必要があります。
E0520159	[メッセージ]	宣言は以前の " 宣言 " (宣言位置 行番号) と整合しません。
E0520165	[メッセージ]	関数呼び出しに引数が足りません。
E0520166	[メッセージ]	不正な浮動小数点定数です。
E0520167	[メッセージ]	" 型名 1 " 型の引数は型 " 型名 2 " の引数と整合しません。
E0520168	[メッセージ]	関数型はここでは許されていません。
E0520169	[メッセージ]	宣言がありません。
E0520170	[メッセージ]	ポインタがオブジェクトから外れた位置を指しました。
E0520171	[メッセージ]	不正な型変換です。
E0520172	[メッセージ]	外部または内部リンケージが以前の宣言と整合しません。
E0520173	[メッセージ]	浮動小数点数は要求された整数型に入りません。
E0520179	[メッセージ]	"% " の右オペランドが 0 です。
E0520183	[メッセージ]	キャストの型は整数型である必要があります。
E0520184	[メッセージ]	キャストの型は算術型かポインタ型である必要があります。
E0520194	[メッセージ]	アセンブラ文字列がありません。
	[説明]	__asm() 中にアセンブラ文字列がありません。

E0520220	[メッセージ]	整数値が要求された浮動小数点型に入りません。
E0520221	[メッセージ]	浮動小数点数値が要求された浮動小数点型に入りません。
E0520222	[メッセージ]	浮動小数点演算の結果が範囲を越えました。
E0520228	[メッセージ]	カンマが仕様にあっていません。
	[説明]	最後のカンマは標準ではありません。
E0520230	[メッセージ]	ビット・フィールドに対し標準でない型です。
E0520235	[メッセージ]	変数 " 変数名 " が不完全型で宣言されました。
E0520238	[メッセージ]	引数の指定子が不正です。
E0520240	[メッセージ]	宣言の指示子が重複しています。
E0520247	[メッセージ]	種別 " シンボル名 " はすでに定義されています。
E0520253	[メッセージ]	"," がありません。
E0520254	[メッセージ]	型名は許されていません。
E0520255	[メッセージ]	型定義は許されていません。
E0520256	[メッセージ]	型名 " 型名 " が不正に再宣言されています。
	[説明]	型名 " 型名 " が不正に再宣言されています。
E0520257	[メッセージ]	const 種別 " シンボル名 " は初期化子が必要です。
E0520259	[メッセージ]	定数値が不明です。
E0520260	[メッセージ]	明示的な型がありません。"int" として扱います。
E0520268	[メッセージ]	ブロック内で実行文の後に宣言を置けません。
E0520274	[メッセージ]	不適切に終了したマクロの呼び出しがあります。
E0520301	[メッセージ]	typedef 名はすでに同じ型で宣言されています。
E0520325	[メッセージ]	inline 指定子は関数宣言のみに利用できます。
E0520375	[メッセージ]	宣言は typedef 名を必要とします。
E0520409	[メッセージ]	種別 " シンボル名 " は不完全型 " 型名 " を返します。
E0520412	[メッセージ]	"__asm" 宣言はここでは許されていません。
E0520450	[メッセージ]	型 "long long" は標準ではありません。
E0520494	[メッセージ]	typedef を伴う void の引数リストの宣言は標準ではありません。
E0520513	[メッセージ]	型 " 型名 1 " の値は型 " 型名 2 " の実体として代入できません。
E0520518	[メッセージ]	標準でない前処理指令です。
E0520520	[メッセージ]	集合体は "{...}" により初期化してください。
E0520525	[メッセージ]	依存文に宣言は許されません。
	[説明]	if() の直後に "{" のなしで宣言を書くことはできません。
E0520526	[メッセージ]	引数は void 型を持ってません。
E0520544	[メッセージ]	ローカルでない変数の宣言にローカルな型が使用されました。
E0520545	[メッセージ]	ローカルな型が関数宣言に使用されました。
E0520606	[メッセージ]	この pragma は宣言の直前でなければなりません。
E0520618	[メッセージ]	構造体か共用体に名前のないメンバがあります。
E0520619	[メッセージ]	名前のないフィールドは標準ではありません。

E0520660	[メッセージ]	パッキング値が不正です。
E0520661	[メッセージ]	整数定数がありません。
E0520668	[メッセージ]	明示的な引数のない省略記号は標準ではありません。
E0520676	[メッセージ]	種別 " シンボル名 "( 宣言位置 行番号 ) の宣言のスコープ外で使用されました。
E0520731	[メッセージ]	不完全型の配列は標準ではありません。
E0520767	[メッセージ]	ポインタが幅の小さな整数に変換されました。
E0520816	[メッセージ]	関数定義において "void" の返却型を修飾することはできません。
E0520852	[メッセージ]	式は完全型のオブジェクト型へのポインタである必要があります。
E0520861	[メッセージ]	入力行に不正な文字があります。
E0520862	[メッセージ]	関数は不完全型 " 型名 " を返します。
E0520870	[メッセージ]	不正な他バイト文字列です。
E0520886	[メッセージ]	整数定数に不正な接尾子があります。
	[説明]	整数定数に不正な接尾子 ( サフィックス ) があります。
E0520935	[メッセージ]	"typedef" はここでは指定できません。
E0520940	[メッセージ]	void でない種別 " シンボル名 " に return 文がありません。
E0520989	[メッセージ]	修飾された関数型は引数宣言に使用できません。
E0520992	[メッセージ]	不正なマクロ定義です :。
E0520993	[メッセージ]	" 型名 1 " と " 型名 2 " のポインタ型の減算は標準ではありません。
E0521036	[メッセージ]	予約語 " シンボル " は関数の中でのみ使用できます。
E0521066	[メッセージ]	" シンボル名 " の宣言は ファイル名 のコンパイル中は異なる意味を持ちます。
E0521072	[メッセージ]	宣言はラベルを持ってません。
E0521075	[メッセージ]	" シンボル名 " は any-string のコンパイル時にすでに定義されています。
E0521076	[メッセージ]	" シンボル名 " は他のコンパイル単位ですすでに定義されています。
E0521158	[メッセージ]	返却型 void は修飾できません。
E0521254	[メッセージ]	" 型 " のサイズまたは複雑さのため内部計算時にオーバーフローを起こしました。
E0521255	[メッセージ]	整数が内部演算時にオーバーフローを起こしました。
E0521282	[メッセージ]	種類の異なる文字を持つ文字列リテラルは連結できません。
E0521381	[メッセージ]	キャリッジ・リターン文字がコメントおよび文字定数 / 文字列リテラルの外にありました。
	[説明]	キャリッジ・リターン文字 ( '\r' ) がコメントおよび文字定数 / 文字列リテラルの外にありました。
E0521420	[メッセージ]	いくつかの列挙子はその列挙型の潜在的な整数型で表現できません。
E0521578	[メッセージ]	case ラベル値はすでにこの switch の行番号で現れています。
E0521584	[メッセージ]	文字列リテラルをかっこで囲むことは標準ではありません。
E0521602	[メッセージ]	不完全型をメンバにもつ構造体 / 共用体変数 " 変数名 " はセクションを指定できません。
E0521603	[メッセージ]	不完全型の変数 " 変数名 " はセクションを指定できません。
E0521604	[メッセージ]	#pragma section で指定された再配置属性が不正です。
E0521605	[メッセージ]	#pragma 文字列の文法が不正です。

E0521606	[メッセージ]	関数 " 関数名 " はすでに別のセクションが指定されています。
	[説明]	関数 " 関数名 " はすでに別のセクションが指定されています。異なるセクションを指定することはできません。
E0521608	[メッセージ]	#pragma asm は関数の外に記述できません。
E0521609	[メッセージ]	#pragma asm が #pragma endasm によって閉じられていません。
E0521610	[メッセージ]	#pragma asm なしに #pragma endasm が記述されています。
E0521612	[メッセージ]	割り込み要求名 " 要求名 " のハンドラはすでに定義されています。
E0521613	[メッセージ]	このデバイスは割り込み要求名 " 要求名 " をサポートしていません。
E0521614	[メッセージ]	同じ関数で別の配置方法またはオプション指定の #pragma interrupt があります。
E0521615	[メッセージ]	関数 " 関数名 " は別の #pragma smart_correct で指定されています。
	[説明]	関数 " 関数名 " はすでに別の #pragma smart_correct で指定されています。
E0521616	[メッセージ]	種別 " シンボル名 " はすでに別のセクション指定で extern 宣言されています。
E0521617	[メッセージ]	種別 " シンボル名 " はすでに別のセクションが指定されています。
E0521618	[メッセージ]	種別 " シンボル名 " はすでにセクションが指定されています。新たにセクションなしで宣言することはできません。
E0521619	[メッセージ]	種別 " シンボル名 " はすでにセクションなしで宣言されています。新たにセクション指定することはできません。
E0521620	[メッセージ]	組み込み関数 " 関数名 () " の引数の値が範囲を越えています。" 最小値~最大値 " が指定できます。
E0521621	[メッセージ]	I/O レジスタ " レジスタ名 " は書き込みができません。
E0521622	[メッセージ]	I/O レジスタ " レジスタ名 " は読み出しができません。
E0521623	[メッセージ]	デバイスの指定がない場合拡張機能指定の機能は使用できません。
E0521624	[メッセージ]	__set_il() の第二引数は文字列定数である必要があります。
E0521625	[メッセージ]	割り込み要求名 " 要求名 " の割り込みレベルは設定できません。
E0521626	[メッセージ]	指定文字列が関数 " 関数名 " に指定されました。以前の #pragma inline 指定を無視します。
E0521627	[メッセージ]	#pragma smart_correct に指定された関数が同じです。
E0521628	[メッセージ]	#pragma smart_correct に指定された関数 " 関数名 " が定義されていません。
E0521629	[メッセージ]	シンボル・ファイル " ファイル名 " をオープンすることができません。
E0521630	[メッセージ]	シンボル・ファイル " ファイル名 " をクローズすることができません。
E0521631	[メッセージ]	シンボル・ファイル中に構文エラーがありました。
E0521632	[メッセージ]	" 文字列 " は認識できない情報行です。無視します。
E0521633	[メッセージ]	セクション名が指定されていません。
E0521634	[メッセージ]	不正なセクション名 " セクション名 " が指定されています。
E0521635	[メッセージ]	変数 " 変数名 " にはシンボル・ファイル中ですでにセクション " セクション名 " が指定されています。後の指定を無視します。
E0521636	[メッセージ]	変数 " 変数名 " にはシンボル・ファイル中ですでにセクション " セクション名 " が指定されています。#pragma による指定を無視します。
E0521637	[メッセージ]	2 進定数が不正です。



E0521638	[メッセージ]	特殊関数名 () の第一引数は数値定数である必要があります。
E0521639	[メッセージ]	関数 " 関数名 " は direct 指定で割り込み関数に指定されています。セクション指定することはできません。
E0521640	[メッセージ]	関数 " 関数名 " は #pragma text によりセクション指定されています。direct 指定で割り込み関数にすることはできません。
E0521641	[メッセージ]	FE レベル割り込みは現在サポートされていません。
E0521642	[メッセージ]	再配置属性 " 属性 " のセクションは、セクション名指定ができません。
E0521643	[メッセージ]	"direct" 指定された割り込み関数は複数の割り込み要求名に指定できません。
E0521644	[メッセージ]	デバイスの例外ハンドラ縮小機能が有効になっています。EI レベル・マスクブル割り込みのハンドラアドレスが重複する可能性があります。
E0521645	[メッセージ]	void 型ではない関数 " 関数名 " は割り込み関数にできません。
E0521646	[メッセージ]	割り込み要求名に NO_VECT を指定した場合、"direct" 指定できません。
E0521647	[メッセージ]	文字列はここでは許されていません。
E0521648	[メッセージ]	種別関数 " 関数名 " は呼び出すことができません。
E0521649	[メッセージ]	文字列 1 は、文字列 2 と同時に使用できません。
	[説明]	文字列 1 の機能と、文字列 2 の機能は同時に使用することができません。
E0521650	[メッセージ]	種別 " シンボル名 " は、すでに別な #pragma pic/nopic 指定で宣言されています。
	[説明]	種別 " シンボル名 " に対して矛盾する #pragma pin/nopic 指定がされています。
E0532002	[メッセージ]	浮動小数点数の演算時に例外 例外名 が発生しました。
E0550200	[メッセージ]	整列条件の指定に誤りがあります。
	[対処方法]	整列条件の指定を確認してください。
E0550201	[メッセージ]	扱うことのできない文字が現れました。
	[対処方法]	文字を確認してください。
E0550202	[メッセージ]	式の構成に誤りがあります。
	[対処方法]	式を確認してください。
E0550203	[メッセージ]	式の要素 string に誤りがあります。
	[対処方法]	式の要素を確認してください。
E0550204	[メッセージ]	(- ラベル) の形式の式が用いられています。
	[対処方法]	式を確認してください。
E0550205	[メッセージ]	(- ラベル - ラベル) の形式の式が用いられています。
	[対処方法]	式を確認してください。
E0550206	[メッセージ]	(ラベル + ラベル) の形式の式が用いられています。
	[対処方法]	式を確認してください。
E0550207	[メッセージ]	異なる形式のラベル参照 (#label, label, および \$label) の間に演算が指定されています。
	[対処方法]	式を確認してください。
E0550208	[メッセージ]	異なるセクションに属するラベル間に演算が指定されています。
	[対処方法]	式を確認してください。

E0550209	[メッセージ]	ラベル同士の演算は同一ファイル内に定義してください。
	[対処方法]	式を確認してください。
E0550210	[メッセージ]	+,- 以外の演算が用いられています。
	[対処方法]	式を確認してください。
E0550211	[メッセージ]	内部的に用いている浮動小数点演算ライブラリの関数 <i>function</i> においてエラーが発生しました。
	[対処方法]	演算結果を確認してください。
E0550212	[メッセージ]	指定されたシンボルはすでにラベル <i>label</i> として定義されています。
	[対処方法]	シンボル名を確認してください。
E0550213	[メッセージ]	ラベル <i>identifier</i> が複数回定義されています。
	[対処方法]	ラベル名を確認してください。
E0550214	[メッセージ]	<i>identifier</i> が複数回定義されています。
	[対処方法]	ラベル名を確認してください。
E0550215	[メッセージ]	オペランドに異なるアクセス幅の内部周辺 I/O レジスタを指定しています。
	[対処方法]	内部周辺 I/O レジスタを確認してください。
E0550216	[メッセージ]	オペランドに指定した内部周辺 I/O レジスタは読み出し禁止です。
	[対処方法]	内部周辺 I/O レジスタを確認してください。
E0550217	[メッセージ]	オペランドに内部周辺 I/O レジスタのフラグのビットを指定することはできません。
	[対処方法]	内部周辺 I/O レジスタを確認してください。
E0550218	[メッセージ]	オペランドに指定した内部周辺 I/O レジスタは書き込み禁止です。
	[対処方法]	内部周辺 I/O レジスタを確認してください。
E0550219	[メッセージ]	ビット操作命令で指定したビット位置が矛盾しています。
	[対処方法]	ビット位置を確認してください。
E0550220	[メッセージ]	名前に予約語 <i>identifier</i> が用いられています。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550221	[メッセージ]	分岐命令に対し、(ラベル - ラベル) の形式の式が指定されています。
	[対処方法]	式を確認してください。
E0550222	[メッセージ]	オペランドにラベルを指定することのできない命令に対し、ラベルが指定されています。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550223	[メッセージ]	<i>self</i> 命令、またはシフト命令に対し、ラベルが指定されています。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550224	[メッセージ]	<i>jmp</i> 命令に対し、絶対アドレス参照 ( <i>string</i> ) 以外のものが指定されています。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550225	[メッセージ]	式の評価結果が負になりました。
	[対処方法]	式を確認してください。
E0550226	[メッセージ]	奇数のディスプレイメントが指定されています。
	[対処方法]	ディスプレイメントを確認してください。



E0550227	[メッセージ]	演算子に、イミーディエト、ラベル、またはシンボル以外のものが指定されています。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550228	[メッセージ]	レジスタ以外のものが指定されています。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550229	[メッセージ]	ベース・レジスタを指定する必要があります。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550230	[メッセージ]	ディスプレースメントとして指定された値が指定可能な値の範囲を越えています。
	[対処方法]	ディスプレースメントを確認してください。
E0550231	[メッセージ]	イミーディエトとして指定された値が指定可能な値の範囲を越えています。
	[対処方法]	イミーディエトを確認してください。
E0550232	[メッセージ]	.local 疑似命令に指定されたパラメータが不正です。
	[対処方法]	パラメータを確認してください。
E0550233	[メッセージ]	.local 疑似命令に指定されたパラメータがシンボルではありません。
	[対処方法]	パラメータを確認してください。
E0550234	[メッセージ]	.macro 疑似命令に指定されたパラメータが不正です。
	[対処方法]	パラメータを確認してください。
E0550235	[メッセージ]	.macro 疑似命令に定義されたマクロ名が不正です。
	[対処方法]	マクロ名を確認してください。
E0550236	[メッセージ]	マクロ呼び出しに指定されたパラメータが不正です。
	[対処方法]	パラメータを確認してください。
E0550237	[メッセージ]	.irp 疑似命令に指定された引数が不正です。
	[対処方法]	引数を確認してください。
E0550238	[メッセージ]	.irp 疑似命令に指定されたパラメータが不正です。
	[対処方法]	パラメータを確認してください。
E0550239	[メッセージ]	V850Ex コア指定時には、ソース・オペランドに r0 を指定することはできません。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550240	[メッセージ]	V850Ex コア指定時には、デスティネーション・オペランドに r0 を指定することはできません。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550241	[メッセージ]	pushm/popm 命令に指定されたレジスタ数が多すぎます。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550242	[メッセージ]	ラベルはすでに定義されています。(section)
	[説明]	指定したラベルはすでに section セクションに定義されています。
	[対処方法]	ラベルを確認してください。
E0550244	[メッセージ]	.org 疑似命令において値 (value) の指定に誤りがあります。
	[対処方法]	値を確認してください。
E0550245	[メッセージ]	予約語を用いることのできない場所において予約語 identifier が用いられています。
	[対処方法]	記述を確認してください。

E0550246	[メッセージ]	セクション中に記述することのできない命令が記述されています。
	[対処方法]	記述を確認してください。
E0550247	[メッセージ]	サイズの指定に誤りがあります。
	[対処方法]	指定を確認してください。
E0550248	[メッセージ]	シンボル <i>symbol</i> に対し '\$'、または '#' が指定されています。
	[対処方法]	シンボルを確認してください。
E0550249	[メッセージ]	構成に誤りがあります。
	[対処方法]	記述を確認してください。
E0550250	[メッセージ]	<i>string</i> の構成に誤りがあります。
	[対処方法]	記述を確認してください。
E0550251	[メッセージ]	指定された ID 値が不正です。
	[説明]	指定された ID 値が不正です。整数を指定してください。
	[対処方法]	ID 値を確認してください。
E0550252	[メッセージ]	指定された ID 値は、シンボル名 " <i>identifier</i> " としてすでに予約されています。
	[対処方法]	ID 値を確認してください。
E0550253	[メッセージ]	指定されたシンボル名 " <i>identifier</i> " は、異なる ID 値ですでに予約されています。
	[対処方法]	ID 値を確認してください。
E0550254	[メッセージ]	\$EXT_FUNC 疑似命令を用いて指定されたシンボル " <i>identifier</i> " は、分岐命令以外で参照することはできません。
	[対処方法]	記述を確認してください。
E0550255	[メッセージ]	I/O レジスタ名 " <i>I/O register</i> " に指定したビット番号が間違っています。
	[対処方法]	ビット番号を確認してください。
E0550258	[メッセージ]	オペランドに指定した内部周辺 I/O レジスタ " <i>I/O register</i> " はアクセス禁止です。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550259	[メッセージ]	mul/mulu 命令のディスティネーション・レジスタにはアセンブラ予約レジスタ (r1) を指定できません。
	[対処方法]	ディスティネーション・レジスタを確認してください。
E0550260	[メッセージ]	トークンの長さが限界を越えています。
	[説明]	トークンの長さが限界を越えています。限界値は 4294967294 です。
	[対処方法]	トークンの長さを確認してください。
E0550261	[メッセージ]	指定された条件コードが不正です。
	[説明]	指定された条件コードが不正です。adf.sbf 命令【V850E2】の条件コードに 0xd は指定できません。
	[対処方法]	条件コードを確認してください。
E0550262	[メッセージ]	V850E2V3 コア指定時には、ディスティネーション・オペランドに r0 を指定することはできません。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。

E0550263	[メッセージ]	共通部指定時には、オペランドに \$label,%label のラベル参照を指定することはできません。
	[対処方法]	オペランドを確認してください。
E0550264	[メッセージ]	セクション定義疑似命令において共通部で指定できないセクションの種類を指定しています。
	[対処方法]	セクションの種類を確認してください。
E0560601	[メッセージ]	ディレクティブの終わりには ‘;’ が必要とされます。
E0560602	[メッセージ]	各領域の終わりには ‘}’ が必要とされます。
E0560603	[メッセージ]	ディレクティブは名前 (セグメント名 / セクション名 / シンボル名) ではじめてください。
E0560604	[メッセージ]	セグメント・ディレクティブはセクション名ではじめてください。
E0560605	[メッセージ]	ディレクティブの始まりの名前の後ろには ‘:’, ‘=’ または ‘@’ が必要とされません。
E0560606	[メッセージ]	出力セクション名の後ろには ‘=’ が必要とされます。
E0560607	[メッセージ]	‘{’ に対応する ‘}’ の数が多すぎます。
E0560608	[メッセージ]	リンク・ディレクティブに不正な文字 (number) が存在しています。
E0560609	[メッセージ]	“ <i>string</i> ” には有効なパラメータが必要です。
E0560610	[メッセージ]	セグメント・ディレクティブにおいて指定することができない文字列が使用されています。
E0560611	[メッセージ]	セクション・ディレクティブにおいて指定することができない文字列が使用されています。
E0560612	[メッセージ]	シンボル・ディレクティブにおいて指定することができない文字列が使用されています。
E0560613	[メッセージ]	ファイル名を指定する部分に “ <i>string</i> ” を指定することはできません。
E0560614	[メッセージ]	セグメント名を指定する部分に “ <i>string</i> ” を指定することはできません。
E0560615	[メッセージ]	“ <i>string</i> ” が、セグメント “ <i>segment</i> ” に対し、同じセグメント・ディレクティブまたは別のセグメント・ディレクティブにおいて複数回指定されています。
E0560616	[メッセージ]	“ <i>string</i> ” が、セクション “ <i>section</i> ” に対し、同じセクション・ディレクティブまたは別のセクション・ディレクティブにおいて複数回指定されています。
E0560617	[メッセージ]	“ <i>string</i> ” が、シンボル “ <i>symbol</i> ” に対し、同じシンボル・ディレクティブまたは別のシンボル・ディレクティブにおいて複数回指定されています。
E0560618	[メッセージ]	セグメント “ <i>segment</i> ” はすでに定義されています。
E0560619	[メッセージ]	セクション “ <i>section</i> ” は <i>number</i> 行目においてすでに定義されています。
E0560620	[メッセージ]	シンボル “ <i>symbol</i> ” は <i>number</i> 行目においてすでに定義されています。
E0560621	[メッセージ]	セグメント・タイプとして指定することができない “ <i>string</i> ” が指定されています。
E0560622	[メッセージ]	セクション・タイプとして指定することができない “ <i>string</i> ” が指定されています。
E0560623	[メッセージ]	セクション属性として指定することができない ‘ <i>character</i> ’ が指定されています。
E0560624	[メッセージ]	セグメント・タイプに LOAD を指定していないメモリ・ディレクティブにおいて “ <i>string</i> ” を指定することはできません。
E0560637	[メッセージ]	シンボル種別として指定することができない “ <i>string</i> ” が指定されています。

E0560638	[メッセージ]	シンボル種別 "string" が、同じディレクティブまたは別のディレクティブにおいて複数回指定されています。
E0560641	[メッセージ]	セクション "section" のセクション属性 <i>attribute</i> と本セクションの割り付けが指示されているセグメント "segment" のセグメント属性が一致しません。
E0560660	[メッセージ]	S-JIS コード ( <i>number1</i> , <i>number2</i> ) が不正です。
E0592001	[メッセージ]	複数の入力ファイルが指定されています。
	[対処方法]	複数のファイルをコンバータする際は、リスト・ファイルを使用してください。
E0592002	[メッセージ]	複数の出力ファイルが指定されています。
	[対処方法]	複数のファイルをコンバータする際は、リスト・ファイルを使用してください。
E0592003	[メッセージ]	複数のリスト・ファイルが指定されています。
	[対処方法]	1つのリスト・ファイルにまとめてください。
E0592004	[メッセージ]	"option" オプションに指定された引数が不正です。
	[対処方法]	引数を確認してください。
E0592005	[メッセージ]	"option" オプションに引数は指定できません。
	[説明]	引数の指定できない "option" オプションに引数が指定されています。
E0592006	[メッセージ]	"option" オプションに引数を指定してください。
	[説明]	引数の必要な "option" オプションに引数が指定されてません。
E0592007	[メッセージ]	"option" オプションが複数回指定されています。
	[説明]	"option" オプションは、同時に1つしか指定できません。
E0592008	[メッセージ]	出力ファイルが指定されていません。
	[説明]	指定された入力ファイルに対応する出力ファイルが指定されていません。
E0592010	[メッセージ]	出力ファイル "file" のオープンに失敗しました。
E0592013	[メッセージ]	テンポラリ・ファイル "file" の削除に失敗しました。
E0592015	[メッセージ]	入力ファイル "file" のクローズに失敗しました。
E0592016	[メッセージ]	出力ファイル "file" の書き込みに失敗しました。
E0592018	[メッセージ]	リスト・ファイル "file" のオープンに失敗しました。
	[対処方法]	存在するリスト・ファイルが正しく指定されているか確認してください。
E0592019	[メッセージ]	リスト・ファイル "file" の構文が認識できません。
	[説明]	リスト・ファイル "file" の記述が正しくありません。
E0592020	[メッセージ]	リスト・ファイル "file" の読み込みに失敗しました。
E0592101	[メッセージ]	不明な文字がありました 'C'。
	[説明]	変換前の C 言語ソース・ファイルに C 言語で許可されていない文字があるため変換できません。
	[対処方法]	C 言語ソース・ファイルを編集して、構文エラーを修正してください。
E0592102	[メッセージ]	string の書式が不正です。
	[説明]	変換前の C 言語ソース・ファイルで許可されていない文法があるため変換できません。
	[対処方法]	C 言語ソース・ファイルを編集して、構文エラーを修正してください。

E0592201	[メッセージ]	構文に誤りがあるため変換できません。
	[説明]	変換前のアセンブリ言語ソース・ファイルに構文の誤りがあるため変換できません。
	[対処方法]	アセンブリ言語ソース・ファイルを編集して、構文エラーを修正してください。
E0593002	[メッセージ]	"-Xsfg_size_tidata_byte" サイズが、"-Xsfg_size_tidata" サイズより大きいです。
	[対処方法]	"-Xsfg_size_tidata_byte" サイズを、"-Xsfg_size_tidata" サイズ以下に設定するか、"-Xsfg_size_tidata" サイズを "-Xsfg_size_tidata_byte" サイズ以上に設定してください。
E0593003	[メッセージ]	シンボル解析情報が読み込みできません。
	[説明]	メモリ上のシンボル解析情報が存在しないか、壊れているため読み込むことができません。
	[対処方法]	CX オプションを確認後、リビルドを行ってください。
E0593004	[メッセージ]	シンボル情報ファイルが書き込みできません。
	[説明]	容量またはユーザ権限の問題が考えられます。
	[対処方法]	書き込み先の容量とユーザ権限の確認をお願いします。
E0594000	[メッセージ]	プロジェクト・ファイル(ファイル名)が見つかりませんでした。
	[説明]	プロジェクト・ファイルが存在しません。
	[対処方法]	ファイルが存在するか確認してください。
E0594001	[メッセージ]	プロジェクト・ファイル(ファイル名)の読み込みでエラーが発生しました
	[説明]	プロジェクト・ファイルの読み込み時にエラーが発生しました。 プロジェクト・ファイルが読み込み禁止である可能性があります。
E0594002	[メッセージ]	不正なフォーマットがプロジェクト・ファイル(ファイル名)で見つかりました。
	[説明]	プロジェクト・ファイルが、不正なフォーマットです。
	[対処方法]	プロジェクト・ファイルで不正なフォーマットを発見した場合に発生します。該当部を修正するか、プロジェクトを作り直してください。
E0600005	[メッセージ]	この機能は未サポートです。
E0602203	[メッセージ]	シミュレータ・コンフィギュレーション・ファイルが見つかりません。
E0602204	[メッセージ]	メイン・クロック・ソースの指定に誤りがあります。
E0602205	[メッセージ]	サブ・クロック・ソースの指定に誤りがあります。
E0602206	[メッセージ]	フラッシュ・セルフ・エミュレーションの設定が不正です。
E0602207	[メッセージ]	データフラッシュ・エミュレーションの設定が不正です。
E0602208	[メッセージ]	メモリ・マッピングの設定が不正です。
E0602209	[メッセージ]	カバレッジ・ボードは搭載されていません。
E0602210	[メッセージ]	シミュレータ用のプロジェクトファイル xxx の生成ができません。
E0602211	[メッセージ]	シンボルロードはネスティングできません。
E0604000	[メッセージ]	アセンブルに失敗しました。("xxx")
E0608000	[メッセージ]	カバレッジ・ファイルのアクセス権が許可されていない、またはディスク容量が足りないため、"xxx" の保存に失敗しました。
E0608001	[メッセージ]	カバレッジ・ファイルが存在しない、またはアクセス権が許可されていないため、"xxx" の読み込みに失敗しました。

E0608002	[メッセージ]	カバレッジ・ファイルに異常があったため、"xxx"の読み込み中にベリファイ・エラーが発生しました。
E0608003	[メッセージ]	コードフラッシュ領域が存在しません。
E0608004	[メッセージ]	データフラッシュ領域が存在しません。
E0608005	[メッセージ]	外部フラッシュ領域が存在しません。
E0608006	[メッセージ]	アドレスが不正でIDタグが取得できませんでした。
E0611000	[メッセージ]	アドレス変換に失敗しました。("xxx")
E0801003	[メッセージ]	ファイルが見つかりませんでした。
	[説明]	指定されたファイルが見つからない場合に表示されます。
	[対処方法]	ファイルが存在するか確認してください。 ファイルへのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れていないか確認してください。
E0802001	[メッセージ]	xxx未満またはyyyを超える値を指定できません。
	[説明]	プロパティに範囲外の数値を入力したときに表示されます。
	[対処方法]	範囲内の値を入力してください。
E0820001	[メッセージ]	入力された名前は登録できませんでした。
E0820002	[メッセージ]	入力された名前は登録解除できませんでした。
	[対処方法]	指定した名前が解析グラフパネルに登録されているか確認してください。
E0820003	[メッセージ]	解析グラフ1に登録に失敗しました。
	[説明]	解析グラフ1に登録コマンドの実行に何らかの理由で失敗したときに表示されます。
	[対処方法]	解析グラフ1パネルに登録されている変数の数が制限未満であるか確認してください。
E0821001	[メッセージ]	保存する列がありません。
	[対処方法]	解析を実行してデータを更新してください。 フィールド選択ダイアログで保存したい列を表示してください。
E0821002	[メッセージ]	保存する行がありません。
	[対処方法]	解析を実行してデータを更新してください。 フィルタ設定ダイアログで保存した行を表示してください。
E0821003	[メッセージ]	行数がExcelの制限値を越えたため保存に失敗しました。
	[対処方法]	フィルタ設定ダイアログで表示行を65535以下にしてください。
E0821004	[メッセージ]	ソースヘジャンプに失敗しました。
	[対処方法]	ファイルが存在するか確認してください。 ファイルへのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れていないか確認してください。 ファイルを開くアプリケーションが関連付けられているか確認してください。
	[対処方法]	関数の先頭にブレークを設定できませんでした。
E0822001	[メッセージ]	関数の先頭にブレークを設定できませんでした。
	[対処方法]	デバッグ・ツールのリソースが不足している可能性があります。設定可能なブレーク数を確認してください。

E0822002	[メッセージ]	関数一覧ヘジャンプに失敗しました。
	[説明]	関数一覧パネルヘジャンプコマンドを実行したときに、指定位置を開けなかった場合に 表示されます。
	[対処方法]	指定関数が関数一覧に表示されているか確認してください。
E0823001	[メッセージ]	変数にアクセス・ブレークを設定できませんでした。
	[対処方法]	デバッグツールのリソースが不足している可能性があります。設定可能なブレーク数 を確認してください。
E0825001	[メッセージ]	指定する条件が1つの場合は、こちらに条件を指定してください。
	[説明]	[条件1] コンボ・ボックスが空欄で、[条件2] コンボ・ボックスが空欄ではありま せん。
E0826001	[メッセージ]	画像サイズが巨大であるため、画像の保存に失敗しました。
	[説明]	Microsoft .NET Framework および GDI+ の制限（メモリ上のサイズが2G バイトを越 えるイメージは作成できない）に該当しました。
	[対処方法]	「可視部のみ」保存を使用してください。
E0827001	[メッセージ]	プログラム実行中です。
	[説明]	プログラム実行中に検索を実行しました。
	[対処方法]	検索は、プログラム停止中に行ってください。
E1000001	[メッセージ]	USB 通信エラー
	[対処方法]	USB ドライバが正しく組み込まれているか確認してください。 - USB ドライバが正しく認識できていない。 - USB ドライバが正常にインストールされていない。 - MINICUBE2 が接続されていない。
E1000002	[メッセージ]	ファームウェア・バージョン・エラー
	[説明]	MINICUBE2 のファームウェアのバージョンが古くて正常なオペレーションができな い可能性があります。
	[対処方法]	バージョンアップ・サービス・サイトにアクセスして最新ファームウェアをダウン ロードし、ユーティリティを使って更新してください。
E1000003	[メッセージ]	ヘキサ・ファイル検出エラー
	[説明]	ヘキサ・ファイルが正常に読み込めませんでした。
	[対処方法]	ヘキサ・ファイルを指定してください。
E1000004	[メッセージ]	パラメータ・ファイル検出エラー
	[説明]	パラメータ・ファイルが正常に読み込めませんでした。
	[対処方法]	パラメータ・ファイルを指定しなおすか、アップデート・マネージャを使って正しい パラメータ・ファイルをダウンロードしてください。
E1000005	[メッセージ]	QB-Programmer 二重起動エラー
	[説明]	QB-Programmer がすでに起動している（二重起動）可能性があります。
E1000006	[メッセージ]	MINICUBE2 接続エラー
	[対処方法]	自己診断ツールなどの関連ツールが起動している可能性がありますので、終了してか ら接続コマンドを実行してください。



E1000007	[メッセージ]	78K0-OCD 検出エラー
	[対処方法]	78K0-OCD ボードが接続されていて正常にターゲットと通信できませんので、取り外してください。
E1000021	[メッセージ]	プロジェクト・フォーマット・エラー
	[説明]	読み込んだプロジェクトのフォーマットが一致していません。
	[対処方法]	設定の見直しを行ってください。
E1001001	[メッセージ]	パラメータ・ファイル不正エラー
	[説明]	パラメータ・ファイルが正しくない可能性があります。
	[対処方法]	パラメータ・ファイルをアンインストールしてからアップデート・マネージャを使って正しいパラメータ・ファイルをダウンロードしてください。
E1001002	[メッセージ]	パラメータ・ファイル・フォーマット不正エラー
	[説明]	未サポートのパラメータ・ファイルの可能性があります。
	[対処方法]	アップデート・マネージャを使って最新パラメータ・ファイル、QB-Programmer プラグイン、最新ファームウェアをダウンロードし更新してください。
E1001003	[メッセージ]	ヘキサ・ファイル不正エラー
	[説明]	未サポートのファイル・フォーマット、または不正なヘキサ・ファイルを指定した可能性があります。
	[対処方法]	正しい書き込み対象ファイルを指定してください。
E1001004	[メッセージ]	パラメータ・ファイル未選択エラー
	[説明]	パラメータ・ファイルが読み込まれていません。
	[対処方法]	パラメータ・ファイルを指定してください。
E1001005	[メッセージ]	ヘキサ・ファイル未選択エラー
	[説明]	ヘキサ・ファイルが読み込まれていません。
	[対処方法]	ヘキサ・ファイルを指定してください。
E1001006	[メッセージ]	クロック周波数設定エラー
	[説明]	ターゲット・マイクロコントローラに対して供給する周波数の指定が間違っている可能性があります。
	[対処方法]	書き込み時の設定周波数を確認し、正しいクロック周波数値と分周／逡倍値を設定してください。
E1001013	[メッセージ]	クロック周波数設定エラー
	[説明]	ターゲット・マイクロコントローラに供給する周波数の設定が間違っています。
	[対処方法]	マイクロコントローラのマニュアルを参照して正しいクロック周波数と分周／逡倍値を設定してください。
E1001014	[メッセージ]	読み出しデータ・アップロード・エラー
	[説明]	読み出しコマンド実行時にファイルを保存することができません。他のソフトウェアでヘキサ・ファイルを使用するなどアクセスできない可能性があります。
E1001018	[メッセージ]	不正データ設定エラー
	[説明]	不正なデータのため設定できません。
	[対処方法]	設定値を見直してください。



E1001019	[メッセージ]	無線レジストリの異常
	[説明]	無線ユニット (QB-MINI2-RF) 用レジストリキーが存在しないか壊れている可能性があります。
	[対処方法]	MINICUBE2 RF ユーティリティを起動して、設定を行ってください。
E1001020	[メッセージ]	プロテクト・エラーが発生したため、すべてのフラッシュ・オプションを取得できませんでした。
	[説明]	フラッシュ・オプションの取得コマンド実行時にプロテクト・エラーが発生したため、すべてのフラッシュ・オプションの設定情報が取得できなかった場合のメッセージです。
E1001021	[メッセージ]	OCD セキュリティ ID 設定の値が不正です。
	[説明]	OCD セキュリティ ID に入力された値が不正です。
	[対処方法]	入力した文字数、値を確認してください。
E1001022	[メッセージ]	オプション・バイト設定の値が不正です。
	[説明]	OPBT に入力された値が不正です。
	[対処方法]	入力した文字数、値を確認してください。
E1002001	[メッセージ]	モード遷移エラー (FLMD)
	[説明]	シリアル・プログラミング・モードに遷移できていない可能性があります。 - MINICUBE2 ~ ターゲット・デバイス間の接続不良。 - クロック、または電源が正しく供給されていない。 - ターゲット・マイクロコントローラ不良。
E1002002	[メッセージ]	モード遷移エラー (RESET)
	[説明]	シリアル・プログラミング・モードに遷移できていない可能性があります。 - MINICUBE2 ~ ターゲット・デバイス間の接続不良。 - クロック、または電源が正しく供給されていない。 - ターゲット・マイクロコントローラ不良。
E1002003	[メッセージ]	同期エラー (FREQ)
	[説明]	シリアル・プログラミング・モードに遷移できていない可能性があります。 - MINICUBE2 ~ ターゲット・デバイス間の接続不良。 - クロック、または電源が正しく供給されていない。 - ターゲット・マイクロコントローラ不良。
E1002004	[メッセージ]	コミュニケーション、またはタイムアウト・エラー
	[説明]	シリアル・プログラミング・モード遷移後、正常な通信ができていない可能性があります。 - クロック、または電源の供給が安定していない。 - ターゲット・マイクロコントローラ不良。 - 通信ラインに異常がある可能性があります。
E1002005	[メッセージ]	不正ボー・レートによる同期エラー
	[対処方法]	マイクロコントローラのマニュアルを参照してサポートしているボーレートを選択してください。

E1002006	[メッセージ]	シグネチャ・リード・エラー
	[説明]	選択したパラメータ・ファイルとターゲット・マイクロコントローラが一致していません。
	[対処方法]	正しいパラメータ・ファイルを指定してください。
E1002007	[メッセージ]	デバイスファーム・バージョン・リード・エラー
	[対処方法]	選択したパラメータ・ファイルのレベルが古い可能性があります。アップデート・マネージャを使って最新パラメータ・ファイルをダウンロードしてください。
E1002008	[メッセージ]	ブランク・エラー
	[対処方法]	書き込みを行う場合は必ず消去してブランクであることを確認してください。
E1002009	[メッセージ]	消去エラー
	[説明]	フラッシュ・メモリ不良により消去できない可能性があります。 78K0S/Kx1+ の場合、消去禁止設定をしている場合、本エラーが表示されます。
E1002010	[メッセージ]	書き込みエラー
	[説明]	すでに書き込みされている領域に、異なるデータを書き込んだ可能性があります。 フラッシュ・メモリ不良により書き込みできない可能性があります。
E1002011	[メッセージ]	ベリファイ・エラー
	[説明]	ヘキサ・ファイルのデータとターゲット・マイクロコントローラに対して書き込まれたデータが異なる可能性があります。 フラッシュ・メモリ不良によるリード異常で正常にベリファイできない可能性があります。
E1002012	[メッセージ]	セキュリティ・エラー
	[説明]	セキュリティ設定で [禁止設定] から [許可設定] にしている可能性があります。本設定はチップ消去でのみ実現可能です。 一部のマイクロコントローラではセキュリティ情報の追加設定はできないものがあります。一度チップ消去を行い、一括設定を行ってください。 フラッシュ・メモリ不良でセキュリティ設定できない可能性があります。
E1002013	[メッセージ]	プロテクト・エラー
	[説明]	すでにターゲット・マイクロコントローラに対してセキュリティ設定済みのため指定したコマンド実行ができない可能性があります。一部のセキュリティ・フラグはチップ消去の実行でクリア可能ですが、クリアできないものもあります。詳細は対象マイクロコントローラのマニュアルを参照してください。
E1002014	[メッセージ]	チェック・サム照合エラー
	[説明]	ターゲット・デバイスに書き込まれているデータとヘキサ・ファイルが異なっている可能性があります。
E1002015	[メッセージ]	リトライ・オーバ・エラー
	[説明]	コマンド・オペレーションの指定リトライ回数をオーバしました。デバイス不良の可能性がります。
E1002016	[メッセージ]	不正ステータス・エラー
	[説明]	マイクロコントローラから返るステータス・コードが不正（規定外値）で暴走している可能性があります。動作環境を確認し、再度コマンドを実行してみてください。 外的要因で通信ラインが不安定になっている可能性があります。

E1002017	[メッセージ]	無線通信エラー
	[説明]	無線通信の状態が悪い可能性があります。
	[対処方法]	無線アダプタ間の距離を調整し、MINICUBE2 RF ユーティリティを起動して、設定を行ってください。
E1009001	[メッセージ]	イニシャライズ・エラー
	[説明]	起動時にワークメモリの取得失敗、またはスレッド処理の起動に失敗した可能性があります。
	[対処方法]	パソコンを変えて QB-Programmer を起動してみてください。
E1009002	[メッセージ]	内部パラメータ・エラー
	[説明]	USB 通信ラインが不安定になるなどの要因で正常に制御できていない可能性があります。
E1009003	[メッセージ]	内部通信エラー
	[対処方法]	MINICUBE2 が暴走している可能性がありますので、USB 接続を切断後、再接続してみてください。
E1009004	[メッセージ]	内部タイムアウト・エラー
	[対処方法]	マイクロコントローラ不良の可能性があるため良品サンプルと交換してください。
E1200002	[メッセージ]	この機能はサポートしていません。
E1200256	[メッセージ]	エミュレータと通信できません。インタフェース・ボード用のデバイス・ドライバが正しくインストールされているか確認してください。
E1200257	[メッセージ]	イニシャライズファイル (EXPC.INI) が見つかりません。
E1200258	[メッセージ]	ホスト名が見つかりません。
E1200259	[メッセージ]	エミュレータへの送信ができません。エミュレータの電源、ケーブルの接続、I/O アドレスの設定などを確認してください。
E1200260	[メッセージ]	エミュレータから応答がありません。エミュレータの電源、ケーブルの接続、I/O アドレスの設定などを確認してください。
E1200261	[メッセージ]	デバイス・ファイル (d0xxx.78k) を正しく読めませんでした。
E1200262	[メッセージ]	受信データに異常がありました。
E1200263	[メッセージ]	エミュレータとの通信でエラーが発生しました。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】  [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> <li>- USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】  [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> </ul>
E1200264	[メッセージ]	イニシャライズ・ファイル (EXPC.INI) を正しく読めません。

E1200265	[メッセージ]	エミュレータと通信できません。デバッガを終了させ、エミュレータの電源、ケーブルの接続などを確認し、デバッガを再起動してください。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> <li>- USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> </ul>
E1200266	[メッセージ]	デバッガとユーティリティの同時起動はできません。
E1200416	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 エミュレーション CPU から応答がありません。RESET、WAIT などの信号やクロック信号に異常がないか確認してください。
	[メッセージ]	【V850】 エバチップから応答がありません。RESET、WAIT、HLDRQ などの信号やクロック信号に異常がないか確認してください。
E1200417	[メッセージ]	ie703000.ie を正しく読めませんでした。
E1200418	[メッセージ]	BK ボードが接続されていません。
E1200419	[メッセージ]	エミュレーション・ボードが接続されていません。
E1200420	[メッセージ]	選択デバイスと接続エミュレータに矛盾があります。デバッガを終了します。
E1200421	[メッセージ]	POD/EM1 ボードが接続されていません。
E1200422	[メッセージ]	イグゼキュタ起動中です。
E1200423	[メッセージ]	マイクロ・プログラム・ファイル (m0xxx.78k) を正しく読めませんでした。
E1200424	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 イニシャライズ・ファイル (EXPC.INI) を正しく読めません。
	[メッセージ]	【V850】 コンフィギュレーション・ファイル (LV8HW.INI) が見つかりません。
E1200429	[メッセージ]	インタフェース・ボード用のデバイス・ドライバを更新して下さい。
E1200430	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 イニシャライズ・ファイル (EXPC.INI) を正しく読めません。
	[メッセージ]	【V850】 コンフィギュレーション・ファイル (LV8HW.INI) を正しく読めません。
E1200431	[メッセージ]	モニタ・コマンドの実行に失敗しました。
E1200432	[メッセージ]	モニタ・プログラムと通信できません。通信ポートが利用可能かどうか、CPU ボードの設定、ケーブルの種類などを確認してください。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> <li>- USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> </ul>

E1200433	[メッセージ]	モニタ・プログラムと通信できません。デバッグを終了させ、CPU ボードの電源、ケーブルの接続などを確認し、デバッグを再起動してください。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> <li>- USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> </ul>
E1200434	[メッセージ]	エミュレータのファームウェアのバージョンが最新ではありません。ユーティリティで最新のファームウェアに更新してください。
E1200435	[メッセージ]	無線の通信設定が行われていません。無線ユーティリティで設定を行ってください。
E1200464	[メッセージ]	シミュレータの起動に失敗しました。
E1200465	[メッセージ]	シミュレータ起動時のメモリが不足しています。
E1200512	[メッセージ]	ベリファイ・エラーが起きました。メモリに書き込みができません。
E1200672	[メッセージ]	バス・ホールド中です。
E1200674	[メッセージ]	強制ブレークはできません。
E1200675	[メッセージ]	リセットが継続中です。
E1200722	[メッセージ]	トレース・フレームのメモリが不足しています。
E1200768	[メッセージ]	ユーザ・プログラム実行中です。
E1200769	[メッセージ]	ユーザ・プログラム停止中です。
E1200770	[メッセージ]	ユーザ・プログラム・トレース中です。
E1200771	[メッセージ]	トレース測定は行われていません。
E1200772	[メッセージ]	トレーサは OFF になっています。
E1200774	[メッセージ]	トレース・ブロックはありません。
E1200775	[メッセージ]	イベント条件がありません。
E1200776	[メッセージ]	タイマ測定は行われていません。
E1200777	[メッセージ]	トリガ・フレームはありません。
E1200778	[メッセージ]	トレーサ停止中です。
E1200779	[メッセージ]	参照・削除しようとしたスナップ・イベントが未登録です。
E1200780	[メッセージ]	参照・削除しようとしたスタブ・イベントが未登録です。
E1200781	[メッセージ]	タイマ動作中です。
E1200782	[メッセージ]	メモリ・コピー範囲が重なっています。
E1200783	[メッセージ]	トレースはすでに ON 状態です。
E1200784	[メッセージ]	イベント条件が設定されていません。
E1200785	[メッセージ]	有効タイマ・イベント条件の最大個数を超えました。
E1200786	[メッセージ]	このタイマ・イベントは設定されていません。
E1200787	[メッセージ]	マッピング設定に誤りがあります。

E1200788	[メッセージ]	ディレイ・トリガ条件が設定されているのでトレース・ディレイ・モード以外は使用できません。
E1200789	[メッセージ]	ディレイ・トリガ条件はトレース・ディレイ・モード以外では設定できません。
E1200790	[メッセージ]	指定可能なマッピング数を超えました。
E1200928	[メッセージ]	ターゲットの電源が OFF です。
E1200929	[メッセージ]	ステップ実行中です。
E1200930	[メッセージ]	タイマ、トレーサ動作中です。
E1200931	[メッセージ]	統合イベントと実行系イベントが混在しています。
E1200976	[メッセージ]	バック・トレース実行中です。
E1200977	[メッセージ]	バック・トレース停止中です。
E1200978	[メッセージ]	バック・トレース実行停止位置がバック・トレース可能な範囲を超えました。
E1200979	[メッセージ]	統合イベントの Phase1 以外に Register ステータス、または Memory ステータスは設定できません。
E1200980	[メッセージ]	バック・トレース情報がありません。
E1200981	[メッセージ]	最後の命令でバック・ステップが出来ません。
E1201024	[メッセージ]	指定した条件が不正です。
E1201025	[メッセージ]	タイマ測定結果がオーバフローしました。
E1201026	[メッセージ]	バス・カウントを設定したイベント条件の数が多すぎます。
E1201027	[メッセージ]	アドレス範囲指定条件の最大個数を超えています。
E1201028	[メッセージ]	同時に使用可能なイベント条件の設定個数を超えています。
E1201029	[メッセージ]	スナップ・イベント条件の最大個数を超えています。
E1201030	[メッセージ]	スタブ・イベント条件の最大個数を超えています。
E1201031	[メッセージ]	初期化データ数が初期化領域を超えています。
E1201032	[メッセージ]	検索データが 16 バイトを超えています。
E1201033	[メッセージ]	検索データのサイズが検索範囲のサイズを超えています。
E1201034	[メッセージ]	統合イベント設定数の最大個数を超えました。
E1201184	[メッセージ]	ソフトウェア・ブレイク条件の最大個数を超えました。
E1201185	[メッセージ]	エミュレーション用のメモリが足りません。
E1201186	[メッセージ]	バス・サイズの区切りが最大数を超えました。
E1201187	[メッセージ]	実行イベント条件の最大個数を超えました。
E1201188	[メッセージ]	バス・イベント条件の最大個数を超えました。
E1201232	[メッセージ]	指定したイベントは既に使用済みです。
E1201536	[メッセージ]	バッファの取得に失敗しました。
E1201537	[メッセージ]	オペレーティングシステムのリソースが不足しています。
E1202913	[メッセージ]	Zクッション・トレース・イベント条件の最大個数を超えました。
E1202918	[メッセージ]	実行前ブレイクとソフトウェア・ブレイクは同時に使用できません。
E1203072	[メッセージ]	モニタ・ファイルの読み込みに失敗しました。
E1203073	[メッセージ]	レジスタのアクセス中に CPU からの応答がなくなりました。
E1203074	[メッセージ]	メモリのアクセス中に CPU からの応答がなくなりました。

E1203075	[メッセージ]	I/O レジスタのアクセス中に CPU からの応答がなくなりました。
E1203076	[メッセージ]	フラッシュ・メモリの情報ファイルが見つかりません。または、ファイルの読み込みに失敗しました。
E1203077	[メッセージ]	モニタ・コードの更新に失敗しました。
E1203102	[メッセージ]	フラッシュ・セルフ・エミュレーションに必要な命令コードがありません。
E1203103	[メッセージ]	セキュリティ ID コードを直接書き換えることはできません。
E1203104	[メッセージ]	ガード領域にアクセスしようとした。
E1203105	[メッセージ]	メモリが NO READY 状態です。
E1203107	[メッセージ]	バス・ホールドが継続中です。
E1203108	[メッセージ]	デバッグ・モードに移行できません。
E1203109	[メッセージ]	フラッシュ・マクロ・サービス用 ROM をアクセスまたはステップ実行しました。
E1203110	[メッセージ]	FLMD 端子が書き込み禁止状態です。
E1203111	[メッセージ]	セキュリティ・フラグが書き込み禁止状態です。
E1203112	[メッセージ]	内蔵 RAM が不足しているためフラッシュ・メモリの書き込みができません。
E1203113	[メッセージ]	フラッシュ・メモリのブランク・チェックに失敗しました。
E1203114	[メッセージ]	フラッシュ・メモリの消去に失敗しました。
E1203115	[メッセージ]	フラッシュ・メモリの書き込みに失敗しました。
E1203116	[メッセージ]	フラッシュ・メモリの内部ベリファイに失敗しました。
E1203117	[メッセージ]	フラッシュ・メモリの書き込みに失敗しました。
E1203118	[メッセージ]	フラッシュ・マクロ・サービスからの応答がありません。
E1203119	[メッセージ]	フラッシュ・マクロ・サービスからの応答が正しくありません。
E1203120	[メッセージ]	フラッシュ I/O レジスタ操作禁止の設定を、解除する必要があります。
E1203121	[メッセージ]	STOP モードが継続中です。強制ブレークはできません。STOP モードを解除するか、CPU リセットして下さい。
E1203123	[メッセージ]	オンチップ・デバッグを使用禁止にしようとした。
E1203124	[メッセージ]	オンチップ・デバッグで使用する予約領域への書き込みはできません。
E1203125	[メッセージ]	フラッシュ書き込み用のプログラムを内蔵 RAM に書き込めません。
E1203126	[メッセージ]	内蔵 ROM サイズがデバイスのデフォルト・サイズになっていません。
E1203127	[メッセージ]	電圧が低すぎてフラッシュ書き込みができません。
E1203128	[メッセージ]	拡張モニタ領域が使用中のためモニタ・コードを書き込めません。
E1203129	[メッセージ]	RRM に失敗しました。
E1203130	[メッセージ]	データフラッシュ領域の書き込みはサポートしていません。
E1203131	[メッセージ]	データフラッシュ以外のフラッシュ環境のため、データフラッシュ・メモリの書き込みができません。
E1203132	[メッセージ]	外部空間にあるフラッシュ・メモリの情報が未設定です。
E1203133	[メッセージ]	外部空間にあるフラッシュ・メモリの消去に失敗しました。
E1203134	[メッセージ]	外部空間にあるフラッシュ・メモリの書き込みに失敗しました。
E1203135	[メッセージ]	オンチップ・デバッグで禁止されている値を書き込もうとした。
E1203136	[メッセージ]	有効なイベント条件のステータスは変更できません。



E1203137	[メッセージ]	カバレッジ実行中です。
E1203138	[メッセージ]	デバッグ・モードへの移行に失敗しています。CPU リセットして下さい。
E1203139	[メッセージ]	エミュレータの接続ができません。エミュレータの電源、ケーブルの接続などを確認してください。
E1203140	[メッセージ]	トレース・パケット・データの取りこぼしが発生しました。
E1203141	[メッセージ]	パワー OFF リセットエミュレーション中はプログラムの実行はできません。
E1203142	[メッセージ]	フラッシュ・セルフ・エミュレーション中は、内蔵 ROM サイズまたは内蔵 RAM サイズの変更と RAM モニタと DMM の機能を使用できません。
E1203143	[メッセージ]	ROM コレクション・エミュレーションは既に有効です。
E1203144	[メッセージ]	デバッグ設定によりフラッシュ書き込みが禁止されています。
E1203168	[メッセージ]	実行前イベントはブレーク条件以外に設定できません。
E1203169	[メッセージ]	ハードウェア・ブレークで使用できないイベント番号の登録はできません。
E1203170	[メッセージ]	ハードウェア・ブレークで使用するイベント番号は使用できません。
E1203171	[メッセージ]	統合イベント条件は設定できません。
E1203172	[メッセージ]	ROM エミュレーション RAM 領域は複数設定できません。
E1203175	[メッセージ]	フラッシュ・メモリのブロック間の書き込みはできません。
E1203176	[メッセージ]	ROM コレクション・エミュレーション可能な定形コードになっていません。
E1203177	[メッセージ]	データフラッシュ領域外のアドレスが指定されました。
E1203178	[メッセージ]	外部空間にあるフラッシュ・メモリ領域外のアドレスが指定されました。
E1203184	[メッセージ]	DCU にアクセスできません。
E1203185	[メッセージ]	リセットができません。
E1203186	[メッセージ]	モニタ・メモリにアクセスできません。
E1203187	[メッセージ]	モニタ実行できません。
E1203188	[メッセージ]	CPU レジスタにアクセスできません。
E1203189	[メッセージ]	デバッグ・モードへの移行に失敗しています。CPU リセットして下さい。
E1203190	[メッセージ]	DCU アクセス開始時の初期状態が異常です。
E1203191	[メッセージ]	DCU アクセス異常です。
E1203192	[メッセージ]	トレース・データの読み込みに失敗しました。
E1203193	[メッセージ]	このデバイスではオンチップ・デバッグが禁止されています。
E1203194	[メッセージ]	クロック周波数が規定の範囲外なので、フラッシュ書き込みができません。
E1203232	[メッセージ]	エミュレータと通信できません。エミュレータの電源、ケーブルの接続、I/O アドレスの設定などを確認してください。
E1203233	[メッセージ]	モニタ・ファイルが見つかりませんでした。
E1203234	[メッセージ]	オンチップ・デバッグに対応していないデバイス・ファイルです。
E1203235	[メッセージ]	デバイス・ファイルのオンチップ・デバッグ情報に未サポートの情報が含まれていません。
E1203236	[メッセージ]	IECUBE に対応していないデバイス・ファイルです。
E1203247	[メッセージ]	トレース・ブロックを越えた移動はできません。
E1204096	[メッセージ]	エミュレータの初期化に失敗しました。



E1204097	[メッセージ]	指定番号のエントリが存在しません。
E1204098	[メッセージ]	内蔵 RAM がリロケートできません。
E1204099	[メッセージ]	リロケーション・アドレスが不正です。
E1204100	[メッセージ]	指定条件が不正です。
E1204101	[メッセージ]	属性が無効です。
E1204102	[メッセージ]	アドレスが不正です。
E1204103	[メッセージ]	エミュレータの代替メモリが不足しています。
E1204104	[メッセージ]	テーブル用のメモリが不足しています。
E1204105	[メッセージ]	すでに初期化済みです。
E1204106	[メッセージ]	まだ初期化されていません。
E1204107	[メッセージ]	ユーザ・プログラム実行中です。
E1204108	[メッセージ]	バス・サイズの異なる領域に重複設定しようとした。
E1204109	[メッセージ]	バス・サイズの定義可能な最大値を超えています。
E1204110	[メッセージ]	バス・サイズの区切りが最大値を超えました。
E1204112	[メッセージ]	マップの範囲指定に誤りがあります。
E1204113	[メッセージ]	内蔵 ROM, RAM の設定に失敗しました。
E1204114	[メッセージ]	この機能はサポートしていません。
E1204115	[メッセージ]	端子名が存在しません。
E1204117	[メッセージ]	プログラマブル IOR がありません。
E1204118	[メッセージ]	プログラマブル IOR は移動できません。
E1204119	[メッセージ]	I/O Protect マッピングができるのはターゲット属性のみです。
E1204120	[メッセージ]	内蔵 ROM サイズが不正です。
E1204121	[メッセージ]	内蔵 ROM サイズまたは内蔵 RAM サイズが不正です。
E1204122	[メッセージ]	指定したシミュレータ・コンフィギュレーション・ファイルが存在しません。
E1204123	[メッセージ]	シミュレータ・コンフィギュレーション・ファイルが指定されていません。
E1204124	[メッセージ]	シミュレータ・コンフィギュレーション・ファイルが不正です。
E1204125	[メッセージ]	データフラッシュ領域は移動できません。
E1204126	[メッセージ]	データフラッシュ領域がありません。
E1204351	[メッセージ]	通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> <li>- USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE, MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> </ul>
E1207614	[メッセージ]	デバッガ内部でエラーが発生しました。

E1208192	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 SFR 名が不正です。
	[メッセージ]	【V850】 I/O レジスタ名が不正です。
E1208193	[メッセージ]	アドレスが不正です。
E1208194	[メッセージ]	ユーザ・プログラム実行中です。
E1208195	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 SFR 数に誤りがあります。
	[メッセージ]	【V850】 I/O レジスタ数に誤りがあります。
E1208196	[メッセージ]	ビット位置が不正です。
E1208198	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 非公開の SFR が指定されました。
	[メッセージ]	【V850】 非公開の I/O レジスタが指定されました。
E1208199	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 書き込み禁止または読み出し禁止の SFR が指定されました。
	[メッセージ]	【V850】 書き込み禁止または読み出し禁止の I/O レジスタが指定されました。
E1208200	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 指定された SFR は存在しません。
	[メッセージ]	【V850】 指定された I/O レジスタは存在しません。
E1208201	[メッセージ]	デバイス・ファイルが破損しているか、ファイルに誤りがあります。
E1208202	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 SFR に対する設定値に誤りがあります。
	[メッセージ]	【V850】 I/O レジスタに対する設定値に誤りがあります。
E1208203	[メッセージ]	コピーに失敗しました。
E1208204	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1208206	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 SFR 領域にアクセスしようとしてしました。
	[メッセージ]	【V850】 I/O レジスタ領域にアクセスしようとしてしました。
E1208207	[メッセージ]	指定した名前が 15 文字を超えています。
E1208208	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 SFR レジスタ名には、英数字、または、アンダーバー以外の文字は指定できません。
	[メッセージ]	【V850】 I/O レジスタ名には、英数字、または、アンダーバー以外の文字は指定できません。
E1208447	[メッセージ]	通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> <li>- USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> </ul>
E1208738	[メッセージ]	指定条件が不正です。
E1212288	[メッセージ]	マッピングされていないアドレスにアクセスしようとしてしました。
E1212289	[メッセージ]	メモリ内容が一致しませんでした。
E1212290	[メッセージ]	開始アドレスが不正です。
E1212291	[メッセージ]	終了アドレスが不正です。

E1212292	[メッセージ]	開始、終了アドレスともに不正です。
E1212293	[メッセージ]	指定条件が不正です。
E1212294	[メッセージ]	ユーザ・プログラム実行中です。
E1212295	[メッセージ]	ベリファイ・エラーです。
E1212296	[メッセージ]	指定条件がありません。
E1212297	[メッセージ]	パラメータ・サイズがアクセス・サイズ・アライメントになっていません。
E1212298	[メッセージ]	指定アドレスがアクセス・サイズ・アライメントになっていません。
E1212299	[メッセージ]	指定アドレス (Source) がアクセス・サイズ・アライメントになっていません。
E1212300	[メッセージ]	指定アドレス (Destination) がアクセス・サイズ・アライメントになっていません。
E1212301	[メッセージ]	終了アドレスが不正です。
E1212302	[メッセージ]	指定範囲内でアクセス・サイズが異なります。
E1212303	[メッセージ]	指定範囲内 (Source) でアクセス・サイズが異なります。
E1212304	[メッセージ]	指定範囲内 (Destination) でアクセス・サイズが異なります。
E1212305	[メッセージ]	指定範囲 (Source) と指定範囲 (Destination) でアクセスサイズが異なります。
E1212306	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1212307	[メッセージ]	DMM の書き込みに失敗しました。
E1212308	[メッセージ]	マッピング領域を超えました。
E1212309	[メッセージ]	処理が中断されました。
E1212310	[メッセージ]	この機能はサポートしていません。
E1212543	[メッセージ]	通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> <li>- USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> </ul>
E1216384	[メッセージ]	指定されたイベントは削除できません。
E1216385	[メッセージ]	指定したテーブル番号が不正です。
E1216386	[メッセージ]	開始アドレスが不正です。
E1216387	[メッセージ]	終了アドレスが不正です。
E1216388	[メッセージ]	ステータスが不正です。
E1216389	[メッセージ]	データが不正です。
E1216390	[メッセージ]	すでに使用済みのイベント番号を指定しようとしてしました。
E1216391	[メッセージ]	同じ種類のイベント最大登録個数を超えています。
E1216392	[メッセージ]	指定したイベントは登録されていません。
E1216393	[メッセージ]	データ・サイズが不正です。
E1216394	[メッセージ]	モードが不正です。

E1216395	[メッセージ]	設定値が不正です。
E1216396	[メッセージ]	セクション・トレース条件に統合イベント条件は使用できません。
E1216397	[メッセージ]	同一イベントを 32,767 個以上登録しようとした。
E1216398	[メッセージ]	イベント条件の指定がありません。
E1216399	[メッセージ]	統合イベント条件が不正です。
E1216400	[メッセージ]	指定した関数が見つかりません。
E1216401	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1216402	[メッセージ]	タイマが無効になっています。
E1216403	[メッセージ]	アクセス・サイズとマッピングしているバス・サイズが異なります。
E1216404	[メッセージ]	ソフトウェア・ブレークが使用できません。
E1216405	[メッセージ]	アドレス範囲指定しているイベント条件は使用できません。
E1216406	[メッセージ]	イベント条件の変更ができません。
E1216407	[メッセージ]	奇数番地のワード・アクセスはできません。
E1216408	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1216409	[メッセージ]	この機能はサポートしていません。
E1216410	[メッセージ]	イベントがありません。
E1216411	[メッセージ]	タグイベントは使用できません。
E1216413	[メッセージ]	タイマの開始イベントと終了イベントを同じ設定には出来ません。
E1216414	[メッセージ]	トレース条件の最大個数を超えました。
E1216415	[メッセージ]	バス・カウントは設定できません。
E1216416	[メッセージ]	実行前イベントではアドレス範囲を設定できません。
E1216417	[メッセージ]	イベント条件の最大個数を超えました。
E1216418	[メッセージ]	ソフトウェア・DMM 条件の最大個数を超えました。
E1216419	[メッセージ]	リアルタイム・コール条件の最大個数を超えました。
E1216420	[メッセージ]	ソフトウェア・ブレーク条件の最大個数を超えました。
E1216421	[メッセージ]	スナップの条件が不完全です。
E1216422	[メッセージ]	統合イベント条件の Phase1 と Phase2 にはイベント条件を複数設定できません。
E1216423	[メッセージ]	内蔵 ROM 領域に設定できるソフトウェア・ブレーク条件の最大個数を超えました。
E1216424	[メッセージ]	内蔵命令 RAM 領域が無効になっている為、その領域にソフトウェア・ブレークは設定できません。
E1217176	[メッセージ]	メモリバンクの設定が不正です。
E1220480	[メッセージ]	デバイス・ファイルが不正です。
E1220481	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1220482	[メッセージ]	デバイス・ファイルのオープンに失敗しました。
E1220483	[メッセージ]	デバイス・ファイルの読み込みに失敗しました。
E1220484	[メッセージ]	デバイス・ファイルのクローズに失敗しました。
E1220485	[メッセージ]	デバイス・ファイルの形式が違います。
E1220486	[メッセージ]	エミュレータの初期化に失敗しました。

E1220487	[メッセージ]	デバイス・ファイルが壊れているか、ファイルに誤りがあります。
E1220488	[メッセージ]	指定したデバイス・ファイルをオープンできません。
E1220489	[メッセージ]	ie703000.ie をオープンできません。
E1220490	[メッセージ]	デバイス・ファイルのバージョンが不正です。
E1220492	[メッセージ]	イニシャライズ・ファイル (EXPC.INI) を正しく読めません。
E1220493	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1221248	[メッセージ]	デバイス・ファイルが不正です。
E1221249	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1221250	[メッセージ]	データベース・ファイルのオープンに失敗しました。
E1221251	[メッセージ]	データベース・ファイルの読み込みに失敗しました。
E1221252	[メッセージ]	データベース・ファイルのクローズに失敗しました。
E1221253	[メッセージ]	データベース・ファイルの形式が違います。
E1221254	[メッセージ]	データベース情報は初期化済です。
E1221255	[メッセージ]	データベース情報がありません。
E1221256	[メッセージ]	指定したデータベース・ファイルをオープンできません。
E1221257	[メッセージ]	データベース・ファイルのバージョンが不正です。
E1224576	[メッセージ]	カレント関数が存在しません。
E1224577	[メッセージ]	シンボル名が不正です。
E1224578	[メッセージ]	指定条件が不正です。
E1224579	[メッセージ]	関数名が不正です。
E1224580	[メッセージ]	出力バッファのサイズを超えています。
E1224581	[メッセージ]	式が不正です。
E1228672	[メッセージ]	モード指定に誤りがあります。
E1228673	[メッセージ]	ユーザ・プログラム実行中です。
E1228674	[メッセージ]	ユーザ・プログラム停止中です。
E1228675	[メッセージ]	トレース実行中です。
E1228676	[メッセージ]	トレース・メモリが OFF になっています。
E1228677	[メッセージ]	関数リターン・アドレスがありません。ステップ実行が行えません。
E1228690	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1228926	[メッセージ]	バス・ホールド中です。
E1228927	[メッセージ]	通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】        [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> <li>- USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】        [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> </ul>

E1230721	[メッセージ]	ステップ実行の終了待ち状態をキャンセルしました。
E1230722	[メッセージ]	ステップ実行が中断しました。
E1232512	[メッセージ]	ステップ実行を強制終了しました。
E1232514	[メッセージ]	ステップ実行を中断しました。
E1232515	[メッセージ]	実行 / ステップ実行のキャンセルに失敗しました。
E1232516	[メッセージ]	マッピングされていない領域を実行しようとしました。
E1232517	[メッセージ]	この機能はサポートしていません。
E1232768	[メッセージ]	指定したファイルは見つかりませんでした。
E1232769	[メッセージ]	行番号が不正です。
E1232770	[メッセージ]	カレント情報がセットされていません。
E1232771	[メッセージ]	アドレスが不正です。
E1232772	[メッセージ]	この機能はサポートしていません。
E1236864	[メッセージ]	指定したレジスタ・シンボルは存在しません。
E1236865	[メッセージ]	指定したレジスタ・シンボル ID は存在しません。
E1236866	[メッセージ]	設定値が不正です。
E1236867	[メッセージ]	指定条件不正です。
E1236868	[メッセージ]	レジスタのサイズが大きすぎます。
E1236869	[メッセージ]	この機能はサポートしていません。
E1236870	[メッセージ]	PSW はビット単位では変更できません。バイト単位で変更してください。
E1240961	[メッセージ]	式が不正です。
E1240962	[メッセージ]	開始 / 終了アドレスの指定が逆です。
E1240963	[メッセージ]	指定したソース・パス情報が不正です。
E1240964	[メッセージ]	式が長すぎます。
E1240965	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1240966	[メッセージ]	引数が不正です。
E1240967	[メッセージ]	プログラム番号が不正です。
E1240968	[メッセージ]	ソース・パスがセットされていません。
E1240969	[メッセージ]	ファイルは見つかりませんでした。
E1240970	[メッセージ]	ファイルのオープンに失敗しました。
E1240971	[メッセージ]	ファイルのクローズに失敗しました。
E1240972	[メッセージ]	ファイルの読み込みに失敗しました。
E1240973	[メッセージ]	ロード・モジュールのソース・ファイルではありません。
E1240974	[メッセージ]	行番号が不正です。
E1240975	[メッセージ]	変数が存在しません。

E1240976	[メッセージ]	通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> <li>- USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> </ul>
E1240977	[メッセージ]	レジスタにアクセスできません。
E1240978	[メッセージ]	メモリ (変数) にアクセスできません。
E1240979	[メッセージ]	ファイルの読み込みに失敗しました。
E1240980	[メッセージ]	バイナリ・ファイルを開こうとしました。
E1240981	[メッセージ]	テンポラリ・パスの取得に失敗しました。
E1240982	[メッセージ]	テンポラリ・ファイルの作成に失敗しました。
E1240983	[メッセージ]	テンポラリ・ファイルの削除に失敗しました。
E1240992	[メッセージ]	この機能はサポートしていません。
E1240993	[メッセージ]	レジスタに割り当てられたシンボルは指定できません。
E1240994	[メッセージ]	フォルダに使用できない文字が含まれているか、またはフォルダが存在しません。
E1245056	[メッセージ]	コマンド行が不正です。
E1245057	[メッセージ]	ロード・モジュール・ファイルにプログラム情報がありません。
E1245058	[メッセージ]	ファイルは見つかりませんでした。
E1245059	[メッセージ]	関数が見つかりません。
E1245060	[メッセージ]	選択した品種 (チップ) と異なるロード・モジュールをロードしました。
E1245061	[メッセージ]	シンボルが見つかりません。
E1245064	[メッセージ]	式が不正です。
E1245065	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1245066	[メッセージ]	ロード・モジュール・ファイル内に不正なシンボルがあります。
E1245067	[メッセージ]	カレント・プログラムが存在しません。
E1245068	[メッセージ]	カレント・ファイルが存在しません。
E1245069	[メッセージ]	カレント関数が存在しません。
E1245070	[メッセージ]	カレント行が存在しません。
E1245071	[メッセージ]	タグが見つかりません。
E1245072	[メッセージ]	シンボル情報のロードに失敗しました。
E1245073	[メッセージ]	行番号が不正です。
E1245074	[メッセージ]	行番号が大きすぎます。
E1245077	[メッセージ]	ファイルの読み込みに失敗しました。
E1245078	[メッセージ]	ファイルのオープンに失敗しました。
E1245079	[メッセージ]	ファイルの書き込みに失敗しました。



E1245081	[メッセージ]	ファイルの読み込みに失敗しました。
E1245082	[メッセージ]	ファイルのクローズに失敗しました。
E1245083	[メッセージ]	ロード・モジュールのファイル名が長すぎます。
E1245084	[メッセージ]	タスク種別のエントリ数が多すぎます。
E1245085	[メッセージ]	アドレスが存在しません。
E1245087	[メッセージ]	構造体のメンバが見つかりません。
E1245088	[メッセージ]	値が見つかりません。
E1245089	[メッセージ]	ロード・モジュール・ファイルにデバッグ情報とシンボル情報がありません。
E1245090	[メッセージ]	行番号が不正です。
E1245091	[メッセージ]	カレント・スタック・フレームがアクティブではありません。
E1245092	[メッセージ]	セクションが違います。
E1245094	[メッセージ]	表示する配列が4次元を超えています。
E1245095	[メッセージ]	ファイルが途中までしかありません。
E1245096	[メッセージ]	この機能はサポートしていません。
E1245097	[メッセージ]	アドレスが不正です。
E1245098	[メッセージ]	通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> <li>- USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> </ul>
E1245099	[メッセージ]	現在の PC 値では、スタック・トレースはできません。
E1245100	[メッセージ]	1 関数内の最大ブロック数を超えています。
E1245101	[メッセージ]	関数に渡した引数が不正です。
E1245102	[メッセージ]	指定したファイルがソース・パスから見つかりませんでした。
E1245103	[メッセージ]	最適化により情報が削除されました。
E1245104	[メッセージ]	モニタがタイム・アウトしました。
E1245105	[メッセージ]	すでにメモリ上に設定されています。
E1245106	[メッセージ]	スコープの範囲外です。
E1245107	[メッセージ]	LP をストアしていません。
E1245108	[メッセージ]	現在の PC 位置からのリターン実行はできません。
	[対処方法]	PC がソース行の先頭アドレス以外を指している場合は、リターン実行できません (エラー表示します)。また、リターン実行の直後はソース行の先頭アドレスとならないため、続けてリターン実行はできません。一度ソース・レベルでステップ実行して PC が次の行の先頭アドレスを指すようにしてからリターン実行してください。



E1245109	[メッセージ]	現在の PC 位置からのリターン・アウトはできません。ソース・モードでステップ実行してからリターン・アウトを実行して下さい。
E1245111	[メッセージ]	行情報が多すぎます。
E1245112	[メッセージ]	未対応のコンパイラバージョンのため、デバッグ情報のロードが出来ません。
E1245113	[メッセージ]	デバッグ情報のロードに失敗しました。
E1245114	[メッセージ]	セクション情報がありません。
E1245120	[メッセージ]	ロード・モジュール形式ではありません。
E1245121	[メッセージ]	ロード・モジュールに含まれるファイル数がデバッガで扱える上限値を超えました。
E1245870	[メッセージ]	不正なポート番号です。
E1245871	[メッセージ]	不正なポート名です。
E1245872	[メッセージ]	指定されたポートのビット位置が不正です。
E1245873	[メッセージ]	指定されたインクリメント数が不正です。
E1245874	[メッセージ]	メモリバンク用ポートが未設定です。
E1245875	[メッセージ]	不正なバンク番号が指定されました。
E1245876	[メッセージ]	メモリバンク用エリアが未設定です。
E1249153	[メッセージ]	ファイルのオープンに失敗しました。
E1249154	[メッセージ]	ファイルのクローズに失敗しました。
E1249155	[メッセージ]	ファイルの読み込みに失敗しました。
E1249156	[メッセージ]	ファイルの読み込みに失敗しました。
E1249157	[メッセージ]	不正な形式のファイルを指定しました。
E1249158	[メッセージ]	選択した品種（チップ）と異なるロード・モジュールをロードしました。
E1249159	[メッセージ]	ロード・モジュールの形式ではありません。
E1249160	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 古いバージョンのロード・モジュール・ファイル (COFF) です。
	[メッセージ]	【V850】 古いバージョンのロード・モジュール・ファイル (ELF) です。
E1249161	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1249162	[メッセージ]	マッピングされていないアドレスにアクセスしようとしてしました。
E1249163	[メッセージ]	ロード・モジュールがロードされていません。
E1249164	[メッセージ]	引数が不正です。
E1249165	[メッセージ]	ユーザ・プログラムを実行中です。
E1249166	[メッセージ]	ユーザ・プログラムのトレース中です。
E1249167	[メッセージ]	処理中です。

E1249168	[メッセージ]	通信エラーです。エミュレータとの通信できません。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> <li>- USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。</li> </ul>
E1249169	[メッセージ]	ロード・モジュール・ファイルの形式が違います。
E1249170	[メッセージ]	チェック・サム・エラーが発生しました。
E1249171	[メッセージ]	アップロードするアドレス範囲が 1M バイトを超えています。
E1249172	[メッセージ]	ファイルの書き込みに失敗しました。
E1249173	[メッセージ]	プログラム番号が不正です。
E1249174	[メッセージ]	ロード情報がいっぱいです。
E1249176	[メッセージ]	ロード・モジュール形式ではありません。
E1249177	[メッセージ]	メモリへの書き込みに失敗しました。
E1249179	[メッセージ]	プログラマブル IOR のアドレスがありません。
E1249182	[メッセージ]	フラッシュの消去はサポートしていません。
E1249183	[メッセージ]	この機能はサポートしていません。
E1249185	[メッセージ]	オブジェクト・ファイルに、内蔵 ROM、または内蔵 RAM 以外のコードが含まれているため、高速ダウンロードは出来ません。
E1249186	[メッセージ]	開始アドレス、及び、領域は、4 バイト単位で指定してください。
E1253248	[メッセージ]	デバッグ内部でエラーが発生しました。
E1253249	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1253250	[メッセージ]	イニシャライズ・ファイル (EXPC.INI) を正しく読めません。
E1253251	[メッセージ]	エミュレータにまだ接続されていません。
E1253252	[メッセージ]	ダイナミック・リンク・ライブラリが見つかりません。
E1257344	[メッセージ]	引数が不正です。
E1257345	[メッセージ]	開始アドレスが不正です。
E1257346	[メッセージ]	終了アドレスが不正です。
E1257347	[メッセージ]	サイズが大き過ぎます。
E1257348	[メッセージ]	ファイルのオープンに失敗しました。
E1257349	[メッセージ]	ファイルの読み込みに失敗しました。
E1257350	[メッセージ]	ファイルの読み込みに失敗しました。
E1257351	[メッセージ]	ファイルの書き込みに失敗しました。
E1257352	[メッセージ]	メモリが足りません。
E1257353	[メッセージ]	ファイルの形式が違います。
E1257354	[メッセージ]	ペリファイ・エラーです。

E1257360	[メッセージ]	この機能はサポートしていません。
E1257361	[メッセージ]	マッピング領域外にロードしようとしました。
E1265535	[メッセージ]	インタラプトされました。
E1310000	[メッセージ]	メモリを確保できません。
	[説明]	処理に必要なメモリを確保できません。
	[対処方法]	他のアプリケーションを終了するか、Windowsの仮想メモリを増やしてメモリを確保してください。
E1310001	[メッセージ]	ファイルをオープンできません。
	[説明]	指定したファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	ファイルの存在およびファイルの属性を確認してください。
E1310002	[メッセージ]	ファイルのフォーマットが不正です。
	[説明]	指定したファイルのフォーマットが正しくありません。
	[対処方法]	指定ファイル属性（ファイルを開くダイアログ）が正しいか、またはファイルの内容を確認してください。
E1310003	[メッセージ]	ファイルに書き込みできません。
	[説明]	指定したファイルに書き込むことができません。
	[対処方法]	ファイルの存在およびファイルの属性およびディスク容量を確認してください。
E1310180	[メッセージ]	ユーザ・モデル・ファイルが指定されていません。
	[説明]	コンフィギュレーション・ファイルのユーザ・モデル組み込みにおいて、ユーザ・モデル・ファイルが指定されてません。
	[対処方法]	ユーザ・モデル・ファイルを指定してください。
E1310181	[メッセージ]	ユーザ・モデル・ファイルをオープンできません。
	[説明]	指定したユーザ・モデル・ファイルをオープンすることができないか、MakeUserModel関数が存在しません。
	[対処方法]	ファイルの存在およびファイルの属性とMakeUserModel関数の存在を確認してください。
E1310200	[メッセージ]	端子名が正しくありません。
	[説明]	指定した端子名は正しくありません（対象デバイスに存在しません）。
	[対処方法]	対象デバイスに存在する端子名を指定してください。
E1310440	[メッセージ]	プログラム実行中です。
	[説明]	タイミング・チャートにおいて、プログラム実行のため、処理を行うことができません。
	[対処方法]	プログラムの実行を停止して、操作をおこなってください。
E1310500	[メッセージ]	ループの対応が正しくありません。
	[説明]	信号データ・エディタにおいて、ループ開始とループ終了の対応が正しくありません。
	[対処方法]	ループ開始とループ終了の対応が正しくなるように修正してください。

E1310501	[メッセージ]	データ番号が最大値を越えました。
	[説明]	信号データ・エディタにおいて、データ番号（行番号）が最大値（1,048,576）を越えました。
	[対処方法]	最大値を越えないように編集し直してください。
E1310502	[メッセージ]	端子名が正しくありません。
	[説明]	信号データ・エディタにおいて、指定した端子名は正しくありません（対象デバイスに存在しません）。
	[対処方法]	対象デバイスに存在する端子名を指定してください。
E1310503	[メッセージ]	ループ・カウントが正しくありません。
	[説明]	ループ設定 ダイアログにおいて、ループ・カウントが不正な数値、または有効範囲（0～99）外の値です。
	[対処方法]	正しい値を指定してください。
E1310700	[メッセージ]	端子名が正しくありません。
	[説明]	入出力パネルの端子指定において、指定した端子名は正しくありません（対象デバイスに存在しません）。
	[対処方法]	対象デバイスに存在する端子名を指定してください。
E1310702	[メッセージ]	線の太さが正しくありません。
	[説明]	入出力パネルのスタイル設定において、指定した線の太さが不正な数値、または有効範囲（1～100）外の値です。
	[対処方法]	正しい値を指定してください。
E1310703	[メッセージ]	保有時間が正しくありません。
	[説明]	入出力パネルの入力系部品設定において、指定した保有時間が不正な数値、または有効範囲（0.001～999）外の値です。
	[対処方法]	正しい値を指定してください。
E1310704	[メッセージ]	最大入力値が正しくありません。
	[説明]	入出力パネルのレベル・ゲージ設定において、指定した最大入力値が不正な数値、または有効範囲（1～65535）外の値です。
	[対処方法]	正しい値を指定してください。
E1310710	[メッセージ]	ビットマップのパスが指定されていません。
	[説明]	入出力パネルのビットマップ追加において、アクティブ/インアクティブ時のビットマップの一方、または両方が指定されていません。
	[対処方法]	ビットマップファイルを指定してください。
E1310711	[メッセージ]	ビットマップのパスが正しくありません。
	[説明]	入出力パネルのビットマップ追加において、指定ビットマップ・ファイルが正しくありません。
	[対処方法]	ファイルの存在およびファイルの属性を確認してください。
E1310720	[メッセージ]	アクティブ電圧は正の整数で指定してください。
	[説明]	入出力パネルのアナログ・ボタン設定において、アクティブ電圧に数値以外の文字を入力しています。
	[対処方法]	正しい値を入力してください。

E1310721	[メッセージ]	インアクティブ電圧は正の整数で指定してください。
	[説明]	入出力パネルのアナログ・ボタン設定において、インアクティブ電圧に数値以外の文字を入力しています。
	[対処方法]	正しい値を入力してください。
E1310722	[メッセージ]	アクティブ電圧が範囲を越えています。
	[説明]	入出力パネルのアナログ・ボタン設定において、アクティブ電圧が有効範囲（0～65535）外の値です。
	[対処方法]	正しい値を入力してください。
E1310723	[メッセージ]	インアクティブ電圧が範囲を越えています。
	[説明]	入出力パネルのアナログ・ボタン設定において、インアクティブ電圧が有効範囲（0～65535）外の値です。
	[対処方法]	正しい値を入力してください。
E1310724	[メッセージ]	デフォルト電圧の指定が正しくありません。
	[説明]	入出力パネルのレベル・ゲージ設定において、初期電圧が不正な数値、または有効範囲（0～最大入力値で設定した値）外の値です。
	[対処方法]	正しい値を入力してください。
E1310730	[メッセージ]	プログラム実行中にプロパティの操作はできません。
	[説明]	入出力パネルにおいて、プログラム実行中にオブジェクト・プロパティ・シートは操作できません。
	[対処方法]	プログラムの実行を停止して、操作をおこなってください。
E1310740	[メッセージ]	プログラム実行中です。
	[説明]	入出力パネルにおいて、プログラム実行のため、処理を行うことができません。
	[対処方法]	プログラムの実行を停止して、操作をおこなってください。
E1310800	[メッセージ]	インタフェース・アドレスの値が不正です。
	[説明]	標準ライブラリ・インタフェース・ページにおいて、設定したインタフェース・アドレスが正しくありません。
	[対処方法]	正しい値を設定してください。
E1310900	[メッセージ]	ボー・レート値が正しくありません。
	[説明]	フォーマット設定 ダイアログ (UART) において、指定したボー・レート値が正しい数値ではありません。
	[対処方法]	デバイスのユーザーズ・マニュアルを参照し、適切な範囲内の整数値で指定してください。
E1310901	[メッセージ]	転送クロック値が正しくありません。
	[説明]	フォーマット設定 ダイアログ (CSI) において、指定した転送クロック値が正しい数値ではありません。
	[対処方法]	デバイスのユーザーズ・マニュアルを参照し、適切な範囲内の整数値で指定してください。

E1310902	[メッセージ]	データ・ビット長の設定が正しくありません。
	[説明]	フォーマット設定 ダイアログ (UART), またはフォーマット設定 ダイアログ (CSI) において, 指定したデータ・ビット長の設定が有効範囲 (32 以下の整数値) 外の値です。
	[対処方法]	有効範囲内の整数値を指定してください。
E1319999	[メッセージ]	内部エラーが発生しました。
	[説明]	内部エラーが発生しました。
	[対処方法]	特約店, または当社までご連絡ください。
E1400000	[メッセージ]	内部エラーが発生しました。
	[対処方法]	特約店, または当社までご連絡ください。
E1400001	[メッセージ]	メモリが不足しています。
	[対処方法]	メモリが不足しています。ほかのアプリケーションを終了させてから再起動してください。
E1401101	[メッセージ]	標準ライブラリ (ファイル名) が見つかりません。
	[対処方法]	標準ライブラリが正しく存在するか確認してください。
E1411020	[メッセージ]	オプション・ファイル (ファイル名) が見つかりません。
	[対処方法]	オプション・ファイルが存在するか確認してください。
E1411030	[メッセージ]	オプション・ファイル (ファイル名) の読み込みに失敗しました。
	[対処方法]	オプション・ファイルが読み込める状態か確認してください。
E1401104	[メッセージ]	オプション・ファイル (ファイル名) が壊れています。
	[対処方法]	オプション・ファイルを作り直してください。
E1401200	[メッセージ]	オブジェクト・ファイル (ファイル名) が壊れています。
	[対処方法]	再ビルドしてオブジェクト・ファイルを作り直してください。
E1401202	[メッセージ]	オブジェクト・ファイル (ファイル名) が見つかりません。
	[対処方法]	再ビルドしてオブジェクト・ファイルを作り直してください。
E1401203	[メッセージ]	オブジェクト・ファイル (ファイル名) を読み込めません。
	[対処方法]	オブジェクト・ファイルが読み込める状態か確認してください。
E1401204	[メッセージ]	ライブラリ・ファイル (ファイル名) が見つかりません。
	[対処方法]	指定されたライブラリ・ファイルが存在するか確認してください。
E1401205	[メッセージ]	ライブラリ・ファイル (ファイル名) を読み込めません。
	[対処方法]	ライブラリ・ファイルが読み込める状態か確認してください。
E1401206	[メッセージ]	ライブラリ・ファイル (ファイル名) が壊れています。
	[対処方法]	正常なライブラリ・ファイルか確認して, ライブラリを再生成してください。
E1401404	[メッセージ]	指定されたデバイス (デバイス名) はメモリ・バンク品ではありません。
	[対処方法]	ご使用のデバイスはバンク機能を実装していないため, 本ツールを起動することはできません。

E1401500	[メッセージ]	アセンブル・リスト・ファイル(ファイル名)が見つかりません。
	[対処方法]	アセンブル・リスト・ファイルが見つかりませんでした。 [アセンブル・オプション] タブの [アセンブル・リスト] カテゴリの [アセンブル・リストを出力する] プロパティを [はい] に設定してください。
E1401501	[メッセージ]	アセンブル・リスト・ファイル(ファイル名)を読み込みません。
	[対処方法]	アセンブル・リスト・ファイルを読み込める状態か確認してください。
E1401502	[メッセージ]	アセンブル・リスト・ファイル(ファイル名)を閉じられません。
	[対処方法]	アセンブル・リスト・ファイルのクローズに失敗しました。
E1401503	[メッセージ]	アセンブル・リスト・ファイル(ファイル名)が壊れています。
	[対処方法]	リビルドを行って、アセンブル・リスト・ファイルを再出力してください。
E1401504	[メッセージ]	アセンブル・リスト・ファイル(ファイル名)内にクロス・リファレンス情報が出力されていません。
	[対処方法]	[アセンブル・オプション] タブの [アセンブル・リスト] カテゴリの [クロスリファレンス・リストを出力する] プロパティを [はい(-x)] に設定してください。
E1401600	[メッセージ]	詳細参照情報ファイル(ファイル名)を作成できません。
	[対処方法]	ファイルが作成できる状態か確認してください。
E1401601	[メッセージ]	詳細参照情報ファイル(ファイル名)に書き込みできません。
	[対処方法]	ファイルが書き込める状態か確認してください。
E1401602	[メッセージ]	詳細参照情報ファイル(ファイル名)を閉じられません。
	[対処方法]	詳細参照情報ファイルのクローズに失敗しました。
E1401700	[メッセージ]	詳細配置指定情報ファイル(ファイル名)を作成できません。
	[対処方法]	ファイルが作成できる状態か確認してください。
E1401701	[メッセージ]	詳細配置指定情報ファイル(ファイル名)に書き込みできません。
	[対処方法]	ファイルが書き込める状態か確認してください。
E1401702	[メッセージ]	詳細配置指定情報ファイル(ファイル名)を閉じられません。
	[対処方法]	詳細参照情報ファイルのクローズに失敗しました。
E1401800	[メッセージ]	詳細オブジェクト情報ファイル(ファイル名)を作成できません。
	[対処方法]	ファイルが作成できる状態か確認してください。
E1401801	[メッセージ]	詳細オブジェクト情報ファイル(ファイル名)に書き込みできません。
	[対処方法]	ファイルが書き込める状態か確認してください。
E1401802	[メッセージ]	詳細オブジェクト情報ファイル(ファイル名)を閉じられません。
	[説明]	詳細オブジェクト情報ファイルのクローズに失敗しました。
E1401900	[メッセージ]	関数情報ファイル(ファイル名)を作成できません。
	[対処方法]	ファイルが作成できる状態か確認してください。
E1401901	[メッセージ]	関数情報ファイル(ファイル名)に書き込みできません。
	[対処方法]	ファイルが書き込める状態か確認してください。
E1401902	[メッセージ]	関数情報ファイル(ファイル名)を閉じられません。
	[説明]	関数情報ファイルのクローズに失敗しました。



E1600000	[メッセージ]	cref ファイルが見つかりません。パス名を確認してください。
	[説明]	パス名またはファイル名が不正で、cref ファイルが見つかりません。
	[対処方法]	存在する cref ファイルのパス名を指定してください。
E1600001	[メッセージ]	cref ファイルの内容が不正です。ファイルが壊れているかもしれません。
	[説明]	cref ファイルの内容が不正か、cref ファイル以外を入力しています。
	[対処方法]	正常な cref ファイルを入力してください。
E1600002	[メッセージ]	cref ファイルの書き込みに失敗しました。
	[対処方法]	正常なパスを指定してください。既存ファイルの場合は書き込み権限があるかを確認してください。
E1700000	[メッセージ]	Python コンソールの初期化に失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再インストールしてください。
E1700001	[メッセージ]	Python コンソールに表示されている内容の保存に失敗しました。
	[対処方法]	ファイルの保存先の確認を行ってください。
E1700010	[メッセージ]	Python コンソールの起動に失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再起動をしてください。再起動しても現象が改善しなかった場合には、再インストールをしてください。
E1700011	[メッセージ]	フォントと色の設定に失敗しました。
	[対処方法]	CubeSuite を再起動してください。
E1700100	[メッセージ]	入力された文字列の解析に失敗しました。
E1700200	[メッセージ]	履歴の表示に失敗しました。
E1700201	[メッセージ]	履歴の追加に失敗しました。
E1700202	[メッセージ]	履歴の取得に失敗しました。
E1700203	[メッセージ]	履歴のクリアに失敗しました。
E1710000	[メッセージ]	CubeSuite 用 Python 関数の実行で例外が発生しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710001	[メッセージ]	デバグが接続されていません。デバグとの接続を行なってください。
	[対処方法]	デバグと接続してください。
E1710002	[メッセージ]	デバグの開始に失敗しました。
E1710003	[メッセージ]	デバグの停止に失敗しました。
E1710004	[メッセージ]	入力されたメモリ・オプション (MemoryOption) が不正です。アクセスサイズを指定する場合には MemoryOption.Byte、MemoryOption.HalfWord、MemoryOption.Word のいずれかを入力して下さい。
	[対処方法]	MemoryOption.Byte、MemoryOption.HalfWord、MemoryOption.Word のいずれかを指定してください。
E1710005	[メッセージ]	入力された値が不正です。0 ~ 4294967295 の範囲内で値を入力して下さい。
	[対処方法]	0 ~ 4294967295 の範囲内の数値を指定してください。
E1710006	[メッセージ]	入力されたアドレスが不正です。
	[対処方法]	正しいアドレスを入力してください。
E1710007	[メッセージ]	指定されたアドレスに書き込めませんでした。



E1710008	[メッセージ]	指定されたアドレスから読み込めませんでした。
E1710009	[メッセージ]	指定されたオプションが不正です。Copy、Fillのいずれかを入力してください。
E1710010	[メッセージ]	Copyに失敗しました。
E1710011	[メッセージ]	Fillに失敗しました。
E1710012	[メッセージ]	入力されたオプションが不正です。UploadOptionのみを指定する場合にはCoverageを入力してください。
E1710013	[メッセージ]	カバレッジ・データの保存に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710014	[メッセージ]	入力されたアドレスの型が不正です。数値もしくは文字列で入力してください。
	[対処方法]	アドレスに数値、または文字列を入力してください。
E1710015	[メッセージ]	入力されたアドレスは識別できませんでした。アドレスを確認して下さい。
E1710016	[メッセージ]	入力されたアドレス(数値)が不正です。0～42949667295の範囲で入力してください。
E1710017	[メッセージ]	アップロード先にファイルが存在します。
	[説明]	上書きオプションが指定されておらず、アップロード先にファイルが存在する場合には表示されます。
	[対処方法]	上書きオプションを指定するか、アップロード先を変更、またはアップロード先のファイルを削除してください。
E1710018	[メッセージ]	指定されたアップロード・オプションが不正です。
	[対処方法]	正しいアップロードオプションを指定してください。
E1710019	[メッセージ]	アップロードに失敗しました。
	[直接原因]	エラー・メッセージ
E1710020	[メッセージ]	プログラムの実行に失敗しました。
	[直接原因]	エラー・メッセージ
E1710021	[メッセージ]	指定されたRunOptionが不正です。
E1710022	[メッセージ]	ステップ実行に失敗しました。
	[直接原因]	エラー・メッセージ
E1710023	[メッセージ]	指定されたStepOptionが不正です。
E1710024	[メッセージ]	デバッグ・ツールの実行の停止に失敗しました。
	[直接原因]	エラー・メッセージ
E1710025	[メッセージ]	スタックのバック・トレースの表示に失敗しました。
	[直接原因]	エラー・メッセージ
E1710026	[メッセージ]	PC値の取得に失敗しました。
	[直接原因]	エラー・メッセージ
E1710027	[メッセージ]	カバレッジのクリアに失敗しました。
	[直接原因]	エラー・メッセージ
E1710028	[メッセージ]	関数名が入力されていません。関数名は必ず入力してください。
E1710029	[メッセージ]	カバレッジの取得に失敗しました。
	[直接原因]	エラー・メッセージ
E1710030	[メッセージ]	カバレッジが取得できませんでした。

E1710031	[メッセージ]	XRunBreak はシミュレータ環境以外では使用できません。
E1710032	[メッセージ]	指定された XRunBreak オプションが不正です。
E1710033	[メッセージ]	入力されたブレーク指定時間の単位が不正です。
E1710034	[メッセージ]	XRunBreak の設定に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710035	[メッセージ]	XRunBreak の参照に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710036	[メッセージ]	トレース・オプションのタイムタグの積算はシミュレータ環境以外では指定できません。
E1710037	[メッセージ]	トレース・オプションのタイムタグの積算は使用できません。
E1710038	[メッセージ]	トレース・オプションのトレース制御モードはシミュレータ、IECUBE 環境以外では指定できません。
E1710039	[メッセージ]	トレース・オプションのトレース制御モードは使用できません。
E1710040	[メッセージ]	トレース・オプションのトレース補完は IECUBE 環境以外では指定できません。
E1710041	[メッセージ]	トレース・オプションのトレース補完は使用できません。
E1710042	[メッセージ]	入力されているオプションが不正です。Clear、Addup、Mode、Complement のいずれかを入力してください。
E1710043	[メッセージ]	入力されているオプションが不正です。Addup、Complement のいずれかを入力してください。
E1710044	[メッセージ]	入力されたトレース・モードが不正です。FullBreak、FullStop、NonStop のいずれかを入力してください。
E1710045	[メッセージ]	トレース・データが取得できませんでした。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710046	[メッセージ]	トレース・データがありません。
E1710047	[メッセージ]	書き込みに失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710048	[メッセージ]	リセットに失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710049	[メッセージ]	プロシージャ・ステップに失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710050	[メッセージ]	入力されたファイルが見つかりませんでした。
E1710051	[メッセージ]	スクリプトファイル名を入力してください。
E1710052	[メッセージ]	リターン・アウトに失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710053	[メッセージ]	DownloadOption.NoSymbol と DownloadOption.SymbolOnly の同時指定はできません。
E1710054	[メッセージ]	継続して実行に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710055	[メッセージ]	現在のデバッグ・ツールはカバレッジ機能をサポートしていません。
E1710056	[メッセージ]	カバレッジ機能は使用できません。

E1710057	[メッセージ]	カバレッジ機能の参照でエラーが発生しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710058	[メッセージ]	現在のデバッグ・ツールはファンクションをサポートしていません。
E1710059	[メッセージ]	ファンクションは使用できません。
E1710060	[メッセージ]	ファンクション機能の参照でエラーが発生しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710061	[メッセージ]	現在のデバッグ・ツールはオーブンブ레이크機能はサポートしていません。
E1710062	[メッセージ]	オーブンブ레이크機能は使用できません。
E1710063	[メッセージ]	オーブンブ레이크機能の参照でエラーが発生しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710064	[メッセージ]	現在のデバッグ・ツールはタイマ機能をサポートしていません。
E1710065	[メッセージ]	タイマ機能は使用できません。
E1710066	[メッセージ]	タイマ機能の参照でエラーが発生しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710067	[メッセージ]	現在のデバッグ・ツールではトレース機能をサポートしていません。
E1710068	[メッセージ]	トレース機能は使用できません。
E1710069	[メッセージ]	トレース機能の参照でエラーが発生しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710070	[メッセージ]	カバレッジ機能の設定でエラーが発生しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710071	[メッセージ]	ファンクション機能の設定でエラーが発生しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710072	[メッセージ]	オーブンブ레이크機能の設定でエラーが発生しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710073	[メッセージ]	タイマ機能の設定でエラーが発生しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710074	[メッセージ]	トレース機能の設定でエラーが発生しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710075	[メッセージ]	指定されたオプションが不正です。
E1710076	[メッセージ]	入力された値が不正です。文字列もしくは数字を入力してください。
E1710077	[メッセージ]	ダウンロード情報が取得できませんでした。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710078	[メッセージ]	ダウンロード・プロパティが取得できませんでした。
E1710079	[メッセージ]	ダウンロード・プロパティの設定に失敗しました。
E1710080	[メッセージ]	ダウンロード情報の生成に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710081	[メッセージ]	ダウンロードに失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710082	[メッセージ]	ライン・アセンブルに失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ

E1710083	[メッセージ]	バンク番号は指定できません。
	[対処方法]	バンク番号を指定しないでください。
E1710084	[メッセージ]	指定されたレジスタが見つかりませんでした。
	[対処方法]	存在するレジスタ名を指定してください。
E1710085	[メッセージ]	レジスタ値の取得に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710086	[メッセージ]	レジスタ値の設定に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710087	[メッセージ]	消去に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710088	[メッセージ]	指定されたオプションが不正です。
E1710089	[メッセージ]	指定された変数が見つかりませんでした。
E1710090	[メッセージ]	変数値の取得に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710091	[メッセージ]	変数値の設定に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710092	[メッセージ]	XRunBreak の消去に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710093	[メッセージ]	エディタ・パネルの表示に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710094	[メッセージ]	逆アセンブル・パネルの表示に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710095	[メッセージ]	メモリ・パネルの表示に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710096	[メッセージ]	指定された MemoryOption.HalfWord は現在のプラットフォームではサポートしていません。
E1710097	[メッセージ]	メモリ・オプションに xxx を指定する場合には 0xyyy ~ 0zzzz までを指定してください。
E1710098	[メッセージ]	メモリ・オプションの取得に失敗しました。
E1710099	[メッセージ]	メモリ・オプションの設定に失敗しました。
E1710100	[メッセージ]	IE レジスタの参照に失敗しました。
E1710101	[メッセージ]	デバッグ・ツールに接続されていません。デバッグ・ツールと接続してください。
E1710102	[メッセージ]	IE レジスタの設定に失敗しました。
E1710103	[メッセージ]	DCU レジスタの参照に失敗しました。
E1710104	[メッセージ]	DCU レジスタの設定に失敗しました。
E1710105	[メッセージ]	指定されている MapType が不正です。
E1710106	[メッセージ]	チップ・セレクトを指定してください。
E1710107	[メッセージ]	マッピング情報の生成に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ

E1710108	[メッセージ]	マッピング情報の設定に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710109	[メッセージ]	スタックのバック・トレース情報が信用できない可能性があります。
E1710110	[メッセージ]	ブレークポイントは設定されていません。
E1710111	[メッセージ]	ブレークポイントの削除に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710112	[メッセージ]	指定されたブレーク・イベント番号は存在しません。
	[対処方法]	存在するブレーク・イベント番号を入力してください。
E1710113	[メッセージ]	指定されたブレーク・イベント番号のブレークポイントを有効にできませんでした。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710114	[メッセージ]	指定されたブレーク・イベント番号のブレークポイントを無効にできませんでした。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710115	[メッセージ]	アドレス条件が設定されていません。
E1710116	[メッセージ]	ブレークポイントの設定に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710117	[メッセージ]	指定されたブレーク・イベント・タイプが不正です。 [直接原因] エラー・メッセージ
	[対処方法]	正しいブレーク・イベント・タイプを指定してください。
E1710118	[メッセージ]	デバッグの切断処理に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710119	[メッセージ]	デバッグの接続処理に失敗しました。 [直接原因] エラー・メッセージ
E1710120	[メッセージ]	指定されたレジスタが見つかりませんでした。
	[対処方法]	存在するレジスタ名を指定してください。
E1710121	[メッセージ]	不正なデバッグ・ツールが指定されています。
	[対処方法]	シミュレータ, MINICUBE, MINICUBE2, IECUBE のいずれかを使用してください。
E1710122	[メッセージ]	入力されたチップ・セレクトが不正です。
	[対処方法]	cs0 ~ cs7 までの値を入力してください。
E1710123	[メッセージ]	指定されたデバッグ・ツールには変更できません。
	[対処方法]	変更が可能なデバッグ・ツールを指定してください。
E1710124	[メッセージ]	デバッグ・ツールと接続されていないため、ダウンロードが出来ません。
	[対処方法]	接続した状態でダウンロードを行ってください。
E1710125	[メッセージ]	指定されたマップタイプは指定できません。
E1710126	[メッセージ]	デバッグ・ツールと接続されていないため、関数が実行できません。
	[対処方法]	接続した状態で実行してください。
E1710127	[メッセージ]	指定された関数は存在しません。
	[対処方法]	存在する関数名を確認し、存在する関数名を指定してください。
E1710128	[メッセージ]	シミュレータ以外ではカパレッジ・データのアップロードは出来ません。
	[対処方法]	シミュレータでアップロードを行ってください。

E1710129	[メッセージ]	カバレッジ・データのアップロードは使用できません。
	[対処方法]	サポートしているプラットフォームでカバレッジのアップロードを行ってください。
E1710130	[メッセージ]	カバレッジ・データの再利用設定が No に設定されています。
	[対処方法]	カバレッジの再利用設定を Yes にしてからアップロードを行ってください。
E1710131	[メッセージ]	デバッグ・ツールと接続されていないため、継続実行が出来ません。
	[対処方法]	接続した状態で継続実行を行ってください。
E1710132	[メッセージ]	読み込まれているプラットフォームはサポートしていません。
E1710133	[メッセージ]	不正な BreakStatus が返却されました。
E1710134	[メッセージ]	指定された引数が不正です。
	[説明]	引数に None を指定した場合、または引数を指定しなかった場合に表示されます。

## 6.3 アボート・エラー

表 6 3 アボート・エラー

F0001	[メッセージ]	Missing input file
	[説明]	入力ソース・ファイル名が指定されていません。
	[対処方法]	Please enter 'cc78k0 --' if you want help message, または Please enter 'cc78k0r --' if you want help message が表示されます。 --/?/h オプションを使用し、ヘルプ・ファイルなどを参照し、正しい入力を行ってください。
F0002	[メッセージ]	Too many input files
	[説明]	入力ソース・ファイル名が複数指定されています。
	[対処方法]	Please enter 'cc78k0 --' if you want help message, または Please enter 'cc78k0r --' if you want help message が表示されます。 --/?/h オプションを使用し、ヘルプ・ファイルなどを参照し、正しい入力を行ってください。
F0003	[メッセージ]	Unrecognized string
	[説明]	対話形式のコマンド行にオプション以外のものが指定されました。
F0004	[メッセージ]	Illegal file name ファイル名
	[説明]	指定されたファイル名として形式、文字、文字数のいずれかに誤りがあります。
F0005	[メッセージ]	Illegal file specification
	[説明]	ファイル名に不当なものが指定されました。
F0006	[メッセージ]	File not found
	[説明]	指定された入力ファイルが存在しません。
F0007	[メッセージ]	Input file specification overlapped ファイル名
	[説明]	入力ファイル名が重複して指定されました。
F0008	[メッセージ]	File specification conflicted ファイル名
	[説明]	入出力ファイル名が重複して指定されました。
F0009	[メッセージ]	Unable to make file ファイル名
	[説明]	指定された出力ファイルがリード・オンリー・ファイルとしてすでに存在しているため、作成することができません。
F0010	[メッセージ]	Directory not found
	[説明]	出力ファイル名中に存在しないドライブ、またはフォルダが含まれています。
F0011	[メッセージ]	Illegal path
	[説明]	パラメータにパス名を指定するオプションで、パス名以外が指定されました。

F0012	[メッセージ]	Missing parameter ' オプション'
	[説明]	必要なパラメータが指定されていません。
	[対処方法]	Please enter 'cc78k0 --' if you want help message, または Please enter 'cc78k0r --' if you want help message が表示されます。 --/?/h オプションを使用し、ヘルプ・ファイルなどを参照し、正しい入力を行ってください。
F0013	[メッセージ]	Parameter not needed ' オプション'
	[説明]	不要なオプション・パラメータが指定されました。
	[対処方法]	Please enter 'cc78k0 --' if you want help message, または Please enter 'cc78k0r --' if you want help message が表示されます。 --/?/h オプションを使用し、ヘルプ・ファイルなどを参照し、正しい入力を行ってください。
F0014	[メッセージ]	Out of range ' オプション'
	[説明]	オプション・パラメータの指定数値が範囲外です。
	[対処方法]	Please enter 'cc78k0 --' if you want help message, または Please enter 'cc78k0r --' if you want help message が表示されます。 --/?/h オプションを使用し、ヘルプ・ファイルなどを参照し、正しい入力を行ってください。
F0015	[メッセージ]	Parameter is too long
	[説明]	オプション・パラメータの文字数が制限を越えて指定されました。
F0016	[メッセージ]	Illegal parameter ' オプション'
	[説明]	オプション・パラメータの文法に誤りがあります。
	[対処方法]	Please enter 'cc78k0 --' if you want help message, または Please enter 'cc78k0r --' if you want help message が表示されます。 --/?/h オプションを使用し、ヘルプ・ファイルなどを参照し、正しい入力を行ってください。
F0017	[メッセージ]	Too many parameters
	[説明]	オプション・パラメータの総数が制限を越えました。
F0018	[メッセージ]	Option is not recognized ' オプション'
	[説明]	誤ったオプションが指定されました。
	[対処方法]	Please enter 'cc78k0 --' if you want help message, または Please enter 'cc78k0r --' if you want help message が表示されます。 --/?/h オプションを使用し、ヘルプ・ファイルなどを参照し、正しい入力を行ってください。
F0019	[メッセージ]	Parameter file nested
	[説明]	パラメータ・ファイル中に -f オプションが指定されました。
	[対処方法]	パラメータ・ファイルの中に、パラメータ・ファイルを指定することはできないため、ネストしないように修正してください。
F0020	[メッセージ]	Parameter file read error
	[説明]	パラメータ・ファイルの読み込みに失敗しました。



F0021	[メッセージ]	Memory allocation failed
	[説明]	メモリ・アロケーションに失敗しました。
F0024	[メッセージ]	Illegal chip specifier on command line
	[説明]	【78K0】 コマンド上のデバイス種別に誤りがあるか、#pragma 指令によるデバイス名の指定がCソースの先頭以外に記述されています。 【78K0R】 コマンド行上のデバイス種別に誤りがあります。
F0033	[メッセージ]	Same category option specified ' オプション'
	[説明]	相反するオプションが重複して指定されました。
	[対処方法]	Please enter 'cc78k0 --' if you want help message, または Please enter 'cc78k0r --' if you want help message が表示されます。 --/?/h オプションを使用し、ヘルプ・ファイルなどを参照し、正しい入力を行ってください。
F0061	[メッセージ]	【78K0】 Function Information File : Syntax Error near ' エラー発生箇所'
	[説明]	【78K0】 関数情報ファイルに構文エラーがあります。
F0069	[メッセージ]	【78K0R】 EXT_TABLE is mapped out of flash area
	[説明]	【78K0R】 フラッシュ領域分岐テーブルがフラッシュ領域の外に指定されています。
	[対処方法]	【78K0R】 フラッシュ領域分岐テーブルの配置アドレスをフラッシュ領域の先頭アドレス以上に指定してください。
F0859	[メッセージ]	【78K0R】 Cannot allocate EXT_TABLE out of ' 指定可能範囲'
	[説明]	【78K0R】 フラッシュ領域分岐テーブルの先頭アドレスが指定可能な範囲内にありません。
	[対処方法]	【78K0R】 フラッシュ領域分岐テーブルの先頭アドレスを指定可能な範囲内に指定してください。
F0901	[メッセージ]	File I/O error
	[説明]	ファイルの入出力の際に物理的な I/O エラーが発生しました。
F0902	[メッセージ]	Cannot open ' ファイル名'
	[説明]	ファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	デバイス・ファイルが通常のサーチ・パスにインストールされているか確認してください。パスは、-y オプションでも指定することができます。-y についての詳細は、「CubeSuite ビルド編」を参照してください。
F0903	[メッセージ]	Cannot open overlay file ' ファイル名'
	[説明]	オーバーレイ・ファイルをオープンすることができません。
F0904	[メッセージ]	Cannot open temp
	[説明]	入力用のテンポラリ・ファイルをオープンすることができません。
F0905	[メッセージ]	Cannot create ' ファイル名'
	[説明]	ファイルの create エラーが発生しました。
F0906	[メッセージ]	Cannot create temp
	[説明]	出力用のテンポラリ・ファイルの create エラーが発生しました。
	[対処方法]	環境変数 TMP が設定されているか確認してください。

F0907	[メッセージ]	No available data block
	[説明]	ドライブのファイル容量の不足により、テンポラリ・ファイルを作成することができません。
F0908	[メッセージ]	No available directory space
	[説明]	ドライブのフォルダ・エリアの不足により、テンポラリ・ファイルを作成することができません。
F0909	[メッセージ]	R/O : read/only disk
	[説明]	ドライブが read only 属性のため、テンポラリ・ファイルを作成することができません。
F0910	[メッセージ]	R/O file : read/only , file opened read/only mode
	[説明]	次の理由により、テンポラリ・ファイルの write エラーが発生しました。 - テンポラリ・ファイルと同一名のファイルがドライブ上にすでに存在し、read only 属性が与えられています。 - 内部矛盾により、出力テンポラリ・ファイルをリード・オンリー属性でオープンしています。
F0911	[メッセージ]	Reading unwritten data , no available directory space
	[説明]	次の理由により、出力エラーが発生しました。 - EOF を越えて入力を行おうとしました。 - ドライブのフォルダ・エリアの不足により、テンポラリ・ファイルを作成することができません。
F0912	[メッセージ]	Write error on temp
	[説明]	出力用のテンポラリ・ファイルへの write エラーが発生しました。
	[対処方法]	ソースの式が複雑なこと（ネストが深いなど）が原因の可能性があります。 特約店、または当社までご連絡ください。
F0913	[メッセージ]	【78K0】 Requires MS-DOS V2.11 or greater
	[説明]	【78K0】 OS が MS-DOS (V2.11 以上) ではありません。
F0914	[メッセージ]	Insufficient memory in hostmachine
	[説明]	メモリ不足のため、CC78K0、CC78K0R を起動することができません。
	[対処方法]	コンベンショナル・メモリのフリー領域を増やしてください。
F0922	[メッセージ]	Heap overflow : please retry compile without -QJ
	[説明]	ジャンプ最適化でメモリのオーバフローが発生しました。 -qj オプションを指定せずに、再コンパイルする必要があります。
F0923	[メッセージ]	Illegal device file format
	[説明]	古いフォーマットのデバイス・ファイルを参照しました。
F0924	[メッセージ]	【78K0R】 Out of range. please retry compile without -QT
	[説明]	【78K0R】 switch 文の分岐テーブルの分岐距離が 64K バイトを越えました。
	[対処方法]	【78K0R】 -qt オプションを指定せずに、再コンパイルする必要があります。
F1001	[メッセージ]	out of memory
	[説明]	メモリが足りません。

F1002	[メッセージ]	cannot recover from previous errors
	[説明]	これ以前に発生したエラーのために、処理を継続できません。
F1102	[メッセージ]	invalid argument of option ' <i>option</i> '
	[説明]	オプション <i>option</i> の引数が不正です。
F1103	[メッセージ]	nested command file ' <i>file</i> '
	[説明]	コマンド・ファイル <i>file</i> がネストしています。ネストはできません。
F1104	[メッセージ]	Argument of -reg option requires 22, 26 or 32.
	[説明]	-reg オプションの引数には 22, 26, 32 のいずれかを指定します。
F1105	[メッセージ]	cannot use ' <i>option1</i> ' option with ' <i>option2</i> ' option
	[説明]	オプション <i>option1</i> とオプション <i>option2</i> は同時指定できません。
F1106	[メッセージ]	cannot specify output file name of -o with many source files.
	[説明]	複数のソース・ファイルを入力する場合、オプション -o の出力ファイル名は指定できません。
F1107	[メッセージ]	Register ' <i>rnum</i> ' is reserved for compiler system.
	[説明]	レジスタ <i>rnum</i> はコンパイラ・システムで予約されています。
F1202	[メッセージ]	<i>module</i> : not found
	[説明]	起動すべきモジュール <i>module</i> が見つかりません。
F1203	[メッセージ]	<i>module</i> : exec failed
	[説明]	モジュール <i>module</i> の実行に失敗しました。
F1292	[メッセージ]	too long argument
	[説明]	モジュール実行時に引数が 1024 バイトを越えました。 引数をコマンド・ファイルにしてください。
F1302	[メッセージ]	' <i>file</i> ': illegal output file name
	[説明]	-o オプションで指定した出力ファイル名 <i>file</i> は、入力ファイル名と同じにはできません。 <i>file</i> を変更して指定してください。
F1303	[メッセージ]	cannot open file ' <i>file</i> '
	[説明]	ファイル <i>file</i> をオープンできません。
F1304	[メッセージ]	cannot create temporary directory
	[説明]	テンポラリ・ファイルを作成するための作業用フォルダが作成できません。
F1306	[メッセージ]	cannot open temporary file ' <i>file</i> '
	[説明]	テンポラリ・ファイル <i>file</i> をオープンできません。
F1309	[メッセージ]	' <i>file</i> ': illegal output file name of <i>option</i>
	[説明]	オプション <i>option</i> で指定された出力ファイル名 <i>file</i> は、入力ファイル名と同じにはできません。 <i>file</i> を変更してください。
F1310	[メッセージ]	cannot create directory ' <i>dir</i> '
	[説明]	フォルダ <i>dir</i> を作成できません。
F1311	[メッセージ]	cannot find device file
	[説明]	デバイス・ファイルが見つかりません。

F2001	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Missing input file
	[説明]	【78K0】【78K0R】 入力ファイルを指定していません。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 入力ファイルを指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 illegal command path
	[説明]	【V850】 指定されたコマンドのパスが正しくありません。
F2002	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Too many input files
	[説明]	【78K0】【78K0R】 入力ファイルが2つ以上指定されました。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 入力ファイルを1つだけ指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 compiler limit: too long command path [num]
	[説明]	【V850】 コンパイラ制限：指定されたパスの長さが限界を越えています。この処理系の最大値は1024です。
F2003	[メッセージ]	out of memory
	[説明]	メモリが足りません。
F2004	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal file name 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ファイル名に不当な文字があるか、または文字数が制限を越えています。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 ファイル名を正しい文字、および文字数にしてください。
	[メッセージ]	【V850】 too many errors
	[説明]	【V850】 エラーの発生回数が定められている回数を越えたため、コンパイルを中止しました。
F2005	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal file specification 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 不当なファイルが指定されました。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 正しいファイル名を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 cannot open output file 'file'
	[説明]	【V850】 出力ファイル file をオープンできません。
F2006	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 File not found 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 指定された入力ファイルが存在しません。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 存在するファイル名を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 cannot open input file 'file'
	[説明]	【V850】 入力ファイル file をオープンできません。
F2007	[メッセージ]	cannot write file 'file' (errno=num)
	[説明]	ファイル file 書き込み中にメッセージ番号 num のエラーが発生しました。
F2008	[メッセージ]	File specification conflicted 'ファイル名'
	[説明]	入出力ファイル名が重複して指定されました。
	[対処方法]	入出力ファイル名は異なるものを指定してください。
F2009	[メッセージ]	Unable to make file 'ファイル名'
	[説明]	指定されたファイルにライト・プロテクトがかかっています。
	[対処方法]	ファイルのライト・プロテクトを解除してください。

F2010	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Directory not found ‘ファイル名’
	[説明]	【78K0】【78K0R】 出力ファイル名中に存在しないドライブ、またはフォルダが含まれています。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 存在するドライブ、およびフォルダ名を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 illegal option 'option'
	[説明]	【V850】 オプション option の指定が正しくありません。
F2011	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal path ‘オプション’
	[説明]	【78K0】【78K0R】 パラメータにパスを指定するオプションで、パス名以外が指定されました。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 正しいパス名を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 compiler limit: too many option options [num]
	[説明]	【V850】 オプション option の指定回数が限界を越えています。この処理系の最大値は num です。
F2012	[メッセージ]	Missing parameter ‘オプション’
	[説明]	必要なパラメータが指定されていません。
	[対処方法]	パラメータを指定してください。
F2013	[メッセージ]	Parameter not needed ‘オプション’
	[説明]	不要なパラメータが指定されています。
	[対処方法]	不要なパラメータを削除してください。
F2014	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Out of range ‘オプション’
	[説明]	【78K0】【78K0R】 指定数値が範囲外です。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 正しい数値を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 Both 'option1' and 'option2' cannot be specified.
	[説明]	【V850】 オプション option1 と option2 は同時に指定できません。
F2015	[メッセージ]	Parameter is too long ‘オプション’
	[説明]	パラメータの文字数が制限を越えています。
	[対処方法]	パラメータの文字数を制限内にしてください。
F2016	[メッセージ]	Illegal parameter ‘オプション’
	[説明]	パラメータの文法が誤っています。
	[対処方法]	正しいパラメータを指定してください。
F2017	[メッセージ]	Too many parameters ‘オプション’
	[説明]	パラメータの総数が制限を越えています。
	[対処方法]	パラメータの総数を制限内にしてください。
F2018	[メッセージ]	Option is not recognized ‘オプション’
	[説明]	オプション名が誤っています。
	[対処方法]	正しいオプション名を指定してください。
F2019	[メッセージ]	Parameter file nested
	[説明]	パラメータ・ファイル中に -f オプションが指定されました。
	[対処方法]	パラメータ・ファイル中に -f オプションを指定しないでください。

F2020	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Parameter file read error 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 パラメータ・ファイルの読み込みができません。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 正しいパラメータ・ファイルを指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 compiler limit: scope level too deep [num]
	[説明]	【V850】 スコープ・レベルの深さが限界を越えています。この処理系の最大値は127です。
F2021	[メッセージ]	Memory allocation failed
	[説明]	メモリが足りません。
	[対処方法]	必要なメモリを確保してください。
F2040	[メッセージ]	compiler limit: too many parameters [num]
	[説明]	関数の仮引数の数が多すぎます。この処理系の最大値は255です。
F2101	[メッセージ]	Source file size 0 'ファイル名'
	[説明]	サイズが0バイトのソース・ファイルを入力しました。
F2102	[メッセージ]	Illegal processor type specified
	[説明]	対象デバイスの指定がまちがっています。
F2103	[メッセージ]	Syntax error in module header
	[説明]	ソース・モジュール・ヘッダに記述可能な制御命令の記述形式が、まちがっています。
F2104	[メッセージ]	Can't use this control outside module header
	[説明]	ソース・モジュール・ヘッダに記述する制御命令が、通常のソースに記述されています。
F2105	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Duplicate PROCESSOR control
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ソース・モジュール・ヘッダの中で PROCESSOR 制御命令が、重複して記述されています。
	[メッセージ]	【V850】 compiler limit: too long file name 'file' [num]
	[説明]	【V850】 ファイルの名前 file が長すぎます。この処理系の最大値は1024です。
F2106	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal source file name for module name
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ソース・ファイル名のプライマリ・ネームが、シンボルの構成文字に反しているためモジュール名が作成できません。
	[メッセージ]	【V850】 Non empty file must end in new-line character.
	[説明]	【V850】 空でないファイルは改行文字で終了してください。
F2107	[メッセージ]	Default segment ? CSEG is already used
	[説明]	セグメント定義省略時に、デフォルト・セグメントを定義しようとした。
F2108	[メッセージ]	Symbol table overflow 'シンボル名'
	[説明]	定義可能なシンボル数の制限を越えています。
F2109	[メッセージ]	Too many DS
	[説明]	DS 疑似命令が多くあるために、セグメント内のオブジェクト・コードの間隔が空きすぎて、オブジェクト・ファイルに情報を出力することができません。

F2110	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 String table overflow
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ストリング・テーブルの制限を越えました。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 9文字以上のシンボル数を減らしてください。
	[メッセージ]	【V850】 unknown character ' <i>character</i> '
	[説明]	【V850】 不正な文字 <i>character</i> が用いられています。
F2111	[メッセージ]	Object code more than 128bytes
	[説明]	オブジェクト・コードが、ソース・ステートメント 1 行につき 128 バイトを越えました。
F2112	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 No processor specified
	[説明]	【78K0】【78K0R】 対象デバイスが、コマンド行にもソース・モジュール・ファイルにも指定されていません。
	[メッセージ]	【V850】 compiler limit: too many characters in logical source line [ <i>num</i> ]
	[説明]	【V850】 論理ソース行の文字数が限界を越えています。この処理系の最大値は 32768 です。
F2114	[メッセージ]	Local symbol name of asm statement must begin with '?L' in C source.
	[説明]	C ソースの #asm 中に、'?L' で始まらないローカル・シンボルが記述されています。
F2115	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Too long source line
	[説明]	【78K0】【78K0R】 1 行の長さが制限 (2048 文字) を越えています。
	[メッセージ]	【V850】 non-terminated <i>string</i> literal
	[説明]	【V850】 文字列を閉じる "" がありません。
F2119	[メッセージ]	compiler limit: string buffer overflow [ <i>num</i> ]
	[説明]	コンパイラ制限: 文字列バッファが溢れました。この処理系の最大値は 32768 です。
F2120	[メッセージ]	compiler limit: preprocessor token buffer overflow [ <i>num</i> ]
	[説明]	マクロ定義において、展開文字列の長さが限界を越えています ( <i>num</i> 文字分のバッファが足りません)。 マクロ定義において、展開文字列の長さが限界を越えていた場合に表示されます。マクロ定義数の限界を上げるオプション -Xm <i>num</i> ( <i>num</i> は、-Xm を省略した場合は 2047, 最大 32 767 まで指定可能) で、限界値を変更して見てください。 なお、このオプションはブリプロセッサで使用するバッファのサイズを大きくするものであり、これによって何文字分のバッファが確保されるのかという具体的な数値が出せません。
F2121	[メッセージ]	compiler limit: too many macro definitions [ <i>num</i> ]
	[説明]	マクロ定義の数が限界を越えています。この処理系の最大値は <i>num</i> です。
F2122	[メッセージ]	compiler limit: too long macro name ' <i>name</i> ' [ <i>num</i> ]
	[説明]	マクロ名 <i>name</i> が長すぎます。この処理系の最大値は 1023 です。
F2128	[メッセージ]	redeclared macro parameter ' <i>name</i> '
	[説明]	マクロのパラメータ <i>name</i> が再定義されています。
F2153	[メッセージ]	unexpected non-whitespace before preprocessing directive
	[説明]	前処理指令の前に空白文字類以外の文字があります。

F2154	[メッセージ]	undefined control
	[説明]	“#”に続く前処理指令の記述が正しくありません。
F2158	[メッセージ]	compiler limit: too many include nestings [num]
	[説明]	#include ディレクティブにおけるネスティングの回数が限界を越えています。この処理系の最大値は 50 です。
F2160	[メッセージ]	errmsg
	[説明]	errmsg で示されるエラーが発生しました。ソース・プログラム中で #error ディレクティブが使用されると、このメッセージが表示されます。
F2209	[メッセージ]	Too many line number
	[説明]	1 ファイルに記述可能な行数を越えています。
F2230	[メッセージ]	compiler limit: initialization nests too deep [num]
	[説明]	初期化子リストのネストが深すぎます。この処理系の最大値は 100 です。
F2410	[メッセージ]	compiler limit: too many case labels [num]
	[説明]	switch 文中の case ラベルの個数が限界を越えています。この処理系の最大値は 1025 です。
F2608	[メッセージ]	cannot recover from earlier errors
	[説明]	先に発生したエラーのために、処理を継続できません。
F2620	[メッセージ]	unknown cpu type, cannot compile
	[説明]	ターゲット・デバイス指定がないため、コンパイルできません。
F2622	[メッセージ]	duplicated cpu type
	[説明]	オプション、または #pragma 指令でターゲット・デバイス指定が重複しています。
F2623	[メッセージ]	cannot find device file
	[説明]	指定されたターゲット・デバイスに相当するデバイス・ファイルがありません。またはターゲット・デバイスの指定が間違っています。
F2624	[メッセージ]	device file read error
	[説明]	デバイス・ファイルの読み込みに失敗しました。デバイス・ファイルが壊れている可能性があります。
F2625	[メッセージ]	illegal placement '#pragma cpu'
	[説明]	デバイス名を指定する #pragma 指令の位置が不正です。デバイス指定は C 言語の構文より前に記述してください。
F2626	[メッセージ]	illegal cpu type: type
	[説明]	デバイス指定の対応がとれていません。ca850 に対応するデバイス指定を行ってください。
F2628	[メッセージ]	device file version mismatch, cannot use version 'version'
	[説明]	デバイス・ファイルのフォーマット・バージョンが不正です。
F2901	[メッセージ]	Can't open source file 'ファイル名'
	[説明]	ソース・ファイルをオープンすることができません。
F2902	[メッセージ]	Can't open parameter file 'ファイル名'
	[説明]	パラメータ・ファイルをオープンすることができません。



F2903	[メッセージ]	Can't open include file 'ファイル名'
	[説明]	インクルード・ファイルをオープンすることができません。
F2904	[メッセージ]	Illegal include file 'ファイル名'
	[説明]	インクルード・ファイル名として、ドライブ名のみ、パス名のみ、デバイス型ファイル名のいずれかが指定されました。
F2905	[メッセージ]	Can't open overlay file 'ファイル名'
	[説明]	オーバーレイ・ファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	オーバーレイ・ファイルがアセンブラの実行形式と同じフォルダにあるかどうかを調べてください。
F2906	[メッセージ]	Illegal overlay file 'ファイル名'
	[説明]	オーバーレイ・ファイルの内容が不正です。
F2907	[メッセージ]	Can't open object file 'ファイル名'
	[説明]	オブジェクト・ファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	フォルダに空き領域のあるディスクを使用してください。
F2908	[メッセージ]	Can't open print file 'ファイル名'
	[説明]	アセンブル・リスト・ファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	フォルダに空き領域のあるディスクを使用してください。
F2909	[メッセージ]	Can't open error list file 'ファイル名'
	[説明]	エラー・リスト・ファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	フォルダに空き領域のあるディスクを使用してください。
F2910	[メッセージ]	Can't open temporary file 'ファイル名'
	[説明]	テンポラリ・ファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	フォルダに空き領域のあるディスクを使用してください。
F2913	[メッセージ]	Can't read source file 'ファイル名'
	[説明]	ソース・ファイルにファイル I/O エラーが発生しました。
F2914	[メッセージ]	Can't read parameter file 'ファイル名'
	[説明]	パラメータ・ファイルにファイル I/O エラーが発生しました。
F2915	[メッセージ]	Can't read include file 'ファイル名'
	[説明]	インクルード・ファイルにファイル I/O エラーが発生しました。
F2916	[メッセージ]	Can't read overlay file 'ファイル名'
	[説明]	オーバーレイ・ファイルにファイル I/O エラーが発生しました。
F2917	[メッセージ]	Can't write object file 'ファイル名'
	[説明]	オブジェクト・ファイルにファイル I/O エラーが発生しました。
	[対処方法]	オブジェクト・ファイルをほかのフォルダに出力するか、指定したディスクに空き領域を作ってください。
F2918	[メッセージ]	Can't write print file 'ファイル名'
	[説明]	アセンブル・リスト・ファイルにファイル I/O エラーが発生しました。
	[対処方法]	アセンブル・リスト・ファイルをほかのフォルダに出力するか、指定したディスクに空き領域を作ってください。

F2919	[メッセージ]	Can't write error list file 'ファイル名'
	[説明]	エラー・リスト・ファイルにファイル I/O エラーが発生しました。
	[対処方法]	エラー・リスト・ファイルをほかのフォルダに出力するか、指定したディスクに空き領域を作ってください。
F2920	[メッセージ]	Can't read/write temporary file 'ファイル名'
	[説明]	テンポラリ・ファイルにファイル I/O エラーが発生しました。
	[対処方法]	テンポラリ・ファイルをほかのフォルダに出力するか、指定したディスクに空き領域を作ってください。
F2922	[メッセージ]	Insufficient memory in hostmachine
	[説明]	システムにアセンブラを実行するための十分なメモリがありません。
F2923	[メッセージ]	Insufficient memory for macro in hostmachine
	[説明]	マクロ処理の途中で内部メモリが不足しました。
	[対処方法]	マクロ定義を少なくしてください。
F3001	[メッセージ]	Missing input file
	[説明]	入力ファイルを指定していません。
	[対処方法]	入力ファイルを指定してください。
F3002	[メッセージ]	Too many input files
	[説明]	入力ファイルが2つ以上指定されました。
	[対処方法]	入力ファイルを1つだけ指定してください。
F3004	[メッセージ]	Illegal file name 'ファイル名'
	[説明]	ファイル名に不当な文字があるか、または文字数が制限を越えています。
	[対処方法]	ファイル名を正しい文字、および文字数にしてください。
F3005	[メッセージ]	Illegal file specification 'ファイル名'
	[説明]	不当なファイルが指定されました。
	[対処方法]	正しいファイル名を指定してください。
F3006	[メッセージ]	File not found 'ファイル名'
	[説明]	指定された入力ファイルが存在しません。
	[対処方法]	存在するファイル名を指定してください。
F3007	[メッセージ]	Input file specification overlapped 'ファイル名'
	[説明]	入力ファイル名が重複して指定されました。
	[対処方法]	正しいファイル名を指定してください。
F3008	[メッセージ]	File specification conflicted 'ファイル名'
	[説明]	入出力ファイル名が重複して指定されました。
	[対処方法]	入出力ファイル名は異なるものを指定してください。
F3009	[メッセージ]	Unable to make file 'ファイル名'
	[説明]	指定されたファイルにライト・プロテクトがかかっています。
	[対処方法]	ファイルのライト・プロテクトを解除してください。

F3010	[メッセージ]	Directory not found 'ファイル名'
	[説明]	出力ファイル名中に存在しないドライブ, またはフォルダが含まれています。
	[対処方法]	存在するドライブ, およびフォルダ名を指定してください。
F3011	[メッセージ]	Illegal path 'オプション'
	[説明]	パラメータにパスを指定するオプションで, パス名以外が指定されました。
	[対処方法]	正しいパス名を指定してください。
F3012	[メッセージ]	Missing parameter 'オプション'
	[説明]	必要なパラメータが指定されていません。
	[対処方法]	パラメータを指定してください。
F3013	[メッセージ]	Parameter not needed 'オプション'
	[説明]	不要なパラメータが指定されています。
	[対処方法]	不要なパラメータを削除してください。
F3014	[メッセージ]	Out of range 'オプション'
	[説明]	指定数値が範囲外です。
	[対処方法]	正しい数値を指定してください。
F3015	[メッセージ]	Parameter is too long 'オプション'
	[説明]	パラメータの文字数が制限を越えています。
	[対処方法]	パラメータの文字数を制限内にしてください。
F3016	[メッセージ]	Illegal parameter 'オプション'
	[説明]	パラメータの文法が誤っています。
	[対処方法]	正しいパラメータを指定してください。
F3017	[メッセージ]	Too many parameters 'オプション'
	[説明]	パラメータの総数が制限を越えています。
	[対処方法]	パラメータの総数を制限内にしてください。
F3018	[メッセージ]	Option is not recognized 'オプション'
	[説明]	オプション名が誤っています。
	[対処方法]	正しいオプション名を指定してください。
F3019	[メッセージ]	Parameter file nested
	[説明]	パラメータ・ファイル中に-fオプションが指定されました。
	[対処方法]	パラメータ・ファイル中に-fオプションを指定しないでください。
F3020	[メッセージ]	Parameter file read error 'ファイル名'
	[説明]	パラメータ・ファイルの読み込みができません。
	[対処方法]	正しいパラメータ・ファイルを指定してください。
F3021	[メッセージ]	Memory allocation failed
	[説明]	メモリが足りません。
	[対処方法]	必要なメモリを確保してください。

F3030	[メッセージ]	On-chip debug is not supported for this device
	[説明]	オンチップ・デバッグ機能は、指定されているデバイスでは使用できません。
	[対処方法]	オンチップ・デバッグ機能を指定しないでください。
F3031	[メッセージ]	Security ID is not supported for this device
	[説明]	セキュリティ ID は、指定されているデバイスでは使用できません。
	[対処方法]	セキュリティ ID を指定しないでください。
F3101	[メッセージ]	'ファイル名'invalid input file (or made by different hostmachine)
	[説明]	オブジェクト・モジュール・ファイル以外のファイルを入力しようとしたか、互換性のないホスト・マシンで作成されたオブジェクト・モジュール・ファイルをリンクしようとした。
F3103	[メッセージ]	'ファイル名'Illegal processor type
	[説明]	アセンブル、またはコンパイルの対象デバイスが、このリンクの対象デバイスではありません。
	[対処方法]	オブジェクト・モジュールファイルが正しいことを確認してください。 リンクの扱うことができるアセンブル、またはコンパイルの対象デバイスを確認してください。 また、オーバーレイ・ファイルが正しいバージョンであることを確認してください（リンクは、アセンブラのオーバーレイ・ファイルの一部を参照して、対象デバイス固有の情報を得ています）。
F3104	[メッセージ]	'ファイル名'Different processor type from first input file '最初に入力したファイル名'
	[説明]	最初に入力したオブジェクト・モジュール・ファイルと、対象デバイスの異なるオブジェクト・モジュール・ファイルを入力しました。
F3106	[メッセージ]	Can't create temporary file 'ファイル名'
	[説明]	テンポラリ・ファイルが作成できません。
F3118	[メッセージ]	Can't find target chip in all modules
	[説明]	入力したオブジェクト・モジュール・ファイルすべてに対して、共通オブジェクト指定オプション（-common）が指定されているため、対象デバイスを判別することができません。
	[対処方法]	必要のない共通オブジェクト指定オプション（-common）を外してください。
F3203	[メッセージ]	Segment 'セグメント名' unknown segment type
	[説明]	入力したオブジェクト・モジュール・ファイルのセグメント情報に、誤りがあります（出力セグメントの結合型の指定がまちがっています）。
F3214	[メッセージ]	Segment 'セグメント名' can't allocated on SELFRAM
	[説明]	このセグメントは BRAM と内部 RAM が重複する領域に配置されたため、セルフ・プログラミング・モード時にはデータが破壊される場合があります。-self オプションが指定されているため、この領域に配置することはできません。詳細については、デバイスのユーザーズ・マニュアルを参照してください。
	[対処方法]	配置を見直してください。
F3401	[メッセージ]	'ファイル名' Bad symbol table
	[説明]	入力したオブジェクト・モジュール・ファイルのシンボル情報が不正です。入力ファイルのシンボル・エントリが 'file' シンボルで始まっていません。

F3402	[メッセージ]	File 'ファイル名' has no string table for symbol
	[説明]	入力したオブジェクト・モジュール・ファイルのシンボル情報が不正です。
	[対処方法]	もう一度アセンブル, またはコンパイルし直してください。 アセンブラのシンボル認識文字数を 8 文字, コンパイラの認識文字数を 7 文字にすることで回避可能な場合があります。
F3415	[メッセージ]	【78K0R】 Compiler options are mixed in file 'ファイル名1' First defined in file 'ファイル名2'
	[説明]	【78K0R】 プログラム全体で同じ指定でなければいけないコンパイラの最適化オプションに関して, 異なる指定をしたオブジェクト・ファイルが入力されました。同じ指定でコンパイルし直してください。
F3430	[メッセージ]	Different FLASH address in file 'ファイル名1'. First specified in file 'ファイル名2' Different FLASH address in file 'ファイル名1'. Parameter option '-zb'
	[説明]	入力ファイルのフラッシュ・メモリ領域の先頭アドレスが, すべて同じではありません。
	[対処方法]	-zb オプション, およびコンパイラの -zz オプションには, すべて同じ値を指定してください。
F3435	[メッセージ]	ext_table address in file 'xxx'. First specified in file 'xxx'
	[説明]	C ソースで指定した "#pragma ext_table" の値が不正です。
	[対処方法]	スタートアップ・ルーチンで指定した "ITBLTOP" の値と, C ソースで指定した "#pragma ext_table" の値を, すべて同じ値にしてください。
F3436	[メッセージ]	Different FLASH table address in file 'ファイル名1'. First specified in file 'ファイル名2'
	[説明]	フラッシュ ROM 領域分岐テーブルの先頭アドレスがすべて同じではありません。
	[対処方法]	コンパイラの -zt オプションには, すべて同じ値を指定してください。
F3437	[メッセージ]	FLASH table address smaller than FLASH address in file 'ファイル名1'. First specified in file 'ファイル名2' FLASH table address smaller than FLASH address in file 'ファイル名1'. Parameter option '-zb' FLASH table address smaller than FLASH address in file 'ファイル名1'
	[説明]	フラッシュ ROM 領域分岐テーブルの先頭アドレスがフラッシュ先頭アドレスよりも小さく設定されています。
	[メッセージ]	Different MIRROR address in file 'ファイル名1'. First specified in file 'ファイル名2' Different MIRROR address in file 'ファイル名1'. Parameter option '-mi'
	[説明]	ミラー領域指定値がすべて同じではありません。
F3438	[対処方法]	リンカ, およびコンパイラの -mi オプションには, すべて同じ値を指定してください。
	[メッセージ]	too many files
F3500	[説明]	複数のファイルを指定することはできません。
	[メッセージ]	illegal bit width
F3501	[説明]	.byte, .hword, または .word 疑似命令においてビット幅の指定に誤りがあります。
	[メッセージ]	

F3502	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Too many segment (up to 65535/0FFFFH)
	[説明]	【78K0】【78K0R】 入力セグメントの総数が 65535 個を越えました。
	[メッセージ]	【V850】 illegal file name (must be .s file)
	[説明]	【V850】 入力ファイルの拡張子が不正です。拡張子は .s としてください。
F3503	[メッセージ]	can not open file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> をオープンできません。
F3504	[メッセージ]	illegal section kind
	[説明]	.section 疑似命令においてセクションの種類に誤りがあります。
F3505	[メッセージ]	memory allocation fault
	[説明]	メモリが足りません。
F3506	[メッセージ]	memory allocation fault ( <i>string</i> )
	[説明]	内部データ領域 ( <i>string</i> ) の確保に失敗しました。
F3507	[メッセージ]	overflow error ( <i>string</i> )
	[説明]	式の処理において作業領域が足りなくなりました。単純な式に変更してください。
F3508	[メッセージ]	<i>identifier</i> undefined
	[説明]	定義されていない識別子 <i>identifier</i> が参照されています。
F3509	[メッセージ]	illegal pseudo( <i>string</i> ) found
	[説明]	予期しない疑似命令 <i>string</i> が見つかりました。
F3510	[メッセージ]	<i>string</i> unexpected
	[説明]	<i>string</i> 疑似命令に対応する疑似命令が存在しません。
F3511	[メッセージ]	<i>string</i> unmatched
	[説明]	条件アセンブル制御命令において対応する制御命令 <i>string</i> が存在しません。
F3512	[メッセージ]	.if, .ifn, etc. too deeply nested
	[説明]	条件アセンブル制御命令が 17 回以上ネストして用いられています。
F3513	[メッセージ]	unexpected EOF in <i>string</i>
	[説明]	<i>string</i> 疑似命令に対応する .endm 疑似命令が存在しません。
F3514	[メッセージ]	paramater table overflow
	[説明]	実パラメータが 33 個以上用いられています。
F3515	[メッセージ]	string not in .repeat/.irepeat
	[説明]	<i>string</i> 疑似命令が繰り返しアセンブル疑似命令に囲まれていません。
F3516	[メッセージ]	local symbol value overflow
	[説明]	.local 疑似命令により自動生成されたシンボルが限界数 (65536) を越えました。
F3517	[メッセージ]	<i>string</i> nest over
	[説明]	<i>string</i> が 9 回以上ネストして用いられています。
F3518	[メッセージ]	unreasonable macro_call nesting
	[説明]	マクロ本体内で現在定義中のマクロの呼び出しが行われました。
F3519	[メッセージ]	argument mismatch
	[説明]	マクロ呼び出しの引数指定が不正です。

F3520	[メッセージ]	\$ must be followed by defined symbol
	[説明]	“\$”のあとにシンボル以外の識別名、または未定義シンボル名が指定されています。
F3521	[メッセージ]	too many errors
	[説明]	致命的なエラーの数が30に達しました。アセンブルを中止します。
F3522	[メッセージ]	unknown cpu type
	[説明]	ターゲット・デバイス指定がないため、アセンブルできません。
F3523	[メッセージ]	duplicated cpu type
	[説明]	オプション、または疑似命令でターゲット・デバイス指定が重複しています。
F3524	[メッセージ]	can not find devicefile
	[説明]	指定されたターゲット・デバイスに相当するデバイス・ファイルがないか、デバイス指定が間違っている、またはデバイス指定がありません。
F3525	[メッセージ]	illegal cpu family
	[説明]	指定されたデバイス・ファイルがV850マイクロコントローラ用ではありません。
F3526	[メッセージ]	devicefile version mismatch, cannot use version <i>version</i>
	[説明]	指定されたデバイス・ファイルのバージョンが不正です。バージョン <i>version</i> は指定できません。
F3527	[メッセージ]	nested command file <i>file</i>
	[説明]	コマンド・ファイル <i>file</i> がネストしています。ネストはできません。
F3528	[メッセージ]	.tidata.byte/.tibss.byte size overflow(size > 128).
	[説明]	.tidata.byte セクション、.tibss.byte セクションのサイズの合計が128バイトを越えています。
F3529	[メッセージ]	.tidata.word/.tibss.word size overflow(size > 256).
	[説明]	.tidata.word セクション、.tibss.word セクションのサイズの合計が256バイトを越えています。
F3530	[メッセージ]	.tidata/.tibss size overflow(size > 256).
	[説明]	.tidata.byte セクション、.tibss.byte セクション、.tidata.word セクション、.tibss.word セクション、.tidata セクション、.tibss セクションのサイズの合計が256バイトを越えています。
F3531	[メッセージ]	too many symbols
	[説明]	1ファイルに記述できるシンボル数を越えました。記述できるシンボル数の限界は、アセンブラが内部で登録するものを含め、16,777,215です。
F3532	[メッセージ]	illegal object file ( <i>string</i> )
	[説明]	リンク可能なオブジェクト・ファイルを生成する段階で、ファイル・システムに依存するエラーが発生しました。
F3901	[メッセージ]	Can't open overlay file ' <i>ファイル名</i> '
	[説明]	オーバーレイ・ファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	オーバーレイ・ファイルが正しいフォルダ（実行形式プログラムがあるフォルダ）にあることを確認してください。
F3902	[メッセージ]	file ' <i>ファイル名</i> ' file not found
	[説明]	指定されたライブラリ・ファイルをオープンすることができません。

F3903	[メッセージ]	Can't read input file 'ファイル名'
	[説明]	入力ファイルとして指定されたオブジェクト・モジュール・ファイルを読むことができません。
F3904	[メッセージ]	Can't open output file 'ファイル名'
	[説明]	出力ファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	出力ファイルを作成しようとしたディスクの状態（空き容量、メディアの状態など）を確認してください。
F3905	[メッセージ]	Can't create temporary file 'ファイル名'
	[説明]	シンボル・エントリ用のテンポラリ・ファイルを作成することができません。
	[対処方法]	テンポラリ・ファイルを作成しようとしたディスクの状態（空き容量、メディアの状態など）を確認してください。
F3906	[メッセージ]	Can't write map file 'ファイル名'
	[説明]	リンク・リスト・ファイルにデータを書き込めません。
	[対処方法]	リンク・リスト・ファイルを作成しようとしたディスクの状態（空き容量、メディアの状態など）を確認してください。
F3907	[メッセージ]	Can't write output file 'ファイル名'
	[説明]	ロード・モジュール・ファイルに書き込みができません。
	[対処方法]	出力ファイルを作成しようとしたディスクの状態（空き容量、メディアの状態など）を確認してください。
F3908	[メッセージ]	Can't access temporary file 'ファイル名'
	[説明]	テンポラリ・ファイルに書き込みができません。
	[対処方法]	テンポラリ・ファイルを作成しようとしたディスクの状態（空き容量、メディアの状態など）を確認してください。
F3909	[メッセージ]	Can't read DEVICE_FILE file 'デバイス・ファイル名'
	[説明]	リンクまでに使用した各ツール（CC78K0, ST78K0, RA78K0, CC78K0R, RA78K0R）で、指定したデバイスに対応したデバイス・ファイルの読み込みができません。
F4001	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Missing input file
	[説明]	【78K0】【78K0R】 入力ファイルを指定していません。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 入力ファイルを指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 can not open command file "file".
	[説明]	【V850】 コマンド・ファイル file をオープンできません。
F4002	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Too many input files
	[説明]	【78K0】【78K0R】 入力ファイルが2つ以上指定されました。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 入力ファイルを1つだけ指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 can not open input file "file".
	[説明]	【V850】 入力ファイル file を開けません。
F4003	[メッセージ]	can not open output file "file".
	[説明]	出力ファイル file を開けません。



F4004	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal file name 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ファイル名に不当な文字があるか、または文字数が制限を越えています。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 ファイル名を正しい文字、および文字数にしてください。
	[メッセージ]	【V850】 can not create output file "file".
	[説明]	【V850】 出力ファイル file を作成できません。
F4005	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal file specification 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 不当なファイルが指定されました。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 正しいファイル名を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 can not open directive file "file"
	[説明]	【V850】 ディレクティブ・ファイル file を開けません。
F4006	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 File not found 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 指定された入力ファイルが存在しません。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 C コンパイラのスタートアップ・ルーチンをリンクしている場合は、「スタートアップ・ルーチン名.lmf」として表示されます。この場合、リンカ・オプションで「-o*.lmf」のように出力ファイル名を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 can not get size of directive file "file".
	[説明]	【V850】 ディレクティブ・ファイル file のサイズの取得に失敗しました。
F4007	[メッセージ]	can not read directive file "file"
	[説明]	ディレクティブ・ファイル file が読み込めません。
F4008	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 File specification conflicted 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 入出力ファイル名が重複して指定されました。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 入出力ファイル名は異なるものを指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 can not truncate output file "file" to have size(number).
	[説明]	【V850】 出力ファイル file のサイズを number バイトに変更できません。
F4009	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Unable to make file 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 指定されたファイルにライト・プロテクトがかかっています。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 ファイルのライト・プロテクトを解除してください。
	[メッセージ]	【V850】 can not seek output file "file".
	[説明]	【V850】 出力ファイル file をシークできません。
F4010	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Directory not found 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 出力ファイル名中に存在しないドライブ、またはフォルダが含まれています。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 存在するドライブ、およびフォルダ名を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 can not write output file "file".
	[説明]	【V850】 出力ファイル file の書き込みができません。

F4011	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal path ‘オプション’
	[説明]	【78K0】【78K0R】 パラメータにパスを指定するオプションで、パス名以外が指定されました。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 正しいパス名を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 can not find devicefile "string".
	[説明]	【V850】 デバイス・ファイル stringが見つかりません。
F4012	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Missing parameter ‘オプション’
	[説明]	【78K0】【78K0R】 必要なパラメータが指定されていません。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 パラメータを指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 illegal device file "string".
	[説明]	【V850】 デバイス・ファイル stringが不正です。
F4013	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Parameter not needed ‘オプション’
	[説明]	【78K0】【78K0R】 不要なパラメータが指定されています。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 不要なパラメータを削除してください。
	[メッセージ]	【V850】 can not open device file "string",
	[説明]	【V850】 デバイス・ファイル stringをオープンできません。
F4014	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Out of range ‘オプション’
	[説明]	【78K0】【78K0R】 指定数値が範囲外です。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 正しい数値を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 can not read device file "string".
	[説明]	【V850】 デバイス・ファイル stringの読み込みができません。
F4015	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Parameter is too long ‘オプション’
	[説明]	【78K0】【78K0R】 パラメータの文字数が制限を越えています。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 パラメータの文字数を制限内にしてください。
	[メッセージ]	【V850】 illegal object file (Error Number:number).
	[説明]	【V850】 オブジェクト・ファイルが不正です。
F4016	[メッセージ]	Illegal parameter ‘オプション’
	[説明]	パラメータの文法が誤っています。
	[対処方法]	正しいパラメータを指定してください。
F4017	[メッセージ]	Too many parameters ‘オプション’
	[説明]	パラメータの総数が制限を越えています。
	[対処方法]	パラメータの総数を制限内にしてください。
F4018	[メッセージ]	Option is not recognized ‘オプション’
	[説明]	オプション名が誤っています。
	[対処方法]	正しいオプション名を指定してください。
F4019	[メッセージ]	Parameter file nested
	[説明]	パラメータ・ファイル中に、-fオプションが指定されました。
	[対処方法]	パラメータ・ファイル中に、-fオプションを指定しないでください。

F4020	[メッセージ]	Parameter file read error 'ファイル名'
	[説明]	パラメータ・ファイルの読み込みができません。
	[対処方法]	正しいパラメータ・ファイルを指定してください。
F4021	[メッセージ]	Memory allocation failed
	[説明]	メモリが足りません。
	[対処方法]	必要なメモリを確保してください。
F4031	[メッセージ]	illegal ELF version.
	[説明]	指定されたオブジェクト・ファイルの ELF 形式の版が ld850 の扱うことのできる版ではありません。
F4032	[メッセージ]	illegal target machine type.
	[説明]	入力ファイルのタイプが ld850 の扱うことのできるタイプではありません。
F4033	[メッセージ]	illegal target machine class.
	[説明]	入力ファイルのクラスが ld850 の扱うことのできるクラスではありません。
F4034	[メッセージ]	illegal target machine byte order.
	[説明]	入力ファイルのバイト・オーダが ld850 の扱うことのできるバイト・オーダではありません。
F4035	[メッセージ]	illegal ELF file type, must be relocatable or shared library file.
	[説明]	入力ファイルとして扱うことのできるオブジェクト・ファイルのファイル・タイプは、リロケータブル・ファイル、または共有ライブラリ・ファイルのみです。
F4036	[メッセージ]	unknown format type file "file".
	[説明]	指定されたファイル <i>file</i> は不正なファイル形式を持っています。
F4037	[メッセージ]	illegal devicefile. different family "number".
	[説明]	デバイス・ファイルが違います。ファミリー <i>number</i> が異なっています。
F4038	[メッセージ]	"file" is not executable file.
	[説明]	-zf オプションで指定したブート側ファイル <i>file</i> は、実行可能形式ではありません。ld850 の出力した実行可能形式ファイルを指定してください。
F4039	[メッセージ]	"file" is rom packed file.
	[説明]	-zf オプションで指定したブート側ファイル <i>file</i> は、ROM 化されています。ROM 化を行う以前の、ld850 の出力した実行可能形式ファイルを指定してください。
F4051	[メッセージ]	fail to get symbol name <i>string</i> .
	[説明]	シンボル名文字列の取得に失敗しました。
F4052	[メッセージ]	failed to get <i>number</i> th symbol name <i>string</i> .
	[説明]	<i>number</i> 番目のシンボル名文字列の取得に失敗しました。
F4053	[メッセージ]	symbol " <i>symbol</i> " has unknown binding class( <i>number</i> ).
	[説明]	シンボル <i>symbol</i> は、不正なバインディング・クラス <i>number</i> を持っています。
F4054	[メッセージ]	weak symbol " <i>symbol</i> " not supported.
	[説明]	WEAK のバインディング・タイプを持つシンボル <i>symbol</i> はサポートしていません。
F4058	[メッセージ]	symbol " <i>symbol</i> " multiply defined.
	[説明]	シンボル <i>symbol</i> は、多重に定義されています。

F4059	[メッセージ]	linking of symbol " <i>symbol</i> " in sdata of sbss attribute section in " <i>file1</i> " and in other attribute section in " <i>file2</i> " is attempted.
	[説明]	<i>file1</i> 内で定義されたシンボル <i>symbol</i> と <i>file2</i> 内で定義された同じ名前のシンボルのセクション配置に矛盾が生じました。
F4060	[メッセージ]	can not find entry point symbol " <i>symbol</i> " specified with "-e" option.
	[説明]	-e オプションで指定されたシンボル <i>symbol</i> が見つかりません。
F4063	[メッセージ]	".ext_func ID, symbol" is already defined as ".ext_func ID, symbol" in other file.
	[説明]	.ext_func 疑似命令で指定されたシンボル名と ID 値に矛盾があります。
F4065	[メッセージ]	too many symbols.
	[説明]	シンボル数が限界値を越えました。-r (-ro) オプションで作成するリロケータブル・オブジェクト・ファイルのシンボル限界値は 16777125 です。
F4100	[メッセージ]	'ファイル名' Illegal processor type
	[説明]	アセンブル, またはコンパイルの対象デバイスが, このプログラムの対象デバイスと異なります。
	[対処方法]	ロード・モジュール・ファイルが正しいかどうか, そしてアセンブル, またはコンパイルの対象デバイスを確認してください。 また, デバイス・ファイルのバージョンが正しいかどうかを確認してください。
F4101	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 'ファイル名' invalid input file (or made by different hostmachine)
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ロード・モジュール・ファイル以外のファイルを入力しようとしたか, または互換性のないホスト・マシンで作成されたロード・モジュール・ファイルをコンバートしようとした。
	[メッセージ]	【V850】 failed to get section name <i>string</i> table section.
	[説明]	【V850】 セクション名のストリング・テーブル・セクションの取得に失敗しました。
F4102	[メッセージ]	fail to get symbol name <i>string</i> table section.
	[説明]	ストリング・テーブル・セクションの取得に失敗しました。
F4103	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Symbol ' <i>シンボル名</i> ' Illegal attribute
	[説明]	【78K0】【78K0R】 入力ファイルのシンボル属性に誤りがあります。
	[メッセージ]	【V850】 failed to get section header.
	[説明]	【V850】 セクション・ヘッダ取得に失敗しました。
F4104	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 ' <i>ファイル名</i> ' Illegal input file-not linked
	[説明]	【78K0】【78K0R】 オブジェクト・モジュール・ファイルを入力しようとしていません。
	[メッセージ]	【V850】 failed to get section name <i>string</i> .
	[説明]	【V850】 セクション名の取得に失敗しました。
F4105	[メッセージ]	Insufficient memory in hostmachine
	[説明]	プログラムが動作するために十分なメモリがありません。

F4106	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal symbol table
	[説明]	【78K0】【78K0R】 入力したロード・モジュール・ファイルのシンボル・テーブルに誤りがあります。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 ソースがC言語で記述されている場合は、Cソースのアセンブラ記述が次の注意事項に該当しないかを確認してください。 (注意事項) ローカル・シンボルを使用している場合は、?Lの文字列で始まるシンボル (?L@01, ?L@sym など) を使用してください。ただし、このシンボルは8文字以下にしてください。 また、このシンボルを外部定義 (PUBLIC 宣言) しないでください。
	[メッセージ]	【V850】 section "section" has unknown section type(number).
	[説明]	【V850】 セクション section は、不正なセクション・タイプ number を持っています。
F4107	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Can't specify -U option for ROMless device
	[説明]	【78K0】【78K0R】 内部ROMのない品種に、オブジェクト充てん値指定 (-u) オプションを指定しています。
	[メッセージ]	【V850】 can not get raw data of section "section".
	[説明]	【V850】 セクション section のロウ・データの取得に失敗しました。
F4109	[メッセージ]	interrupt function section "section" is already defined.
	[説明]	割り込みハンドラ・セクション section は、すでに定義されています。ld850 では、指定されたデバイス・ファイルから割り込みハンドラ・セクションを自動生成するため、リンク・ディレクティブへの記述は不要です。
F4110	[メッセージ]	special section "section" is already defined.
	[説明]	特殊セクション section は、すでに定義されています。
F4112	[メッセージ]	illegal "section" section size.
	[説明]	セクション section のサイズが不正です。
F4155	[メッセージ]	can not find GP-symbol in segment "segment" of illegal label reference for local symbol in file "file2" (section:section2, offset:offset, type:relocation type). local symbol is allocated in section "section1"(file:file1).
	[説明]	セグメント segment に GP シンボルが指定されていません。またはローカル・シンボルの配置 / 参照方法に矛盾があります。
	[対処方法]	変数定義に対して #pragma section 指定で配置するセクションを変更した場合には、他のファイルにあるその変数に対する extern 宣言に対しても、同じ方法でセクションを変更してください。ローカル・シンボルは、ファイル file1 の section1 に配置されています。ローカル・シンボルに対する参照は、ファイル file2 のセクション section2 のオフセット offset に存在します。

F4156	[メッセージ]	can not find GP-symbol in segment " <i>segment</i> " of illegal label reference for " <i>symbol</i> " in file " <i>file2</i> " (section: <i>section2</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ). " <i>symbol</i> " is allocated in section " <i>section1</i> "(file: <i>file1</i> ).
	[説明]	セグメント <i>segment</i> に GP シンボルが指定されていません。またはシンボル <i>symbol</i> の配置／参照方法に矛盾があります。
	[対処方法]	変数定義に対して #pragma section 指定で配置するセクションを変更した場合には、他のファイルにあるその変数に対する extern 宣言に対しても、同じ方法でセクションを変更してください。シンボル <i>symbol</i> は、ファイル <i>file1</i> の <i>section1</i> に配置されています。シンボル <i>symbol</i> に対する参照は、ファイル <i>file2</i> のセクション <i>section2</i> のオフセット <i>offset</i> に存在します。
F4157	[メッセージ]	can not find GP-symbol in section " <i>section</i> " of file " <i>file1</i> " or illegal label reference for symbol " <i>symbol</i> " in file " <i>file2</i> " (section: <i>section2</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ). " <i>symbol</i> " is allocated in section " <i>section1</i> "(file: <i>file1</i> ).
	[説明]	ブート側実行形式ファイル <i>file1</i> のセクション <i>section</i> に GP シンボルが指定されていません。またはシンボル <i>symbol</i> の配置／参照方法に矛盾があります。
	[対処方法]	変数定義に対して #pragma section 指定で配置するセクションを変更した場合には、他のファイルにあるその変数に対する extern 宣言に対しても、同じ方法でセクションを変更してください。シンボル <i>symbol</i> は、ファイル <i>file1</i> の <i>section1</i> に配置されています。シンボル <i>symbol</i> に対する参照は、ファイル <i>file2</i> のセクション <i>section2</i> のオフセット <i>offset</i> に存在します。
F4158	[メッセージ]	relocated value( <i>value</i> ) of relocation entry(symbol: <i>symbol</i> , file: <i>file</i> , section: <i>section</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ) for branch command become odd value.
	[説明]	分岐系のリロケーション・エントリ (シンボル <i>symbol</i> , ファイル <i>file</i> , セクション <i>section</i> , オフセット <i>offset</i> , リロケーション・タイプ <i>relocation type</i> ) によってリロケートされた値 <i>value</i> が奇数になっています。
F4160	[メッセージ]	EP symbol is needed for using SIDATA/SEDATA segment.
	[説明]	ep シンボルが生成されていません。SIDATA / SEDATA セグメントを使用するには EP シンボルを生成してください。
F4161	[メッセージ]	symbol " <i>symbol</i> " (output section <i>section1</i> ) is too far from output section " <i>section2</i> ".(value: <i>value</i> ,file: <i>file</i> , input section: <i>section3</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ).
	[説明]	出力セクション <i>section2</i> から出力セクション <i>section1</i> に配置されたシンボル <i>symbol</i> への分岐命令が、分岐範囲を越えています。分岐命令は、ファイル <i>file</i> 中のセクション <i>section3</i> のオフセット <i>offset</i> の位置に存在します。
F4162	[メッセージ]	output section " <i>section1</i> " is too far from output section " <i>section2</i> ". (value: <i>value</i> , file: <i>file</i> , input section: <i>section3</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ).
	[説明]	出力セクション <i>section2</i> から出力セクション <i>section1</i> に配置されたローカル・シンボルへの分岐命令が、分岐範囲を越えています。分岐命令は、ファイル <i>file</i> 中のセクション <i>section3</i> のオフセット <i>offset</i> の位置に存在します。

F4163	[メッセージ]	output section " <i>section1</i> " overflowed or illegal label reference for symbol " <i>symbol</i> " in file " <i>file2</i> " (value: <i>value</i> , file: <i>file</i> , input section: <i>section2</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ). " <i>symbol</i> " is allocated in section " <i>section1</i> "(file: <i>file1</i> ).
	[説明]	出力セクション <i>section1</i> がオーバフローしました。またはシンボル <i>symbol</i> の配置されたセクションとラベル参照方法が不正です。 <i>symbol</i> は、ファイル <i>file1</i> で <i>section1</i> に配置されています。不正な参照はファイル <i>file2</i> のセクション <i>section2</i> のオフセット <i>offset</i> に存在します。
F4164	[メッセージ]	output section " <i>section1</i> " overflowed or illegal label reference for local symbol in file " <i>file2</i> " (value: <i>value</i> , file: <i>file</i> , input section: <i>section2</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ). local symbol is allocated in section " <i>section1</i> "(file: <i>file1</i> ).
	[説明]	出力セクション <i>section1</i> がオーバフローしました。またはローカル・シンボルの配置されたセクションとラベル参照方法が不正です。ローカル・シンボルは、ファイル <i>file1</i> で <i>section1</i> に配置されています。不正な参照はファイル <i>file2</i> のセクション <i>section2</i> のオフセット <i>offset</i> に存在します。
F4165	[メッセージ]	can not reference extern symbol " <i>symbol</i> " by <i>string</i> .
	[説明]	フラッシュ/外 ROM 再リンク機能において、ブート領域作成時にフラッシュ領域側のシンボル <i>symbol</i> を <i>string</i> による参照ができません。
F4166	[メッセージ]	no symbol information in boot file " <i>file</i> ".
	[説明]	-zi オプションで指定したブート側ファイル <i>file</i> にベースシンボル情報が含まれていません。ブート側ファイルのリンク時に -ext_table が指定されているかを確認してください。
F4203	[メッセージ]	can not find archive member at offset( <i>offset</i> ) specified in archive symbol table entry.
	[説明]	アーカイブ・シンボル・テーブル・エントリで指定されたオフセット <i>offset</i> の位置にアーカイブ・メンバが見つかりません。アーカイブ・シンボル・テーブルの内容が破壊されているおそれがあります。
F4204	[メッセージ]	library path length is too long. path maximum size is 576.
	[説明]	ライブラリ・パスが長すぎます。576 文字以下にしてください。
F4257	[メッセージ]	segment " <i>segment</i> " overflowed highest address of target machine.
	[説明]	セグメント <i>segment</i> の割り付けが指示された領域がターゲット・マシンにおける可能なメモリ空間の範囲を越えています。
	[対処例]	-Ximem_overflow=warning オプションを指定することにより、このメッセージを警告にすることができます。-rom_less オプションを指定することにより、エラー発生原因が内蔵 ROM に関連する場合のみ、このメッセージを消去できます。
F4258	[メッセージ]	segment directive of segment " <i>segment</i> " needs <i>string</i> .
	[説明]	セグメント <i>segment</i> のセグメント・ディレクティブには <i>string</i> が必要です。
F4259	[メッセージ]	section directive of section " <i>section</i> " needs <i>string</i> .
	[説明]	セクション・ディレクティブには <i>string</i> が必要です。
F4260	[メッセージ]	symbol directive of symbol " <i>symbol</i> " needs <i>string</i> .
	[説明]	シンボル <i>symbol</i> のシンボル・ディレクティブには <i>string</i> が必要です。



F4263	[メッセージ]	start address( <i>number1</i> ) of segment " <i>segment1</i> " overlaps previous segment " <i>segment2</i> " ended before address( <i>number2</i> ).
	[説明]	セグメント <i>segment1</i> の先頭アドレス <i>number1</i> がアドレス <i>number2</i> の前までに割り付けられているセグメント <i>segment2</i> の領域にオーバーラップしています。
	[対処方法]	<p>オーバーラップするはずのないセグメントが、リンク時にオーバーラップによるエラーが発生してリンクできない場合、リンク・ディレクティブの指定で、上位アドレスのセグメントが先に記述されていないかどうか確認してください。</p> <p>次にエラーとなる例を示します。</p> <p>例</p> <pre>DATA1: !LOAD ?RW V0x300000{     .data = \$PROGBITS ?AW;     .sdata = \$PROGBITS ?AWG;     .sbss = \$NOBITS ?AWG;     .bss = \$NOBITS ?AW; };  TEXT : !LOAD ?RX V0x100000 L0x100000{     .text = \$PROGBITS ?AX .text; };</pre> <p>セグメントのアドレスは、数字の小さい順に指定しなければなりません。したがって、セグメントは、下位のアドレスに割り当てるものから先に記述する必要があります。</p>
F4264	[メッセージ]	start address( <i>number1</i> ) of section " <i>section1</i> " overlaps previous section " <i>section2</i> " ended before address( <i>number2</i> ).
	[説明]	セクション <i>section1</i> の先頭アドレス <i>number1</i> がアドレス <i>number2</i> の前までに割り付けられているセクション <i>section2</i> の領域にオーバーラップしています。
F4265	[メッセージ]	start address( <i>number1</i> ) of section " <i>section1</i> " overflowed start address( <i>number2</i> ) of segment " <i>segment</i> ".
	[説明]	セクション <i>section</i> の先頭アドレス <i>number1</i> が属するセグメント <i>segment</i> の先頭アドレス <i>number2</i> よりも手前に割り付けられています。
F4266	[メッセージ]	memory size( <i>number1</i> ) of segment " <i>segment</i> " overflowed specified or default maximum memory size( <i>number2</i> ).
	[説明]	セグメント <i>segment</i> のメモリ・サイズ <i>number1</i> が、明示的に指定された最大メモリ・サイズ、またはデフォルトの最大メモリ・サイズを越えています。
F4276	[メッセージ]	TP symbol " <i>symbol1</i> " specified as GP symbol " <i>symbol2</i> "'s base symbol is not found.
	[説明]	gp シンボル <i>symbol2</i> のベース・シンボルとして指定された tp シンボル <i>symbol1</i> が見つかりません。
F4279	[メッセージ]	end address of section " <i>section</i> " overflowed maximum memory address( <i>number</i> ).
	[説明]	セクション <i>section</i> の終端アドレスが最大メモリ・サイズ <i>number</i> をオーバーフローしました。



F4280	[メッセージ]	end address of segment "section" overflowed maximum memory address( <i>number</i> ).
	[説明]	セグメント <i>segment</i> の終端アドレスが最大メモリ・サイズ <i>number</i> をオーバーフローしました。
F4282	[メッセージ]	segment " <i>segment</i> " ( <i>number1-number2</i> ) overflowed highest or lowest address of internal memory ( <i>number3-number4</i> ).
	[説明]	セグメント <i>segment</i> の割り付けが指示された領域 ( <i>number1-number2</i> ) がターゲット・マシンにおける可能なメモリ空間の範囲 ( <i>number3-number4</i> ) を越えています。
	[対処例]	-Ximem_overflow=warning オプションを指定することにより、このメッセージを警告にすることができます。-rom_less オプションを指定することにより、エラー発生原因が内蔵 ROM に関連する場合のみ、このメッセージを消去できます。
F4286	[メッセージ]	section " <i>section</i> " must be specified in link directive.
	[説明]	セクション <i>section</i> は、ディレクティブ・ファイルで指定されている必要があります。
F4287	[メッセージ]	description of section " <i>section</i> " in mapping directive is illegal.
	[説明]	ディレクティブ・ファイル中のセクション <i>section</i> の記述が不正です。
F4333	[メッセージ]	can not allocate memory (builtin new error).
	[説明]	メモリ領域の確保に失敗しました。
F4351	[メッセージ]	unknown option " <i>string</i> ".
	[説明]	不正なオプション <i>string</i> が指定されています。
F4353	[メッセージ]	'-' is illegal.
	[説明]	"-" のみを指定することはできません。
F4355	[メッセージ]	nesting of command file " <i>file</i> " in command file is not supported.
	[説明]	コマンド・ファイルにおいてコマンド・ファイル <i>file</i> が指定されています。コマンド・ファイルのネスティングはサポートしていません。
F4356	[メッセージ]	" <i>string1</i> " option is illegal when " <i>string2</i> " option is specified.
	[説明]	<i>string2</i> オプションが指定された場合、 <i>string1</i> オプションを指定することはできません。
F4359	[メッセージ]	" <i>string</i> " option needs hexadecimal argument.
	[説明]	<i>string</i> オプションは、16 進数の引数を必要とします。
F4361	[メッセージ]	illegal character ( <i>number</i> ) in " <i>string</i> " field.
	[説明]	オプション <i>string</i> に指定に不正な文字 <i>number</i> (ASCII コード) が用いられています。
F4363	[メッセージ]	unknown cpu type.
	[説明]	ターゲット・デバイスを指定してください。
	[具体例]	このメッセージは、リンク可能なオブジェクト・ファイル生成中に as850 の -cn / -cnv850e / -cnv850e2 オプションを指定されたファイルのみをリンクして、実行可能なオブジェクト・ファイルを生成しようとした場合に表示されます。
F4364	[メッセージ]	duplicated cpu type.
	[説明]	ターゲット・デバイスが重複しています。リンクするオブジェクト・ファイルで、異なるターゲット・デバイスが指定されています。

F4369	[メッセージ]	"string1" is illegal when "string2" option is specified.
	[説明]	オプション <i>string2</i> の指定時には "string1" は指定できません。
F4370	[メッセージ]	"string1" option needs "string2" option.
	[説明]	<i>string1</i> オプションは <i>string2</i> オプションを必要とします。
F4374	[メッセージ]	"string" option's value overflowed.
	[説明]	<i>string</i> オプションに指定した値がオーバーフローしました。
F4404	[メッセージ]	symbol table overflow.
	[説明]	シンボル・テーブルの領域が足りなくなりました。
F4409	[メッセージ]	sorry, shared library not supported.
	[説明]	共有ライブラリはサポートしていません。
F4411	[メッセージ]	multiple inclusion of same file attempted, ignored.
	[説明]	同じファイルが入力ファイルとして複数回指定されています。
	[対処方法]	リンカのフラッシュ対応オブジェクトの生成で、-zf で指定したブート・オブジェクト・ファイル名がリンカの入力ファイル名と同じである場合、このエラーとなります。この場合は、どちらかのファイル名を変更してください。
F4412	[メッセージ]	command line length is too long. path maximum size is 512.
	[説明]	コマンド・ラインに指定した文字が多すぎます。指定可能最大文字数は 512 バイトです。
F4413	[メッセージ]	file has different .ext_ent_size.
	[説明]	入力ファイル <i>file</i> は、他と異なる .ext_ent_size を指定されています。入力ファイル中の .ext_ent_size 指定を統一してください。
F4414	[メッセージ]	CallTBasePointer(CTBP) is not set. CTBP must be set when compiler option "-Ot" (or "-Xpro_epi_runtime=off") is not specified.
	[説明]	CALLT ベース・ポインタ (CTBP) が設定されていません。プロローグ/エピローグ・ランタイムのオプション設定が未使用 (-Xpro_epi_runtime=off)、またはより高度な最適化 (実行速度優先) "-Ot" 指定時以外の場合には、CTBP を設定してください。  (プロローグ/エピローグ・ランタイム呼び出しの注意) プロローグ/エピローグ・ランタイムは、標準ライブラリに含まれています。標準ライブラリのリンク指定 (-lc) がない場合にも、このエラーとなりますので、ライブラリのリンク指定を確認してください。
F4415	[メッセージ]	S-JIS code ( <i>number1</i> , <i>number2</i> ) is broken in <i>string</i> .
	[説明]	<i>string</i> に指定した S-JIS コードが不正です。
F4451	[メッセージ]	multiple defined symbol. symbol defined file previous defiend file symbol <i>file1</i> <i>file2</i>
	[説明]	<i>file1</i> で指定されているシンボル <i>symbol</i> は <i>file2</i> ですすでに定義されています。

F4452	[メッセージ]	undefined symbol. <i>symbol</i> referenced in " <i>file</i> "
	[説明]	ファイル <i>file</i> 内で参照されているシンボル <i>symbol</i> が定義されていません。
	[対処方法]	<p>ライブラリのリンク指定を行っているのに、ランタイム・ライブラリなどでこのエラーとなる場合は、ライブラリのリンク指定の順番を確認してください。-I オプションは、指定された時点で未解決な外部参照についてのみ、シンボル解決を行います。このオプションは、一般的に指定するアーカイバ・ファイルより、後ろに指定する必要があります。</p> <p>なお、-rescan オプションを指定することにより、-I オプションで指定されたライブラリのリンク順によるシンボル未解決を防ぐことができます。</p> <p>次に変更例を示します。</p> <p>例</p> <pre>-lm -lc a.o b.o c.o  a.o b.o c.o -lm -lc</pre> <p>記憶域管理用ライブラリ (calloc, malloc, free, realloc) を使用しているときに次のエラー・メッセージが出力される場合は、ヒープ・メモリの確保を行ってください。</p> <pre>F4452: undfined symbol. __sysheap (refrenced in "heapcom.o(Install Folder ¥lib850 ¥r22 ¥libc.a)") __sizeof__sysheap (refrenced in "heapcom.o(Install Folder ¥lib850 ¥r22 ¥libc.a)")</pre> <p>周辺機能レジスタ名が undefined symbol となる場合には、周辺機能レジスタ名を extern 宣言して使用している場合が考えられます。周辺機能レジスタを使用する場合は、extern 宣言部を削除し #pragma ioreg での指定をしてください。</p>
F4453	[メッセージ]	device file version mismatch, cannot use version <i>string</i> .
	[説明]	指定されたデバイス・ファイルのバージョンが不正です。バージョン <i>string</i> は指定できません。
F4454	[メッセージ]	cannot link V850E(2) common objects with V850(E) objects. " <i>file</i> " is V850E(2) common
	[説明]	<p>次の組み合わせでは、リンクすることはできません。</p> <p>ファイル <i>file</i> は V850Ex コアの共通オブジェクト・ファイルです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- V850E1/V850ES コアの共通オブジェクト・ファイルと V850 コアのオブジェクト・ファイル</li> <li>- V850E2 コアの共通オブジェクト・ファイルと V850 コアのオブジェクト・ファイル</li> <li>- V850E2 コアの共通オブジェクト・ファイルと V850E1/V850ES コアのオブジェクト・ファイル</li> </ul>
F4455	[メッセージ]	cannot link old_fcall objects with new_fcall object. " <i>file</i> " is old_fcall object
	[説明]	<p>新関数呼び出し仕様のオブジェクト・ファイルと旧関数呼び出し仕様のオブジェクト・ファイルをリンクすることはできません。ファイル <i>file</i> は旧関数呼び出しのオブジェクト・ファイルです。</p>

F4456	[メッセージ]	cannot link mask reg using objects with mask reg not using objects. "file" is mask reg using object.
	[説明]	マスク・レジスタを使用したオブジェクト・ファイルと使用していないオブジェクト・ファイルをリンクすることはできません。ファイル file はマスク・レジスタを使用したオブジェクト・ファイルです。
F4457	[メッセージ]	input files have different BPC value.
	[説明]	BPC 値の異なるファイルが入力されています。
F4900	[メッセージ]	Can't open file 'ファイル名'
	[説明]	ファイルをオープンすることができません。
F4901	[メッセージ]	Can't close file 'ファイル名'
	[説明]	ファイルをクローズすることができません。
F4902	[メッセージ]	Can't read file 'ファイル名'
	[説明]	ファイルを正しく読むことができません。
F4903	[メッセージ]	Can't access file 'ファイル名'
	[説明]	ファイルを正しく読み込む、または書き込むことができません。
F4904	[メッセージ]	Can't write file 'ファイル名'
	[説明]	出力ファイルに正しくデータを書き込むことができません。
F4905	[メッセージ]	Can't open overlay file 'ファイル名'
	[説明]	オーバーレイ・ファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	オーバーレイ・ファイルが実行形式と同じフォルダにあるかどうかを調べてください。
F5001	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Missing input file
	[説明]	【78K0】【78K0R】 オプションのみの指定で、入力ファイルが1つも指定されていません。
	[メッセージ]	【V850】 unknown option 'option'
	[説明]	【V850】 不正なオプション option が指定されました。
F5002	[メッセージ]	Too many input file
	[説明]	入力ファイルの総数が、制限を越えて指定されました。
F5003	[メッセージ]	Unrecognized string '???'
	[説明]	対話形式のコマンド行に、オプション以外のものが指定されました。
F5004	[メッセージ]	Illegal file name 'ファイル名'
	[説明]	ファイル名に OS で許されない文字があるか、文字数が制限を越えています。
F5005	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal file specification 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ファイル名に不当なものが指定されました。
	[メッセージ]	【V850】 invalid argument of option 'option'
	[説明]	【V850】 オプション option の引数が不正です。
F5006	[メッセージ]	File not found 'ファイル名'
	[説明]	指定された入力ファイルが存在しません。
F5007	[メッセージ]	Input file specification overlapped 'ファイル名'
	[説明]	入力ファイル名が重複して指定されました。

F5008	[メッセージ]	File specification conflicted 'ファイル名'
	[説明]	入出力ファイル名が重複して指定されました。
F5009	[メッセージ]	Unable to make file 'ファイル名'
	[説明]	指定された出力ファイルが作成できません。
F5010	[メッセージ]	Directory not found 'ファイル名'
	[説明]	出力ファイル名中に存在しないドライブ, またはフォルダが含まれています。
F5011	[メッセージ]	Illegal path 'ファイル名'
	[説明]	パラメータにパス名を指定するオプションで, パス名以外が指定されました。
F5012	[メッセージ]	Missing parameter 'オプション'
	[説明]	必要なパラメータが指定されていません。
F5013	[メッセージ]	Parameter not needed 'オプション'
	[説明]	不要なパラメータが指定されました。
F5014	[メッセージ]	Out of range 'オプション'
	[説明]	指定値が範囲外です。
F5015	[メッセージ]	Parameter is too long 'オプション'
	[説明]	パラメータの文字数が制限を越えて指定されました。
F5016	[メッセージ]	Illegal parameter 'オプション'
	[説明]	パラメータの文法に誤りがあります。
F5017	[メッセージ]	Too many parameter 'オプション'
	[説明]	パラメータの総数が制限を越えました。
F5018	[メッセージ]	Option is not recognized 'オプション'
	[説明]	誤ったオプションが指定されました。
F5019	[メッセージ]	Parameter file nested
	[説明]	パラメータ・ファイル中に, -fオプションが指定されました。
F5020	[メッセージ]	Parameter file read error 'ファイル名'
	[説明]	パラメータ・ファイルの読み込みに失敗しました。
F5021	[メッセージ]	Memory allocation failed
	[説明]	メモリ・アロケーションに失敗しました。
F5022	[メッセージ]	Memory allocation failed
	[説明]	メモリ・アロケーションに失敗しました。
F5023	[メッセージ]	Illegal character ' , ' before file name
	[説明]	入力ファイルの前に必要な ' , ' があります。
F5024	[メッセージ]	Illegal character
	[説明]	不当な文字, または文字列があります。
F5025	[メッセージ]	Qualifier is not unique.
	[説明]	修飾子の省略形がユニークではありません。
F5026	[メッセージ]	Umbiguous input redirect.
	[説明]	'<'の後にファイル名がない, または'<△ファイル名'が2回以上指定されています。

F5104	[メッセージ]	out of memory
	[説明]	メモリが足りません。
F5106	[メッセージ]	exception <i>exception</i> has occurred at compile time.
	[説明]	コンパイル時に浮動小数点関連で例外 <i>exception</i> が発生しました。
F5601	[メッセージ]	cannot allocate register to ' <i>symbol</i> '
	[説明]	変数 <i>symbol</i> にレジスタを割り付けることはできません。
F5901	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 File open error (file : <i>ファイル名</i> )
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ファイルをオープンすることができません。
	[メッセージ]	【V850】 cannot open file ' <i>file</i> '
	[説明]	【V850】 ファイル <i>file</i> をオープンできません。
F5902	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 File read error (file : <i>ファイル名</i> )
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ファイルを正しく読むことができません。
	[メッセージ]	【V850】 cannot write file ' <i>file</i> '(errno= <i>num</i> )
	[説明]	【V850】 ファイル <i>file</i> 書き込み中にメッセージ番号 <i>num</i> のエラーが発生しました。
F5903	[メッセージ]	File write error (file : <i>ファイル名</i> )
	[説明]	ファイルに正しくデータを書き込むことができません。
F5904	[メッセージ]	File seek error (file : <i>ファイル名</i> )
	[説明]	ファイル・シーク・エラーが発生しました。
F5905	[メッセージ]	File close error (file : <i>ファイル名</i> )
	[説明]	ファイルをクローズすることができません。
F6000	[メッセージ]	cannot open file ' <i>file</i> '
	[説明]	ファイル <i>file</i> をオープンできません。
F6001	[メッセージ]	Missing input file
	[説明]	入力ファイルを指定していません。
	[対処方法]	入力ファイルを指定してください。
F6002	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Too many input files
	[説明]	【78K0】【78K0R】 入力ファイルが2つ以上指定されました。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 入力ファイルを1つだけ指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 cannot unlink file ' <i>file</i> '
[説明]	【V850】 ファイル <i>file</i> を削除できません。	
F6003	[メッセージ]	-wreg <i>num</i> is out of range ( <i>num1</i> =< <i>num</i> =< <i>num2</i> ).
	[説明]	-wreg オプションに指定された <i>num</i> の値が範囲外です。 <i>num1</i> 以上 <i>num2</i> 以下の値にしてください。

F6004	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal file name 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 ファイル名に不当な文字があるか、または文字数が制限を越えています。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 ファイル名を正しい文字、および文字数にしてください。
	[メッセージ]	【V850】 -rreg num is out of range(num1=<num=<num2).
	[説明]	【V850】 -rreg オプションに指定された num の値が範囲外です。num1 以上 num2 以下の値にしてください。
F6005	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Illegal file specification 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】【78K0R】 不当なファイルが指定されました。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 正しいファイル名を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 cannot write file 'file'(errno=num)
	[説明]	【V850】 ファイル file 書き込み中にメッセージ番号 num のエラーが発生しました。
F6006	[メッセージ]	File not found 'ファイル名'
	[説明]	指定された入力ファイルが存在しません。
	[対処方法]	存在するファイル名を指定してください。
F6008	[メッセージ]	File specification conflicted 'ファイル名'
	[説明]	入出力ファイル名が重複して指定されました。
	[対処方法]	入出力ファイル名は異なるものを指定してください。
F6009	[メッセージ]	Unable to make file 'ファイル名'
	[説明]	指定されたファイルにライト・プロテクトがかかっています。
	[対処方法]	ファイルのライト・プロテクトを解除してください。
F6010	[メッセージ]	Directory not found 'ファイル名'
	[説明]	出力ファイル名中に存在しないドライブ、またはフォルダが含まれています。
	[対処方法]	存在するドライブ、およびフォルダ名を指定してください。
F6011	[メッセージ]	Illegal path 'オプション'
	[説明]	パラメータにパスを指定するオプションで、パス名以外が指定されました。
	[対処方法]	正しいパス名を指定してください。
F6012	[メッセージ]	Missing parameter 'オプション'
	[説明]	必要なパラメータが指定されていません。
	[対処方法]	パラメータを指定してください。
F6013	[メッセージ]	Parameter not needed 'オプション'
	[説明]	不要なパラメータが指定されています。
	[対処方法]	不要なパラメータを削除してください。
F6014	[メッセージ]	Out of range 'オプション'
	[説明]	指定数値が範囲外です。
	[対処方法]	正しい数値を指定してください。
F6015	[メッセージ]	Parameter is too long 'オプション'
	[説明]	パラメータの文字数が制限を越えています。
	[対処方法]	パラメータの文字数を制限内にしてください。

F6016	[メッセージ]	Illegal parameter ' オプション'
	[説明]	パラメータの文法が誤っています。
	[対処方法]	正しいパラメータを指定してください。
F6017	[メッセージ]	Too many parameters ' オプション'
	[説明]	パラメータの総数が制限を越えています。
	[対処方法]	パラメータの総数を制限内にしてください。
F6018	[メッセージ]	Option is not recognized ' オプション'
	[説明]	オプション名が誤っています。
	[対処方法]	正しいオプション名を指定してください。
F6019	[メッセージ]	Parameter file nested
	[説明]	パラメータ・ファイル中に、-fオプションが指定されました。
	[対処方法]	パラメータ・ファイル中に、-fオプションを指定しないでください。
F6020	[メッセージ]	Parameter file read error ' ファイル名'
	[説明]	パラメータ・ファイルの読み込みができません。
	[対処方法]	正しいパラメータ・ファイルを指定してください。
F6021	[メッセージ]	Memory allocation failed
	[説明]	メモリが足りません。
	[対処方法]	必要なメモリを確保してください。
F6101	[メッセージ]	【78K0】 File is not 78K0 'ファイル名'
	[説明]	【78K0】 入力ファイル名が78K0のものではありません。
	[メッセージ]	【78K0R】 File is not 78K0R 'ファイル名'
	[説明]	【78K0R】 入力ファイル名が78K0Rのものではありません。
F6102	[メッセージ]	Load module file is not executable 'ファイル名'
	[説明]	ロード・モジュール・ファイル以外のファイルを入力しようとしたか、互換性のないホスト・マシンで作成されたロード・モジュール・ファイルをコンバートしようとした。
F6103	[メッセージ]	Load module file has relocation data 'ファイル名'
	[説明]	ロード・モジュール・ファイルのアドレスが解決されていません。
F6104	[メッセージ]	Object module file is executable 'ファイル名'
	[説明]	オブジェクト・モジュール・ファイルが実行形式です。
F6105	[メッセージ]	Segment name is not found in load module file 'セグメント名'
	[説明]	ロード・モジュール・ファイル内に、オブジェクト・モジュール・ファイルのセグメント名が見つかりません。
F6106	[メッセージ]	Segment name is not found in object module file 'ファイル名'
	[説明]	オブジェクト・モジュール・ファイル内に、アセンブル・リスト・ファイルのセグメント名が見つかりません。
F6107	[メッセージ]	Not enough memory
	[説明]	作業用メモリが足りません。



F6108	[メッセージ]	Load module file has no symbol date 'ロード・モジュール名'
	[説明]	リンカで -ng オプションを指定したため、ロード・モジュール中にシンボル情報が出力されていません。
F6109	[メッセージ]	Overlay file can not open 'パス名'
	[説明]	アセンブラのオーバレイ・ファイルをオープンすることができません。
F6110	[メッセージ]	Illegal assembler list file 'ファイル名'
	[説明]	入力されたアセンブル・リストが、アセンブル・リスト以外のファイルです。
F6203	[メッセージ]	out of memory
	[説明]	メモリが足りません。
F6500	[メッセージ]	unknown option 'option'
	[説明]	不正なオプション option が指定されました。
F6510	[メッセージ]	too many files
	[説明]	ファイル名の指定が多すぎます。
F6520	[メッセージ]	out of memory
	[説明]	メモリが足りません。
F6530	[メッセージ]	cannot open file 'file'
	[説明]	ファイル file をオープンできません。
F6540	[メッセージ]	cannot write file 'file'
	[説明]	ファイル file 書き込み中にエラーが発生しました。
F6550	[メッセージ]	cannot read file 'file'
	[説明]	ファイル file 読み込み中にエラーが発生しました。
F6560	[メッセージ]	cannot create file 'file'
	[説明]	ファイル file を生成できません。
F6580	[メッセージ]	input line is too long
	[説明]	入力ファイルの一行の長さが長すぎます。
F6901	[メッセージ]	File open error has occurred 'ファイル名'
	[説明]	ファイルをオープンすることができません。
F6902	[メッセージ]	File read error has occurred 'ファイル名'
	[説明]	ファイルを正しく読むことができません。
F6903	[メッセージ]	File write error has occurred 'ファイル名'
	[説明]	ファイルに正しくデータを書き込むことができません。
F6904	[メッセージ]	File seek error has occurred 'ファイル名'
	[説明]	ファイル・シーク・エラーが発生しました。
F7000	[メッセージ]	too many errors
	[説明]	エラーの発生回数が定められている回数を越えたため、コンパイルを中止しました。
F7001	[メッセージ]	unknown option 'option'
	[説明]	不正なオプション option が指定されました。

F7002	[メッセージ]	invalid argument of option ' <i>option</i> '
	[説明]	オプション <i>option</i> の引数が不正です。
F7003	[メッセージ]	nested command file ' <i>file</i> '
	[説明]	コマンド・ファイル <i>file</i> がネストしています。ネストはできません。
F7004	[メッセージ]	no input file
	[説明]	入力ファイルの指定がありません。
F7005	[メッセージ]	cannot open file ' <i>file</i> '
	[説明]	ファイル <i>file</i> をオープンできません。
F7006	[メッセージ]	archive symbol table and archive member mismatch
	[説明]	アーカイブ・シンボル・テーブルに異常があります。
F7007	[メッセージ]	unknown file type ' <i>file</i> '
	[説明]	<i>file</i> のファイル・タイプがわかりません。
F7009	[メッセージ]	out of memory
	[説明]	メモリが足りません。
F7010	[メッセージ]	multiple defined symbol ' <i>symbol</i> '
	[説明]	多重定義シンボル <i>symbol</i> が存在します。
F7011	[メッセージ]	duplicated cpu type
	[説明]	オプション、または #pragma 指令でターゲット・デバイス指定が重複しています。
F7012	[メッセージ]	cannot write file ' <i>file</i> '(errno= <i>num</i> )
	[説明]	ファイル <i>file</i> 書き込み中にメッセージ番号 <i>num</i> のエラーが発生しました。
F7040	[メッセージ]	Impossible to omit the -VO option.
	[説明]	-vo オプションを省略することはできません
	[対処方法]	-vo オプションを指定してください。
F8000	[メッセージ]	cannot open output file <i>file</i>
	[説明]	出力ファイル <i>file</i> を作成できません。
F8002	[メッセージ]	Too many input files
	[説明]	入力ファイルが2つ以上指定されました。
	[対処方法]	入力ファイルを1つだけ指定してください。
F8004	[メッセージ]	Illegal file name ' <i>ファイル名</i> '
	[説明]	ファイル名に不当な文字があるか、または文字数が制限を越えています。
	[対処方法]	ファイル名を正しい文字、および文字数にしてください。
F8005	[メッセージ]	Illegal file specification ' <i>ファイル名</i> '
	[説明]	不当なファイルが指定されました。
	[対処方法]	正しいファイル名を指定してください。
F8006	[メッセージ]	File not found ' <i>ファイル名</i> '
	[説明]	指定された入力ファイルが存在しません。
	[対処方法]	存在するファイル名を指定してください。

F8007	[メッセージ]	Input file specification overlapped 'ファイル名'
	[説明]	入力ファイル名が重複して指定されました。
	[対処方法]	正しいファイル名を指定してください。
F8008	[メッセージ]	File specification conflicted 'ファイル名'
	[説明]	入出力ファイル名が重複して指定されました。
	[対処方法]	入出力ファイル名は異なるものを指定してください。
F8009	[メッセージ]	Unable to make file 'ファイル名'
	[説明]	指定されたファイルにライト・プロテクトがかかっています。
	[対処方法]	ファイルのライト・プロテクトを解除してください。
F8010	[メッセージ]	【78K0R】 Directory not found 'ファイル名'
	[説明]	【78K0R】 出力ファイル名中に存在しないドライブ、またはフォルダが含まれていません。
	[対処方法]	【78K0R】 存在するドライブ、およびフォルダ名を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 cannot open input file file
	[説明]	【V850】 入力ファイル file をオープンできません。
F8011	[メッセージ]	Illegal path 'オプション'
	[説明]	パラメータにパスを指定するオプションで、パス名以外が指定されました。
	[対処方法]	正しいパス名を指定してください。
F8012	[メッセージ]	Missing parameter 'オプション'
	[説明]	必要なパラメータが指定されていません。
	[対処方法]	パラメータを指定してください。
F8013	[メッセージ]	Parameter not needed 'オプション'
	[説明]	不要なパラメータが指定されています。
	[対処方法]	不要なパラメータを削除してください。
F8014	[メッセージ]	Out of range 'オプション'
	[説明]	指定数値が範囲外です。
	[対処方法]	正しい数値を指定してください。
F8015	[メッセージ]	Parameter is too long 'オプション'
	[説明]	パラメータの文字数が制限を越えています。
	[対処方法]	パラメータの文字数を制限内にしてください。
F8016	[メッセージ]	Illegal parameter 'オプション'
	[説明]	パラメータの文法が誤っています。
	[対処方法]	正しいパラメータを指定してください。
F8017	[メッセージ]	Too many parameters 'オプション'
	[説明]	パラメータの総数が制限を越えています。
	[対処方法]	パラメータの総数を制限内にしてください。

F8018	[メッセージ]	Option is not recognized ' オプション '
	[説明]	オプション名が誤っています。
	[対処方法]	正しいオプション名を指定してください。
F8019	[メッセージ]	Parameter file nested
	[説明]	パラメータ・ファイル中に -f オプションが指定されました。
	[対処方法]	パラメータ・ファイル中に -f オプションを指定しないでください。
F8020	[メッセージ]	【78K0R】 Parameter file read error ' ファイル名 '
	[説明]	【78K0R】 パラメータ・ファイルの読み込みができません。
	[対処方法]	【78K0R】 正しいパラメータ・ファイルを指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 cannot write file ' file '
	[説明]	【V850】 出力ファイル <i>file</i> に書き込みできません。
F8021	[メッセージ]	Memory allocation failed
	[説明]	メモリが足りません。
	[対処方法]	必要なメモリを確保してください。
F8030	[メッセージ]	unknown option <i>option</i>
	[説明]	sf850 にはないオプション <i>option</i> が指定されました。
F8031	[メッセージ]	Security ID is not supported for this device
	[説明]	セキュリティ ID は、指定されているデバイスでは使用できません。
	[対処方法]	セキュリティ ID を指定しないでください。
F8040	[メッセージ]	illegal argument <i>option</i>
	[説明]	オプション <i>option</i> に指定された引数が間違っています。
F8050	[メッセージ]	<i>option option</i> need sub argument
	[説明]	オプション <i>option</i> には引数が必要です。
F8080	[メッセージ]	not enough memory
	[説明]	メモリが足りません。
F8101	[メッセージ]	'ファイル名'invalid input file (or made by different hostmachine)
	[説明]	オブジェクト・モジュール・ファイル以外のファイルを入力しようとしたか、互換性のないホスト・マシンで作成されたオブジェクト・モジュール・ファイルをリンクしようとした。
F8103	[メッセージ]	'ファイル名'Illegal processor type
	[説明]	アセンブル、またはコンパイルの対象デバイスが、このリンクの対象デバイスではありません。
	[対処方法]	オブジェクト・モジュールファイルが正しいことを確認してください。 リンクの扱うことができるアセンブル、またはコンパイルの対象デバイスを確認してください。 また、オーバーレイ・ファイルが正しいバージョンであることを確認してください（リンクは、アセンブラのオーバーレイ・ファイルの一部を参照して、対象デバイス固有の情報を得ています）。

F8104	[メッセージ]	'ファイル名'Different processor type from first input file '最初に入力したファイル名'
	[説明]	最初に入力したオブジェクト・モジュール・ファイルと、対象デバイスの異なるオブジェクト・モジュール・ファイルを入力しました。
F8106	[メッセージ]	Can't create temporary file 'ファイル名'
	[説明]	テンポラリ・ファイルが作成できません。
F8118	[メッセージ]	Can't find target chip in all modules
	[説明]	入力したオブジェクト・モジュール・ファイルすべてに対して、共通オブジェクト指定オプション (-common) が指定されているため、対象デバイスを判別することができません。
	[対処方法]	必要のない共通オブジェクト指定オプション (-common) を外してください。
F8200	[メッセージ]	memory allocation fault
	[説明]	メモリが足りません。
F8201	[メッセージ]	bad key character -- use [dm(a b)qr(a b u)txV]
	[説明]	character をキーとして指定することはできません。
F8202	[メッセージ]	bad option character -- use [cv]
	[説明]	character をオプションとして指定することはできません。
F8203	[メッセージ]	【78K0R】 Segment 'セグメント名' unknown segment type
	[説明]	【78K0R】 入力したオブジェクト・モジュール・ファイルのセグメント情報に、誤りがあります（出力セグメントの結合型の指定がまちがっています）。
	[メッセージ]	【V850】 bad option string
	[説明]	【V850】 string をオプションとして指定することはできません。
F8204	[メッセージ]	can not create file file
	[説明]	ファイル file を作成できません。
F8205	[メッセージ]	file name name... is too long
	[説明]	ファイル名 name の長さが限界を越えています。
F8206	[メッセージ]	can not open file file
	[説明]	ファイル file をオープンできません。
F8207	[メッセージ]	can not close file file
	[説明]	ファイル file をクローズできません。
F8208	[メッセージ]	can not read file file
	[説明]	ファイル file からの読み込みができません。
F8209	[メッセージ]	can not write file file
	[説明]	ファイル file への読み込みができません。
F8210	[メッセージ]	can not seek file file
	[説明]	ファイル file をシークできません。
F8212	[メッセージ]	can not nest command file file
	[説明]	コマンド・ファイル file がネストしています。ネストはできません。
F8213	[メッセージ]	file is not archive file
	[説明]	ファイル file は、アーカイブ・ファイルではありません。

F8214	[メッセージ]	【78K0R】 Segment 'セグメント名' can't allocated on SELFRAM
	[説明]	【78K0R】 このセグメントは BRAM と内部 RAM が重複する領域に配置されたため、セルフ・プログラミング・モード時にはデータが破壊される場合があります。-self オプションが指定されているため、この領域に配置することはできません。詳細については、デバイスのユーザーズ・マニュアルを参照してください。
	[対処方法]	【78K0R】 配置を見直してください。
	[メッセージ]	【V850】 malformed archive file <i>file</i>
	[説明]	【V850】 アーカイブ・ファイル <i>file</i> の内容が破壊されているおそれがあります。
F8215	[メッセージ]	can not find member <i>member</i>
	[説明]	アーカイブ・ファイル内にメンバ <i>member</i> が存在しません。
F8216	[メッセージ]	symbol table limit error <i>file (number1) -- limit is number2</i>
	[説明]	アーカイブ・ファイル <i>file</i> において、シンボルの個数 <i>number1</i> が限界を越えました。限界値は <i>number2</i> です。
F8217	[メッセージ]	symbol table error <i>file</i>
	[説明]	アーカイブ・ファイル <i>file</i> において、アーカイブ・ストリング・テーブルの内容が破壊されているおそれがあります。
F8218	[メッセージ]	string table error <i>file</i>
	[説明]	アーカイブ・ファイル <i>file</i> において、アーカイブ・シンボル・テーブルの作成に失敗しました。
F8219	[メッセージ]	<i>file</i> has no member
	[説明]	アーカイブ・ファイル <i>file</i> 内にメンバが存在しません。
F8220	[メッセージ]	version error <i>file</i>
	[説明]	指定されたファイル <i>file</i> の形式のバージョンがこのアーカイバの扱うことのできるバージョンではありません。
F8221	[メッセージ]	can not read archive header <i>file</i>
	[説明]	アーカイブ・ファイル <i>file</i> のヘッダの読み込みができません。
F8400	[メッセージ]	b option needs argument.
	[説明]	-b オプションに対する引数が足りません。
F8401	[メッセージ]	【78K0R】 'ファイル名' Bad symbol table
	[説明]	【78K0R】 入力したオブジェクト・モジュール・ファイルのシンボル情報が不正です。入力ファイルのシンボル・エントリが 'file' シンボルで始まっていません。
	[メッセージ]	【V850】 o option needs argument.
	[説明]	【V850】 -o オプションに対する引数が足りません。
F8402	[メッセージ]	【78K0R】 File 'ファイル名' has no string table for symbol
	[説明]	【78K0R】 入力したオブジェクト・モジュール・ファイルのシンボル情報が不正です。
	[対処方法]	【78K0R】 もう一度アセンブル、またはコンパイルし直してください。 アセンブラのシンボル認識文字数を 8 文字、コンパイラの認識文字数を 7 文字にすることで回避可能な場合があります。
	[メッセージ]	【V850】 p option needs argument.
	[説明]	【V850】 -p オプションに対する引数が足りません。

F8403	[メッセージ]	t option needs argument.
	[説明]	-t オプションに対する引数が足りません。
F8404	[メッセージ]	F option needs argument.
	[説明]	-F オプションに対する引数が足りません。
F8405	[メッセージ]	unknown option argument.
	[説明]	オプションに対し指定することのできない引数が指定されています。
F8406	[メッセージ]	-option unknown option.
	[説明]	option オプションは、指定できません。
F8407	[メッセージ]	b option is specified more than once.
	[説明]	-b オプションが複数回指定されました。
F8411	[メッセージ]	file : illegal input file name.
	[説明]	入力ファイル file は、出力ファイル名と同じであるため入力できません。
F8412	[メッセージ]	illegal input file type. file(file) is archive file.
	[説明]	入力ファイル file は、アーカイブ・ファイルであるため入力できません。
F8413	[メッセージ]	file bad magic.
	[説明]	入力ファイル file は、不正であるため入力できません。
F8414	[メッセージ]	cannot open command file file.
	[説明]	コマンド・ファイル file が開けません。
F8415	[メッセージ]	【78K0R】 Compiler options are mixed in file 'ファイル名1' First defined in file 'ファイル名2'
	[説明]	【78K0R】 プログラム全体で同じ指定でなければいけないコンパイラの最適化オプションに関して、異なる指定をしたオブジェクト・ファイルが入力されました。同じ指定でコンパイルし直してください。
	[メッセージ]	【V850】 nested command file file.
	[説明]	【V850】 コマンド・ファイル file がネストしています。ネストはできません。
F8416	[メッセージ]	file name name is too long.
	[説明]	ファイル名 name の長さが限界を越えています。
F8417	[メッセージ]	cannot find device file.
	[説明]	デバイス・ファイルが見つかりません。
F8419	[メッセージ]	memory allocation fault.
	[説明]	メモリが足りません。
F8420	[メッセージ]	file : illegal section type "section" specified with -p option.
	[説明]	file 内の -p オプションで指定されたセクション section は、-p オプションでは指定できないセクション属性です。
F8421	[メッセージ]	file : illegal section type "section" specified with -t option.
	[説明]	file 内の -t オプションで指定されたセクション section は、-t オプションでは指定できないセクション属性です。
F8422	[メッセージ]	address of symbol symbol must be same in all files.
	[説明]	symbol のアドレスは、すべての入力ファイルで同じにしてください。

F8423	[メッセージ]	<code>file : not absolute object.</code>
	[説明]	リロケータブル・オブジェクト・ファイル <code>file</code> が入力ファイルとして指定されていません。
F8424	[メッセージ]	<code>file : "symbol" symbol not found.</code>
	[説明]	指定した <code>symbol</code> がオブジェクト・ファイル <code>file</code> 内に見つかりません。
F8425	[メッセージ]	<code>rompsec section overflowed highest address of target machine.</code>
	[説明]	rompsec セクションを作成する際にメモリの上限を越えました。
	[補足]	-Ximem_overflow=warning オプションを指定することで、エラーを警告メッセージにすることが可能です。-rom_less オプションを指定することにより、本メッセージを消去することが可能です。
F8426	[メッセージ]	<code>section1 section and section2 section overlapped.</code>
	[説明]	<code>section1</code> セクションと <code>section2</code> セクションが重なっています。
F8427	[メッセージ]	<code>processor type must be same in all files.</code>
	[説明]	不正な入力ファイルが指定されています。
F8428	[メッセージ]	<code>symbol(start_label) must be word alignment.</code>
	[説明]	<code>start_label</code> ラベルは、4 バイト境界のアドレスにしてください。
F8429	[メッセージ]	<code>packing section not found.</code>
	[説明]	指定したセクションがオブジェクト・ファイル内に見つかりません。
F8430	[メッセージ]	【78K0R】 Different FLASH address in file 'ファイル名 1'. First specified in file 'ファイル名 2'
	[メッセージ]	【78K0R】 Different FLASH address in file 'ファイル名 1'. Parameter option '-zb'
	[説明]	【78K0R】 入力ファイルのフラッシュ・メモリ領域の先頭アドレスが、すべて同じではありません。
	[対処方法]	【78K0R】 -zb オプション、およびコンパイラの -zz オプションには、すべて同じ値を指定してください。
	[メッセージ]	【V850】 <code>section</code> section not found.
	[説明]	【V850】 p オプションで指定された <code>section</code> セクションが見つかりません。
F8432	[メッセージ]	<code>illegal object file (string).</code>
	[説明]	不正なオブジェクトファイルです。
F8433	[メッセージ]	<code>can not open file file.</code>
	[説明]	ファイル <code>file</code> をオープンできません。
F8435	[メッセージ]	<code>ext_table address in file 'xxx'. First specified in file 'xxx'</code>
	[説明]	C ソースで指定した “#pragma ext_table” の値が不正です。
	[対処方法]	スタートアップ・ルーチンで指定した “ITBLTOP” の値と、C ソースで指定した “#pragma ext_table” の値を、すべて同じ値にしてください。
F8436	[メッセージ]	Different FLASH table address in file 'ファイル名 1'. First specified in file 'ファイル名 2'
	[説明]	フラッシュ ROM 領域分岐テーブルの先頭アドレスがすべて同じではありません。
	[対処方法]	コンパイラの -zt オプションには、すべて同じ値を指定してください。



F8437	[メッセージ]	FLASH table address smaller than FLASH address in file 'ファイル名1'. First specified in file 'ファイル名2'
		FLASH table address smaller than FLASH address in file 'ファイル名1'. Parameter option '-zb'
		FLASH table address smaller than FLASH address in file 'ファイル名1'.
	[説明]	フラッシュ ROM 領域分岐テーブルの先頭アドレスがフラッシュ先頭アドレスよりも小さく設定されています。
F8438	[メッセージ]	Different MIRROR address in file 'ファイル名1'. First specified in file 'ファイル名2'
		Different MIRROR address in file 'ファイル名1'. Parameter option '-mi'
	[説明]	ミラー領域指定値がすべて同じではありません。
	[対処方法]	リンカ、およびコンパイラの -mi オプションには、すべて同じ値を指定してください。
F8502	[メッセージ]	Too many segment (up to 65535/0FFFFH)
	[説明]	入力セグメントの総数が 65535 個を越えました。
F8600	[メッセージ]	too many input files
	[説明]	複数の入力ファイルを指定することはできません。
F8601	[メッセージ]	too many output files
	[説明]	複数の出力ファイルを指定することはできません。
F8602	[メッセージ]	illegal option <i>-character</i>
	[説明]	<i>-character</i> をオプションとして指定することはできません。
F8603	[メッセージ]	expect format type [ITSs] after -f
	[説明]	-f の後ろに I, T, S, s のいずれかを指定してください。
F8604	[メッセージ]	expect section name after -l
	[説明]	-l の後ろにセクション名を指定してください。
F8605	[メッセージ]	expect block length after -b
	[説明]	-b の後ろにブロック長を指定してください。
F8606	[メッセージ]	expect disp value after -d
	[説明]	-d の後ろにオフセット値を指定してください。
F8607	[メッセージ]	expect input file
	[説明]	入力ファイル名を指定してください。
F8608	[メッセージ]	expect output file after -o
	[説明]	-o の後ろに出力ファイル名を指定してください。
F8609	[メッセージ]	expect device file path after -F
	[説明]	-F の後ろにデバイス・ファイル・パスを指定してください。
F8610	[メッセージ]	illegal use of <i>option</i> option
	[説明]	<i>option</i> オプションの指定方法が不正です。
F8611	[メッセージ]	nested command file <i>file</i>
	[説明]	コマンド・ファイル <i>file</i> がネストしています。ネストはできません。

F8612	[メッセージ]	no section data exists in specified address area ( <i>address1</i> - <i>address2</i> )
	[説明]	-U オプションで指定された領域 ( <i>address1</i> - <i>address2</i> ) にセクションがありません。
F8613	[メッセージ]	file name <i>name</i> is too long
	[説明]	ファイル名 <i>name</i> の長さが限界を越えています。
F8620	[メッセージ]	cannot open file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> オープンできません。
F8621	[メッセージ]	cannot open output file <i>file</i>
	[説明]	出力ファイル <i>file</i> をオープンできません。
F8622	[メッセージ]	cannot get section <i>section</i>
	[説明]	<i>section</i> セクションが見つかりません。
F8623	[メッセージ]	cannot find device file
	[説明]	デバイス・ファイルが見つかりません。
F8624	[メッセージ]	cannot find device information
	[説明]	デバイスの情報が見つかりません。
F8625	[メッセージ]	<i>file</i> is not ELF file
	[説明]	ファイル <i>file</i> は、ELF 形式のオブジェクト・ファイルではありません。
F8626	[メッセージ]	<i>file</i> is archive file
	[説明]	ファイル <i>file</i> は、アーカイブ・ファイルです。アーカイブ・ファイルを指定することはできません。
F8627	[メッセージ]	illegal target machine type
	[説明]	ターゲット・マシンのタイプが不正です。
F8628	[メッセージ]	illegal object file ( <i>string</i> )
	[説明]	オブジェクトファイルが不正です。
F8629	[メッセージ]	cannot create HEX rom data, because there is no memory information
	[説明]	メモリ情報がないため、ROM データを作成できません。
F8630	[メッセージ]	<i>section</i> section overflowed lowest address of internal memory
	[説明]	<i>section</i> セクションは、内蔵 ROM 領域、または -U オプションで指定した領域の下限を越えています。
F8639	[メッセージ]	<i>section</i> : no such section
	[説明]	指定されたセクション <i>section</i> が見つかりません。
F8640	[メッセージ]	illegal block length <i>length</i>
	[説明]	-b オプションで指定されたブロック長の値 <i>length</i> が不正です。
F8641	[メッセージ]	illegal disp value <i>value</i>
	[説明]	-d オプションで指定されたオフセットの値 <i>value</i> が不正です。
F8642	[メッセージ]	illegal fill value
	[説明]	-U オプションで指定された充填値の値が不正です。
F8643	[メッセージ]	illegal start address <i>value</i>
	[説明]	-U オプションで指定されたスタートアドレスの値 <i>value</i> が不正です。

F8644	[メッセージ]	illegal size value <i>value</i>
	[説明]	-U オプションで指定されたサイズの値 <i>value</i> が不正です。
F8645	[メッセージ]	size must not be 0
	[説明]	-U オプションで指定するサイズは 0 にはできません。
F8646	[メッセージ]	memory allocation fault
	[説明]	メモリが足りません。
F8651	[メッセージ]	specified address area( <i>addr1</i> - <i>addr2</i> ) overlaps I/O area ( <i>addr3</i> - <i>addr4</i> )
	[説明]	-U オプションで指定した範囲 ( <i>addr1</i> - <i>addr2</i> ) が周辺 I/O ( <i>addr3</i> - <i>addr4</i> ) と重なっています。
F8801	[メッセージ]	bad magic file <i>file</i>
	[説明]	指定した <i>file</i> が V850 マイクロコントローラのオブジェクト・ファイルではありません。
F8802	[メッセージ]	cannot find device file
	[説明]	デバイス・ファイルが見つかりません。
F8803	[メッセージ]	cannot open file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> をオープンすることができません。
F8804	[メッセージ]	illegal object ( <i>string</i> )
	[説明]	オブジェクト・ファイルが正しくありません。
F8805	[メッセージ]	nested command file <i>file</i>
	[説明]	コマンド・ファイル <i>file</i> がネストしています。 ネストはできません。
F8821	[メッセージ]	memory allocation error
	[説明]	メモリが足りません。
F8901	[メッセージ]	Can't open overlay file ' <i>ファイル名</i> '
	[説明]	オーバーレイ・ファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	オーバーレイ・ファイルが正しいフォルダ (実行形式プログラムがあるフォルダ) にあることを確認してください。
F8902	[メッセージ]	file ' <i>ファイル名</i> ' file not found
	[説明]	指定されたライブラリ・ファイルをオープンすることができません。
F8903	[メッセージ]	Can't read input file ' <i>ファイル名</i> '
	[説明]	入力ファイルとして指定されたオブジェクト・モジュール・ファイルを読むことができません。
F8904	[メッセージ]	Can't open output file ' <i>ファイル名</i> '
	[説明]	出力ファイルをオープンすることができません。
	[対処方法]	出力ファイルを作成しようとしたディスクの状態 (空き容量, メディアの状態など) を確認してください。

F8905	[メッセージ]	Can't create temporary file 'ファイル名'
	[説明]	シンボル・エントリ用のテンポラリ・ファイルを作成することができません。
	[対処方法]	テンポラリ・ファイルを作成しようとしたディスクの状態（空き容量、メディアの状態など）を確認してください。
F8906	[メッセージ]	Can't write map file 'ファイル名'
	[説明]	リンク・リスト・ファイルにデータを書き込めません。
	[対処方法]	リンク・リスト・ファイルを作成しようとしたディスクの状態（空き容量、メディアの状態など）を確認してください。
F8907	[メッセージ]	Can't write output file 'ファイル名'
	[説明]	ロード・モジュール・ファイルに書き込みができません。
	[対処方法]	出力ファイルを作成しようとしたディスクの状態（空き容量、メディアの状態など）を確認してください。
F8908	[メッセージ]	Can't access temporary file 'ファイル名'
	[説明]	テンポラリ・ファイルに書き込みができません。
	[対処方法]	テンポラリ・ファイルを作成しようとしたディスクの状態（空き容量、メディアの状態など）を確認してください。
F8909	[メッセージ]	Can't read DEVICE_FILE file 'デバイス・ファイル名'
	[説明]	リンクまでに使用した各ツール（CC78K0, ST78K0, RA78K0, CC78K0R, RA78K0R）で、指定したデバイスに対応したデバイス・ファイルの読み込みができません。
F9001	[メッセージ]	can not open file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> をオープンできません。
F9003	[メッセージ]	nested command file <i>file</i>
	[説明]	コマンド・ファイル <i>file</i> がネストしています。ネストできません。
F9024	[メッセージ]	memory allocation error
	[説明]	メモリが足りません。
F9600	[メッセージ]	xxx
	[説明]	エラーを検出しました。
F9601	[メッセージ]	'xxx' can't open
	[説明]	ファイルのオープンに失敗しました。
F9602	[メッセージ]	'xxx' can't seek
	[説明]	ファイルのシークに失敗しました。
F9603	[メッセージ]	'xxx' can't read
	[説明]	ファイルの読み込みに失敗しました。
F9604	[メッセージ]	'xxx' can't write
	[説明]	ファイルの書き込みに失敗しました。
F9605	[メッセージ]	no memory
	[説明]	メモリの確保に失敗しました。

F9606	[メッセージ]	'xxx' not found
	[説明]	プリプロセッサがファイル xxx を検出できません。
F9607	[メッセージ]	'xxx' failed
	[説明]	プリプロセッサがファイル xxx でエラーを検出しました。
F9608	[メッセージ]	input file nothing
	[説明]	入力ファイルが指定されていません。
F9609	[メッセージ]	'xxx' not specified file name
	[説明]	オプション xxx でファイル名の指定が行われていません。
F9610	[メッセージ]	'xxx' not specified identifier
	[説明]	オプション xxx で識別子の指定が行われていません。
F9611	[メッセージ]	'xxx' not specified symbol
	[説明]	オプション xxx でシンボルの指定が行われていません。
F9612	[メッセージ]	'xxx' range over
	[説明]	オプション xxx に範囲外の値を指定しました。
F9613	[メッセージ]	'xxx' not specified path
	[説明]	オプション xxx にパスの指定が行われていません。
F9614	[メッセージ]	multiple declaration function 'xxx'
	[説明]	関数名 xxx が重複しています。
F9700	[メッセージ]	xxx
	[説明]	エラーを検出しました。
F9701	[メッセージ]	'xxx' can't open
	[説明]	ファイルのオープンに失敗しました。
F9702	[メッセージ]	'xxx' can't seek
	[説明]	ファイルのシークに失敗しました。
F9703	[メッセージ]	'xxx' can't read
	[説明]	ファイルの読み込みに失敗しました。
F9704	[メッセージ]	'xxx' can't write
	[説明]	ファイルの書き込みに失敗しました。
F9705	[メッセージ]	no memory
	[説明]	メモリの確保に失敗しました。
F9706	[メッセージ]	'xxx' is not ELF executable file
	[説明]	ファイル xxx が ELF 実行形式ではありません。
F9707	[メッセージ]	input file nothing
	[説明]	入力ファイルが指定されていません。
F9708	[メッセージ]	too many files
	[説明]	解析対象ファイルを複数指定しています。
F9709	[メッセージ]	Executable file does not provide symbol information
	[説明]	解析対象ファイルにシンボル・テーブルが存在しません。

F9710	[メッセージ]	Executable file does not provide data-object information
	[説明]	解析対象ファイルに変数が1個も存在しません。
F9711	[メッセージ]	'xxx' not found range
	[説明]	-r オプションで範囲指定が行われていません。
F9712	[メッセージ]	'xxx' invalid range
	[説明]	-r オプションで範囲外の値を指定しました。
F9713	[メッセージ]	'xxx' invalid end-address
	[説明]	-r オプションで指定した末尾アドレスが不正です。
F9714	[メッセージ]	'xxx' not specified path
	[説明]	-r オプションで出力パス指定が行われていません。
F9715	[メッセージ]	'xxx' not specified file name
	[説明]	-r オプションで出力ファイル指定が行われていません。
F0512003	[メッセージ]	エラーの数が多すぎます。
F0520003	[メッセージ]	#include ファイル " ファイル名 " は自分自身でインクルードしています。
	[説明]	#include ファイル " ファイル名 " は自分自身でインクルードしています。修正してください。
F0520004	[メッセージ]	メモリが足りません。
	[説明]	メモリが不足しています。他のアプリケーションを終了して、再度コンパイルし直してください。
F0520005	[メッセージ]	ソース・ファイル " ファイル名 " を開くことができません。
F0520013	[メッセージ]	ファイル名がありません。
F0520016	[メッセージ]	" ファイル名 " は正しいソース・ファイル名ではありません。
F0520035	[メッセージ]	#error 指令: 文字列
	[説明]	ソース・ファイル中に #error 指令がありました。
F0520143	[メッセージ]	プログラムはコンパイルするのに大きすぎるか複雑すぎます。
F0520189	[メッセージ]	ファイル " ファイル名 " の書き込み中にエラーが発生しました。
F0520219	[メッセージ]	ファイル " ファイル名 " の削除中にエラーが発生しました。
F0520563	[メッセージ]	不正なプリプロセッサ出力ファイルです。
F0520564	[メッセージ]	プリプロセッサ出力ファイルをオープンできません。
F0520583	[メッセージ]	不正なエラー出力ファイルです。
F0520584	[メッセージ]	エラー出力ファイルをオープンできません。
F0531003	[メッセージ]	オプションオプションで指定された関数関数が見つかりません。
F0542001	[メッセージ]	-Xr 数値オプションで指定された " シンボル " を、レジスタに割り付けることができません。
F0542002	[メッセージ]	ビット・フィールドの初期値にアドレス定数を記述できません。
F0550503	[メッセージ]	ファイル file をオープンできません。
	[対処方法]	ファイルを確認してください。
F0550504	[メッセージ]	セクション定義疑似命令においてセクションの種類に誤りがあります。
	[対処方法]	セクションの種類を指定を確認してください。

F0550505	[メッセージ]	メモリが足りません。
	[対処方法]	空きメモリを確認してください。
F0550506	[メッセージ]	内部データ領域 ( <i>string</i> ) の確保に失敗しました。
	[対処方法]	空きメモリを確認してください。
F0550507	[メッセージ]	式の処理において作業領域が足りなくなりました。 ( <i>string</i> )
	[説明]	式の処理において作業領域が足りなくなりました。単純な式に変更してください。
	[対処方法]	式を確認してください。
F0550508	[メッセージ]	定義されていない識別子 <i>identifier</i> が参照されています。
	[対処方法]	識別子を確認してください。
F0550509	[メッセージ]	予期しない疑似命令 <i>string</i> が見つかりました。
	[対処方法]	疑似命令を確認してください。
F0550510	[メッセージ]	<i>string</i> 疑似命令に対応する疑似命令が存在しません。
	[対処方法]	疑似命令を確認してください。
F0550511	[メッセージ]	条件アセンブル制御命令において対応する疑似命令 <i>string</i> が存在しません。
	[対処方法]	条件アセンブル制御命令を確認してください。
F0550512	[メッセージ]	条件アセンブル制御命令が 4294967294 回以上ネストして用いられています。
	[対処方法]	ネストを確認してください。
F0550513	[メッセージ]	<i>string</i> 疑似命令に対応する <i>.endm</i> 疑似命令が存在しません。
	[対処方法]	疑似命令を確認してください。
F0550514	[メッセージ]	実パラメータが 4294967294 個以上用いられています。
	[対処方法]	実パラメータを確認してください。
F0550515	[メッセージ]	<i>string</i> 疑似命令が <i>.rept/irp</i> 疑似命令に囲まれていません。
	[対処方法]	疑似命令を確認してください。
F0550516	[メッセージ]	<i>.local</i> 疑似命令により自動生成されたシンボルが限界数 (4294967294) を越えました。
	[対処方法]	疑似命令を確認してください。
F0550517	[メッセージ]	<i>string</i> が 4294967294 回以上ネストして用いられています。
	[対処方法]	ネストを確認してください。
F0550518	[メッセージ]	マクロ本体内で現在定義中のマクロの呼び出し <i>macro_call</i> が行われました。
	[対処方法]	マクロ定義を確認してください。
F0550519	[メッセージ]	マクロ呼び出しの引数指定が不正です。
	[対処方法]	引数指定を確認してください。
F0550520	[メッセージ]	'\$' のあとにシンボル以外の識別名、または未定義シンボル名が指定されています。
	[対処方法]	記述を確認してください。
F0550521	[メッセージ]	致命的なエラーの数が 30 に達しました。アセンブルを中止します。
	[対処方法]	エラーを修正してください。
F0550523	[メッセージ]	オプション、または疑似命令でターゲット・デバイス指定が重複しています。
	[対処方法]	ターゲット・デバイス指定を確認してください。

F0550524	[メッセージ]	指定されたターゲット・デバイスに相当するデバイス・ファイルがないか、デバイス指定が間違っている、またはデバイス指定がありません。
	[対処方法]	デバイス・ファイルを確認してください。
F0550525	[メッセージ]	指定されたデバイス・ファイルが対応マイクロコントローラではありません。
	[対処方法]	デバイス・ファイルを確認してください。
F0550526	[メッセージ]	指定されたデバイス・ファイルのバージョンが不正です。バージョン <i>version</i> は指定できません。
	[対処方法]	デバイス・ファイルを確認してください。
F0550528	[メッセージ]	tidata.byte セクション、tibss.byte セクションのサイズの合計が 128 バイトを越えています。
	[対処方法]	tidata.byte セクション、tibss.byte セクションのサイズを確認してください。
F0550529	[メッセージ]	tidata.word セクション、tibss.word セクションのサイズの合計が 256 バイトを越えています。
	[対処方法]	tidata.word セクション、tibss.word セクションのサイズを確認してください。
F0550530	[メッセージ]	tidata.byte セクション、tibss.byte セクション、tidata.word セクション、tibss.word セクション、tidata セクション、tibss セクションのサイズの合計が 256 バイトを越えています。
	[対処方法]	tidata.byte セクション、tibss.byte セクション、tidata.word セクション、tibss.word セクション、tidata セクション、tibss セクションのサイズを確認してください。
F0550531	[メッセージ]	1 ファイルに記述できるシンボル数を越えました。記述できるシンボル数の限界は、アセンブラが内部で登録するものを含め、4294967294 です。
F0550532	[メッセージ]	リンク可能なオブジェクト・ファイルを生成する段階で、ファイル・システムに依存するエラーが発生しました。
	[対処方法]	ファイル・システムを確認してください。
F0550533	[メッセージ]	関数 <i>function</i> のサイズがサポート外です。スマートコレクションは利用できません。
	[対処方法]	関数 <i>function</i> のサイズを確認してください。
F0550534	[メッセージ]	1 ファイル中の命令の数が多すぎます。
	[説明]	1 ファイル中の命令の数が限界を越えています。限界値は 10,000,000 です。
	[対処方法]	命令の数を確認してください。
F0550535	[メッセージ]	' <i>function1</i> ' と ' <i>function2</i> ' が同じセクションに定義されています。
	[対処方法]	\$smart_correct 制御命令で指定した修正後関数は、修正前関数とは別のセクションに記述してください。
F0550536	[メッセージ]	このデバイスでは、 <i>Option</i> オプションをサポートしていません。
	[対処方法]	ターゲット・デバイスを確認してください。
F0560001	[メッセージ]	入力ファイル " <i>file</i> " をオープンできません。
F0560002	[メッセージ]	出力ファイル " <i>file</i> " をオープンできません。
F0560003	[メッセージ]	出力ファイル " <i>file</i> " をクリエイトできません。
F0560004	[メッセージ]	ディレクティブファイル " <i>file</i> " をオープンできません。
F0560005	[メッセージ]	ディレクティブファイル " <i>file</i> " のサイズの取得に失敗しました。
F0560006	[メッセージ]	出力ファイル " <i>file</i> " のサイズを <i>number</i> バイトに変更できません。



F0560007	[メッセージ]	出力ファイル“file”をシークできません。
F0560008	[メッセージ]	出力ファイル“file”の書き込みができません。
F0560009	[メッセージ]	デバイス・ファイル“string”が見つかりません。
F0560010	[メッセージ]	デバイス・ファイル“string”が不正です。
F0560011	[メッセージ]	デバイス・ファイル“string”をオープンできません。
F0560012	[メッセージ]	デバイス・ファイル“string”の読み込みができません。
F0560013	[メッセージ]	オブジェクト・ファイルが不正です。(エラー番号: number)
F0560101	[メッセージ]	ELF形式の版が本リンクで扱うことのできる版ではありません。
F0560102	[メッセージ]	入力ファイルのタイプが本リンクで扱うことのできるタイプではありません。
F0560103	[メッセージ]	入力ファイルのタイプが本リンクで扱うことのできるクラスではありません。
F0560104	[メッセージ]	入力ファイルのバイト・オーダが本リンクで扱うことのできるバイト・オーダではありません。
F0560105	[メッセージ]	入力ファイルとして扱うことのできるオブジェクト・ファイルのファイル・タイプは、リロケータブル・ファイルまたは共有ライブラリ・ファイルのみです。
F0560106	[メッセージ]	指定されたファイル“file”は不正なファイル形式を持っています。
F0560107	[メッセージ]	ターゲットのマイクロコントローラ共通のマジック・ナンバ“string”でリンクできないファイルが入力されました。
F0560108	[メッセージ]	“file”は実行形式ファイルではありません。ブート・ファイルとして入力することはできません。
F0560109	[メッセージ]	“file”はROM化済みの実行形式ファイルです。ブート・ファイルとして入力することはできません。
F0560110	[メッセージ]	同じファイルが入力ファイルとして複数回指定されています。
F0560112	[メッセージ]	string1 コアの共通オブジェクト・ファイルと string2 コアのオブジェクト・ファイルをリンクすることはできません。ファイル“file”は string1 コアの共通オブジェクト・ファイルです。 -Xcommon オプションで指定されたマジック・ナンバの混合チェックでエラーが発生しました。
F0560113	[メッセージ]	マスク・レジスタを使用したオブジェクト・ファイルと使用していないオブジェクト・ファイルをリンクすることはできません。ファイル“file”はマスク・レジスタを使用したオブジェクト・ファイルです。
F0560114	[メッセージ]	BPC 値の異なるファイルが入力されています。
F0560115	[メッセージ]	FPU を使用したオブジェクト・ファイルを指定されたターゲット・デバイスでリンクすることはできません。
F0560201	[メッセージ]	シンボル名文字列の取得に失敗しました。
F0560202	[メッセージ]	number 番目のシンボル名文字列の取得に失敗しました。
F0560203	[メッセージ]	シンボル“symbol”は、不正なバインディング・クラス(number)を持っています。
F0560204	[メッセージ]	WEAK のバインディング・タイプを持つシンボル“symbol”はサポートしていません。
F0560208	[メッセージ]	シンボル“symbol”は、多重に定義されています。
F0560209	[メッセージ]	file1 内で定義されたシンボル“symbol”と file2 内で定義された同名前のシンボルのセクション配置に矛盾が生じました。

F0560210	[メッセージ]	-Xentry_address オプションで指定されたシンボル “symbol” が見つかりません。
F0560213	[メッセージ]	\$EXT_FUNC 制御命令で指定されたシンボル名 <i>symbol1</i> と ID 値 <i>ID1</i> と他のファイルで定義済みのシンボル名 <i>symbol2</i> と ID 値 <i>ID2</i> に矛盾があります。
F0560215	[メッセージ]	シンボル数が限界値を越えました。
F0560216	[メッセージ]	シンボルの多重定義をすべて表示します。 シンボル 定義ファイル1 定義ファイル2 <i>symbol file1 file2</i>
F0560217	[メッセージ]	ファイル <i>file</i> 内で参照されているシンボル “symbol” が定義されていません。
F0560218	[メッセージ]	シンボル・テーブルの領域が足りなくなりました。
F0560219	[メッセージ]	\$EXT_ENT_SIZE で指定されたサイズと “symbol” のサイズが異なります。
F0560220	[メッセージ]	GP-symbol“ <i>symbo2</i> ” のベース・シンボルとして指定された TP-symbol“ <i>symbol</i> ” が見つかりません。
F0560301	[メッセージ]	セクション名のストリング・テーブル・セクションの取得に失敗しました。
F0560302	[メッセージ]	シンボル名のストリング・テーブル・セクションの取得に失敗しました。
F0560303	[メッセージ]	セクション・ヘッダの取得に失敗しました。
F0560304	[メッセージ]	セクション名の取得に失敗しました。
F0560306	[メッセージ]	セクション “section” は、不正なセクション・タイプ ( <i>number</i> ) を持っています。
F0560307	[メッセージ]	セクション “section” のロウ・データの取得に失敗しました。
F0560309	[メッセージ]	割り込みハンドラセクション “secton” はすでに定義されています。本リンクでは割り込みハンドラセクションを自動生成するので、リンク・ディレクティブへの記述は不要です。
F0560310	[メッセージ]	特殊セクション “secton” は、すでに定義されています。
F0560311	[メッセージ]	セクション “secton” のサイズが不正です。
F0560404	[メッセージ]	分岐系のリロケーション・エントリ (シンボル : <i>symbol</i> , ファイル : <i>file</i> , セクション : <i>section</i> , オフセット : <i>offset</i> , タイプ : <i>relocation type</i> ) によってリロケートされた値 ( <i>value</i> ) が奇数になっています。
F0560405	[メッセージ]	GP 相対リロケーションのための GP シンボルが存在しません (LOCAL) (ファイル : <i>file2</i> , セグメント : <i>segment</i> , セクション : <i>section2</i> , オフセット : <i>offset</i> , タイプ : <i>relocation type</i> )。ローカル・シンボルは “section1” (ファイル : <i>file1</i> ) に存在します。
F0560407	[メッセージ]	GP 相対リロケーションのための GP シンボルが存在しません (GLOBAL)。 (ファイル : <i>file2</i> , セグメント : <i>segment</i> , セクション : <i>section2</i> , オフセット : <i>offset</i> , タイプ : <i>relocation type</i> )。シンボルは “section1” (ファイル : <i>file1</i> ) に存在します。
F0560409	[メッセージ]	ブート側実行ファイルのセクション “section” に GP 相対リロケーションのための GP シンボルが存在しません。 (ファイル : <i>file2</i> , セグメント : <i>segment</i> , セクション : <i>section2</i> , オフセット : <i>offset</i> , タイプ : <i>relocation type</i> )。シンボルは “section1” (ファイル : <i>file1</i> ) に存在します。
F0560411	[メッセージ]	分岐系のリロケーション・エントリ (ファイル : <i>file</i> , セクション : <i>section</i> , オフセット : <i>offset</i> , リロケーション・タイプ : <i>relocation type</i> ) によってリロケートされた値 ( <i>value</i> ) が奇数になっています。
F0560414	[メッセージ]	EP シンボルが生成されていません。

F0560415	[メッセージ]	出力セクション <i>section2</i> から、出力セクション <i>section1</i> に配置されたシンボル “ <i>symbol</i> ” への分岐命令が、分岐可能範囲を越えています。分岐命令は ( 値 : <i>value</i> , ファイル : <i>file</i> 入力セクション : <i>section3</i> , オフセット : <i>offset</i> , タイプ : <i>relocation type</i> ) に存在します。
F0560417	[メッセージ]	出力セクション <i>section2</i> から、出力セクション <i>section1</i> に配置されたローカル・シンボルへの分岐命令が、分岐可能範囲を越えています。分岐命令は ( 値 : <i>value</i> , ファイル : <i>file</i> 入力セクション : <i>section3</i> , オフセット : <i>offset</i> , タイプ : <i>relocation type</i> ) に存在します。
F0560419	[メッセージ]	出力セクション <i>section1</i> がオーバーフローしました。または、シンボル “ <i>symbol</i> ” の配置されたセクションとラベルの参照方法がファイル “ <i>file</i> ” において不正です。不正な参照は、( 値 : <i>value</i> , 入力セクション : <i>section3</i> , オフセット : <i>offset</i> , タイプ : <i>relocation type</i> ) に存在します。シンボル “ <i>symbol</i> ” はセクション “ <i>section1</i> ” に配置されました ( ファイル : <i>file1</i> )。
F0560421	[メッセージ]	出力セクション <i>section1</i> がオーバーフローしました。または、ローカル・シンボルの配置されたセクションとラベルの参照方法がファイル “ <i>file2</i> ” において不正です。不正な参照は、( 値 : <i>value</i> , 入力セクション : <i>section3</i> , オフセット : <i>offset</i> , タイプ : <i>relocation type</i> ) に存在します。ローカル・シンボルはセクション “ <i>section1</i> ” に配置されました ( ファイル : <i>file1</i> )。
F0560423	[メッセージ]	ブート・フラッシュ再リンク機能において、ブート領域側作成時にフラッシュ領域側のシンボル “ <i>symbol</i> ” を string による参照はできません。
F0560424	[メッセージ]	ブートファイル “ <i>file</i> ” にはシンボル情報がありません。
F0560502	[メッセージ]	ライブラリ・シンボル・テーブル・エントリで指定されたオフセット (offset) の位置にライブラリ・メンバが見つかりません。ライブラリ・シンボル・テーブルが破壊されているおそれがあります。
F0560503	[メッセージ]	共有ライブラリはサポートしていません。
F0560627	[メッセージ]	セグメント “ <i>segment</i> ” の割り付けが指示された領域がターゲット・マシンにおける可能なメモリ空間の範囲を越えています。
F0560629	[メッセージ]	セグメント “ <i>segment</i> ” のセグメント・ディレクティブには <i>string</i> が必要とされています。
F0560630	[メッセージ]	セクション・ディレクティブには <i>string</i> が必要とされています。
F0560631	[メッセージ]	シンボル “ <i>symbol</i> ” のシンボル・ディレクティブには <i>string</i> が必要とされています。
F0560633	[メッセージ]	セグメント “ <i>segment1</i> ” の先頭アドレス ( <i>number1</i> ) が、アドレス ( <i>number2</i> ) の前までに割り付けられているセグメント “ <i>segment2</i> ” の領域にオーバーラップしています。
F0560634	[メッセージ]	セクション “ <i>section1</i> ” の先頭アドレス ( <i>number1</i> ) が、アドレス ( <i>number2</i> ) の前までに割り付けられているセクション “ <i>section2</i> ” の領域にオーバーラップしています。
F0560635	[メッセージ]	セクション “ <i>section</i> ” の先頭アドレス ( <i>number1</i> ) が、属するセグメント “ <i>segment</i> ” の先頭アドレス ( <i>number2</i> ) よりも手前に割り付けられています。
F0560636	[メッセージ]	セグメント “ <i>segment</i> ” のメモリ・サイズ ( <i>number1</i> ) が、明示的に指定された最大メモリ・サイズまたはデフォルトの最大メモリ・サイズ ( <i>number2</i> ) を越えています。
F0560649	[メッセージ]	セクション “ <i>section</i> ” の終端アドレスが最大メモリアドレス ( <i>number</i> ) をオーバーフローしました。

F0560650	[メッセージ]	セグメント “segment” の終端アドレスが最大メモリアドレス ( <i>number</i> ) をオーバーフローしました。
F0560652	[メッセージ]	セグメント “segment” の割り付けが指示された領域 ( <i>number1-number2</i> ) がターゲット・マシンにおける可能な内蔵メモリ空間の範囲 ( <i>number3-number4</i> ) を越えています。
F0560657	[メッセージ]	セクション “section” は、ディレクティブ・ファイルで指定されている必要があります。
F0560658	[メッセージ]	ディレクティブ・ファイル中のセクション “section” の記述が不正です。
F0560661	[メッセージ]	メモリ領域の確保に失敗しました。
F0560662	[メッセージ]	CALLT ベース・ポインタ (CTBP) が設定されていません。-Xpro_epi_runtime=off または -Ospeed 指定により callt 命令の出力を抑制するか、CTBP を設定してください。
F0560701	[メッセージ]	<i>string2</i> オプションが指定された場合、 <i>string1</i> オプションを指定することはできません。
F0560705	[メッセージ]	ターゲット・デバイスを指定してください。 このメッセージは、リンク可能なオブジェクト・ファイル生成時に、共通マジック・ナンバが埋め込まれたファイルのみをリンクして、実行可能なオブジェクト・ファイルを生成しようとした場合に出力されます。
F0560707	[メッセージ]	“\$ext_func” 指定のあるファイルに、“-Xrelinkable_object” を指定することはできません。
F0560708	[メッセージ]	“ <i>string1</i> ” オプションは、“ <i>string2</i> ” オプションを必要とします。
F0560712	[メッセージ]	“ <i>string</i> ” のオプションに指定した値がオーバーフローしました。
F0561001	[メッセージ]	入力ファイル “file” は不正であるため入力できません。
F0561002	[メッセージ]	リロケータブル・オブジェクト “file” が入力ファイルとして指定されています。
F0561003	[メッセージ]	不正な入力ファイルが指定されました。ファイル “file” はライブラリファイルです。
F0561004	[メッセージ]	メモリの確保に失敗しました。
F0561005	[メッセージ]	“ <i>symbol</i> ” のアドレスは、すべての入力ファイルで同じにしてください。
F0561006	[メッセージ]	指定したシンボル “ <i>symbol</i> ” がオブジェクト・ファイル “file” 内に見つかりませんでした。
F0561007	[メッセージ]	rompsec セクションを作成する際にメモリの上限を越えました。 -Xromize_check_off=rom_less オプションを指定することにより、本メッセージを消去することが可能です。
F0561008	[メッセージ]	“ <i>section1</i> ” セクションと “ <i>section2</i> ” セクションが重なっています。
F0561009	[メッセージ]	start_label ラベルは、4 バイト境界のアドレスにあるようにしてください。
F0561010	[メッセージ]	指定したセクションがオブジェクト・ファイル内に見つかりませんでした。
F0561011	[メッセージ]	内蔵命令 RAM に配置される “ <i>section</i> ” セクションがワードアライメントされていません。
F0561012	[メッセージ]	セクションが見つかりません。
F0561013	[メッセージ]	file “file” 内の -Xrompsec_data オプションで指定された “ <i>section</i> ” は、-Xrompsec_data オプションでは指定できないセクション属性です。
F0561014	[メッセージ]	file “file” 内の -Xrompsec_text オプションで指定された “ <i>section</i> ” は、-Xrompsec_text オプションでは指定できないセクション属性です。

F0561015	[メッセージ]	-Xrompsec_data オプションで指定された “section” セクションが見つかりませんでした。
F0561016	[メッセージ]	-Xrompsec_text オプションで指定された “section” セクションが見つかりませんでした。
F0561019	[メッセージ]	プロセッサ・タイプはすべてのファイルにおいて同一でなければなりません。
F0562001	[メッセージ]	-Xhex_fill オプションで指定された領域 (address1-address2) にセクションがありません。
F0562002	[メッセージ]	“section” セクションが見つかりません。
F0562003	[メッセージ]	“file” は、ELF 形式のオブジェクト・ファイルではありません。
F0562004	[メッセージ]	“file” は、ライブラリ・ファイルです。ライブラリ・ファイルを指定することはできません。
F0562005	[メッセージ]	オブジェクトファイル (string) が不正です。
F0562006	[メッセージ]	ファイル名 “name” の長さが限界を越えているため、モトローラ S タイプ・ヘキサ・フォーマットの S0 レコードに登録することができません。ファイル名は 254 文字以下にしてください。
F0562007	[メッセージ]	メモリ情報がないため、ROM データを作成できません。
F0562008	[メッセージ]	指定されたセクション “section” が見つかりません。
F0562009	[メッセージ]	メモリが足りません。
F0562014	[メッセージ]	-Xhex_fill 指定時はエラー “section” セクションは、-Xhex_fill オプションで指定した領域の下限を越えています。 -Xhex_fill 指定時されてなければワーニング “section” セクションは、内蔵 ROM 領域の下限を越えています。
F0578200	[メッセージ]	memory allocation fault
	[説明]	メモリが足りません。
F0578201	[メッセージ]	bad key character - use [dm(a b)qr(a b u)txV]
	[説明]	character をキーとして指定することはできません。
F0578202	[メッセージ]	bad option character - use [cv]
	[説明]	character をオプションとして指定することはできません。
F0578203	[メッセージ]	bad option string
	[説明]	string をオプションとして指定することはできません。
F0578204	[メッセージ]	can not create file file
	[説明]	ファイル file を作成できません。
F0578205	[メッセージ]	file name name... is too long - limit is number
	[説明]	ファイル名 name の長さが限界を越えています。限界値は number1 です。
F0578206	[メッセージ]	can not open file file
	[説明]	ファイル file をオープンできません。
F0578207	[メッセージ]	can not close file file
	[説明]	ファイル file をクローズできません。
F0578208	[メッセージ]	can not read file file
	[説明]	ファイル file からの読み込みができません。

F0578209	[メッセージ]	can not write file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> への書き込みができません。
F0578210	[メッセージ]	can not seek file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> をシークできません。
F0578212	[メッセージ]	can not nest command file <i>file</i>
	[説明]	コマンドファイル <i>file</i> がネストしています。ネストはできません。
F0578213	[メッセージ]	file is not library file
	[説明]	<i>file</i> はライブラリ・ファイルではありません。
F0578214	[メッセージ]	malformed library file <i>file</i>
	[説明]	ライブラリ・ファイル <i>file</i> の内容が破壊されているおそれがあります。
F0578215	[メッセージ]	can not find member <i>member</i>
	[説明]	ライブラリ・ファイル内にメンバ <i>member</i> が存在しません。
F0578216	[メッセージ]	symbol table limit error file ( <i>number1</i> ) - limit is <i>number2</i>
	[説明]	ライブラリ・ファイル <i>file</i> において、シンボルの個数 <i>number1</i> が限界を越えました。限界値は <i>number2</i> です。
F0578217	[メッセージ]	symbol table error file
	[説明]	ライブラリ・ファイル <i>file</i> において、ライブラリ・シンボル・テーブルの作成に失敗しました。
F0578218	[メッセージ]	string table error file
	[説明]	ライブラリ・ファイル <i>file</i> において、ライブラリ・ストリング・テーブルの内容が破壊されているおそれがあります。
F0578219	[メッセージ]	file has no member
	[説明]	ライブラリ・ファイル <i>file</i> 内にメンバが存在しません。
F0578220	[メッセージ]	version error file
	[説明]	指定されたファイル <i>file</i> の形式の版が本ライブラリアンの扱うことのできる版ではありません。
F0578221	[メッセージ]	can not read library header file
	[説明]	ライブラリ・ファイル <i>file</i> のヘッダの読み込みができません。

## 6.4 インフォメーション

表 6 4 インフォメーション

M9500	[メッセージ]	ファイル名を終了します。
	[説明]	スタック見積もりツールを終了します。
	[対処方法]	[OK] で終了します。
M9501	[メッセージ]	ファイルを上書きしますか？
	[対処方法]	既存のファイルに対して上書き保存をします。 [はい] で上書き保存します。 [いいえ] で中止します。
M9502	[メッセージ]	関数 ( 関数名 ) を初期値に戻しますか？
	[対処方法]	関数に対する設定を初期値に戻します。 [はい] で初期値に戻します。 [いいえ] で中止します。
M9503	[メッセージ]	全ての関数を初期値に戻しますか？
	[対処方法]	すべての関数に対する設定を初期値に戻します。 [はい] で初期値に戻します。 [いいえ] で中止します。
M0120001	[メッセージ]	xxxが起動中のため、インストールは中断されました。次回ツール起動時に再開されます。
M0120002	[メッセージ]	アップデートを有効にするには、システムを再起動する必要があります。
M0120003	[メッセージ]	依存するアップデートのインストールが中断されたため、インストールは中断されました。次回ツール起動時に再開されます。
M0140032	[メッセージ]	Cannot detect operating system language.
	[説明]	OSの言語種類が識別ができなかったときに表示されます。 英語版としてインストールを続行します。
M0140033	[メッセージ]	すべての CubeSuite 関連ツールがアンインストールされたので、統合アンインストーラを削除します。
	[説明]	統合アンインストーラで、表示されているすべての CubeSuite 関連ツールのアンインストールが完了したときに表示されます。
M0190000	[メッセージ]	ライセンス情報の読み込みに失敗しました。ファイルが壊れています。 もう一度ライセンス・キーを入力してください。
M0200001	[メッセージ]	技術問い合わせ窓口の連絡先を登録してください。
M0201001	[メッセージ]	指定されたパスは書き込み禁止です。
	[説明]	プロジェクトのコンバート、プロジェクトの流用、プロジェクトのバック機能を実行した際に生成されるログ・ファイルの書き込みに失敗した場合に発生します。
	[対処方法]	エクスプローラなどでフォルダへの書き込みを許可してください。
M0201003	[メッセージ]	データをファイルに保存中です。
	[説明]	データをファイルに保存しているときに、処理中表示 ダイアログに表示する文字列です。



M0201004	[メッセージ]	ユーザによって処理がキャンセルされました。
	[説明]	実行していた処理が、ユーザによる操作でキャンセルされたことを示します。
M0201005	[メッセージ]	指定されたファイルは書き込み禁止です。
	[説明]	ファイルの上書き確認後に、指定されたファイルが書き込み禁止の場合に表示されません。
	[対処方法]	エクスプローラなどでフォルダへの書き込みを許可してください。
M0201006	[メッセージ]	フォルダを追加中です。
	[説明]	エクスプローラからプロジェクト・ツリーへフォルダをドロップし、フォルダ内容を追加しているときに表示されます。
M0201008	[メッセージ]	xxx のエンコード (yyy) で表現できない文字を置換してから保存しました。
	[説明]	エディタで開いているファイルを保存時、指定されたエンコードで正しく保存できない場合に表示されます。
	[対処方法]	エンコードを変更してから保存してください。
M0201007	[メッセージ]	xxx を開いています。
	[説明]	ファイルを開いているときに表示されます。
M0202001	[メッセージ]	PM+ のプロジェクトを読み込んでいます。
	[説明]	PM+ のプロジェクト・ファイル読み込み中に処理中表示 ダイアログに表示されます。
M0202002	[メッセージ]	プロジェクト・ファイルを作成中です。
	[説明]	プロジェクト・ファイル作成中に処理中表示 ダイアログに表示されます。
M0202003	[メッセージ]	プロジェクトを読み込んでいます。
	[説明]	プロジェクト・ファイル読み込み中に処理中表示 ダイアログに表示されます。
M0202004	[メッセージ]	プロジェクト・ファイルを変換中です。
	[説明]	他製品のプロジェクト・ファイルを変換中に処理中表示 ダイアログに表示されます。
M0202005	[メッセージ]	プロジェクトをパック中です。
	[説明]	他製品のプロジェクト・ファイルを変換中に処理中表示 ダイアログに表示されます。
M0202006	[メッセージ]	プロジェクトを前回保存した状態で、開けませんでした。詳細は、出力パネルの [すべてのメッセージ] タブを参照してください。
	[説明]	プロジェクト読み込み時に、前回プロジェクトを保存した状態で読み込むことができなかった場合に表示されます。
M0204001	[メッセージ]	ロード・モジュールをダウンロード中です。
	[説明]	ロード・モジュールをデバッグにダウンロードしているときに、処理中表示 ダイアログに表示される文字列です。 ダウンロード中は、ダウンロードしているファイル名をメッセージの次々行に表示されます。
M0204002	[メッセージ]	xxx に、接続処理中です。
	[説明]	接続しているときに、処理中表示 ダイアログに表示される文字列です。xxx には、<接続対象のデバッグ・ツール名>が入ります。



M0204003	[メッセージ]	xxx に、接続処理中です。  エミュレータ・ファームウェアの更新が必要な場合、自動的に更新を行います。 接続が完了するまでは USB および電源は切断しないでください。
M0206001	[メッセージ]	検索中です。
	[説明]	「< 現在のプロジェクト名 > 内」, 「プロジェクト以下すべて」, 「指定フォルダ以下 (< 指定されたフォルダ名 >)」を指定して検索中に処理中表示 ダイアログが表示されます。
M0244001	[メッセージ]	メモリを初期化中です。
	[説明]	メモリ初期化 ダイアログにて、メモリの初期化処理中に、処理中表示 ダイアログに表示する文字列です。
M0409000	[メッセージ]	xxx を生成しました。
M0409001	[メッセージ]	ファイルを生成します :
M0409002	[メッセージ]	ファイル生成先フォルダ : xxx
M0409003	[メッセージ]	ファイルの生成を完了しました。
M0409004	[メッセージ]	xxx を上書きしました。
M0409005	[メッセージ]	端子番号 xxx 番を yyy から zzz に変更しました。
M0409006	[メッセージ]	端子配置へ反映します。
M0409007	[メッセージ]	端子配置への反映が終了しました。
M0409008	[メッセージ]	設定情報を次のファイルに出力しました :
M0409009	[メッセージ]	設定情報を次のファイルに出力しました :
M0592150	[メッセージ]	string1 を string2 に変換しました。
M0592151	[メッセージ]	string1 を削除しました。
M0592152	[メッセージ]	機能を CX コンパイラ仕様に変換しました。
M0592153	[メッセージ]	I/O レジスタのビット指定アクセスをマクロ呼び出しに変換しました。
M0592154	[メッセージ]	I/O レジスタのビットアクセス用マクロを生成しました。
M0592155	[メッセージ]	#pragma interrupt に 'multi' オプションを追加しました。
M0592156	[メッセージ]	#pragma interrupt NO_VECT を生成しました。
M0592157	[メッセージ]	string を生成しました。
M0592250	[メッセージ]	string 1 を string2 に変更しました。
M0592251	[メッセージ]	マルチステートメント ';' は改行へ変更しました。
M0592252	[メッセージ]	string を CX の形式に変更しました。
M0592253	[メッセージ]	string1 を string2 に変更しました。事前に .extern の指定も必要となるので確認してください。
	[説明]	.option data を \$data, または .option sdata を \$sdata へ変換しました。CX では、シンボルを事前に .extern で宣言する必要がありますので確認してください。
M0592270	[メッセージ]	string を削除しました。
M0592280	[メッセージ]	.previous は変更できません。適切なセクションを指定してください。
	[説明]	.previous は CX では未サポートです。

M0592281	[メッセージ]	<i>string</i> 'ビット幅:値' は変更できません。適切な値を <i>string</i> '値' の形式で指定してください。
	[説明]	<i>string</i> 'ビット幅:値' は、未サポートです。
M0592282	[メッセージ]	.option reg_mode を変更できません。適切なレジスタモードを指定してください。
	[説明]	.option reg_mode で指定した値が CX では未サポートです。
M0594201	[メッセージ]	ファイルを上書きしますか？
	[対処方法]	既存のファイルに対して上書き保存をします。 [はい] で上書き保存します。 [いいえ] で中止します。
M0594202	[メッセージ]	関数 (関数名) を初期値に戻しますか？
	[対処方法]	関数に対する設定を初期値に戻します。 [はい] で初期値に戻します。 [いいえ] で中止します。
M0594203	[メッセージ]	すべての関数を初期値に戻しますか？
	[対処方法]	すべての関数に対する設定を初期値に戻します。 [はい] で初期値に戻します。 [いいえ] で中止します。
M0810001	[メッセージ]	クロスリファレンス情報ファイルを出力する設定を変更できませんでした。
	[説明]	[強制的にクロス・リファレンス・ファイルを出力する] プロパティを "はい" に設定している場合で、ビルドを行う直前にコンパイラのプロパティを操作できなかった場合に発生します。
M0810002	[メッセージ]	コンパイル前に実行するコマンド・プロパティにコマンドを追加できませんでした。
	[説明]	CA850 の場合で、[コンパイル前に実行するコマンド] に追加できないときに発生します。
	[対処方法]	コンパイル前に実行するコマンドの数が多すぎます。コマンドの登録数を減らしてください。
M0810003	[メッセージ]	クロスリファレンス情報の解析に失敗しました。
	[対処方法]	[強制的にクロス・リファレンス・ファイルを出力する] を "はい" にして、ビルドを実行してください。
M0810006	[メッセージ]	プログラム解析情報を生成中です。トレース・データを取得して、解析しています。
	[対処方法]	中断する場合は、[キャンセル] ボタンを押下してください。
M0812001	[メッセージ]	トレースのバッファが一杯になりました。解析パネルの結果が不正確になっている可能性があります。
	[説明]	プログラムを実行して停止した際に、トレースのバッファが一杯になっている場合に表示されます。
	[対処方法]	解析する範囲を絞ってください。
M0812002	[メッセージ]	トレース・データの取りこぼしが発生しました。解析パネルの結果が不正確になっている可能性があります。
	[説明]	トレース・データの解析中に、トレース・データの取りこぼしが発生している場合に表示されます。
	[対処方法]	解析する範囲を絞ってください。

M0812003	[メッセージ]	トレース・データに命令のトレースが含まれていませんでした。解析パネルで解析結果の一部を表示できない可能性があります。
	[説明]	解析中にトレース・データに M1/BRM1 フェッチが含まれていないときに表示されません。
	[対処方法]	トレース出力の設定を確認してください。
M0812004	[メッセージ]	トレース・データにデータ・アクセスのトレースが含まれていませんでした。解析パネルで解析結果の一部を表示できない可能性があります。
	[説明]	解析中にトレース・データにリードまたはライト・データが含まれていないときに表示されます。
	[対処方法]	トレース出力の設定を確認してください。
M0812005	[メッセージ]	変数情報が見つかりませんでした (xxx)。
	[説明]	トレースで値の推移解析中に変数一覧のデータ中に一致する行が見つからないときに表示されます。
	[対処方法]	存在する変数名か確認してください。 同名の変数が存在する場合は、スコープを付加して、唯一の行が識別できるように指定してください。
M0820001	[メッセージ]	正常に解析できませんでした。詳細は、出力パネルの [プログラム解析] タブを参照してください。
	[説明]	トレース解析時に問題があったことを示すメッセージを出力パネルに表示しました。
M0821001	[メッセージ]	ファイル xxx からインポートできませんでした。
	[説明]	プロパティで指定しているインポート・ファイルが読み込めなかった場合に出力するメッセージです。
	[対処方法]	ファイルが存在するか確認してください。 ファイルへのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れていないか確認してください。
M0821002	[メッセージ]	クロスリファレンス情報ファイル xxx が見つかりませんでした。
	[説明]	クロス・リファレンス・ファイルが見つからない場合に出力するメッセージです (該当ファイルは解析から除外されます)。
	[対処方法]	[強制的にクロス・リファレンス・ファイルを出力する] を "はい" にして、ビルドを実行してください。
M0821003	[メッセージ]	クロスリファレンス情報ファイル xxx にクロスリファレンス情報が出力されていません。
	[説明]	78K0/78K0R のときに、アセンブル・リスト・ファイルが出力されているが、クロス・リファレンス情報を出力されていない場合に発生します。
	[対処方法]	[強制的にクロス・リファレンス・ファイルを出力する] を "はい" にして、ビルドを実行してください。

M0821004	[メッセージ]	ソース・ファイルが更新されています。ビルドを行いクロスリファレンス情報ファイルを更新してください。
	[説明]	関数一覧／変数一覧 パネルの更新時に、ソース・ファイルが、クロス・リファレンス情報よりも新しいときに表示されます。
	[対処方法]	ビルドを実行してください。 [強制的にクロス・リファレンス・ファイルを出力する]を"はい"にして、ビルドを実行してください。
M0821005	[メッセージ]	ロード・モジュール・ファイルが更新されていません。ビルドを行いロード・モジュール・ファイルを更新してください。
	[説明]	関数一覧／変数一覧 パネルの更新時に、ビルドをしないとおすとロード・モジュールが変更される可能性があるときに表示されます。
	[対処方法]	ビルドを実行してください。
M0821006	[メッセージ]	ロード・モジュール・ファイルが更新されています。ダウンロードを実行してください。
	[説明]	関数一覧／変数一覧 パネルの更新時に、ダウンロードしているロード・モジュール・ファイルよりも、現在のファイルのほうが新しい場合に表示されます。
	[対処方法]	ダウンロードを実行してください。
M0821007	[メッセージ]	クロスリファレンス情報ファイル xxx の解析に失敗しました。
	[説明]	クロスリファレンス情報ファイルが壊れている場合に表示されます。 クロスリファレンス情報ファイルが読み込めなかった場合に表示されます。
	[対処方法]	ファイルのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れていないか確認してください。
M0821008	[メッセージ]	ロード・モジュール・ファイル xxx の解析に失敗しました。
	[説明]	アドレス情報などの解析のためにデバッガにダウンロードできなかった場合に表示されます。
	[対処方法]	ビルドを実行してください。 ファイルのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れていないか確認してください。
M0821009	[メッセージ]	インポート・ファイル xxx が見つかりませんでした。
	[説明]	プロパティで指定しているインポート・ファイルが存在しないときに表示されます。
	[対処方法]	ファイルが存在するか確認してください。
M0824001	[メッセージ]	RRM 機能が有効になっていないため、[解析グラフ]パネルの解析結果を表示できません。デバッグ・ツールの[デバッグ・ツール設定]タブの[実行中のメモリアクセス]カテゴリにあるプロパティにて、RRM 機能を使用するように設定してください。
	[説明]	解析グラフ パネルで、変数値の取得方法にリアルタイム・サンプリング方式が選択されている状態で、デバッグ・ツールの設定で、RRM 機能が有効になっていない場合に表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールのプロパティで、RRM 機能を有効にしてください。

M0824002	[メッセージ]	トレース機能が有効になっていないため、[解析グラフ]パネルの解析結果の一部を表示できません。デバッグ・ツールの[デバッグ・ツール設定]タブの[トレース]カテゴリにあるプロパティにて、トレース機能を使用するように設定してください。
	[説明]	解析グラフパネルで、変数値の取得方法にトレース・データ解析方式が選択されている状態で、デバッグ・ツールの設定で、トレース機能が有効になっていない場合に表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールのプロパティで、トレース機能を有効にしてください。
M0824003	[メッセージ]	グラフの xxx に到達しましたが、指定値はありませんでした。
	[説明]	解析グラフの値の推移で移動したときに、移動方向に指定した値がない場合に表示されます。 xxxには、"先頭"、または"最後"が表示されます。
M0825001	[メッセージ]	連動機能をオフにしました。
	[説明]	フィルタ設定ダイアログで、フィルタ条件を設定して、[OK] ボタンを押下します。このとき、関数一覧／変数一覧パネルのツールバーで、[プロジェクト・ツリーと連動(P)] ボタン／[エディタと連動(E)] ボタンがオンになっている場合は、自動的にオフとなります。
M0825002	[メッセージ]	現在のパネルのフィルタ設定をクリアしました。
	[説明]	関数一覧／変数一覧パネルのツールバーで、[プロジェクト・ツリーと連動(P)] ボタン／[エディタと連動(E)] ボタンをオンに設定します。このとき、フィルタ設定ダイアログで、フィルタ条件が設定されている場合は、自動的にクリアする。
M0826001	[メッセージ]	コール・グラフ全域の画像を保存しています。
	[対処方法]	中断する場合はキャンセルボタンを押下してください。
M0827001	[メッセージ]	検索を終了しました。
	[説明]	対象関数(基点)から検索を開始し、検索条件に合う関数が1つ以上見つかり、対象関数の1つ手前に位置する関数(終点)に到達した場合に表示されます。
M08276002	[メッセージ]	検索条件に一致する関数が見つかりませんでした。
	[説明]	すべての関数を検索した結果、検索条件に指定されている関数がなかった場合に表示されます。
M1790000	[メッセージ]	既にデバッグ・ツールと接続済みです。
	[説明]	デバッグ・ツールと接続されている状態で connect コマンドを実行したときに表示されます。
M1790001	[メッセージ]	デバッグ・ツールと接続されていません。
	[説明]	デバッグ・ツールと接続されていない状態で disconnect コマンドを実行したとき表示されます。

## 6.5 選 択

表 6 5 選 択

Q0120000	[メッセージ]	選択されたアップデートをインストールするには、以下のアップデートもインストールする必要があります。これらのアップデートを選択しますか？
Q0120001	[メッセージ]	追加でインストールが必要なファイルがあります。アップデート機能でファイルを取得しますか？ 「はい」を選択するとアップデート・マネージャを起動して最新の情報を確認します。
Q0120002	[メッセージ]	アップデートを中止しますか？
Q0120004	[メッセージ]	前回のアップデートで以下のインストールが中断されています。インストールを実行しますか？
Q0120005	[メッセージ]	前回のアップデートで中断されたインストールがあります。以下のアプリケーションを終了してからインストールを実行してください。
Q0120006	[メッセージ]	アップデートを実行するには管理者権限が必要です。管理者権限を取得して続行しますか？「はい」を選択すると管理者権限を取得するためのダイアログが表示されません。
Q0130001	[メッセージ]	選択されたアップデート用のファイルを削除しますか？
Q0140006	[メッセージ]	ご使用の PC に、問い合わせ用の情報 / アップデート機能で使用する情報のファイルが複数存在します。 情報ファイルは唯一である必要があります。 本製品の情報ファイルと置き換えてよろしいですか？ 「はい」を選択すると、置き換えてインストールを続行します。 「いいえ」を選択すると、ここでインストールを中止します。
Q0140007	[メッセージ]	ご使用の PC に記録されている、問い合わせ用の情報 / アップデート機能で使用する情報のファイルと、本製品の情報ファイルが異なります。 情報ファイルは唯一である必要があります。 本製品の情報ファイルと置き換えてよろしいですか？ 「はい」を選択すると、置き換えてインストールを続行します。 「いいえ」を選択すると、置き換えずにインストールを続行します。
Q0140011	[メッセージ]	インストールを中止してもよろしいですか？
	[説明]	ウィザードの各画面で、[キャンセル] ボタンが押下されたときに表示されます。
Q0140035	[メッセージ]	以下のアプリケーションが起動中です。 アプリケーションを終了してから、[再試行] をクリックしてください。  - xxx - xxx
	[説明]	統合インストール / 統合アンインストールの操作中に、CubeSuite 関連ツールが起動されている場合に表示されます。
Q0180110	[メッセージ]	以下のライセンスを追加しますか？ ライセンス
	[説明]	追加するライセンスを確認します。

Q0181000	[メッセージ]	"xxxxxx" このライセンス・キーを削除すると、このライセンス・キーに依存している "yyyyyy" も削除されます。これらのライセンス・キーを削除しますか？
Q0181003	[メッセージ]	このライセンス・キーには、登録済みのライセンス "xxxxxx" が含まれています。 登録済みのライセンス・キーを削除し、このライセンス・キーを追加しますか？
Q0200001	[メッセージ]	処理を続けますか？
	[説明]	何らかの処理を続行するかどうかの確認時に表示されます。
	[対処方法]	[OK] : 処理を続けます。 [キャンセル] : 処理をキャンセルします。
Q0201001	[メッセージ]	xxx が変更されています。保存しますか？
	[説明]	内容が変更されたウインドウなどを閉じようとしたときに、内容を保存するかを確認するメッセージダイアログが表示されます。 xxx には、開いていた内容を表す文字列（ファイル名やパネル名）に置換して表示されます。 プロジェクトを閉じようとした場合、xxx を "" プロジェクト "" に置換して表示されます。 複数の要素が変更されていた場合は、" いくつかの情報 " に置換します。
	[対処方法]	[はい] : 開いていた内容を保存してウインドウなどを閉じます。 [いいえ] : 開いていた内容を破棄してウインドウなどを閉じます。 [キャンセル] : ウインドウは閉じず、そのままの状態となります。
Q0201002	[メッセージ]	xxx が他のプログラムによって変更されている可能性があります。上書き保存してよろしいですか？
	[説明]	ファイルを保存時、ファイルの更新日時が何らかの理由で開いたとき、または前回保存したときより新しくなっている場合に表示されます。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。
Q0201003	[メッセージ]	フォルダが存在しません。作成しますか？
	[説明]	ファイル作成時に、指定されたパスに含まれるフォルダが存在しない場合に、ユーザにフォルダを作成してもよいかを確認するために表示されます。
	[対処方法]	[はい] : フォルダを作成します。 [いいえ] : ダイアログを閉じます。

Q0201004	[メッセージ]	ファイルがすでに存在します。上書きしますか？
	[説明]	各種ダイアログにて、ファイル名を指定する欄がある場合に使用します。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。ファイルを上書きします。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。ファイルを上書きせず、フォーカスを元のダイアログに戻します。
Q0201005	[メッセージ]	現在、編集中のファイルをすべて保存しますか？
	[説明]	編集中のファイルを保存するかどうかユーザに問い合わせる場合に表示されます。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。
Q0201006	[メッセージ]	登録ファイルが外部ツールにより使用されている場合には、外部ツールを終了してください。処理を継続するには、OK ボタンを押してください。
	[説明]	外部ツールにて、編集中のファイルを保存するかどうかユーザに問い合わせる場合に表示されます。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。
Q0201007	[メッセージ]	xxxが他のプログラムによって変更されている可能性があります。ファイルを読み込みなおしますか？
	[説明]	ファイルに変更が加わった場合 (修正・削除・改名時) に表示されます。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。
Q0202001	[メッセージ]	プロジェクトの構成物を保存するのに、数分～数十分程度かかる場合があります。処理を開始しますか？
	[説明]	[プロジェクトと <製品名> をパックして保存 (K)...] メニュー選択時に表示されま す。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。



Q0202002	[メッセージ]	プロジェクト・ファイルが見つかりません。お気に入りのプロジェクトから、該当するプロジェクトを削除しますか？
	[説明]	お気に入りのプロジェクトを選択したときに、プロジェクト・ファイルが存在しなかった場合に表示されます。
	[対処方法]	[はい] : プロジェクトを削除します。 [いいえ] : 何もしません。
Q0203001	[メッセージ]	この個別コンパイル・オプションに現在のコンパイル・オプションを設定しますか？
	[説明]	個別コンパイルオプションを指定する際に表示されます。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。
Q0203002	[メッセージ]	この個別アセンブル・オプションに現在のアセンブル・オプションを設定しますか？
	[説明]	個別アセンブルオプションを指定する際に表示されます。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。
Q0203003	[メッセージ]	現在のコンパイル・オプションをアセンブル・オプションへコピーしますか？
	[説明]	コンパイルオプション"一括ビルドを行う"プロパティが"はい"から"いいえ"になったときに表示されます。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。
Q0206001	[メッセージ]	検索条件に該当するデータはありませんでした。指定範囲の xxx から検索しますか？
	[説明]	メモリ検索 ダイアログ、トレース検索 ダイアログで検索を行った結果、検索条件に該当するデータが見つからなかったときに、メッセージ ダイアログに表示されます。xxxには、"開始", または"終了"が表示されます。
	[対処方法]	[はい] : メッセージ ダイアログを閉じて、再度、検索範囲の先頭から検索を行います。 [いいえ] : メッセージ ダイアログを閉じて、元のダイアログにフォーカスを移動します。

Q0210001	[メッセージ]	デバッグ・ツールから切断してデバッグを終了しますか？
	[説明]	デバッグ・ツール接続中にメイン・ウインドウを閉じようとしたときに、デバッグ・ツールを切断するかどうかを確認するメッセージダイアログが表示されます。 デバッグ・ツール接続中にプロジェクトを閉じるときに表示されます。 デバッグ・ツール接続中にプロジェクトを開くとき、新しく作成するときに表示されます。
	[対処方法]	[はい] : 切断してメイン・ウインドウを閉じます。 [いいえ] : 切断しないままメイン・ウインドウを閉じます。 [キャンセル] : メイン・ウインドウを閉じる処理をキャンセルします。
Q0210002	[メッセージ]	デバッグ・ツールのセキュリティ ID も変更しますか？
	[説明]	ビルド・ツールの [セキュリティ ID] プロパティを変更時に、デバッグ・ツールのセキュリティ ID も変更するかどうかを確認します。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。
Q0210004	[メッセージ]	デバッグ・ツールのプログラマブル I/O 領域 開始アドレスも変更しますか？
	[説明]	ビルド・ツールの [プログラマブル I/O 領域 開始アドレス] プロパティを変更したときに、デバッグ・ツールのプログラマブル I/O 領域 開始アドレスも変更するかどうかを確認するために表示されます。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。
Q0210005	[メッセージ]	カバレッジ情報をすべてクリアしますがよろしいですか？
	[説明]	カバレッジ情報をクリアするときに表示されます。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。
Q0212001	[メッセージ]	指定のターゲット・メモリ領域には、I/O 保護領域が設定されています。I/O 保護領域も削除しますか？
	[説明]	ターゲット・メモリ領域を削除しようとしたとき、その領域上に I/O 保護領域が設定されている場合に表示されます。
	[対処方法]	[OK] : コマンドを実行します。 [キャンセル] : コマンドをキャンセルします。

Q0225001	[メッセージ]	このシート上のすべてのプロパティ値を既定値に戻しますがよろしいですか？
	[説明]	[プロパティ] → [すべてデフォルトに戻す] コマンドを実行したときに、ユーザに確認を求めます。
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。
Q0232001	[メッセージ]	ビルド・モード xxx を削除しますか？
	[説明]	ビルド・モードを削除しようとしたときに表示されます。
	[対処方法]	[OK] : コマンドを実行します。 [キャンセル] : コマンドをキャンセルします。
Q0261001	[メッセージ]	指定されたセグメントにはセクションが設定されています。セクションも削除しますか？
	[説明]	セグメントを削除しようとしたとき、削除対象のセグメントがセクションを保持していた場合に表示されます。
	[対処方法]	[はい] : セクションごとに削除します。 [いいえ] : 削除処理をキャンセルします。
Q0262001	[メッセージ]	CubeSuite では、流用元プロジェクトと同じフォルダに、新しいプロジェクトを作成することを推奨しています。作成場所を変更しますか？ (推奨) 現在の作成先フォルダ : xxx 推奨の作成先フォルダ (流用元のプロジェクト・フォルダ) : yyy ※作成するプロジェクト・フォルダと、流用元のプロジェクト・フォルダが異なっている場合、パス解決に失敗しビルド・エラーとなる可能性があります。
	[説明]	プロジェクト作成 ダイアログにて、作成先と流用元のプロジェクト・フォルダが異なっていて、ソース・コンバータを行えるパターンのときに、作成するプロジェクト・フォルダを変更してよいか確認を求めます。
	[対処方法]	[はい] : 作成先フォルダを流用元プロジェクト・フォルダに変更し、ソース・コンバート処理へ進みます。 [いいえ] : 作成さきフォルダを変更せずに、ソース・コンバート処理へ進みます。 [キャンセル] : ソース・コンバート処理へ進まず、プロジェクト作成 ダイアログへ戻ります。
Q0300001	[メッセージ]	外部周辺 <外部周辺名> と接続されています。設定 を変更すると、外部周辺との接続が切断されます。設定を変更しますか？
	[対処方法]	[はい] : 外部周辺との接続を切断して、設定を変更します。 [いいえ] : 設定を変更せずにダイアログを閉じます。

Q0300002	[メッセージ]	端子番号 < 端子番号 > は < マクロ機能 > で使用中です。設定を変更しますか？
	[対処方法]	[はい] : 設定を変更します。 [いいえ] : 設定を変更せずにダイアログを閉じます。
Q0300003	[メッセージ]	“ < 列の名前 > ” 列を削除します。よろしいですか？
	[対処方法]	[はい] : 列を削除します。 [いいえ] : 列を削除せずにダイアログを閉じます。
Q0300004	[メッセージ]	外部周辺 < 外部周辺名 > を削除しますか？削除すると外部周辺に接続している端子は切断されます。
	[対処方法]	[はい] : 外部周辺を削除します。接続していた端子は切断します。 [いいえ] : 設定を変更せず元の状態に戻ります。
Q0300005	[メッセージ]	パッケージを変更すると端子配置で行ったすべての設定を破棄します。 パッケージを変更しますか？
	[対処方法]	[はい] : パッケージを変更します。端子設定、外部周辺を初期状態に戻します。 [いいえ] : 設定を変更せず、元の状態に戻ります。
Q0300006	[メッセージ]	端子番号 < 端子番号 > を外部周辺 < 外部周辺名 > から切断します。よろしいですか？
Q0300007	[メッセージ]	< ファイル名 > はすでに存在します。上書きしますか？
Q0300008	[メッセージ]	外部周辺と接続されている端子があります。設定を変更すると外部周辺との接続が切断されます。設定を変更しますか？
Q0300009	[メッセージ]	他で使用中の端子があります。すべての端子の設定を変更してもよろしいですか？
Q0404000	[メッセージ]	xxxが変更されています。保存しますか？
Q0801001	[メッセージ]	ファイルがすでに存在します。上書きしますか？
	[対処方法]	[はい] : コマンドを実行します。ファイルを上書きします。 [いいえ] : コマンドをキャンセルします。ファイルを上書きせず、フォーカスを元のダイアログに戻します。

Q0824001	[メッセージ]	検索条件に該当するデータはありませんでした。xxx から検索しますか？
	[説明]	解析グラフの値の推移で検索したときに、検索方向に検索条件に一致するデータがない場合に表示されます。 xxxには、"先頭", または "最後" が表示されます。
	[対処方法]	[はい]: メッセージ ダイアログを閉じて、再度、検索範囲の先頭/最後から検索を行います。 [いいえ]: メッセージ ダイアログを閉じて、元のダイアログにフォーカスを移動します。
Q0826001	[メッセージ]	この形式で画像を保存すると、ファイル・サイズが巨大になる可能性があります。
	[説明]	ファイル・サイズが大きくなることを警告して、本当に保存するか確認します。
	[対処方法]	[OK]: コマンドを実行し、画像を保存します。 [キャンセル]: コマンドをキャンセルし、何もしません。
Q1001015	[メッセージ]	ターゲット・マイクロコントローラからセキュリティ設定状態を取得しました。この設定状態をターゲット・セキュリティ設定へ反映させる場合は OK ボタンを押してください。

## 6.6 ワーニング

表 6 6 ワーニング

W0022	[メッセージ]	Same category option specified - ignored 'オプション'
	[説明]	相反するオプションが重複して指定されました。 Cコンパイラは、後に指定されたオプションを有効として処理を続けます。
W0023	[メッセージ]	Incompatible chip name
	[説明]	コマンド行上のデバイス種別とソース中のデバイス種別が異なります。 コマンド行上のデバイス種別が優先されます。
W0029	[メッセージ]	'-QC' option is not portable
	[説明]	-qc オプションは、ANSI 準拠ではありません (-qc についての詳細は、「CubeSuite ビルド編」を参照してください)。
W0031	[メッセージ]	'-ZP' option is not portable
	[説明]	-zp オプションは、ANSI 準拠ではありません (-zp についての詳細は、「CubeSuite ビルド編」を参照してください)。
W0032	[メッセージ]	'-ZC' option is not portable
	[説明]	-zc オプションは、ANSI 準拠ではありません (-zc についての詳細は、「CubeSuite ビルド編」を参照してください)。
W0033	[メッセージ]	【78K0R】 Same category option specified 'オプション'
	[説明]	【78K0R】 相反するオプションが重複して指定されました。
	[対処方法]	【78K0R】 Please enter ' cc78k0r -- ' if you want help message が表示されます。 --/?/-H オプションを使用し、ヘルプ・ファイルなどを参照し、正しい入力を行ってください。
W0036	[メッセージ]	【78K0】 '-ZI' option is not portable
	[説明]	【78K0】 -zi オプションは、ANSI 準拠ではありません (-zi についての詳細は、「CubeSuite ビルド編」を参照してください)。
W0037	[メッセージ]	【78K0】 '-ZL' option is not portable
	[説明]	【78K0】 -zl オプションは、ANSI 準拠ではありません (-zl についての詳細は、「CubeSuite ビルド編」を参照してください)。
W0038	[メッセージ]	【78K0】 '-ZI' option specified - regarded as '-QC'
	[説明]	【78K0】 int と short を char とみなすオプション (-zi) が指定されたため、int 拡張抑制最適化オプション (-qc) を有効とします。
W0039	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified - regarded as '-ZL'
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されたため、long を int とみなすオプション (-zl) を有効とします。
W0040	[メッセージ]	【78K0】 '-RK' option required '-SM' - ignored '-RK'
	[説明]	【78K0】 ローカル変数最適化オプション (-rk) は、スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されたときのみ有効です。 ローカル変数最適化オプション (-rk) は無視されます。

W0041	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified - ignored '-QR'
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されたため、レジスタ最適化オプション (-qr) は無視されます。
W0045	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified - ignored '-ZR'
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されたため、パスカル関数インタフェース指定オプション (-zr) は無視されます。
W0046	[メッセージ]	【78K0】 '-ZF' option specified -regarded as '-QL1'
	[説明]	【78K0】 フラッシュ領域のオブジェクト作成オプション (-zf) が指定されたため、定型コード・パターンのライブラリ置き換えオプション (-ql) で、-ql2 以降は -ql1 とみなされます。
	[メッセージ]	【78K0R】 '-ZX2' option specified -regarded as '-QL1'
	[説明]	【78K0R】 RAM 配置用オブジェクト作成オプション (-zx2) が指定されたため、定型コード・パターンのライブラリ置き換えオプション (-ql) で、-ql2 以降は -ql1 とみなされます。
W0054	[メッセージ]	【78K0】 '-ZF' option specified -ignored '-ZD'
	[説明]	【78K0】 フラッシュ領域のオブジェクト作成オプション (-zf) が指定されたため、プロローグ/エピローグ対応ライブラリ使用オプション (-zd) は無視されます。
W0055	[メッセージ]	【78K0】 '-ZM' option required '-SM' -ignored '-ZM'
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル拡張仕様オプション (-zm) は、スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されたときのみ有効です。 -zm オプションは無視されます。
W0056	[メッセージ]	【78K0】 This chip does not support bank function - ignored bank function
	[説明]	【78K0】 指定したデバイスはバンク機能をサポートしていません。 バンク機能は無視されます。
W0057	[メッセージ]	【78K0】 '-MF' option specified for bank function - ignored '-ZR'
	[説明]	【78K0】 バンク機能をサポートするための関数情報ファイル指定オプション (-mf) が指定されたため、パスカル関数インタフェース指定オプション (-zr) は無視されます。
W0058	[メッセージ]	【78K0】 '-MF' option specified for bank function - ignored '-SM'
	[説明]	【78K0】 バンク機能をサポートするための関数情報ファイル指定オプション (-MF) が指定されたため、スタティック・モデル指定オプション (-sm) は無視されます。
W0059	[メッセージ]	【78K0】 '-MF' option specified for bank function - ignored '-ZM'
	[説明]	【78K0】 バンク機能をサポートするための関数情報ファイル指定オプション (-mf) が指定されたため、スタティック・モデル拡張仕様オプション (-zm) は無視されます。
W0060	[メッセージ]	【78K0】 Function Information File : Illegal description for 'シンボル'
	[説明]	【78K0】 関数情報ファイル中の記述に不整合があります。
W0063	[メッセージ]	【78K0】 Function Information File : Function ('関数名') does not exist in 'ソース・ファイル名'
	[説明]	【78K0】 関数情報ファイル中にソース・ファイルには存在しない関数が指定されています。この関数情報指定は無視されます。

W0064	[メッセージ]	【78K0】 Function Information File : Deleted function ('関数名') in 'ソース・ファイル名',
	[説明]	【78K0】 ソース・ファイルには存在しない関数の記述を関数情報ファイルから削除しました。
W0065	[メッセージ]	【78K0】 '-QW3' option deleted - regarded as '-QW2'
	[説明]	【78K0】 最適化指定オプション (-qw3) は削除されたため、-qw2 を有効とします。
W0067	[メッセージ]	【78K0R】 'オプション' option deleted - ignored
	[説明]	【78K0R】 削除されたオプションが指定されました。'オプション' は無視されます。
W0068	[メッセージ]	【78K0R】 'オプション1' option deleted - regarded as 'オプション2'
	[説明]	【78K0R】 'オプション1' は削除されたため、'オプション2' を有効にします。
W0070	[メッセージ]	【78K0R】 Functions are treated as far function
	[説明]	【78K0R】 フラッシュ領域の先頭アドレスとミラー元領域のアドレスの関係から、関数を far 領域に配置します。-zx 指定時は、関数を far (RAM) 領域に配置します。
W0071	[メッセージ]	【78K0R】 ROM data are treated as far data - regarded as '-RF'
	[説明]	【78K0R】 フラッシュ領域の先頭アドレスとミラー元領域のアドレスの関係から、ROM データの const 修飾型変数、文字列リテラル、集成型自動変数の初期値、switch 文の分岐テーブルを far 領域に配置し、-rf オプションを指定したとみなします。
	[対処方法]	【78K0R】 フラッシュ領域の先頭アドレスをミラー元領域内に指定するか、-rf オプションを指定してください。
W0072	[メッセージ]	【78K0R】 Please check standard library function
	[説明]	【78K0R】 ROM データ配置指定オプション (-rf/-rn) やフラッシュ領域指定オプション (-zt/-zz) により、ROM データを指すポインタと RAM データを指すポインタは異なるサイズになりました。一部の標準ライブラリのインタフェースが合わなくなります。 ROM データ配置指定オプションやフラッシュ領域指定オプションについての詳細は、「CubeSuite ビルド編」を参照してください。
	[対処方法]	【78K0R】 const 変数へのポインタを引数に持つ標準ライブラリは、末尾に "_f" を付けた関数名で呼び出してください。 このメッセージは標準ライブラリの使用、未使用にかかわらず常に表示されます。
W0073	[メッセージ]	【78K0R】 Combination of "ROM データ配置指定/フラッシュ領域指定オプション" and "メモリ・モデル・オプション" does not conform to ANSI C
	[説明]	【78K0R】 ROM データ配置指定オプション (-rf/-rn) やフラッシュ領域指定オプション (-zt/-zz) により、ROM データを指すポインタと RAM データを指すポインタは異なるサイズになりました。ANSI 準拠ではなくなります。 ROM データ配置指定オプションやフラッシュ領域指定オプションについての詳細は、「CubeSuite ビルド編」を参照してください。
	[対処方法]	【78K0R】 ROM データを指すポインタは、const 修飾をつけてください。ROM データ、RAM データ両方を指すポインタは、__far 修飾子をつけてください。 このメッセージは、ROM データを指すポインタと RAM データを指すポインタのサイズが異なる場合、常に表示されます。



W0075	[メッセージ]	【78K0】 '-MA' option specified - ignored '-RD'
	[説明]	【78K0】 変数情報ファイル指定オプション (-ma) が指定されたため、外部変数/外部 static 変数の saddr 自動割り当てオプション (-rd) を無視します。
	[メッセージ]	【78K0R】 '-MA' option specified - ignored '-RD'
	[説明]	【78K0R】 変数/関数情報ファイル指定オプション (-ma) が指定されたため、外部変数/外部 static 変数の saddr 自動割り当てオプション (-rd) を無視します。
W0076	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified -regarded as '-QL4'
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル (-SM) が指定されたため、定型コード・パターンのライブラリ置換オプション (-QL) で、-QL5 は -QL4 とみなします。
W0203	[メッセージ]	Trigraph encountered
	[説明]	トライグラフ・シーケンス (3 文字表記) がありました。
	[対処方法]	-za オプションを指定した場合は、トライグラフ・シーケンスが有効となるため、このワーニングは出力されません。
W0304	[メッセージ]	Identifier truncate to '識別子'
	[説明]	指定された識別子が長すぎます。識別子が “_” (アンダスコア) を含め 250 文字を越えました。
	[対処方法]	識別子の長さを短くしてください。
W0309	[メッセージ]	Unused '変数名'
	[説明]	指定された変数はソース中で宣言されていますが、まったく使われていません。
W0310	[メッセージ]	'変数名' is assigned a value which is never used
	[説明]	指定された変数は代入文には使われていますが、その他ではまったく使われていません。
W0320	[メッセージ]	No null terminator in string literal
	[説明]	文字列リテラル中にヌル文字を付加していません。
W0328	[メッセージ]	Unrecognized character escape sequence '文字'
	[説明]	エスケープ・シーケンスとして正しく認識することができません。
W0330	[メッセージ]	【78K0】 '-ZI' option specified-int & short are treated as char in this file
	[説明]	【78K0】 -zi オプションが指定されました。ファイル中の int、および short の記述は char とみなします。
W0331	[メッセージ]	【78K0】 '-ZL' option specified-long is treated as int in this file
	[説明]	【78K0】 -zl オプションが指定されました。ファイル中の long の記述は int とみなします。
W0332	[メッセージ]	【78K0R】 Non-supported keyword found-ignored '関数属性子' in this file
	[説明]	【78K0R】 サポートしないキーワードを検出しました。ファイル中の関数属性子は無視します。
W0333	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified-ignored '関数属性子' keyword in this file
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されました。ファイル中の関数属性子は無視されます。

W0335	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified-long constant is treated as int constant
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されました。 long 定数の記述は int 定数とみなされます。
W0339	[メッセージ]	【78K0】 '__temp' required '-SM -ZM' -ignored '__temp' in this file
	[説明]	【78K0】 テンポラリ変数指定キーワード __temp は、スタティック・モデル指定オプション (-sm) と、スタティック・モデル拡張仕様オプション (-zm) が指定されたときのみ有効です。 このファイルでは、__temp キーワードは無視されます。
W0340	[メッセージ]	Unreferenced label 'ラベル名'
	[説明]	指定されたラベルは定義済みですが、一度も参照されていません。
W0401	[メッセージ]	Conversion may lose significant digits
	[説明]	long から int への変換などが行われています。値が失われる可能性がありますので、注意してください。
W0410	[メッセージ]	Illegal pointer conversion
	[説明]	ポインタとポインタ以外のものの変換が行われています。
W0411	[メッセージ]	Illegal pointer combination
	[説明]	ポインタ同士で異なる型のを混合して使用しています。
W0412	[メッセージ]	Illegal pointer combination in conditional expression
	[説明]	ポインタ同士で異なる型のを条件式に使用しています。
W0413	[メッセージ]	Illegal structure pointer combination
	[説明]	型の異なる構造体へのポインタを混合して使用しています。
W0415	[メッセージ]	【78K0R】 Conversion may lose significant digits for far pointer
	[説明]	【78K0R】 far ポインタから near ポインタ、int への変換などが行われています。 値が失われる可能性がありますので、注意してください。
W0416	[メッセージ]	【78K0R】 Illegal type and size (far/near) pointer combination
	[説明]	【78K0R】 ポインタ同士で異なる型、異なるサイズ (far ポインタ / near ポインタ) のものを混合して使用しています。
W0417	[メッセージ]	【78K0R】 Illegal type and size (far/near) pointer combination in conditional expression
	[説明]	【78K0R】 ポインタ同士で異なる型、異なるサイズ (far ポインタ / near ポインタ) のものを条件式に使用しています。
W0418	[メッセージ]	【78K0R】 Illegal structure and size (far/near) pointer combination
	[説明]	【78K0R】 構造体へのポインタ同士で、異なる型、異なるサイズ (far ポインタ / near ポインタ) のものを混合して使用しています。
W0503	[メッセージ]	Possible use of '変数名' before definition
	[説明]	変数に値が代入される前に、その変数を使用しています。
W0504	[メッセージ]	Possibly incorrect assignment
	[説明]	if, while, do 文などで条件式の主な演算子が代入演算子です。

W0505	[メッセージ]	Operator '演算子' has no effect
	[説明]	演算子にコマンド上の作用がありません。 記述ミスと思われます。
W0508	[メッセージ]	Too many actual arguments
	[説明]	関数呼び出しで指定された引数の数が、引数の型のリスト、または関数定義で指定されたパラメータの数より多い状態です。
W0509	[メッセージ]	Too few actual arguments
	[説明]	関数呼び出しで指定された引数の数が、引数の型のリスト、または関数定義で指定されたパラメータの数より少ない状態です。
W0510	[メッセージ]	Pointer mismatch in function '関数名'
	[説明]	与えられた引数が、引数の型のリストや関数定義で指定されたものとは異なるポインタの型を持ちます。
W0511	[メッセージ]	Different argument types in function '関数名'
	[説明]	関数の呼び出しで与えられた引数の型が、引数の型のリストや関数定義と一致していません。
W0522	[メッセージ]	Ambiguous operators need parentheses
	[説明]	2つのシフト、関係、ビット論理演算子が、かっこなしに連続して現れています。
W0528	[メッセージ]	'&' is not allowed array/function , ignored
	[説明]	配列名や関数名に&演算子をつける必要はありません。
W0540	[メッセージ]	Constant out of range in comparison
	[説明]	定数部分式が、もう一方の部分式の型によって許される範囲外の値と比較されています。
W0543	[メッセージ]	【78K0】 Undeclared parameter in noauto or norec function prototype
	[説明]	【78K0】 noauto, norec 関数のプロトタイプ宣言において、パラメータの宣言がされていません。
W0552	[メッセージ]	Undeclared parameter in __flashf function prototype
	[説明]	__flashf 関数のプロトタイプ宣言において、パラメータが宣言されていません。
W0553	[メッセージ]	【78K0R】 '-MA' option specified - undeclared parameter in function prototype
	[説明]	【78K0R】 変数/関数情報ファイル指定オプション (-ma) が指定されました。 アクセス頻度の高い関数を自動的に callt 関数に置き換えるため、関数ポインタのサイズが変わります。プロトタイプ宣言を引数の型宣言まで含めて正確に記述していない場合は、動作は保証されません
	[対処方法]	【78K0R】 関数のプロトタイプ宣言は、引数の型宣言を含めて記述してください。
W0613	[メッセージ]	Loop entered at top of switch
	[説明]	switch 文の直後に while, do, forなどを指定しています。
W0615	[メッセージ]	Statement not reached
	[説明]	絶対に到達しない文があります。

W0622	[メッセージ]	No return value
	[説明]	値を返すべき関数が値を返していません。
	[対処方法]	値を返す必要がある場合は return 文を追加し、値を返す必要がなければ void 型の関数にしてください。
W0714	[メッセージ]	Too many register variables
	[説明]	レジスタ変数の宣言が多すぎます。
	[対処方法]	レジスタ変数を減らしてください。使用可能なレジスタ変数の数については、「CubeSuite コーディング編」のユーザーズ・マニュアルを参照してください。
W0721	[メッセージ]	Illegal type for register declaration
	[説明]	register 宣言が、許されない型に指定されています。 C コンパイラは、register 宣言を無視して処理を継続します。
W0725	[メッセージ]	Illegal zero sized structure member
	[説明]	構造体のメンバとして取られている領域が確保されていません。
W0744	[メッセージ]	Zero sized array ' 配列名 '
	[説明]	定義した配列の要素数が 0 です。
W0745	[メッセージ]	Expected function prototype
	[説明]	関数プロトタイプ宣言がありません。
W0748	[メッセージ]	A function is declared as a parameter
	[説明]	関数が引数として宣言されています。
W0749	[メッセージ]	Unused parameter ' パラメータ名 '
	[説明]	パラメータが使用されていません。
W0752	[メッセージ]	Undeclared initializer name ' 名前 '
	[説明]	初期化子名が宣言されていません。
W0760	[メッセージ]	Double and long double are treated as IEEE 754 single format
	[説明]	double, long double は、IEEE 754 の単精度フォーマットで処理します。
W0761	[メッセージ]	Cannot declare sreg with const or function
	[説明]	const 宣言されたもの、または関数に、sreg 宣言することができません。 sreg 宣言は無視されます。
W0762	[メッセージ]	Overlapped memory area ' 変数名 1 ' and ' 変数名 2 '
	[説明]	絶対番地配置指定が行われた変数名 1 と変数名 2 の領域が重複しています。
W0763	[メッセージ]	Cannot declare const with bit, boolean
	[説明]	bit, boolean 型変数は、const 宣言することができません。 const 宣言は無視されます。
W0764	[メッセージ]	' 変数名 ' initialized and declared extern-ignored extern
	[説明]	実体がなく、外部参照している変数を初期化しました。 extern 宣言は無視されます。
W0779	[メッセージ]	【78K0】 Not call ext_tsk in rtos_task
	[説明]	【78K0】 RTOS タスクにおいて、ext_tsk システム・コールを呼び出していません。

W0786	[メッセージ]	【78K0】 '-SM' option specified-undeclared parameter in function prototype
	[説明]	【78K0】 スタティック・モデル指定オプション (-sm) が指定されました。関数プロトタイプ宣言において、パラメータの宣言がされていません。
W0787	[メッセージ]	Bit field type is not int
	[説明]	ビット・フィールドの型に int 型以外の型が指定されています。
	[対処方法]	ビット・フィールドの型を int 型で指定してください。
W0792	[メッセージ]	【78K0】 Undeclared parameter in __pascal function definition or prototype
	[説明]	【78K0】 __pascal 関数定義、またはプロトタイプ宣言において、パラメータが宣言されていません。 パラメータがない場合は void を明記する必要があります。
W0793	[メッセージ]	【78K0】 Variable parameters are not allowed for __pascal function - ignored __pascal
	[説明]	【78K0】 __pascal 関数には、可変長パラメータを指定することはできません。 __pascal キーワードは無視されます。
W0804	[メッセージ]	Unexpected characters following 'プリプロセス指令' directive - newline expected
	[説明]	プリプロセス指令の後に余分な文字があります。
W0816	[メッセージ]	Redefined macro name 'マクロ名'
	[説明]	マクロ名が再定義されています。
W0817	[メッセージ]	Redefined system macro name 'マクロ名'
	[説明]	システム・マクロ名が再定義されています。
W0819	[メッセージ]	Mismatch number of parameter 'マクロ名'
	[説明]	#define で定義したパラメータの数と参照するときのパラメータの数が異なっています。
W0824	[メッセージ]	Identifier truncate to 'マクロ名'
	[説明]	マクロ名が長すぎます。 表示されている 'マクロ名' に短縮されます。
W0825	[メッセージ]	Macro recursion 'マクロ名'
	[説明]	#define 定義がリカーシブになっています。
W0829	[メッセージ]	Unrecognized pragma '文字列'
	[説明]	この文字列はサポートしていません。
	[対処方法]	キーワードなどが間違っていないか確かめてください。 #pragma section で間違ったセグメントを指定した場合もこのワーニングになります。
W0832	[メッセージ]	【78K0】 Duplicated chip specifier
	[説明]	【78K0】 デバイス種別指定が重複しています。
W0835	[メッセージ]	Too many characters in assembler source line
	[説明]	アセンブラ・ソースの 1 行が長すぎます。
W0836	[メッセージ]	Expected assembler source
	[説明]	#asm と #endasm の間にアセンブラ・ソースがありません。

W0837	[メッセージ]	Output assembler source file , not object file
	[説明]	#asm ブロック, または __asm 文があります。 オブジェクト・ファイルの代わりにアセンブラ・ソースを出力します。
	[対処方法]	#asm, および __asm 文記述をオブジェクト・ファイルに出力するために -a, または -sa オプションを指定し, 出力アセンブラ・ファイルのアセンブルしてください。
W0840	[メッセージ]	【78K0】 Undefined interrupt function '関数名' - ignored BANK or SP_SWITCH or LEAFWORK specified
	[説明]	【78K0】 定義のない割り込み関数に対して, 退避先が指定されています。 レジスタ・バンク指定, スタック切り替え指定, あるいは LEAFWORK 指定は無視されます。
	[メッセージ]	【78K0R】 Undefined interrupt function '関数名' - ignored BANK or SP_SWITCH specified
	[説明]	【78K0R】 定義のない割り込み関数に対して, 退避先が指定されています。 レジスタ・バンク指定, スタック切り替え指定は無視されます。
W0846	[メッセージ]	Rechanged section name 'セクション名'
	[説明]	同じセクション名に対し, 重複して変更指定しています。 C コンパイラは, 後に指定されたセクション名を有効として処理を続けます。
W0849	[メッセージ]	#pragma statement is not portable
	[説明]	#pragma 文は ANSI 準拠ではありません。
W0850	[メッセージ]	Asm statement is not portable
	[説明]	ASM 文は ANSI 準拠ではありません。
W0851	[メッセージ]	Data aligned in '領域名'
	[説明]	セグメント領域あるいは構造体タグをデータ・アラインします。領域名は, セグメント名, あるいは構造体タグです。
W0852	[メッセージ]	Module name truncate to 'モジュール名'
	[説明]	指定されたモジュール名が長すぎます。 表示された 'モジュール名' に短縮されます。
W0856	[メッセージ]	Rechanged module name 'モジュール名'
	[説明]	重複してモジュール名を指定しています。
W0857	[メッセージ]	Section name truncate to 'セクション名'
	[説明]	指定されたセクション名が長すぎます。 表示された 'セクション名' に短縮されます。 セクション名は, 8 文字以内にしてください。
W0869	[メッセージ]	'セクション名' section cannot change after C body
	[説明]	指定したセクションは, C の本文記述後に変更することはできません。
W0870	[メッセージ]	Data aligned before '変数名' in 'セクション名'
	[説明]	'セクション名' 中に配置される '変数名' の前でデータ・アラインします。
W0871	[メッセージ]	Data aligned after '変数名' in 'セクション名'
	[説明]	'セクション名' 中に配置される '変数名' の後でデータ・アラインします。

W0872	[メッセージ]	【78K0R】 Unrecognized pragma EXT_TABLE - please specify '-ZT' option
	[説明]	【78K0R】 #pragma ext_table 指令は使用できません。
	[対処方法]	【78K0R】 -zt オプションを指定してください。
W0915	[メッセージ]	Asm statement found. skip to jump optimize this function' 関数名'
	[説明]	#asm ブロック、または __asm 文が検出されました。 この関数はジャンプ最適化を行いません。W0837 の処置を行ってください。
W1111	[メッセージ]	sorry, not implemented option 'option', ignored
	[説明]	オプション option はサポートしていません。無視されます。
W1112	[メッセージ]	-G option needs size(>=0): ignored
	[説明]	-G オプションには、続けてサイズの指定が必要です。∞（無限大）が指定されたものとみなしました。
W1114	[メッセージ]	file 'file' with unknown suffix passed to ld
	[説明]	ファイル file は不明な拡張子のファイルです。ld850 へ渡します。
W1116	[メッセージ]	sorry, 'suffix' file not supported, ignored
	[説明]	拡張子が suffix のファイルはサポートしていません。無視されます。
W1119	[メッセージ]	option1 option overrides option2 option.
	[説明]	オプション option1 を指定したことによりオプション option2 が無効になりました。
W1120	[メッセージ]	option1 option obsolete, use option2 instead
	[説明]	オプション option1 は旧式のオプションです。オプション option2 を使用してください。
W1123	[メッセージ]	'option1' option ignored, for 'option2' option
	[説明]	オプション option2 が指定されたのでオプション option1 は無視されます。
W1126	[メッセージ]	-cn option must be used with V850 core, used -cnv850e option instead
	[説明]	オプション -cn は V850 コアのデバイスで使用しなければなりません。代わりにオプション -cnv850e が使用されます。
W1127	[メッセージ]	'option' option is not supported for V850 core.
	[説明]	オプション option は V850 コアのデバイスではサポートしていません。
W1128	[メッセージ]	cannot find programmable peripheral I/O registers, ignored
	[説明]	プログラマブル周辺 I/O レジスタが見つかりません。オプションは無視されます。
W1129	[メッセージ]	-cn option must be used with V850 core, used -cnv850e2 option instead
	[説明]	オプション -cn は、V850 コアのデバイスで使用しなければなりません。代わりにオプション -cnv850e2 が使用されます。
W1130	[メッセージ]	-cnv850e option must be used with V850E core, used -cnv850e2 option instead
	[説明]	オプション -cnv850e は、V850Ex コアのデバイスで使用しなければなりません。代わりにオプション -cnv850e2 が使用されます。
W1305	[メッセージ]	cannot remove temporary directory 'dir'
	[説明]	テンポラリ・ファイル作成のために用意した作業用フォルダ dir を削除できません。
W1307	[メッセージ]	cannot unlink temporary file 'file'
	[説明]	テンポラリ・ファイル file を削除できません。



W1308	[メッセージ]	output file of <i>option1</i> overrides output file of <i>option2</i>
	[説明]	オプション <i>option2</i> の出力ファイルを指定したことにより、オプション <i>option1</i> の出力ファイルが上書きされます。
W2015	[メッセージ]	illegal warning message number ' <i>num</i> ' specified by ' <i>option</i> '
	[説明]	<i>option</i> で指定された <i>num</i> は正しい警告メッセージ番号ではありません。
W2042	[メッセージ]	illegal argument for <i>_rcopy</i>
	[説明]	コピー・ルーチン <i>_rcopy</i> の引数が不正です。
W2044	[メッセージ]	cannot expand <i>func</i> for illegal argument
	[説明]	関数 <i>func</i> の引数の不正のため、インライン展開を行いません。
W2107	[メッセージ]	Non empty file is expected to end in new-line character.
	[説明]	空ではないファイルは、改行文字で終了してください。
W2127	[メッセージ]	redefined macro name ' <i>name</i> '
	[説明]	マクロ名 <i>name</i> が再定義されています。あとから定義されたものが有効になります。
W2132	[メッセージ]	macro recursion ' <i>name</i> '. Macro is expanded only one time.
	[説明]	マクロ再帰があります。マクロは一度しか展開されません。
W2150	[メッセージ]	unexpected character(s) following directive ' <i>directive</i> '
	[説明]	前処理指令 <i>directive</i> の後ろに余分なトークンがあります。余分なトークンは無視されます。
W2161	[メッセージ]	unexpected non-whitespace before preprocessing directive
	[説明]	前処理指令の前に空白文字類以外の文字があります。
W2162	[メッセージ]	unrecognized pragma directive '#pragma <i>directive</i> ', ignored
	[説明]	#pragma <i>directive</i> は認識されません。このプラグマ指令は無視されます。
W2163	[メッセージ]	Digit sequence after '#line' is interpreted as a decimal interger.
	[説明]	#line に続く数字列は 10 進数として解釈されます。
W2166	[メッセージ]	recognized pragma directive '#pragma <i>directive</i> '
	[説明]	前処理指令は #pragma <i>directive</i> と認識されます。
W2172	[メッセージ]	constant out of range
	[説明]	定数値が表現できる範囲を越えています。下位の有効な桁数分だけが指定されたものとみなします。
	[具体例]	定数値が型に対して表現できる範囲を越えた場合に表示されます。 例 char 型変数に対して 0xff 以上の値の代入
W2176	[メッセージ]	hexadecimal digit out of range
	[説明]	16 進数値で表現できる範囲を越えています。この処理系では最後の 2 文字を有効とします。
W2180	[メッセージ]	cannot convert <i>code1</i> code into <i>code2</i> code (data <i>data1 data2 data3</i> )
	[説明]	<i>code1</i> から <i>code2</i> へのコード変換ができません。 <i>code1</i> : ホスト環境の文字コード <i>code2</i> : 実行環境の文字コード <i>data*</i> : 変換できなかったデータ (16 進表記)



W2181	[メッセージ]	undefined escape character ( <i>code</i> )
	[説明]	未定義のエスケープ文字です。
W2212	[メッセージ]	Declaration of <i>name</i> hides parameter.
	[説明]	引数と同名のシンボル <i>name</i> の宣言があるために、シンボルを有効とし、引数の宣言が隠されます。この警告メッセージは -ansi オプション指定時、E2211 のエラー・メッセージとなります。
W2215	[メッセージ]	Undeclared function ' <i>function</i> ' is called.
	[説明]	宣言のない関数 <i>function</i> が呼ばれました。このメッセージは、-w2 指定時のみ表示されます。
W2216	[メッセージ]	Nothing is declared.
	[説明]	宣言子が何も指定されていません。
W2222	[メッセージ]	Plain int bitfield is treated as unsigned int.
	[説明]	単なる int のビット・フィールドを unsigned int とみなします。
W2231	[メッセージ]	Initialization of non-auto pointer using non-number initializer is not position independent.
	[説明]	自動変数ではないポインタ変数の値以外の初期値を用いた初期化の指示に対するコードは、ポジション・インディペンデントではありません。 このメッセージは、-w2 指定時のみ表示されます。
	[具体例]	自動変数ではないポインタ変数値以外の値を初期値として用い、初期化指示に対するコードが存在する場合に表示されます。ポジション・インディペンデント・コード (PIC) 用にサポートされた警告メッセージです。 例 <pre>int *ip = &amp;i;</pre> 上記の初期化は、ip が自動変数ならば、実行時に値が代入されるので PIC となります。ip が自動変数でなければ、コンパイル時に値が決まり、PIC にはならないので、この警告メッセージを出力します。 CA850 で、プログラムを TEXT セグメント、変数を DATA セグメントに配置した場合、プログラムの分岐や、変数の参照は TP レジスタ、GP レジスタ相対のコードになります。これは、実行時、リンク時に配置したアドレスとは異なるアドレスにコピーされたとしても、TP レジスタ、GP レジスタの値を設定し直せば、正常に動作するプログラムになります。 PIC とは、配置されたアドレスに依存しないコードのことになります。そのため、外部変数であるポインタ変数にアドレスを初期値として代入する場合には、リンク時のアドレスが代入されてしまうために、実行時にアドレスが変更されると、正常に動作しません。つまり、PIC にはならないので、この警告メッセージを出力するような仕様になっています。 ただし、r0 相対 (CONST セグメントなど) が使用されている場合には、アドレスが絶対番地 (0 番地からの相対のため) になるため、PIC にはなりません。
W2244	[メッセージ]	'asm' used out of function is not supported completely.
	[説明]	関数の外で記述されたアセンブラ記述 asm, および関数の外で記述された #pragma asm ~ #pragma endasm の間のアセンブラ記述には制限があります。
W2254	[メッセージ]	zero sized array ' <i>symbol</i> '
	[説明]	配列のサイズに 0 が指定されてます。

W2267	[メッセージ]	illegal use of ' <i>specifier</i> '
	[説明]	記憶域クラス指定子 " <i>specifier</i> " の使用方法が正しくありません。
W2287	[メッセージ]	Function requires return value.
	[説明]	戻り値を持つ関数において、関数の戻り値が指定されていません。戻り値に 0 が指定されたものとみなします。
W2289	[メッセージ]	return type mismatch <i>type1</i> ( <i>type2</i> )
	[説明]	return 文で示された戻り値の型 <i>type2</i> が、関数の戻り型 <i>type1</i> と一致しません。
W2291	[メッセージ]	argument type mismatch <i>type1</i> ( <i>type2</i> )
	[説明]	実引数の型 <i>type2</i> が、関数宣言時の仮引数の型 <i>type1</i> と一致しません。
W2293	[メッセージ]	Type specifier of argument <i>name</i> is missing.
	[説明]	関数定義において、宣言されている仮引数名 <i>name</i> の型指定子が省略されています。int 型とみなします。この警告メッセージは -ansi オプション指定時、E2292 のエラー・メッセージとなります。
W2302	[メッセージ]	illegal bit-field type
	[説明]	ビット・フィールドに対し、ANSI 仕様で指定することのできない型が指定されています。指定された型の整列条件でパディングします。 この警告メッセージは -ansi オプション指定時、E2301 のエラー・メッセージとなります。このメッセージは、-w2 指定時のみ表示されます。
W2306	[メッセージ]	The bit-field object ' <i>name</i> ' is put into the next unit.
	[説明]	ビット・フィールド <i>name</i> は境界を越えるため、次の領域に配置されます。このメッセージは、-w2 指定時のみ表示されます。
W2373	[メッセージ]	used '&' for member of packed structure
	[説明]	パッキングされた構造体のメンバに対しアドレスを使用しています。
	[具体例]	<p>構造パッキングを行って、次のいずれかの条件に該当する場合、データのアクセスは、デバイスのデータ・アライメントに従いアドレスをマスクして行われるため、構造体メンバのアドレスでのアクセスで、データの消失や切り捨てが生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ミス・アライン・アクセスに対応していないデバイスを使用している</li> <li>- ミス・アライン・アクセスに対応したデバイスで、ミス・アライン・アクセスを禁止している</li> </ul> <p>例</p> <pre> struct test {     char c; /* offset 0 */     int i; /* offset 1-4 */ } test; int *ip, i; void func(){     i = *ip; /* マスクされたアドレスでアクセスされる */ }  void func2(){     ip = &amp;(test.i); } </pre>

W2380	[メッセージ]	function returns address of local variable
	[説明]	関数の戻り値に自動変数のアドレスが指定されています。自動変数のアドレスの返却をしないでください。
	[対処方法]	次の例のように、自動変数のアドレスを返却値にしないようにしてください。 例 <pre>void* func(void) {     int i;     return &amp;i; }</pre>
W2416	[メッセージ]	over 0x2000 tables, ignored -Xcase=table option
	[説明]	テーブル数が 0x2000 を越えたので if-else 形式で出力します。-Xcase=table は無視されます。
W2520	[メッセージ]	Immediate for shift operator is out of range.
	[説明]	シフト命令に対し指定されたイミディエートの値が指定可能な値の範囲を越えています。下位の有効な桁数分だけが指定されたものとみなします。
W2521	[メッセージ]	division by zero
	[説明]	コンパイル時に行われる定数式の演算において、0 による除算が起きました。定数式に 0 が指定されたものとみなします。
W2525	[メッセージ]	illegal type combination for 'operator' (type1, type2)
	[説明]	operator 演算子に対する型の組み合わせ (type1, type2) が正しくありません。型変換して処理を続行します。この警告メッセージは -ansi オプション指定時、E2524 のエラー・メッセージとなることがあります。
W2527	[メッセージ]	Operands of 'operator' operator must have same type (type1, type2).
	[説明]	operator 演算子の両辺の型は同じ型でなければなりません (type1, type2)。
W2554	[メッセージ]	cannot convert non-Lvalue array to pointer
	[説明]	左辺値でない配列は、ポインタに変換できません。この警告メッセージは -ansi オプション指定時、E2553 のエラー・メッセージとなります。
W2555	[メッセージ]	expression expression must have enumeration type.
	[説明]	expression は enum 型にしてください。
W2600	[メッセージ]	ignored option 'option'
	[説明]	オプション option は、無視されます。
W2601	[メッセージ]	category is not supported now.
	[説明]	category で示された機能は現在サポートされていません。
W2606	[メッセージ]	Wide-character is not supported.
	[説明]	ワイド文字はサポートされていません。ワイド文字は無視されます。
W2607	[メッセージ]	Multibyte-character is not supported.
	[説明]	マルチバイト文字はサポートされていません。マルチバイト文字は無視されます。

W2609	[メッセージ]	Specified warning message number ' <i>num</i> ' is not supported. Warning message number W2000-W2999 is supported now.
	[説明]	指定された警告メッセージ番号 <i>num</i> はサポートされておりません。対応している警告メッセージ番号は 2000 番台です。
W2621	[メッセージ]	duplicated cpu type, command line option is used
	[説明]	ターゲット・デバイスの指定が重複しています。プロジェクト・ファイル設定時、または -cpu オプションで指定されたターゲット・デバイスが有効となります。
W2634	[メッセージ]	Interrupt attribute is specified for function ' <i>function</i> ', previously specified 'block_interrupt' is ignored.
	[説明]	割り込み禁止指定されている関数 <i>function</i> が、割り込みハンドラとして指定されました。割り込みハンドラは割り込み禁止として扱われるため、無駄な割り込み禁止指定は無視されます。
W2635	[メッセージ]	Interrupt attribute is already specified for function ' <i>function</i> ', 'block_interrupt' is ignored.
	[説明]	関数 <i>function</i> は、すでに割り込みハンドラとして宣言されています。割り込みハンドラは割り込み禁止として扱われるため、無駄な割り込み禁止指定は無視されます。
W2637	[メッセージ]	Interrupt function cannot be inlined, 'inline' is ignored.
	[説明]	割り込みとして宣言された関数には、“inline” を指定することはできません。inline 指定は無視されます。
W2643	[メッセージ]	Interrupt attribute is specified for function ' <i>function</i> ', previously specified 'inline' is ignored.
	[説明]	インライン指定されている関数 <i>function</i> が割り込みハンドラとして指定されました。inline 指定は無視されます。
W2656	[メッセージ]	unknown size, cannot specified const/sconst section
	[説明]	サイズが不明な変数に対して const、または sconst セクション指定をすることはできません。
W2671	[メッセージ]	Function ' <i>function</i> ' is already defined, directive '#pragma inline' is ignored.
	[説明]	インライン指定は関数定義の前に記述しなければなりません。inline 指定は無視されます。
W2683	[メッセージ]	Second argument ' <i>name</i> ' for __set_il is not interrupt request name.
	[説明]	割り込みレベルを設定する関数の第二引数に指定された <i>name</i> は、割り込み要求名ではありません。割り込みレベルは設定されません。
W2684	[メッセージ]	cannot set interrupt level for ' <i>name</i> '
	[説明]	割り込み要求名 <i>name</i> には、割り込みレベルを設定することはできません。割り込みレベルは設定されません。
W2690	[メッセージ]	'Rtos_task' is specified for function ' <i>function</i> ', previously specified 'inline' is ignored.
	[説明]	インライン指定されている関数が、リアルタイム OS 用のタスクとして指定されました。inline 指定は無視されます。
W2691	[メッセージ]	Startup routine for RTOS task cannot be inlined, 'inline' is ignored.
	[説明]	リアルタイム OS 用のタスクとして指定された関数にインライン展開を指定することはできません。inline 指定は無視されます。

W2699	[メッセージ]	Function ' <i>function</i> ' is undefined, previously specified GP symbol for rtos_interrupt is ignored.
	[説明]	gp シンボル指定のある割り込みハンドラとして指定された関数が、ファイル内で定義されていません。割り込みハンドラ指定は無視されます。
W2700	[メッセージ]	cannot specify GP symbol, function ' <i>function</i> ' is already defined
	[説明]	定義済みの関数に対して gp シンボルを指定することはできません。gp シンボル指定は無効となります。
W2701	[メッセージ]	Too long source line
	[説明]	ソース・ステートメント 1 行が、2048 文字を越えています。 2049 文字以降は無視されます。
W2702	[メッセージ]	Duplicate PROCESSOR option and control
	[説明]	コマンド・ライン上の対象デバイスと指定オプション (-c) と、ソース・ヘッダ中の PROCESSOR 制御命令が、両方とも指定されています。 コマンド・ライン上の対象デバイスと指定オプションが有効となり、ソース・ヘッダ中の PROCESSOR 疑似命令は無視されます。
W2703	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Multiple defined module name
	[説明]	【78K0】【78K0R】 NAME 疑似命令が二度以上定義されています。 NAME 疑似命令は無効となり、すでに定義されたモジュール名が有効となります。
	[メッセージ]	【V850】 GP symbol is not specified for RTOS interrupt function ' <i>function</i> '
	[説明]	【V850】 リアルタイム OS 用割り込みハンドラとして指定された関数 <i>function</i> に対して、gp シンボルが指定されていません。
W2704	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Already declared EXTRN symbol ' <i>シンボル名</i> '
	[説明]	【78K0】【78K0R】 このシンボルはすでに EXTRN 宣言されています。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 1 つのシンボルの EXTRN 宣言は、1 モジュールにつき 1 回にしてください。
	[メッセージ]	【V850】 Function ' <i>function</i> ' is undefined, previously specified 'rtos_task' is ignored.
	[説明]	【V850】 リアルタイム OS 用のタスクとして指定された関数 <i>function</i> がファイル内で定義されていません。rtos_task 指定は無視されます。
W2705	[メッセージ]	Already declared EXTBIT symbol ' <i>シンボル名</i> '
	[説明]	このシンボルはすでに EXTBIT 宣言されています。
	[対処方法]	1 つのシンボルの EXTBIT 宣言は、1 モジュールにつき 1 回にしてください。
W2706	[メッセージ]	Missing END statement
	[説明]	ソース・ファイルの最後に END 文が記述されていません。 ソース・ファイルの最後に END 文があったものとみなされます。
W2707	[メッセージ]	Illegal statement after END directive
	[説明]	END 文のあとに、コメント、空白、タブ、改行コード以外のものが記述されました。 END 文のあとは無視されます。
W2708	[メッセージ]	Already declared LOCAL symbol ' <i>シンボル名</i> '
	[説明]	このシンボルは、すでに LOCAL 宣言されています。
	[対処方法]	1 つのシンボルの LOCAL 宣言は、1 マクロにつき 1 回にしてください。

W2709	[メッセージ]	Few count of actual parameter
	[説明]	実パラメータの個数が、仮パラメータの個数よりも少なく設定されています。 足りない個数分、仮パラメータはヌル・ストリングが与えられます。
W2710	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Over count of actual parameter
	[説明]	【78K0】【78K0R】 実パラメータの個数が、仮パラメータの個数よりも多く設定されています。 超過分の実パラメータは、無視されます。
	[メッセージ]	【V850】 Section ' <i>section1</i> ' is already specified for ' <i>symbol</i> '. ' <i>section2</i> ' is ignored.
	[説明]	【V850】 シンボル <i>symbol</i> に対して、セクション・ファイル内で <i>section1</i> がすでに指定されています。あとから指定された <i>section2</i> は無視されます。
W2711	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Too many errors to report
	[説明]	【78K0】【78K0R】 この行に対するエラーが多すぎます（エラーが6個以上）。 アセンブラは、6個目以降のエラー・メッセージは出力せずに、処理を続けます。
	[メッセージ]	【V850】 Different section is specified for ' <i>symbol</i> ' in source file ( <i>section1</i> ) and section file ( <i>section2</i> ). Source file specification is ignored.
	[説明]	【V850】 シンボル <i>symbol</i> に対して、ソース・ファイルにおけるセクション指定（ <i>section1</i> ）とセクション・ファイルにおけるセクション指定（ <i>section2</i> ）が異なります。ソース・ファイルにおけるセクション指定（ <i>section1</i> ）は無視されます。
W2712	[メッセージ]	Insufficient cross-reference work area
	[説明]	クロスリファレンス・リストの出力処理を行うためのメモリが不足しています。 アセンブラは、クロスリファレンス・リストの出力せずに、処理を続けます。
W2717	[メッセージ]	Normal, callt and callf functions must be described together respectively.
	[説明]	「通常関数」、「callt 関数」、「callf 関数」がそれぞれまとめて記述されていないため、 デバッグ情報が不正になる場合があります。
	[対処方法]	通常関数と callt 関数もまとめて記述してください。
W2730	[メッセージ]	Block interrupt function cannot be installed, ' <i>inline</i> ' is ignored.
	[説明]	割り込み禁止として宣言された関数には、“ <i>inline</i> ”を指定することはできません。 <i>inline</i> 指定は無視されます。
W2731	[メッセージ]	Block interrupt attribute is specified for function ' <i>function</i> ', previously specified ' <i>inline</i> ' is ignored.
	[説明]	“ <i>inline</i> ”指定されている関数 <i>function</i> が割り込み禁止として指定されました。 <i>inline</i> 指定は無視されます。
W2740	[メッセージ]	'#pragma text function-name' must be placed before the function's definition. '#pragma text <i>function</i> ' is ignored.
	[説明]	text セクション指定は関数定義の前で行わなければなりません。関数 <i>function</i> に対する text セクション指定は無視されます。
W2741	[メッセージ]	Function specified as ' <i>direct</i> ' can not be allocated in text. '#pragma text <i>function</i> ' is ignored.
	[説明]	直接配置（ <i>direct</i> ）で割り込みに指定されている関数に対し、text セクション指定する ことはできません。関数 <i>function</i> に対する text セクション指定は無視されます。

W2742	[メッセージ]	Function allocated in text can not be specified as 'direct'. Previously specified '#pragma text <i>function</i> ' is ignored.
	[説明]	text セクション指定された関数を、直接配置 (direct) で割り込みに指定することはできません。すでに指定されている関数 <i>function</i> に対する text セクション指定は無視されます。
W2743	[メッセージ]	Function allocated in text can not be inlined. '#pragma inline <i>function</i> ' is ignored.
	[説明]	text セクション指定された関数には、“inline” を指定することはできません。関数 <i>function</i> への inline 指定は無視されます。
W2744	[メッセージ]	Function allocated in text can not be inlined. Previously specified '#pragma inline <i>function</i> ' is ignored.
	[説明]	inline 指定されている関数に対し、text セクション指定されました。すでに指定されている関数 <i>function</i> への inline 指定は無視されます。
W2748	[メッセージ]	Section name is not specified.
	[説明]	#pragma section のセクション名指定で、“” の間にセクション名が指定されていません。セクション名指定がないものとみなし、指定した属性の予約セクションに割り当てます。
W2761	[メッセージ]	unrecognized specifier ' <i>specifier</i> ', ignored
	[説明]	指定子 <i>specifier</i> は認識されません。この指定子は無視されます。
W2780	[メッセージ]	result of comparison is always <i>status</i>
	[説明]	比較式が常に <i>status</i> になります。 <i>status</i> は、比較式が常に真である場合 true、比較式が常に偽である場合は false となります。
W2782	[メッセージ]	statement with no effect
	[説明]	この構文は無効です。
W2784	[メッセージ]	Conversion may lose significant digit
	[説明]	データが失われている可能性があります。
W3000	[メッセージ]	.option az_info_kind unmatched, ignored.
	[説明]	.option az_info_kind が不正な位置で指定されています。無視されます。
W3001	[メッセージ]	too many actual parameter.
	[説明]	マクロ呼び出し時に指定された実パラメータが多すぎます。
W3002	[メッセージ]	can not use <i>option1</i> with <i>option2</i> , <i>option2</i> ignored.
	[説明]	<i>option1</i> オプションと <i>option2</i> オプションを同時に指定することはできません。 <i>option2</i> オプションは無視されます。
W3003	[メッセージ]	" <i>option</i> " option needs argument, ignored.
	[説明]	<i>option</i> オプションには引数の指定が必要です。オプション指定は無視されます。
W3004	[メッセージ]	illegal " <i>option</i> " option's value, ignored.
	[説明]	<i>option</i> オプションに指定された値が不正です。オプション指定は無視されます。
W3005	[メッセージ]	illegal " <i>option</i> " option's symbol " <i>symbol</i> ", ignored.
	[説明]	<i>option</i> オプションに指定されたシンボル <i>symbol</i> が不正です。オプション指定は無視されます。



W3006	[メッセージ]	illegal " <i>option</i> " option's argument, ignored.
	[説明]	<i>option</i> オプションに指定された引数が不正です。オプション指定は無視されます。
W3007	[メッセージ]	<i>option</i> , -cpu mismatch. ignore -cpu. output <i>core</i> common object.
	[説明]	<i>core</i> コア共通のオブジェクト生成を指定する <i>option</i> オプションと、-cpu オプションで指定したデバイス・ファイルに不整合があります。-cpu オプション指定は無視し、 <i>core</i> コア共通オブジェクトを生成します。
W3008	[メッセージ]	<i>option</i> option is not supported for <i>core</i> core.
	[説明]	<i>option</i> オプションは <i>core</i> コアではサポートしていません。オプション指定は無視されます。
W3009	[メッセージ]	can not find programmable peripheral I/O registers, ignored -bpc option.
	[説明]	プログラマブル周辺 I/O レジスタの情報が存在しません。-bpc オプションは無視されます。
W3010	[メッセージ]	illegal displacement in <i>inst</i> instruction.
	[説明]	ディスプレースメントの値が指定可能な値の範囲を越えています。下位の有効な桁数分だけが指定されたものとみなし、アセンブルを続行します。
W3011	[メッセージ]	illegal operand (range error in immediate).
	[説明]	イミディエートの値が指定可能な値の範囲を越えています。下位の有効な桁数分だけが指定されたものとみなし、アセンブルを続行します。
W3012	[メッセージ]	hword overflow.
	[説明]	.hword/.shword に指定した値が指定可能な値の範囲を越えています。下位の有効な桁数分だけが指定されたものとみなし、アセンブルを続行します。
W3013	[メッセージ]	register used as <i>kind</i> register.
	[説明]	レジスタ (r0), アセンブラ予約レジスタ (r1), またはマスク・レジスタ機能使用時に、マスク・レジスタ (r20, または r21) が、 <i>kind</i> レジスタとしてオペランドに指定されています。
W3014	[メッセージ]	illegal list value, ignored.
	[説明]	prepare/dispose 命令のレジスタ・リストに指定した値が不正です。下位の有効な桁数分だけが指定されたものとみなし、アセンブルを続行します。
W3015	[メッセージ]	illegal register number, ignored.
	[説明]	prepare/dispose 命令のレジスタ・リストに指定したレジスタが不正です。不正なレジスタを無視して、アセンブルを続行します。
W3016	[メッセージ]	illegal operand (access width mismatch).
	[説明]	オペランドに、異なるアクセス幅の内部周辺 I/O レジスタを指定しています。
W3017	[メッセージ]	base register is ep(r30) only.
	[説明]	sld/sst 命令のベース・レジスタに ep 以外を指定しています。
W3018	[メッセージ]	illegal regID for <i>inst</i> .
	[説明]	<i>inst</i> 命令に指定した番号のシステム・レジスタはアクセス禁止です。
W3019	[メッセージ]	illegal operand (immediate must be multiple of 4).
	[説明]	オペランドに指定した値は 4 の倍数である必要があります。端数を切り捨てて、アセンブルを続行します。



W3020	[メッセージ]	duplicated cpu type, ignored .option cpu.
	[説明]	-cpu オプションによる指定と .option 疑似命令による指定が異なります。-cpu オプションを優先し、.option 疑似命令によるターゲット・デバイス指定は無視されません。
W3021	[メッセージ]	string already specified, ignored.
	[説明]	string が、以前に指定したレジスタ数と異なる数で指定されています。すでに指定されている数を使用します。この指定は無視されます。
W3022	[メッセージ]	duplicated option, ignored.
	[説明]	option が、複数回指定されています。すでに指定されているオプションを使用します。この指定は無視されます。
W3023	[メッセージ]	BPC value is out of range(0x0-value), ignored -bpc option.
	[説明]	-bpc に指定された値が、デバイスの許容する範囲 (0x0-value) 外です。指定された値は無視して、デバイスの初期値を使用します。
W3024	[メッセージ]	sorry, option option not implemented, ignored.
	[説明]	option オプションはインプリメントされていません。無視されます。
W3025	[メッセージ]	sorry, option option not implemented, ignored.
	[説明]	option オプションはインプリメントされていません。無視されます。
W3026	[メッセージ]	illegal register number, aligned odd register(rXX) to be even register(rYY).
	[説明]	奇数番号の付いたレジスタ (r1, r3, ..., r31) を指定しました。 指定できる汎用レジスタは、偶数番号の付いたレジスタ (r0, r2, r4, ..., r30) だけです。 偶数番号の付いたレジスタ (r0, r2, r4, ..., r30) を指定したとして、アセンブルを続行します。
W3029	[メッセージ]	can not use r0 as destination in mul/mulu in V850ES core. replaced to r1.
	[説明]	V850ES コア指定時には、mul/mulu 命令のデスティネーション・オペランドに r0 を指定することはできません。r1 に置き換えます。オペランドを確認してください。
W3030	[メッセージ]	can not use r0 as destination in mul/mulu in V850ES core.
	[説明]	V850ES コア指定時には、mul/mulu 命令のデスティネーション・オペランドに r0 を指定することはできません。オペランドを確認してください。
W3031	[メッセージ]	can not use mul/mulu X,Y,Y format in V850ES core.
	[説明]	V850ES コア指定時には、mul/mulu 命令のオペランドに X,Y,Y という形式を指定することはできません。オペランドを確認してください。
W3033	[メッセージ]	Option Bytes specified by -gb option and OPT_BYTE. Linker will prioritize specified by -gb option.
	[説明]	オプション・バイト指定が重複しています。-gb オプション指定を優先します。
W3105	[メッセージ]	Library file 'ファイル名' has no public symbol
	[説明]	ライブラリ・ファイルにパブリック・シンボルが存在しません。 そのため、ライブラリ・ファイルに含まれるオブジェクト・モジュールはリンクされません。

W3213	[メッセージ]	Segment 'セグメント名' allocated on General-purpose registers
	[説明]	このセグメントは汎用レジスタ領域に配置されました。
	[対処方法]	意図しない汎用レジスタの上書きが起こり得るので、必要であれば配置を見直してください。
W3215	[メッセージ]	Segment 'セグメント名' allocated on SELFRAM
	[説明]	このセグメントは BRAM と内部 RAM が重複する領域に配置されたため、セルフ・プログラミング・モード時にはデータが破壊される場合があります。詳細については、デバイスのユーザズ・マニュアルを参照してください。
W3406	[メッセージ]	Stack area less than 10 bytes
	[説明]	確保したスタック領域の大きさが 10 バイト以下です (-s オプションで指定されたメモリ領域に確保できたスタック領域の大きさが、10 バイト以下です)。
W3407	[メッセージ]	Can't allocate stack area
	[説明]	スタック領域を確保するメモリ領域に、空き領域がありません (-s オプションで指定されたメモリ領域に、スタック領域を確保できません)。
W3411	[メッセージ]	【78K0】 Can't find target chip in all module
	[説明]	【78K0】 入力したオブジェクト・モジュール・ファイルすべてに対して、共通オブジェクト指定オプション (-common) が指定されているため、対象デバイスを判別することができません。
	[対処方法]	【78K0】 必要のない共通オブジェクト指定オプション (-common) を外してください。
	[メッセージ]	【78K0R】 Different REL type in 'ファイル名'
	[説明]	【78K0R】 オブジェクト・モジュール・ファイルの型バージョンに相違があります。
	[対処方法]	【78K0R】 最新版でアセンブル、またはコンパイルし直してください。
W3416	[メッセージ]	Multiple CAP/NOCAP are in file 'ファイル名 (オプション)'. Defined first one in file 'ファイル名 (オプション)'
	[説明]	全入力オブジェクト・モジュール・ファイルを対象に、アセンブル、またはコンパイル・オプションの CAP/NOCAP が一致していません。
W3417	[メッセージ]	The version of ツール名 in file 'ファイル名' are more than one. Used the first one in file 'ファイル名'
	[説明]	全入力オブジェクト・モジュール・ファイルを対象に、リンクまでに使用した各ツール (CC78K0, ST78K0, RA78K0, CC78K0R, RA78K0R)、およびデバイス・ファイルのバージョンに相違があります。
W3418	[メッセージ]	File 'ファイル名' is old. Can't find TOOL infomation
	[説明]	入力したオブジェクト・モジュール・ファイルに TOOL 情報がない場合、出力しません。 通常、旧 (DF 非対応) をリンクを行うと必ず出力します。
W3420	[メッセージ]	File 'ファイル名' already has had error(s) /warning(s) by 'ツール名'
	[説明]	リンクまでに使用していた各ツール (CC78K0, ST78K0, RA78K0, CC78K0R, RA78K0R) においてエラー、またはワーニング・メッセージを出力しています。

W3434	[メッセージ]	Can't specify User Option Bytes/On-Chip Debug Option Bytes/Security ID with LMF
	[説明]	入力ファイルにロード・モジュール・ファイルを指定した場合、-gb/-go/-gi オプションを指定することはできません。
	[対処方法]	入力ファイルにロード・モジュール・ファイルを指定して再リンクを行う場合、-gb/-go/-gi オプションは指定しないでください。
W4300	[メッセージ]	xxxxxH-yyyyyH overlapped
	[説明]	xxxxxH から yyyyH までのアドレスに対するオブジェクトが重複して出力されています。
W4301	[メッセージ]	Can't initialize RAM area 'アドレス'-'アドレス'
	[説明]	RAM 領域に初期値データが出力されています。
	[対処方法]	アセンブリ・ソースで DSEG 内に DB/DW が記述されている場合は、DS に変更するか、CSEG 内で DB/DW 命令を記述するようにしてください。
W4504	[メッセージ]	can not create output file "file".
	[説明]	出力ファイル file を作成できません。
W4555	[メッセージ]	symbol "symbol" has incompatible type in file "file".
	[説明]	シンボル symbol をリンクしようとしたが、file において定義されている同名のシンボルとは型が異なります。
W4556	[メッセージ]	symbol "symbol" has different size in file "file".
	[説明]	シンボル symbol をリンクしようとしたが、file において定義されている同名のシンボルとはサイズが異なります。
W4557	[メッセージ]	symbol "symbol" has different align-size in file "file".
	[説明]	シンボル symbol においてリンクが生じましたが、file において定義されている同名のシンボルとは整列条件が異なります。
W4562	[メッセージ]	size zero sbss or bss attribute symbol "symbol".
	[説明]	sbss、または bss 属性セクションに割り付けられる symbol のサイズが 0 でした。
W4564	[メッセージ]	undefined global symbol symbol specified with "ext_func".
	[説明]	.ext_func 疑似命令で指定されたグローバル・シンボル symbol が定義されていません。
	[具体例]	次のいずれかの原因により表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 関数 symbol が定義されていない場合</li> <li>- 関数 symbol が static 指定されている場合</li> <li>- symbol を指定した .ext_func 疑似命令が関数定義したソースに記述されていない場合</li> </ul> なお、分岐テーブル中の該当する関数への分岐命令は未解決となります。
W4605	[メッセージ]	section "section" with section type (section type) not supported, ignored.
	[説明]	セクション・タイプ section type を持つセクション名 section のセクションは、ld850 においてサポートしていません。無視されます。

W4608	[メッセージ]	input files have different register modes. use -rc option for more information.
	[説明]	レジスタ・モードの異なるファイルが入力されています。-rc オプションを指定すると、より詳細な情報を出力します。
	[対処方法]	32 レジスタ・モード以外のレジスタ・モードを指定していて、ソース・ファイルにアセンブリ言語ファイルが含まれるような場合、この警告メッセージが出力されることがあります。アセンブリ言語ファイルのレジスタ・モードの指定は、アセンブル・ファイル中に .option 疑似命令を使用して、レジスタ・モードを指定する必要があります。次の記述をアセンブリ言語ファイル中に記述してください。 - 22 レジスタ・モードを用いるとき： .option reg_mode 5 5  - 26 レジスタ・モードを用いるとき： .option reg_mode 7 7
W4611	[メッセージ]	"string" option overrides "section" section.
	[説明]	string オプションにより、section セクションを上書きします。
W4613	[メッセージ]	illegal flash mask option access (file:"file" address:num1 bit:num2).
	[説明]	オプション・バイトの設定不可能機能を設定しました。
W4614	[メッセージ]	section "section" alignment must be 4 in internal instruction RAM.
	[説明]	内蔵命令 RAM に配置した section セクションの整列条件は、4 の倍数を指定してください。
W4615	[メッセージ]	section "section" attribute is illegal in internal ROM/internal instruction RAM.
	[説明]	内蔵 ROM/RAM には、書き込み属性を持つ section セクションの配置は不適切です。
W4651	[メッセージ]	relocation entry in section "section" has unknown relocation type (number), ignored this entry.
	[説明]	セクション section 内のリロケーション・エントリが不正なリロケーション・タイプ number を持っています。このエントリは無視されます。
W4652	[メッセージ]	can not find number th symbol table entry for relocation of reference at offset(offset) in "section" section , this relocation is ignored.
	[説明]	セクション section のオフセット offset に存在する参照をリロケートするための number 番目のシンボル・テーブル・エントリが見つかりません。このリロケーションは無視されます。
W4653	[メッセージ]	relocation entry in relocation section "section1" used to relocate section "section2" has illegal r_offset(offset), ignored.
	[説明]	セクション section2 のリロケーションに用いられるリロケーション情報セクション section1 内のエントリが不正なリロケーション・オフセット offset を持っています。このエントリは無視されます。

W4655	[メッセージ]	can not find GP-symbol in segment " <i>segment</i> " or illegal label reference for local symbol in file " <i>file2</i> "(section: <i>section2</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ). local symbol is allocated in section " <i>section1</i> "(file: <i>file1</i> ).
	[説明]	セグメント <i>segment</i> に GP シンボルが指定されていません。またはローカル・シンボルの配置／参照方法に矛盾があります。
	[対処方法]	変数定義に対して #pragma section 指定で配置するセクションを変更した場合には、他のファイルにあるその変数に対する extern 宣言に対しても、同じ方法でセクションを変更してください。ローカル・シンボルは、ファイル <i>file1</i> の <i>section1</i> に配置されています。ローカル・シンボルに対する参照は、ファイル <i>file2</i> のセクション <i>section2</i> のオフセット <i>offset</i> に存在します。
W4656	[メッセージ]	can not find GP-symbol in segment " <i>segment</i> " or illegal label reference for symbol " <i>symbol</i> " in file " <i>file2</i> "(section: <i>section2</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ). " <i>symbol</i> " is allocated in section " <i>section1</i> "(file: <i>file1</i> ).
	[説明]	セグメント <i>segment</i> に GP シンボルが指定されていません。またはシンボル <i>symbol</i> の配置／参照方法に矛盾があります。
	[対処方法]	変数定義に対して #pragma section 指定で配置するセクションを変更した場合には、他のファイルにあるその変数に対する extern 宣言に対しても、同じ方法でセクションを変更してください。シンボル <i>symbol</i> は、ファイル <i>file1</i> の <i>section1</i> に配置されています。シンボル <i>symbol</i> に対する参照は、ファイル <i>file2</i> のセクション <i>section2</i> のオフセット <i>offset</i> に存在します。
W4657	[メッセージ]	can not find GP-symbol in section " <i>section</i> " of file " <i>file1</i> " or illegal label reference for symbol " <i>symbol</i> " in file " <i>file2</i> "(section: <i>section2</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ). " <i>symbol</i> " is allocated in section " <i>section1</i> "(file: <i>file1</i> ).
	[説明]	ブート側実行形式ファイル <i>file1</i> のセクション <i>section</i> に GP シンボルが指定されていません。またはシンボル <i>symbol</i> の配置／参照方法に矛盾があります。
	[対処方法]	変数定義に対して #pragma section 指定で配置するセクションを変更した場合には、他のファイルにあるその変数に対する extern 宣言に対しても、同じ方法でセクションを変更してください。シンボル <i>symbol</i> は、ファイル <i>file1</i> の <i>section1</i> に配置されています。シンボル <i>symbol</i> に対する参照は、ファイル <i>file2</i> のセクション <i>section2</i> のオフセット <i>offset</i> に存在します。
W4658	[メッセージ]	relocated value ( <i>value</i> ) of relocation entry (symbol: <i>symbol</i> , file: <i>file</i> , section: <i>section</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ) for branch command become odd value.
	[説明]	分岐系のリロケーション・エントリ (シンボル <i>symbol</i> , ファイル <i>file</i> , セクション <i>section</i> , オフセット <i>offset</i> , リロケーション・タイプ <i>relocation type</i> ) によってリロケートされた値 <i>value</i> が奇数になっています。
W4659	[メッセージ]	relocated value ( <i>value</i> ) of relocation entry (symbol: <i>symbol</i> , file: <i>file</i> , section: <i>section</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ) for load/store command become odd value.
	[説明]	ロード／ストア系のリロケーション・エントリ (シンボル <i>symbol</i> , ファイル <i>file</i> , セクション <i>section</i> , オフセット <i>offset</i> , リロケーション・タイプ <i>relocation type</i> ) によってリロケートされた値 <i>value</i> が奇数になっています。

W4661	[メッセージ]	symbol " <i>symbol</i> " (output section <i>section1</i> ) is too far from output section " <i>section2</i> ". (value: <i>value</i> , file: <i>file</i> , input section: <i>section3</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ).
	[説明]	出力セクション <i>section2</i> から出力セクション <i>section1</i> に配置されたシンボル <i>symbol</i> への分岐命令が分岐可能範囲を越えています。分岐命令は、ファイル <i>file</i> 中のセクション <i>section3</i> のオフセット <i>offset</i> の位置に存在します。
W4662	[メッセージ]	output section " <i>section1</i> " is too far from output section " <i>section2</i> ". (value: <i>value</i> , file: <i>file</i> , input section: <i>section3</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ).
	[説明]	出力セクション <i>section2</i> から出力セクション <i>section1</i> に配置されたローカル・シンボルへの分岐命令が分岐可能範囲を越えています。分岐命令は、ファイル <i>file</i> 中のセクション <i>section3</i> のオフセット <i>offset</i> の位置に存在します。
W4663	[メッセージ]	output section " <i>section1</i> " overflowed or illegal label reference for symbol " <i>symbol</i> " in file " <i>file2</i> " (value: <i>value</i> , input section: <i>section2</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ). " <i>symbol</i> " is allocated in section " <i>section1</i> "(file: <i>file1</i> ).
	[説明]	出力セクション <i>section1</i> がオーバーフローしました。またはシンボル <i>symbol</i> の配置されたセクションとラベル参照方法が不正です。 <i>symbol</i> は、ファイル <i>file1</i> で <i>section1</i> に配置されています。不正な参照はファイル <i>file2</i> のセクション <i>section2</i> のオフセット <i>offset</i> に存在します。
W4664	[メッセージ]	output section " <i>section1</i> " overflowed or illegal label reference for local symbol in file " <i>file2</i> " (value: <i>value</i> , input section: <i>section2</i> , offset: <i>offset</i> , type: <i>relocation type</i> ). local symbol is allocated in section " <i>section1</i> "(file: <i>file1</i> ).
	[説明]	出力セクション <i>section1</i> がオーバーフローしました。またはローカル・シンボルの配置されたセクションとラベル参照方法が不正です。ローカル・シンボルは、ファイル <i>file1</i> で <i>section1</i> に配置されています。不正な参照はファイル <i>file2</i> のセクション <i>section2</i> のオフセット <i>offset</i> に存在します。
W4702	[メッセージ]	no archive symbol table, ignored this archive file.
	[説明]	指定されたアーカイブ・ファイル内にアーカイブ・シンボル・テーブルが存在していません。 このアーカイブ・ファイルの指定は無視されます。
W4755	[メッセージ]	aligned odd value( <i>number1</i> ) to be even value( <i>number2</i> ).
	[説明]	奇数の値 <i>number1</i> を偶数の値 <i>number2</i> に整列しました。
W4757	[メッセージ]	segment " <i>segment</i> " overflowed highest address of target machine.
	[説明]	セグメント <i>segment</i> の割り付けが指示された領域がターゲット・マシンにおける可能なメモリ空間の範囲を越えています。
	[対処例]	-Ximem_overflow=warning オプションを解除することにより、このメッセージをエラーにすることができます。-rom_less オプションを指定することにより、警告発生原因が内蔵 ROM に関連する場合のみ、このメッセージを消去できます。
W4769	[メッセージ]	<i>string</i> in segment directive is illegal when "-r" option specificated, ignored.
	[説明]	-r オプション、または -ro オプションが指定された場合、セグメント・ディレクティブにおいて <i>string</i> を指定することはできません。無視されます。
W4770	[メッセージ]	<i>string</i> in section directive is illegal when "-r" option specificated, ignored.
	[説明]	-r オプション、または -ro オプションが指定された場合、セクション・ディレクティブにおいて <i>string</i> を指定することはできません。無視されます。

W4772	[メッセージ]	no LOAD segments exist for mapping input section "section" in file "file", this section is mapped to non-LOAD *DUMMY* segment with no program header.
	[説明]	ファイル <i>file</i> 内のセクション <i>section</i> を割り付けることのできるセグメント・タイプ LOAD を持つセグメントが存在しません。このセクションは、プログラム・ヘッダを持たないロード可能でないダミーのセグメントに割り付けられます。
W4773	[メッセージ]	<i>string</i> is illegal in 1pass-mode, ignored, try in 2pass-mode ("-B" option).
	[説明]	1パス・モードで <i>string</i> を指定することはできません。無視されます。-B オプションを用いた2パス・モードで指定してください。
W4774	[メッセージ]	<i>string</i> is illegal when "-f" option specified, ignored.
	[説明]	-f オプションが指定された場合、 <i>string</i> を指定することはできません。無視されます。
W4775	[メッセージ]	<i>string</i> symbol multiply defined to segment " <i>segment</i> ", first defined symbol " <i>symbol</i> " used.
	[説明]	セグメント <i>segment</i> に対する <i>string</i> シンボルが多重に定義されています。最初に定義されたシンボル <i>symbol</i> をセグメント <i>segment</i> に対する <i>string</i> シンボルとして用います。
W4777	[メッセージ]	<i>string</i> symbol multiply defined, first defined symbol " <i>symbol</i> " used.
	[説明]	<i>string</i> シンボルが多重に定義されています。最初に定義された <i>string</i> シンボル <i>symbol</i> を用います。
W4781	[メッセージ]	segment " <i>segment</i> " ( <i>number1-number2</i> ) must be in <i>string</i> -relative-address-able range ( <i>number3-number4</i> ).
	[説明]	セグメント <i>segment</i> の割り付けが指示された領域 ( <i>number1-number2</i> ) が <i>string</i> 相対で参照可能な範囲 ( <i>number3-number4</i> ) を越えています。
	[対処方法]	このメッセージが出ると正しいアドレスを参照できない場合があります。セグメントを参照するときには、正しい割り付け位置になるようにしてください。
W4782	[メッセージ]	segment " <i>segment</i> " ( <i>number1-number2</i> ) overflowed highest or lowest address of internal memory ( <i>number3-number4</i> ).
	[説明]	セグメント <i>segment</i> の割り付けが指示された領域 ( <i>number1-number2</i> ) がターゲット・マシンにおける可能なメモリ空間の範囲 ( <i>number3-number4</i> ) を越えています。
	[対処例]	-Ximem_overflow=warning オプションを解除することにより、このメッセージをエラーにすることができます。-rom_less オプションを指定することにより、警告発生原因が内蔵 ROM に関連する場合のみ、このメッセージを消去できます。
W4783	[メッセージ]	<i>string</i> specified in EP symbol directive, ignored.
	[説明]	ep シンボル・ディレクティブにおいて <i>string</i> を指定することはできません。無視されます。
W4784	[メッセージ]	segment " <i>segment</i> " ( <i>number1-number2</i> ) overlaps guarded area ( <i>number3-number4</i> ).
	[説明]	セグメント <i>segment</i> の割り付けが指示された領域 ( <i>number1-number2</i> ) がガード (使用禁止) ( <i>number3-number4</i> ) にオーバーラップしています。
W4785	[メッセージ]	segment " <i>segment</i> " ( <i>number1-number2</i> ) overlaps string area ( <i>number3-number4</i> ).
	[説明]	セグメント <i>segment</i> の割り付けが指示された領域 ( <i>number1-number2</i> ) が <i>string</i> 領域 ( <i>number3-number4</i> ) にオーバーラップしています。 <i>string</i> は programmable peripheral I/O, extend external peripheral I/O の2種類。



W4788	[メッセージ]	section address specification is illegal when address of segment "segment" is not specified.
	[説明]	セグメント <i>segment</i> に対するアドレス指定がありません。セグメント内のセクションにアドレス指定を行った場合には、セグメントにもアドレス指定を行ってください。
W4852	[メッセージ]	"string" option needs argument, ignored.
	[説明]	<i>string</i> オプションは、引数を必要とします。無視されます。
W4854	[メッセージ]	"string" option is ignored.
	[説明]	<i>string</i> オプションは無視されます。
W4857	[メッセージ]	"string1" option is illegal when "string2" option is specified, ignored "string1" option.
	[説明]	<i>string2</i> オプションが指定された場合、 <i>string1</i> オプションを指定することはできません。 <i>string1</i> オプションは無視されます。
W4860	[メッセージ]	"string1" option's argument is illegal, ignored "string2" option.
	[説明]	<i>string1</i> オプションに指定された引数が不正です。 <i>string2</i> と指定されたオプションは無視されます。
W4865	[メッセージ]	duplicated "string" option, ignored.
	[説明]	<i>string</i> オプションの指定が重複しています。無視されます。
W4866	[メッセージ]	duplicated "string1" option, ignored "string2" option.
	[説明]	<i>string1</i> オプションの指定が重複しています。 <i>string2</i> と指定されたオプションは無視されます。
W4867	[メッセージ]	duplicated "string1" option, ignored "string2" option.
	[説明]	<i>string1</i> オプションの指定が重複しています。 <i>string2</i> と指定されたオプションは無視されます。
W4868	[メッセージ]	"string" option aligned odd value (value1) to be even value (value2).
	[説明]	<i>string</i> オプションに指定された奇数値 <i>value1</i> を偶数値 <i>value2</i> に整列しました。
W4871	[メッセージ]	"string" option is not supported for V850 core.
	[説明]	<i>string</i> オプションは V850 コアのデバイスではサポートしていません。
W4872	[メッセージ]	segment sort function is active, because new vector type exist in device file.
	[説明]	新しい割り込みタイプを持つデバイス・ファイルが指定されたため、セグメントのアドレス順ソートを実行します。このメッセージは、-Xolddir オプションにより CA850 Ver.2.50 以前の古いリンク・ディレクティブ規約を指定された場合に発生します。
W4873	[メッセージ]	"string" option is not supported for this device.
	[説明]	<i>string</i> オプションは、指定したデバイスにおいてサポートしていません。オプション指定は無視されました。
W4911	[メッセージ]	multiple inclusion of same file attempted, ignored.
	[説明]	同じファイルが入力ファイルとして複数回指定されています。
W5009	[メッセージ]	sorry, not implemented option 'option', ignored
	[説明]	オプション <i>option</i> は現在サポートされていません。無視されます。
W5201	[メッセージ]	Module not found (module : ファイル名)
	[説明]	replace 指定されたモジュールがライブラリ・ファイル中に存在しません。



W5301	[メッセージ]	shift count( <i>num</i> ) in function ' <i>func</i> ' is out of range
	[説明]	関数 <i>func</i> のある式のシフト数 ( <i>num</i> ) が 0 から 31 の範囲を越えました。
W5302	[メッセージ]	division by zero in function ' <i>func</i> '
	[説明]	関数 <i>func</i> のある式で 0 除算がありました。
W5501	[メッセージ]	The section of variable ' <i>symbol</i> ' was changed from ' <i>old</i> ' to ' <i>new</i> '.
	[説明]	変数 <i>symbol</i> のセクションを <i>old</i> から <i>new</i> に変更しました。
W5502	[メッセージ]	The size of variable ' <i>symbol</i> ' was changed from <i>old</i> to <i>new</i> .
	[説明]	変数 <i>symbol</i> のサイズを <i>old</i> から <i>new</i> に変更しました。
W5503	[メッセージ]	The alignment of variable ' <i>symbol</i> ' was changed from <i>old</i> to <i>new</i> .
	[説明]	変数 <i>symbol</i> のアライメントを <i>old</i> から <i>new</i> に変更しました。
W5504	[メッセージ]	The initial value of variable ' <i>symbol</i> ' was changed.
	[説明]	変数 <i>symbol</i> の初期値を変更しました。
W6101	[メッセージ]	immediate for shift operator is out of range
	[説明]	シフト命令に対し指定されたイミディエートの値が指定可能な値の範囲を越えています。下位の有効な桁数分だけが指定されたものとみなし、処理を続行します。
W6102	[メッセージ]	first argument of <code>_rcopy()</code> is illegal
	[説明]	コピー・ルーチン <code>_rcopy</code> の第一引数が不正です。
W6701	[メッセージ]	Load module file is older than object module file 'ロード・モジュール・ファイル名, オブジェクト・モジュール・ファイル名'
	[説明]	オブジェクト・モジュール・ファイル名よりも古いロード・モジュール・ファイル名が指定されました。
W6702	[メッセージ]	Load module file is older than assemble module file 'ロード・モジュール・ファイル名, アセンブル・リスト・ファイル名'
	[説明]	アセンブル・リスト・ファイル名よりも古いロード・モジュール・ファイル名が指定されました。
W6703	[メッセージ]	Assemble list has error statement ' <i>ファイル名</i> '
	[説明]	アセンブル・リスト内に、エラー行があります。
W6704	[メッセージ]	Segment name is not found in assemble list file ' <i>セグメント名</i> '
	[説明]	アセンブル・リスト内に、オブジェクト・モジュール・ファイルのセグメント名が見つかりません。
W6705	[メッセージ]	Segment data length is different ' <i>セグメント名</i> '
	[説明]	アセンブル・リスト・ファイル上のセグメント・データの長さ、オブジェクト・モジュール・ファイル上のデータの長さが異なります。 余分なセグメントのデータは無視して、処理が実行されます。
W7041	[メッセージ]	Too large -VS parameter.( <code>saddr-gap:XXXXXH</code> )
	[説明]	-vs オプションに空き領域より大きな値が設定されました。
	[対処方法]	-vs オプションには空き領域以下の値を設定してください。
W7101	[メッセージ]	sorry, not implemented option ' <i>option</i> ', ignored
	[説明]	オプション <i>option</i> は現在サポートされていません。無視されます。

W7102	[メッセージ]	redeclaration of ' <i>symbol</i> '
	[説明]	<i>symbol</i> が再宣言されています。
W7103	[メッセージ]	Symbol ' <i>symbol</i> ' has different size ( <i>num1</i> and <i>num2</i> ).
	[説明]	データ・シンボル <i>symbol</i> に関して異なるサイズ ( <i>num1</i> と <i>num2</i> ) のマージが発生しました。
W7104	[メッセージ]	Symbol ' <i>symbol</i> ' has different alignment size ( <i>num1</i> and <i>num2</i> ). Changed to least common multiple value ( <i>num3</i> ).
	[説明]	データ・シンボル <i>symbol</i> に関して異なるアライメント・サイズ ( <i>num1</i> と <i>num2</i> ) のマージが発生しました。最大公倍数 <i>num3</i> に変更します。
W7105	[メッセージ]	cannot hide symbol ' <i>symbol</i> '
	[説明]	シンボル <i>symbol</i> をハイド化できません。
W7106	[メッセージ]	Argument type mismatch is detected where ' <i>caller</i> ' calls ' <i>callee</i> '.
	[説明]	インライン展開時に <i>caller</i> と <i>callee</i> の引数の型に違いがあります。変換できる場合は、定義での型に変換し、できない場合、インライン展開は無視されます。
W7107	[メッセージ]	Return value type mismatch is detected where ' <i>caller</i> ' calls ' <i>callee</i> '.
	[説明]	インライン展開時に <i>caller</i> と <i>callee</i> の戻り値の型に違いがあります。変換できる場合は、呼び出し側の型に変換し、できない場合、インライン展開は無視されます。
W8101	[メッセージ]	cannot calculate <i>name</i> 's frequency
	[説明]	変数 <i>name</i> の利用頻度が計算できません。変数が利用されていない場合で、かつ、-v オプション指定時に表示されます。この警告メッセージは無視してかまいません。
W8105	[メッセージ]	Library file ' <i>ファイル名</i> ' has no public symbol
	[説明]	ライブラリ・ファイルにパブリック・シンボルが存在しません。そのため、ライブラリ・ファイルに含まれるオブジェクト・モジュールはリンクされません。
W8111	[メッセージ]	you use -O option, sorting option ignored
	[説明]	-O オプションと、ソート・オプションが同時に指定されたため、ソート・オプションは無視されます。
W8121	[メッセージ]	unrecognized option <i>option</i> , ignored
	[説明]	オプション <i>option</i> が認識できないため、無視されます。
W8213	[メッセージ]	Segment ' <i>セグメント名</i> ' allocated on General-purpose registers
	[説明]	このセグメントは汎用レジスタ領域に配置されました。
	[対処方法]	意図しない汎用レジスタの上書きが起り得るので、必要であれば配置を見直してください。
W8215	[メッセージ]	Segment ' <i>セグメント名</i> ' allocated on SELFRAM
	[説明]	このセグメントは BRAM と内部 RAM が重複する領域に配置されたため、セルフ・プログラミング・モード時にはデータが破壊される場合があります。詳細については、デバイスのユーザーズ・マニュアルを参照してください。
W8306	[メッセージ]	can not open file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> をオープンできません。

W8307	[メッセージ]	can not close file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> をクローズできません。
W8308	[メッセージ]	can not read file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> から読み込みできません。
W8309	[メッセージ]	can not write file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> への書き込みができません。
W8310	[メッセージ]	can not seek file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> をシークできません。
W8311	[メッセージ]	can not find file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> の読み込みができません。
W8315	[メッセージ]	can not find member <i>member</i>
	[説明]	アーカイブ・ファイル内にメンバ <i>member</i> が存在しません。
W8322	[メッセージ]	this symbol offset not true
	[説明]	アーカイブ・ファイルのシンボル・オフセットが不正です。
W8406	[メッセージ]	Stack area less than 10 bytes
	[説明]	確保したスタック領域の大きさが 10 バイト以下です (-s オプションで指定されたメモリ領域に確保できたスタック領域の大きさが、10 バイト以下です)。
W8407	[メッセージ]	Can't allocate stack area
	[説明]	スタック領域を確保するメモリ領域に、空き領域がありません (-s オプションで指定されたメモリ領域に、スタック領域を確保できません)。
W8411	[メッセージ]	Different REL type in ' <i>ファイル名</i> '
	[説明]	オブジェクト・モジュール・ファイルの型バージョンに相違があります。
	[対処方法]	最新版でアセンブル、またはコンパイルし直してください。
W8416	[メッセージ]	Multiple CAP/NOCAP are in file ' <i>ファイル名 (オプション)</i> '. Defined first one in file ' <i>ファイル名 (オプション)</i> '
	[説明]	全入力オブジェクト・モジュール・ファイルを対象に、アセンブル、またはコンパイル・オプションの CAP/NOCAP が一致していません。
W8417	[メッセージ]	The version of <i>ツール名</i> in file ' <i>ファイル名</i> ' are more than one. Used the first one in file ' <i>ファイル名</i> '
	[説明]	全入力オブジェクト・モジュール・ファイルを対象に、リンクまでに使用した各ツール (CC78K0, ST78K0, RA78K0, CC78K0R, RA78K0R)、およびデバイス・ファイルのバージョンに相違があります。
W8418	[メッセージ]	File ' <i>ファイル名</i> ' is old. Can't find TOOL infomation
	[説明]	入力したオブジェクト・モジュール・ファイルに TOOL 情報がない場合、出力しません。 通常、旧 (DF 非対応) をリンクを行うと必ず出力します。
W8420	[メッセージ]	File ' <i>ファイル名</i> ' already has had error(s) /warning(s) by ' <i>ツール名</i> '
	[説明]	リンクまでに使用していた各ツール (CC78K0, ST78K0, RA78K0, CC78K0R, RA78K0R) においてエラー、またはワーニング・メッセージを出力しています。

W8434	[メッセージ]	Can't specify User Option Bytes/On-Chip Debug Option Bytes/Security ID with LMF
	[説明]	入力ファイルにロード・モジュール・ファイルを指定した場合、-gb/-go/-gi オプションを指定することはできません。
	[対処方法]	入力ファイルにロード・モジュール・ファイルを指定して再リンクを行う場合、-gb/-go/-gi オプションは指定しないでください。
W8508	[メッセージ]	duplicated <i>-option1</i> option, ignored <i>-option2</i> option.
	[説明]	<i>option1</i> オプションが複数回指定されました。 <i>option2</i> オプションは無視されます。
W8509	[メッセージ]	<i>section</i> section is already defined by -p option and therefore this section is ignored.
	[説明]	<i>section</i> セクションは、すでに -p オプションで指定されていますので無視されます。
W8510	[メッセージ]	<i>section</i> section is already defined by -t option and therefore this section is ignored.
	[説明]	<i>section</i> セクションは、すでに -t オプションで指定されていますので無視されます。
W8518	[メッセージ]	@ option needs argument, ignored.
	[説明]	@ オプションに対する引数が足りませんので無視されます。
W8525	[メッセージ]	rompsec section overflowed highest address of target machine.
	[説明]	rompsec セクションを作成する際にメモリの上限を越えました。
	[補足]	-rom_less オプションを指定することにより、本メッセージを消去することが可能です。
W8533	[メッセージ]	can not open file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> を開けません。 <i>file</i> に対する処理を省略します。
W8534	[メッセージ]	" <i>option</i> " option's argument is illegal, ignored " <i>option</i> " option.
	[説明]	<i>option</i> オプションの引数が不正です。指定を無視しました。
W8713	[メッセージ]	file name <i>name</i> is too long
	[説明]	ファイル名 <i>name</i> の長さが限界を越えています。
W8714	[メッセージ]	expect command file after @, ignored
	[説明]	@ の後ろにコマンド・ファイルを指定してください。@ オプションは無視されます。
W8715	[メッセージ]	<i>section</i> section is already defined by -l option, ignored
	[説明]	<i>section</i> セクションは、-l オプションで指定済みなので無視されます。
W8716	[メッセージ]	-S and -x expect -fT
	[説明]	-S オプションと -x オプションは、拡張テック・ヘキサ・フォーマットが指定された場合にのみ有効です。
W8717	[メッセージ]	-S expect -fT
	[説明]	-S オプションは、拡張テック・ヘキサ・フォーマットが指定された場合にのみ有効です。
W8718	[メッセージ]	-x expect -S and -fT
	[説明]	-x オプションは、-S オプションと -fT オプションと同時に指定された場合にのみ有効です。
W8719	[メッセージ]	<i>option1</i> option overrides <i>option2</i> option
	[説明]	<i>option1</i> オプションが指定されたため、 <i>option2</i> オプションは無効となります。

W8730	[メッセージ]	<i>section</i> section overflowed lowest address of internal memory
	[説明]	<i>section</i> セクションは、内蔵 ROM 領域、または -U オプションで指定した領域の下限を越えています。
W8731	[メッセージ]	<i>section</i> section overflowed highest address of internal memory
	[説明]	<i>section</i> セクションは、内蔵メモリ空間の範囲を越えています。
W8732	[メッセージ]	<i>section</i> section overflowed lowest address of program memory
	[説明]	<i>section</i> セクションは、プログラムメモリの下限を越えています。
W8733	[メッセージ]	<i>section</i> section is converted from its midst
	[説明]	<i>section</i> セクションの途中の指定されたアドレスからヘキサ変換を行います。
W8734	[メッセージ]	<i>section</i> section is converted until its midst
	[説明]	<i>section</i> セクションの途中の指定された領域までヘキサ変換を行います。
W8735	[メッセージ]	The address of convert area exceeds the maximum value of the address that can be expressed in the Intel expanded hex format
	[説明]	アドレスが、インテル拡張ヘキサ・フォーマット形式で表現可能なアドレスの最大値 (20 ビット) を越えています。表現可能な範囲をアドレスとして出力する形で処理を続行します。
	[対処方法]	<p>本メッセージの原因としては、次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ROM 化を忘れている ROM に配置したセクションと同時に内蔵 RAM のセクションをヘキサ変換を行おうとしている可能性があります。ヘキサ変換を行う前に ROM 化を行ってください (ROM 化についての詳細は、「CubeSuite コーディング編/ビルド編」を参照してください)。</li> <li>- ヘキサ変換対象のセクションが間違っている 同時にヘキサ変換するセクションのアドレスが、大きく離れている可能性があります。複数の ROM を使用している場合には、ROM ごとにヘキサ変換を行ってください。また、ヘキサ変換するセクションは正しいか、セクションの配置アドレスが正しいかを確認してください。</li> <li>- セクションのサイズ自体が大きい ヘキサ変換を行おうとしている領域が大きく表現可能な範囲を越えている場合には、ヘキサ変換できません。表現可能な範囲まで分割するか、別のヘキサ・フォーマットを使用してください。</li> </ul> <p>(注意事項)</p> <p>アドレスの最大値を 20 ビットと表現していますが、実際には 20 ビット付近となります。本メッセージが出力される原因であるインテル拡張ヘキサ・フォーマット形式の 20 ビットのアドレス表現は、上位アドレスを保有する拡張アドレス・レコードと、そこからのオフセットを所有するデータ・レコードから算出されます。拡張アドレス・レコードの上位アドレスが 20 ビットに収まっていれば、それに続くデータ・レコードのオフセットを加算した結果が 20 ビットを越えたとしても、インテル拡張ヘキサ・フォーマット形式として正常な出力であり、エラーにはなりません。</p>

W8736	[メッセージ]	The address of convert area exceeds the maximum value of the address that can be expressed in the Motorola S type hex format (standard address)
	[説明]	アドレスがモトローラ S タイプ・ヘキサ・フォーマット (スタンダード・アドレス) 形式で表現可能なアドレスの最大値 (24 ビット) を越えています。表現可能な範囲をアドレスとして出力する形で処理を続行します。
	[対処方法]	<p>本メッセージの原因としては、次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ROM 化を忘れている</li> </ul> <p>ROM に配置したセクションと同時に内蔵 RAM のセクションをヘキサ変換を行おうとしている可能性があります。ヘキサ変換を行う前に ROM 化を行ってください (ROM 化についての詳細は、「CubeSuite コーディング編/ビルド編」を参照してください)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ヘキサ変換対象のセクションが間違っている</li> </ul> <p>同時にヘキサ変換するセクションのアドレスが、大きく離れている可能性があります。複数の ROM を使用している場合には、ROM ごとにヘキサ変換を行ってください。また、ヘキサ変換するセクションは正しいか、セクションの配置アドレスが正しいかを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- セクションのサイズ自体が大きい</li> </ul> <p>ヘキサ変換を行おうとしている領域が大きく表現可能な範囲を越えている場合には、ヘキサ変換できません。表現可能な範囲まで分割するか、別のヘキサ・フォーマットを使用してください。</p>
W8737	[メッセージ]	The start address of convert area exceeds the maximum value of the address that can be expressed in the Intel expanded hex format
	[説明]	先頭アドレスが、インテル拡張ヘキサ・フォーマット形式で表現可能なアドレスの最大値 (20 ビット) を越えています。表現可能な範囲をアドレスとして出力する形で処理を続行します。
	[対処方法]	<p>本メッセージの原因としては、次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- セクションのアドレスが大きい</li> </ul> <p>セクションの配置されているアドレスが、表現可能な範囲を越えている可能性があります。-d オプションでヘキサ変換する領域の先頭アドレスを指定してそのアドレスからのオフセットとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- -d オプションで指定した値が不適切</li> </ul> <p>-d オプションを指定することで、アドレスを指定した値からのオフセットとして扱うことが可能です。この値からのオフセットが表現可能な範囲を越えている可能性があります。適切な値を指定してください。</p>

W8738	[メッセージ]	The start address of convert area exceeds the maximum value of the address that can be expressed in the Motorola S type hex format (standard address)
	[説明]	先頭アドレスが、モトローラ S タイプ・ヘキサ・フォーマット形式で表現可能なアドレスの最大値 (24 ビット) を越えています。表現可能な範囲をアドレスとして出力する形で処理を続行します。
	[対処方法]	本メッセージの原因としては、次の理由が考えられます。 - セクションのアドレスが大き セクションの配置されているアドレスが、表現可能な範囲を越えている可能性があります。-d オプションでヘキサ変換する領域の先頭アドレスを指定してそのアドレスからのオフセットとしてください。 -d オプションで指定した値が不適切 -d オプションを指定することで、アドレスを指定した値からのオフセットとして扱うことが可能です。この値からのオフセットが表現可能な範囲を越えている可能性があります。適切な値を指定してください。
W8747	[メッセージ]	too small block length. Length => <i>length</i>
	[説明]	指定されたブロック長の最大値が小さすぎます。デフォルトの値 <i>length</i> に変更し処理を続行します。
W8748	[メッセージ]	too large block length. Length => <i>length</i>
	[説明]	指定されたブロック長の最大値が大きすぎます。指定することのできる値の最大値 <i>length</i> に変更し処理を続行します。
W8749	[メッセージ]	block length is set. Length => <i>length</i>
	[説明]	ブロック長の最大値をデフォルトの値から <i>length</i> に変更し処理を続行します -b オプション時に指定することのできる値が指定された場合に表示されます。
W8750	[メッセージ]	symbol block length exceed default value
	[説明]	シンボル・ブロックのブロック長が指定されたブロック長の最大値を越えています。
W9102	[メッセージ]	illegal object file ( <i>string</i> )
	[説明]	オブジェクト・ファイルが正しくありません。
W9121	[メッセージ]	buffer number error
	[説明]	バッファナンバーが正しくありません。
W9122	[メッセージ]	illegal option -c
	[説明]	-c をオプションとして、指定することはできません。
W9123	[メッセージ]	illegal option +c
	[説明]	+c をオプションとして、指定することはできません。
W9125	[メッセージ]	not enough argument
	[説明]	引数が足りません。
W9126	[メッセージ]	not enough argument for <i>string</i>
	[説明]	オプション <i>string</i> に対する引数が足りません。
W9127	[メッセージ]	Size error
	[説明]	サイズが正しくありません。



W9400	[メッセージ]	ファイル(ファイル名)が見つかりませんでした。ファイル名を指定し直してください。
	[説明]	指定されたファイルが存在しません。
	[対処方法]	ファイル名を指定し直してください。
W9401	[メッセージ]	ファイル(ファイル名)は読み込み禁止です。 読み込める状態にしてください。
	[説明]	指定されたファイルは読み込み禁止です。
	[対処方法]	ファイルの属性をチェックして、読み込み可能な状態にしてください。
W9402	[メッセージ]	ファイル(ファイル名)は書き込み禁止です。 ファイル及びフォルダを書き込める状態にしてください。
	[説明]	指定されたファイルは書き込み禁止です。
	[対処方法]	ファイルおよびフォルダの属性をチェックして、書き込み可能な状態にしてください。
W9403	[メッセージ]	ファイル(ファイル名)の読み込みでエラーが発生しました。ファイルが読み込み可能な状態にあるか確認してください。
	[説明]	指定されたファイルの読み込みでエラーが発生しました。
	[対処方法]	ファイルが読み込み可能な状態にあるか確認してください。
W9404	[メッセージ]	ファイル(ファイル名)の書き込みでエラーが発生しました。ファイルが書き込み可能な状態にあるか確認してください。
	[説明]	指定されたファイルの書き込みでエラーが発生しました。
	[対処方法]	ファイルが書き込み可能な状態にあるか確認してください。
W9405	[メッセージ]	ファイル(ファイル名)の行番号行は一行の文字数限界(限界値)を超えています。
W9406	[メッセージ]	ファイル(ファイル名)の行数はファイルの行数限界(限界値)を超えています。
W9407	[メッセージ]	ファイル名(ファイル名)が長すぎます。255文字以上となるファイルを扱うことはできません。
W9410	[メッセージ]	使われていない関数名(関数名)が指定されています(ファイル名:行番号行)。 Cソース・ファイル中に定義または直接呼び出しがある関数を指定してください。 読み込みを中止しますか?
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、プロジェクトで使われていない関数名が指定されています。 指定できるのは、Cソース・ファイル中に定義、または直接呼び出しがある関数のみです。
	[対処方法]	[中止]: 処理を中止します。 [再試行]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。



W9411	[メッセージ]	スタティック関数名の前に付けられたファイル名（ファイル名）が長すぎます（ファイル名：行番号行）。 255 文字以下にしてください。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、スタティック関数の前に付けられた、その関数の定義を含むファイルの名前が長すぎるものが見つかりました。 255 文字以下にしてください。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W9412	[メッセージ]	関数名（関数名）が長すぎます（ファイル名：行番号行）。 1,022 文字以下にしてください。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、長すぎる関数名が見つかりました。 1,022 文字以下にしてください。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W9413	[メッセージ]	“ADD=” の後の値（値）が不正です（ファイル名：行番号行）。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な加算サイズの指定が見つかりました。 加算サイズは、“ADD=” の後に、10 進数、または“0x”か“0X”で始まる 16 進数で、指定可能な値を指定してください。 指定可能な値は次のとおりです。 【78K0】 0 ~ 65,535 【78K0R】 0 ~ 1,048,575 【V850】 0 ~ 2,147,483,647
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。

W9414	[メッセージ]	複数の“ADD=”が指定されています（ファイル名：行番号行）。 加算サイズは一関数に一つしか指定できません。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な加算サイズの指定が見つかりました。 加算サイズは一関数に一つしか指定できません。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W9415	[メッセージ]	“RECTIME=”の後の値（値）が不正です（ファイル名：行番号行）。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な再帰回数の指定が見つかりました。 再帰回数は、“RECTIME=”の後に、10進数、または“0x”か“0X”で始まる16進数で正の値を指定してください。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W9416	[メッセージ]	複数の“RECTIME=”が指定されています（ファイル名：行番号行）。 再帰回数は一関数に一つしか指定できません。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な再帰回数の指定が見つかりました。 再帰回数は一関数に一つしか指定できません。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。

W9417	[メッセージ]	再帰関数以外で“RECTIME=”が指定されています（ファイル名：行番号行）。 “RECTIME=”は再帰関数にしか使うことができません。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な再帰回数の指定が見つかりました。 再帰回数の指定“RECTIME=”は再帰関数にしか使うことができません。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W9418	[メッセージ]	“CALL=”の後に関数名が指定されていません（ファイル名：行番号行）。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な呼び出し関数の指定が見つかりました。 “CALL=”の後に関数名を指定してください。プロジェクトで使用されていない関数を指定することはできません。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W9419	[メッセージ]	“CALL=”の後に複数の関数名が指定されています（ファイル名：行番号行）。 関数毎に“CALL=”を用いて指定してください。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な呼び出し関数の指定が見つかりました。 “CALL=”の後には1つの関数しか指定できません。複数指定する場合、“CALL=”も複数指定してください。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。

W9424	[メッセージ]	同一関数に対する指定が複数見つかりました (ファイル名: 行番号1行と行番号2行)。 片方を削除してください。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、同一関数に対する指定が行番号1行と行番号2行で見つかりました。 片方を削除してください。
	[対処方法]	[中止]: 処理を中止します。 [再試行]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W9425	[メッセージ]	ファイル (ファイル名) の行番号行は一行の文字数限界 (5,119) を超えています。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルの行番号行は一行の文字数限界 (5,119) を越えています。 呼び出し関数の指定を減らしてください。呼び出す関数すべてを登録しても、スタック・サイズに加算されるのは、スタック・サイズが最大となる関数だけです。
	[対処方法]	[中止]: 処理を中止します。 [再試行]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W9426	[メッセージ]	不正なフォーマットが見つかりました (ファイル名: 行番号行)。 スタックサイズ指定ファイルを確認してください。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルの行番号行は不正なフォーマットです。 ファイルを確認してください。
	[対処方法]	[中止]: 処理を中止します。 [再試行]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。

W9427	[メッセージ]	標準ライブラリ用のスタックサイズ指定ファイル(ファイル名)が見つかりませんでした。ファイル名が持っているサイズ情報(デフォルトファイル名に同じ)を使います。
	[説明]	標準ライブラリ用のスタック・サイズ指定ファイルが見つかりませんでした。sk78k0/k0r/V850 が持っているサイズ情報(デフォルトファイル名に同じ)を使います。
	[対処方法]	正常にインストールされていない可能性があるため、再インストールしてください。
W9428	[メッセージ]	標準ライブラリ用のスタックサイズ指定ファイル(ファイル名)で不正なフォーマットが見つかりました(行番号行)。
	[説明]	標準ライブラリ用のスタック・サイズ指定ファイルで不正なフォーマットが見つかりました。
	[対処方法]	正常にインストールされていない可能性があるため、再インストールしてください。
W9429	[メッセージ]	stk システムファイル(ファイル名)が壊れています。 無視しました。
	[説明]	stk システム・ファイルが不正です。
	[対処方法]	これより前に行ったスタック・サイズの変更が正しく反映されていない可能性があるため、確認のうえ、正しくない場合には再設定してください。
W9430	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】アセンブラ・ソース・モジュール・ファイルが見つかりませんでした。 PM+ で C ソースファイルを登録し、[ツール]-[コンパイラオプションの設定]で、「出力」タブの「アセンブラ・ソース・モジュール・ファイルの出力」と「ディバグ」タブの「ディバグ情報の出力」を指定した上で、リビルドしてください。
	[説明]	【78K0】【78K0R】アセンブラ・ソース・モジュール・ファイルが見つかりませんでした。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 CubeSuite で C ソース・ファイルを登録し、ビルド・ツールのプロパティパネルで [コンパイル・オプション] タブを選択し、[デバッグ情報] カテゴリの [デバッグ情報を生成する] プロパティで [はい(アセンブラとオブジェクト・ファイルの両方)(-g2)] を、[アセンブリ・ファイル] カテゴリの [アセンブリ・ファイルを出力する] プロパティで [はい] を指定したうえで、リビルドしてください。
	[メッセージ]	【V850】 中間アセンブラ・ファイルが見つかりませんでした。 PM+ で C ソースファイルを登録し、[ツール]-[コンパイラオプションの設定]の「一般」タブで、「アセンブラソース」を指定した上で、リビルドして下さい。
	[説明]	【V850】 中間アセンブラ・ファイルが見つかりませんでした。
	[対処方法]	【V850】 CubeSuite で C ソース・ファイルを登録し、ビルド・ツールのプロパティパネルで [コンパイル・オプション] タブを選択し、[出力ファイル] カテゴリの [アセンブリ・ファイルを出力する] プロパティで [はい(-Fs)] を指定したうえで、リビルドしてください。

W9431	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 アセンブラ・ソース・モジュール・ファイル(ファイル名)が見つかりませんでした。 対応するCソース・ファイルのコンパイラオプションの設定を確認した上で、リビルドしてください。
	[説明]	【78K0】【78K0R】 アセンブラ・ソース・モジュール・ファイルが見つかりません。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 CubeSuite で、対応するCソース・ファイルのプロパティパネルで [個別コンパイラ・オプション] タブを選択し、[デバッグ情報] カテゴリの [デバッグ情報を生成する] プロパティで [はい(アセンブラとオブジェクト・ファイルの両方)(-g2)] を、[アセンブリ・ファイル] カテゴリの [アセンブリ・ファイルを出力する] プロパティで [はい] を指定したうえで、リビルドしてください。
	[メッセージ]	【V850】 中間アセンブラ・ファイル(ファイル名)が見つかりませんでした。 対応するCソース・ファイルのコンパイラオプションの設定を確認した上で、リビルドしてください
	[説明]	【V850】 中間アセンブラ・ファイルが見つかりません。
	[対処方法]	【V850】 CubeSuite で、対応するCソース・ファイルのプロパティパネルで [個別コンパイラ・オプション] タブを選択し、[出力ファイル] カテゴリの [アセンブリ・ファイルを出力する] プロパティで [はい(-Fs)] を指定したうえで、リビルドしてください。
W9432	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 不正なフォーマットがアセンブラ・ソース・モジュール・ファイル(ファイル名)で見つかりました(行番号行)。 ファイルを確認してください。
	[説明]	【78K0】【78K0R】 アセンブラ・ソース・モジュール・ファイルの行番号行は、不正なフォーマットです。
	[対処方法]	【78K0】【78K0R】 CA78K0/K0R が生成したアセンブラ・ソース・モジュール・ファイルでない可能性があります。ファイルを確認して、リビルドしてください。
	[メッセージ]	【V850】 不正なフォーマットが中間アセンブラ・ファイル(ファイル名)で見つかりました(行番号行)。 ファイルを確認してください。
	[説明]	【V850】 中間アセンブラ・ファイルの行番号行は、不正なフォーマットです。
	[対処方法]	【V850】 CA850 が生成した中間アセンブラ・ファイルでない可能性があります。ファイルを確認して、リビルドしてください
W9433	[メッセージ]	コンパイラ名バージョンには対応していません。 対応バージョン以降を使用してください。
	[説明]	コンパイラのバージョンが古い場合、ランタイムライブラリ、または標準ライブラリの呼び出しが含まれる場合には、正しいスタック・サイズを計算できません。
	[対処方法]	CA78K0/K0R には対応しています。リビルドしてください。
W9434	[メッセージ]	デバイスが異なるアセンブラ・ソース・モジュール・ファイル(ファイル名)が見つかりました。
	[説明]	ファイルは異なるシリーズ用のコンパイラで生成されたものです。 このファイルは解析できません。

W9435	[メッセージ]	コンパイラのバージョンが異なるアセンブラ・ソース・モジュール・ファイル（ファイル名）が見つかりました。
	[説明]	アセンブラ・ソース・モジュール・ファイルは異なるバージョンのコンパイラでコンパイルされました。 このファイルは解析できません。
W9440	[メッセージ]	プロジェクト・ファイル（ファイル名）が不正です。ファイルを確認してください。
	[説明]	プロジェクト・ファイルが正しくありません。ファイルを確認してください。 起動後にメニューから開いたプロジェクト・ファイルが不正な場合に発生します。
W9450	[メッセージ]	出力結果が 32,767 行を超えています。関数の選択を変更するか、最大経路のみの出力にしてください。
	[説明]	出力結果が 32,767 行を超えています。
	[対処方法]	関数の選択を変更するか、最大経路のみの出力にしてください。
W9451	[メッセージ]	出力結果の一行が 5,119 文字を超えています。 関数の選択を変更するか、テキスト形式で出力してください。
	[説明]	出力結果の一行が 5,119 文字を超えています。 関数の選択を変更するか、テキスト形式で出力してください。テキスト形式の場合、改行して表示されます。
W9460	[メッセージ]	呼び出し関数の数が多すぎます。 1,024 個以下にしてください。
	[説明]	呼び出し関数の指定数が限界値を超えています。 1,024 個以下にしてください。呼び出す関数をすべて登録しても、スタック・サイズに加算されるのは、スタック・サイズが最大となる関数だけです。
W9461	[メッセージ]	サイズ設定情報が文字数限界 (5,119) を超えています。 呼び出し関数を減らしてください。
	[説明]	サイズ設定情報が文字数限界 (5,119) を超えています。 呼び出し関数の指定を減らしてください。呼び出す関数すべてを登録しても、スタック・サイズに加算されるのは、スタック・サイズが最大となる関数だけです。5,119 文字には、パラメータ名とセパレータ（“,”）を含みます。
W9462	[メッセージ]	加算サイズの値（値）が不正です。
	[説明]	加算サイズに不正な値が指定されました。 加算サイズは、10 進数、または “0x” か “0X” で始まる 16 進数で指定可能な値を指定してください。 指定可能な値は次のとおりです。 【78K0】 0 ~ 65,535 【78K0R】 0 ~ 1,048,575 【V850】 0 ~ 2,147,483,647
W9463	[メッセージ]	再帰回数の値（値）が不正です。
	[説明]	再帰回数に不正な値が指定されました。 10 進数、または “0x” か “0X” で始まる 16 進数で正の値を指定してください。

W9464	[メッセージ]	加算サイズが大きすぎます。 値以下の値を指定してください。
	[説明]	加算サイズに限界値を越える値が指定されました。 値を修正してください。 指定可能な値は次のとおりです。 【78K0】 0 ~ 65,535 【78K0R】 0 ~ 1,048,575 【V850】 0 ~ 2,147,483,647
W9465	[メッセージ]	関数 (関数名) のスタックサイズが値を超えました。 再帰回数の値を小さくしてください。
	[説明]	関数のスタック使用量が、限界値を越えました。
	[対処方法]	再帰回数の値を小さくしてください。
W9466	[メッセージ]	関数 (関数名) のスタックサイズが、値を超えました。 最大経路中の関数からスタックサイズを減らしてください。
	[説明]	関数のスタック使用量が、限界値を越えました。
	[対処方法]	最大経路中の関数からスタック・サイズを減らしてください
W9651	[メッセージ]	'xxx' invalid option, ignored
	[説明]	無効なオプション xxx を指定しました。
W9652	[メッセージ]	too long identifier 'xxx..' [%d]
	[説明]	識別子 xxx が %d 文字を越えました。
W9653	[メッセージ]	specified function 'xxx' not found
	[説明]	指定した関数 xxx に関する記述がありません。
W9654	[メッセージ]	section not found in 'xxx'
	[説明]	-file=xxx で指定したファイル xxx にセクションに関する記述がありません。
W9655	[メッセージ]	DefinitionType section not found in 'xxx'
	[説明]	-d=xxx で指定したファイル xxx に DefinitionType セクションに関する記述がありません。
W9656	[メッセージ]	IgnoreIdent section not found in 'xxx'
	[説明]	-i=xxx で指定したファイル xxx に IgnoreIdent セクションに関する記述がありません。
W9657	[メッセージ]	NoIncludeFile section not found in 'xxx'
	[説明]	-ni=xxx で指定したファイル xxx に NotIncludeFile セクションに関する記述がありません。
W9751	[メッセージ]	'xxx' invalid option, ignored
	[説明]	無効なオプション xxx を指定しました。
W0023001	[メッセージ]	タグ (xx) は、ありません。
W0023002	[メッセージ]	有効なデータは、ありません。
W0024001	[メッセージ]	タグ (xx) は、ありません。
W0024002	[メッセージ]	有効なデータは、ありません。
W0130000	[メッセージ]	必要なライセンスが登録されていないため以下のアップデートは表示されません。



W0140018	[メッセージ]	インストールが成功しました。 インストールの完了には再起動が必要です。
	[説明]	インストールがすべて成功し、再起動の必要があるときに表示されます。
W0140022	[メッセージ]	インストール完了前に中断されました。
	[説明]	インストールを途中で中断したときに表示されます。
W0140025	[メッセージ]	インストール完了前に中断されました。 OSの再起動が必要です。
	[説明]	インストールを中断して、完了した部分（中断前）のインストールで再起動の必要があるときに表示されます。
W0140029	[メッセージ]	全てのツールをアンインストールするには、 「アプリケーションの追加と削除」(Windows2000の場合)、 「プログラムの追加と削除」(WindowsXPの場合)、 「プログラムと機能」(Windows Vistaの場合)で 「CubeSuite Utilities」を削除してください。
	[説明]	統合アンインストーラで、表示されているすべてのCubeSuite関連ツールのアンインストールが完了したときに表示されます。 すべてのCubeSuite関連ツールをアンインストールするためには、Windowsの機能から手動で「CubeSuite Utilities」を削除してください。
W0140031	[メッセージ]	アンインストールの完了には、OSの再起動が必要です。
W0200001	[メッセージ]	ご使用のPCに、問い合わせ用の情報／アップデート機能で使用する情報のファイルが複数存在しています。情報ファイルは唯一である必要があります。xxxを再インストールしてください。
	[説明]	問い合わせ用の情報／アップデート機能で使用する情報のファイルが複数存在していたときに、表示されます。
	[対処方法]	再インストールしてください。
W0201003	[メッセージ]	書き込み許可を変更できませんでした。
	[説明]	対象ファイルの「読み取り専用」属性の変更ができません。
	[対処方法]	カレント・ユーザが属性を編集できるファイルを指定してください。
W0202001	[メッセージ]	プロジェクトの流用に失敗しました。ファイル構成やツールのプロパティは適用されていません。
	[説明]	プロジェクト流用機能を用いたプロジェクトの新規作成で、流用元プロジェクトの解析に失敗した場合などに表示されます。ファイル構成やツールのプロパティは適用されません。
	[対処方法]	正常に読み込めるプロジェクトを流用元に指定してください。
W0202002	[メッセージ]	プロパティの適用に失敗しました。(ツール名: xxx)
	[説明]	プロジェクト流用機能を用いたプロジェクトの新規作成で、ツールのプロパティを適用失敗した場合に表示されます。流用元プロジェクトのファイル構成は適用されています。
	[対処方法]	正常に読み込めるプロジェクトを流用元に指定してください。

W0202003	[メッセージ]	指定されたプロジェクト・ファイルは復元が可能ですが、上書き保存することで一部情報が失われる可能性があります。
	[説明]	互換性が完璧ではないプロジェクト・ファイルを読み込もうとしました。復帰はできませんが、上書き保存してしまうと情報が一部欠損します。
	[対処方法]	指定されたプロジェクト・ファイルを作成したツール・バージョンと同一か確認してください。必要であれば、統合開発環境フレームワークとプラグインをアップデートしてください。
W0202004	[メッセージ]	指定されたコンパイラ・パッケージのバージョンに対応していないプラグインがあります。詳細は、出力パネルの[すべてのメッセージ]タブを参照してください。
	[説明]	コンパイラ・パッケージのバージョンが変更されたことにより、プラグインの一部、またはすべての機能が動作しなくなりました。
	[対処方法]	プラグインとコンパイラ・パッケージのバージョンの整合性を確保してください。
W0202005	[メッセージ]	プロジェクトを前回保存した状態で、開けませんでした。詳細は、出力パネルの[すべてのメッセージ]タブを参照してください。
	[説明]	プロジェクト読み込み時に、前回プロジェクトを保存した状態で読み込むことができなかった場合に表示されます。
W0205001	[メッセージ]	xxx 未満または yyy を越える文字を指定できません。
	[説明]	xxx 文字以上 yyy 文字以下の文字列を指定できる領域に xxx 文字未満、または yyy 文字以上の文字列を指定した場合、メッセージダイアログに表示されます。 xxx は、指定できる文字列の最低文字数、yyy は、指定できる文字列の最大文字数です。xxx、yyy の値は、入力領域依存となります。
	[対処方法]	範囲内の値を指定してください。
W0205002	[メッセージ]	xxx 文字を越える文字を指定できません。
	[説明]	テキスト編集ダイアログでダイアログ表示元に設定できる文字数を越えている行がある場合に表示されます。
	[対処方法]	指定できる文字数を越えている行の文字数を <最大文字数> 文字以下にします。
W0205003	[メッセージ]	xxx 行を越える行を指定できません。
	[説明]	テキスト編集ダイアログでダイアログ表示元に設定できる行数を越えている場合に表示されます。
	[対処方法]	行数を <最大行数> 行以下にします。
W0205004	[メッセージ]	xxx 桁の 16 進数を指定してください。
	[説明]	16 進数を指定する領域で 16 進数に指定できない文字列を含む場合、有効な桁数を含む場合に表示されます。
	[対処方法]	<有効な桁数> の 16 進数を指定します。
W0205006	[メッセージ]	数値を指定してください。
	[説明]	数値を指定する領域で数値に指定できない文字を含む場合に表示されます。
	[対処方法]	数値として有効な文字列を指定します。
W0205007	[メッセージ]	10 進数で指定してください。
	[説明]	10 進数で数値を指定する領域で 10 進数に指定できない文字を含む場合に表示されます。
	[対処方法]	10 進数として有効な文字列を指定します。

W0205008	[メッセージ]	xxx 未満または yyy を越える値を指定できません。
	[説明]	プロパティなどで数値を入力する領域で、指定できる値の範囲外の値を設定した場合に表示されます。
	[対処方法]	xxx から yyy までの値を指定します。
W0205009	[メッセージ]	入力可能な文字セットは、ASCII のみです。
	[説明]	数値、または ASCII 文字を指定する領域で数値、または ACSII 文字に指定できない文字を含む場合に表示されます。
	[対処方法]	数値として有効な文字列、または ASCII 文字として有効な文字列を指定します。
W0205010	[メッセージ]	文字列を指定してください。
	[説明]	空欄になっています。
	[対処方法]	有効な文字列を指定します。
W0205011	[メッセージ]	バスを指定してください。
	[説明]	空欄になっています。
	[対処方法]	有効なバスを指定します。
W0205012	[メッセージ]	指定したバスに存在しないフォルダが含まれています。
	[説明]	指定したバスに存在しないフォルダが含まれています。
	[対処方法]	有効なバスを指定します。
W0205013	[メッセージ]	ファイル名、または、バス名が不正です。文字 (* ? " < >  ) は使用できません。
	[説明]	不正な文字が含まれています。
	[対処方法]	有効なバスを指定してください。
W0205014	[メッセージ]	フォーマットが不正です。
	[説明]	プロパティなどで文字列を入力する際にフォーマットが指定されている場合に、不正なフォーマットが入力されたときに表示されます。
	[対処方法]	指定されているフォーマットに沿って文字列を入力します。
W0205015	[メッセージ]	16 進数で指定してください。
	[説明]	16 進数で数値を指定する領域で 16 進数に指定できない文字を含む場合に表示されません。
	[対処方法]	16 進数として有効な文字列を指定します。
W0205016	[メッセージ]	10 進数、または、16 進数で指定してください。
	[説明]	10 進数 / 16 進数で数値を指定する領域で 10 進数 / 16 進数に指定できない文字を含む場合に表示されます。
	[対処方法]	10 進数 / 16 進数として有効な文字列を指定します。
W0205017	[メッセージ]	開始アドレスには、終了アドレスより小さい値を入力してください。
	[説明]	アドレス / シンボルの範囲を指定する領域で開始アドレスが終了アドレスより大きな値である場合に表示されます。
	[対処方法]	開始アドレスに終了アドレス以上の値を設定してください。

W0205018	[メッセージ]	xxx から yyy の範囲で値を入力してください。
	[説明]	アドレス／シンボルの範囲を指定する領域で、デバッグ・ツールのアドレス空間よりも大きな値が指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールのアドレス空間に収まるアドレス範囲を指定してください。
W0205020	[メッセージ]	アドレスの省略はできません。
	[説明]	アドレス／シンボルを指定し、かつ空欄指定を認めていない領域で空欄が指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	アドレス／シンボル／アドレス式を指定してください。
W0205021	[メッセージ]	文字列が長すぎます。xx 文字以内の文字列を指定してください。
	[説明]	文字列を指定する領域で制限文字数以上の文字列が指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	制限文字数以内の文字列を指定してください。
W0205022	[メッセージ]	アドレス式が不正です。シンボル、または数値を指定してください。
	[説明]	アドレス式を指定する領域でアドレス式として不正な文字列が指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	アドレス式として正しい文字列を指定してください。
W0205023	[メッセージ]	指定した値の範囲が不正です。
	[説明]	プロパティなどで数値を入力する領域で、指定できる値の範囲外の値を設定した場合に表示されます。
	[対処方法]	正しい範囲の値を入れてください。
W0205024	[メッセージ]	ファイル名が不正です。文字 ( ¥ / : * ? " < >   ) は使用できません。
	[説明]	不正な文字が含まれています。
	[対処方法]	有効なファイル名を指定してください。
W0208001	[メッセージ]	ブレークを設定できませんでした。グローバルの変数を指定してください。
	[説明]	グローバル変数に対する読み込み／書き込み／読み書き時に発生するブレーク・ポイントの設定に失敗しました。
	[対処方法]	エディタ パネル、ウォッチ パネルにて、グローバルの変数を指定します。
W0208002	[メッセージ]	トレースに記録するための設定ができませんでした。グローバルの変数を指定してください。
	[説明]	グローバル変数に対する読み込み／書き込み／読み書き時に、値をトレースに記録するための設定に失敗しました。
	[対処方法]	エディタ パネル、ウォッチ パネルにて、グローバルの変数を指定します。
W0209001	[メッセージ]	プログラム実行中です。
	[説明]	プログラム実行中のため、実行した操作を行うことができません。
	[対処方法]	プログラムの実行停止後に、再度、同じ操作を行ってください。
W0210001	[メッセージ]	デバッガへの接続が完了しましたが、以下の問題がある可能性があります。
	[説明]	ターゲット・ボードの接続確認の警告が表示されます。
	[対処方法]	変換アダプタ (EA) の接続を確認してください。 ターゲットの接続をしない場合には、変換アダプタの装着を推奨しています。
W0210002	[メッセージ]	ダウンロードが完了しましたが、以下の問題がある可能性があります。
	[説明]	ダウンロード時の警告が表示されます。

W0210003	[メッセージ]	ソフトウェア・ブレークとハードウェア・ブレークが競合しました。ブレーク後の再実行で不正な命令を実行してしまう可能性があります。
	[説明]	ソフトウェア・ブレークとハードウェア・ブレークが競合したときに表示されます。
	[対処方法]	PC 値が不正な値になっている可能性があります。 CPU リセットして、再実行してみてください。
W0212001	[メッセージ]	xxx と重なります。
	[説明]	内部 ROM サイズのプロパティで他のマッピング領域と重なるようなサイズを設定しました。マッピング ダイアログで他のマッピング領域に重なるような設定を行いました。xxx は、, で区切った重なる領域名一覧が表示されます。
	[対処方法]	他の領域と重ならないような設定を行います。
W0212002	[メッセージ]	指定された I/O 保護領域は、1つのターゲット・メモリ領域内に収まっていません。
	[説明]	I/O 保護領域は、設定されている1つのターゲット・メモリ領域に収まらないとならない。指定された領域が1つのターゲット・メモリ領域からはみ出る場合に表示されます。
	[対処方法]	1つのターゲット・メモリ領域に収まるように、指定領域の範囲を修正します。
W0222001	[メッセージ]	マイクロコントローラ一覧はアップデートされていません。
	[説明]	アップデート・ライブラリに例外が起こったときに表示されます（アップデートがない場合や、再起動の要求があった場合など）。
	[対処方法]	メッセージに従ってください。
W0231001	[メッセージ]	ダウンロードするファイルを指定してください。
	[説明]	ダウンロード・ファイル ダイアログにて、追加したダウンロード・アイテムのファイル・パスが空のまま [OK] ボタンを押下した場合に表示されます。
	[対処方法]	ファイル・パスを設定してください。
W0233001	[メッセージ]	関数の定義位置に移動できませんでした。関数を指定してください。
	[説明]	エディタ パネルにて、指定された関数の定義位置への移動に失敗しました。
	[対処方法]	エディタ パネルにて、関数を指定します。
W0235001	[メッセージ]	指定した xxx は存在しません。
	[説明]	指定位置へ移動 ダイアログを SFR/IOR パネルから呼び出し、存在しない SFR/IOR 名を指定した場合に表示されます。
	[対処方法]	存在する SFR/IOR 名を指定してください。
W0240001	[メッセージ]	シンボルの定義位置に移動できませんでした。シンボルを指定してください。
	[説明]	逆アセンブル パネルにて、指定されたシンボルの定義位置への移動に失敗しました。
	[対処方法]	逆アセンブル パネルにて、シンボルを指定してください。
W0241001	[メッセージ]	トレース番号の省略はできません。
	[説明]	データ保存 ダイアログにてトレース・データの保存時、トレース番号の指定欄を空のまま [保存] ボタンを押下した場合に表示されます。
	[対処方法]	トレース番号指定欄に値を入力してください。

W0241002	[メッセージ]	トレース番号は、10 進数の値で入力してください。
	[説明]	データ保存 ダイアログにてトレース・データの保存時、トレース番号の指定欄で 10 進数以外の値を指定し [保存] ボタンを押下した場合に表示されます。
	[対処方法]	トレース番号指定欄に 10 進数の値を指定してください。
W0241003	[メッセージ]	最大トレース番号 xxx 以上のトレース番号が指定されました。
	[説明]	データ保存 ダイアログにてトレース・データの保存時、トレース番号の指定欄で最大トレース番号以上の値を指定して [保存] ボタンを押下した場合に表示されます。
	[対処方法]	トレース番号指定欄に最大トレース番号以下の値を指定してください。
W0242001	[メッセージ]	ウォッチパネルに登録可能なウォッチ式の上限 (128 個) を越えました。
	[説明]	1つのウォッチパネルに登録可能なウォッチ式の上限は 128 個です。
	[対処方法]	不要なウォッチ式を削除するか、別のウォッチパネルに登録してください。
W0242002	[メッセージ]	ウォッチパネルに登録可能なカテゴリの上限 (64 個) を越えました。
	[説明]	1つのウォッチパネルに登録可能なカテゴリの上限は 64 個です。
	[対処方法]	不要なカテゴリを削除するか、別のウォッチパネルに登録してください。
W0243001	[メッセージ]	表示形式 (表示進数、ビット幅) が異なるため、貼り付けできません。
	[説明]	メモリパネルに、メモリ値、または ASCII 文字をペーストする場合には表示されます、ペースト対象の文字列とメモリパネルの表示形式 (表示進数、ビット幅) が異なる場合は、ペーストすることができないので、このメッセージが表示されます。
	[対処方法]	メモリパネルにて、ペースト対象の文字列にあわせて、表示形式 (表示進数、ビット幅) を変更します。
W0243002	[メッセージ]	[メモリ値表示] エリアで扱えない文字が含まれています。
	[説明]	メモリパネルの [メモリ値表示] エリアで扱うことのできない文字が入力、または貼り付けられました。
	[対処方法]	メモリ値として扱える文字列を指定してください。
W0243003	[メッセージ]	[文字表示] エリアに貼り付け可能な文字コードは、ASCII コードのみです。
	[説明]	メモリパネルの [文字表示] エリアは、エンコードに ASCII コードを指定しているときのみ貼り付け操作を行うことができます。
	[対処方法]	ASCII コード以外の文字を貼り付ける場合は、[メモリ値表示] エリアにて貼り付け操作を行います。
W0243004	[メッセージ]	書き込みできない領域を含むため、貼り付けできません。
	[説明]	メモリパネルに、メモリ値、または ASCII 文字をペーストする場合、貼り付け対象範囲に書き込みできない領域を含む場合、このメッセージが表示されます。
	[対処方法]	書き込みできない領域に貼り付けないように、コピーする文字列の長さや、貼り付け先を調節してください。
W0244001	[メッセージ]	初期化データ数が多すぎます。指定可能数は 16 個までです。
	[説明]	メモリ初期化 ダイアログの初期化データに 17 個以上の初期化データを指定して [OK] ボタンを押下した場合に表示されます。
	[対処方法]	初期化データを 16 個以下にしてください。

W0244002	[メッセージ]	各初期化データは、指定可能バイト数は4バイトまでです。
	[説明]	初期化データが5バイト以上のデータが指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	初期化データのバイトサイズを4バイト以内にしてください。
W0244003	[メッセージ]	初期化データを入力してください。
	[説明]	メモリ初期化 ダイアログの初期化データ入力ボックスが空欄で [OK] ボタンが押下された場合に表示されます。
	[対処方法]	初期化データ入力ボックスにデータを入力してください。
W0244004	[メッセージ]	初期化データは、16進数の値で入力してください。
	[説明]	メモリ初期化 ダイアログの初期化データ入力ボックスに16進数以外の値が入力された場合に表示されます。
	[対処方法]	初期化データ入力ボックスに16進数の値を入力してください。
W0245001	[メッセージ]	検索データは省略できません。
	[説明]	メモリ検索 ダイアログの検索データ入力ボックスが空の状態でも [OK] ボタンが押下された場合に、エラー・サービス・プロバイダに表示されます。
	[対処方法]	検索データ入力ボックスに文字列を入力してください。
W0245002	[メッセージ]	検索データの書式が不正です。xxxのyyyで指定してください。
	[説明]	メモリ検索 ダイアログで指定されたデータの書式がメモリ パネルに表示中の表記方法、サイズと異なっていた場合に、エラー・サービス・プロバイダに表示されます。
	[対処方法]	メモリ パネルに表示中のデータの書式で検索データを指定してください。
W0245003	[メッセージ]	一度に検索できるデータは、xxxバイトまでです。
	[説明]	メモリ検索 ダイアログで指定されたデータのサイズが指定バイト数を越えた場合に、エラー・サービス・プロバイダに表示されます。
	[対処方法]	指定バイト数以下のサイズのデータを指定してください。
W0245004	[メッセージ]	不正な文字列が入力されました。xxxでエンコードできる文字列を入力してください。
	[説明]	メモリ検索 ダイアログの文字列検索にて、メモリ パネルに表示中のエンコード形式で指定できない文字列が指定された場合表示されます。
	[対処方法]	エンコーディング可能な文字列を指定してください。
W0249001	[メッセージ]	削除するカテゴリを空にしてください。
	[説明]	SFR/IOR パネルで空でないカテゴリが選択状態のときに [削除 (EditDelete)] コマンドが選択された場合に表示されます。
	[対処方法]	カテゴリを空にします。 SFR/IOR パネルの場合、削除したいカテゴリ下のSFR/IORを他のカテゴリ下に移動してから削除します。
W0261001	[メッセージ]	セグメント名が不正です。文字(0~9A~Za~z_./¥)を使用してください。
	[説明]	リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、不正な文字を使用してセグメント名を指定した場合に表示されます。
	[対処方法]	使用可能な文字で、セグメント名を指定してください。



W0261002	[メッセージ]	すでに、同名のセグメント名が存在します。
	[説明]	リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、すでに存在するセグメント名を指定した場合に表示されます。
	[対処方法]	存在しないセグメント名を変更してください。
W0261003	[メッセージ]	セクション名が不正です。文字 (0 ~ 9 A ~ Z a ~ z _ . / * ) を使用してください。
	[説明]	リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、不正な文字を使用してセクション名を指定した場合に表示されます。
	[対処方法]	使用可能な文字で、セクション名を指定してください。
W0261004	[メッセージ]	すでに、同名のセクション名が存在します。
	[説明]	リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、すでに存在するセクション名を指定した場合に表示されます。
	[対処方法]	存在しないセクション名を変更してください。
W0261005	[メッセージ]	シンボル名が不正です。文字 (0 ~ 9 A ~ Z a ~ z _ . / * ) を使用してください。
	[説明]	リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、不正な文字を使用してシンボル名を指定した場合に表示されます。
	[対処方法]	使用可能な文字で、シンボル名を指定してください。
W0261006	[メッセージ]	すでに、同名のシンボル名が存在します。
	[説明]	リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、すでに存在するシンボル名を指定した場合に表示されます。
	[対処方法]	存在しないシンボル名を変更してください。
W0261007	[メッセージ]	セクション名が不正です。指定したセクション名は、セグメント名が固定された予約セクションです。
	[説明]	リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、セグメント名が固定されている予約セクションを、異なるセグメント内で指定した場合に表示されます。
	[対処方法]	予約セクション名と異なるセクション名に変更してください。
W0261008	[メッセージ]	TP シンボル名が不正です。指定した TP シンボルは存在しません。
	[説明]	リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、ベース TP シンボルを指定する場合に存在しない TP シンボル名を指定した場合に表示されます。
	[対処方法]	存在する TP シンボル名に変更してください。
W0300001	[メッセージ]	同じ名前の定義名が存在します。異なる名前を入力してください。
	[対処方法]	別名に変更してください。
W0300002	[メッセージ]	ユーザ定義列のみ削除できます。
	[対処方法]	ユーザ定義列以外の選択を外してください。
W0300003	[メッセージ]	同じ名前の列が存在します。異なる名前を入力してください。
	[対処方法]	名前を変更してください。
W0300004	[メッセージ]	列の名前を入力してください。
W0300005	[メッセージ]	削除する列を選択してください。
W0300006	[メッセージ]	同じ名前の外部周辺が存在します。異なる名前を入力してください。
	[対処方法]	外部周辺の名前を変更してください。
W0300007	[メッセージ]	外部周辺の名前を入力してください。



W0300008	[メッセージ]	入力した値が列の型と一致しません。正しい値を入力してください。
	[対処方法]	値を変更してください。
W0403000	[メッセージ]	コード生成に失敗しました。
W0403001	[メッセージ]	以下の端子と競合しています。 この機能を使用する場合は競合する機能の設定を無効にしてください。
W0403002	[メッセージ]	選択可能な設定値がありません。 システム・モジュールで周辺クロックを再設定してください。
W0403003	[メッセージ]	トリガを設定してください。
W0403004	[メッセージ]	設定範囲の情報 : 0x00000000000000000000~0xffffffffffffff。 16進数で10バイトを入力してください。
W0403005	[メッセージ]	設定範囲の情報 : 16~238 偶数で設定してください。
W0403006	[メッセージ]	UART は使用できません。2チャンネルが必要です。
W0403007	[メッセージ]	xxx が選択されていません。先にシステム・モジュールで xxx を設定してください。
W0403008	[メッセージ]	設定範囲の情報 : xxx~yyy
W0403009	[メッセージ]	転送元アドレスの情報 : xxx
W0403010	[メッセージ]	転送先アドレスの情報 : xxx
W0403011	[メッセージ]	ビルド対象のスタートアップを “xxx” に変更しました。
W0403012	[メッセージ]	ビルド対象のリンク・ディレクティブを “xxx” に変更しました。
W0403013	[メッセージ]	設定された転送方向および転送回数では、転送時にアドレスが設定可能な範囲を越えてしまいます。
W0403014	[メッセージ]	スレーブ・チャンネルが他の目的に使用されたので、複数チャンネルでの動作を選択することができません！
W0403015	[メッセージ]	P52/SLTI/SLTO はチャンネル <i>n</i> によって使用されました。
W0403016	[メッセージ]	先に xxx を設定してください。
W0403017	[メッセージ]	入力した文字から始まる SFR 名が表示されます。
W0403018	[メッセージ]	20 MHz を選択した場合、1 MHz 高速内蔵発振回路に変更することはできません。
W0403019	[メッセージ]	以下の割り込みと競合しています。 この機能を使用する場合は競合する機能の設定を無効にしてください。
W0403020	[メッセージ]	チャンネルをまったく使用できません。アナログ入力選択を変更してください。
W0403021	[メッセージ]	xxx が変更されました。次のマクロの設定内容を更新してください : yyy
W0403022	[メッセージ]	ユーザ・オプション・バイトの値をコード生成 (設計ツール) に反映できません。値を見直すかコード生成 (設計ツール) で設定し直してください。
W0403023	[メッセージ]	ビルド・オプションの設定をコード生成 (設計ツール) に反映できません。ビルド・オプションまたはコード生成 (設計ツール) を設定し直してください。
W0403024	[メッセージ]	ビルド対象のスタートアップを “xxx” に変更しました。
W0403025	[メッセージ]	ビルド対象のリンク・ディレクティブを “xxx” に変更しました。
W0403026	[メッセージ]	設定された転送方向および転送回数では、転送時に転送元アドレスが設定可能な範囲を越えてしまいます。

W0403027	[メッセージ]	設定された転送方向および転送回数では、転送時に転送先アドレスが設定可能な範囲を超えてしまいます。
W0403028	[メッセージ]	アドレス領域が変更されました。アドレス設定に影響される DMA の設定内容を更新する必要があります。
W0403029	[メッセージ]	INTTMmn が変更されました。クロック設定に影響される SAU の設定内容を更新する必要があります。
W0403030	[メッセージ]	スレーブ・チャンネルが他の目的に使用されたので、複数チャンネルでの動作を選択することができません！
W0403031	[メッセージ]	P52/SLTI/SLTO はチャンネル <i>n</i> によって使用されました。
W0403032	[メッセージ]	先に xxx を設定してください！
W0403033	[メッセージ]	20 MHz を選択した場合、1 MHz 高速内蔵発振回路に変更することはできません。
W0403034	[メッセージ]	スキャン・モードのためのチャンネルがありません。アナログ入力選択を変更してください。
W0403035	[メッセージ]	以下の割り込みと競合しています。この機能を使用する場合は競合する機能の設定を無効にしてください。
W0403036	[メッセージ]	TM50 の出力が変更されました。クロック設定に影響される UART6 と TMH0 の設定内容を更新する必要があります。
W0403037	[メッセージ]	TMH1 の出力が変更されました。クロック設定に影響される TM51 の設定内容を更新する必要があります。
W0403038	[メッセージ]	チャンネルを全く使用できません、アナログ入力選択を変更してください。
W0403039	[メッセージ]	INTRTCI の設定がありません。リアルタイム・カウンタ・ダイアログで INTRTCI を使用する設定にしてください。
W0403040	[メッセージ]	ADPC レジスタ値が変更されました。AD モジュール設定内容を更新する必要があります。
W0403041	[メッセージ]	xxx 端子が変更されました。ポート N-ch の設定内容を更新する必要があります。
W0511105	[メッセージ]	" 文字列 " オプションで指定された " パス名 " はファイルです。フォルダを指定してください。
W0511106	[メッセージ]	" 文字列 " オプションで指定されたフォルダ " フォルダ名 " が見つかりません。
W0511123	[メッセージ]	" 文字列 1 " オプションが指定されたので " 文字列 2 " オプションは無視しました。
W0511146	[メッセージ]	" 文字列 " オプションで指定されたシンボル名は C 言語のマクロでは使用できません。アセンブラのみに指定されたものとみなします。
W0511147	[メッセージ]	" 文字列 " オプションが複数指定されています。後の指定が有効になります。
W0511149	[メッセージ]	" 文字列 1 " オプションと " 文字列 2 " オプションが矛盾しています。" 文字列 2 " オプションを無視します。
W0511151	[メッセージ]	" 文字列 1 " オプションが指定されていないので、" 文字列 2 " オプションを無視します。
W0511153	[メッセージ]	" -O 文字列 " が指定されたので最適化詳細オプションはクリアされました。最適化詳細オプションは "-O 文字列 " の後に指定してください。

W0511156	[メッセージ]	"-Xdev_path" オプションで指定されたフォルダ上に、デバイス・ファイルが見つかりません。
	[説明]	"-Xdev_path" オプションで指定されたフォルダ上に、デバイス・ファイルが見つかりません。標準のデバイス・ファイル・フォルダで探します。
W0520001	[メッセージ]	ファイルの最終行が改行で終了していません。
	[説明]	ファイルの最終行が改行で終了していません。改行を追加してください。
W0520009	[メッセージ]	コメントのネスティングは許されていません。
	[説明]	コメントのネスティングは許されていません。ネストしないようにしてください。
W0520011	[メッセージ]	不明な前処理指令があります。
W0520012	[メッセージ]	前に構文エラーがあるため、ここより文法の解析を再開します。
W0520014	[メッセージ]	前処理指令の後に不正な文字があります。
W0520021	[メッセージ]	型修飾子はこの宣言では無効です。
	[説明]	型修飾子はこの宣言では無効です。無視しました。
W0520026	[メッセージ]	文字定数中の文字が多すぎます。
	[説明]	文字定数中の文字が多すぎます。文字定数は複数の文字を含むことはできません。
W0520027	[メッセージ]	char 型の値が範囲を越えています。
W0520039	[メッセージ]	0 で除算を行いました。
W0520042	[メッセージ]	オペランドの型が適合しません ("型1" と "型2")。
W0520061	[メッセージ]	整数演算の結果が範囲を越えました。
W0520062	[メッセージ]	シフト数が負数です。
	[説明]	シフト数が負数です。ANSI-C では未定義の動作となります。
W0520063	[メッセージ]	シフト数が多すぎます。
W0520064	[メッセージ]	この宣言は何も宣言できません。
W0520068	[メッセージ]	整数変換で結果の符号が反転しました。
W0520069	[メッセージ]	整数変換で結果の値が丸められました。
W0520076	[メッセージ]	マクロに対する引数がありません。
W0520077	[メッセージ]	宣言に記憶域クラスまたは型指定子がありません。
W0520082	[メッセージ]	記憶域クラスが最初にありません。
	[説明]	記憶域クラスが最初にありません。記憶域クラスは宣言の最初に指定してください。
W0520099	[メッセージ]	ここでの宣言は引数宣言でなければなりません。
W0520108	[メッセージ]	1 ビットの符号付きビット・フィールドです。
W0520111	[メッセージ]	文は実行されません。
W0520117	[メッセージ]	void でない関数 "シンボル" は値を返す必要があります。
W0520127	[メッセージ]	文がありません。
W0520128	[メッセージ]	ループはその前のコードから到達しません。
W0520138	[メッセージ]	レジスタ変数に対するアドレス演算子は許されていません。
W0520152	[メッセージ]	0 でない値がポインタに変換されました。
W0520161	[メッセージ]	認識されない #pragma です。
W0520165	[メッセージ]	関数呼び出しに引数が足りません。

W0520167	[メッセージ]	" 型名 1" 型の引数は型 " 型名 2" の引数と整合しません。
W0520173	[メッセージ]	浮動小数点数は要求された整数型に入りません。
W0520174	[メッセージ]	式は作用しません。
	[説明]	式は作用しません。無効です。
W0520175	[メッセージ]	添字が範囲を越えました。
W0520177	[メッセージ]	種別" シンボル名" は宣言されましたが参照されていません。
W0520179	[メッセージ]	"%" の右オペランドが 0 です。
W0520180	[メッセージ]	実引数が仮引数と整合しません。
W0520181	[メッセージ]	引数は対応するフォーマット文字列に整合しません。
W0520185	[メッセージ]	実行されないコードの中に動的初期化があります。
W0520186	[メッセージ]	符号なし整数と 0 の比較は無意味です。
W0520187	[メッセージ]	"==" と思われる "=" の使用があります。
W0520188	[メッセージ]	列挙型に別の型が混在しています。
W0520191	[メッセージ]	型修飾子はキャスト型に意味を持ちません。
W0520192	[メッセージ]	認識されないエスケープ・シーケンスがあります。
W0520224	[メッセージ]	フォーマット文字列にはさらなる引数が必要です。
W0520225	[メッセージ]	フォーマット文字列に対して引数が多すぎます。
W0520226	[メッセージ]	不正なフォーマット文字列です。
W0520229	[メッセージ]	ビット・フィールドは列挙型のすべての値を保持できません。
W0520231	[メッセージ]	宣言は関数の外で見えません。
W0520236	[メッセージ]	制御式が定数です。
W0520260	[メッセージ]	明示的な型がありません。"int" として扱います。
W0520301	[メッセージ]	typedef 名はすでに同じ型で宣言されています。
W0520375	[メッセージ]	宣言は typedef 名を必要とします。
W0520494	[メッセージ]	typedef を伴う void の引数リストの宣言は標準ではありません。
W0520514	[メッセージ]	負の定数と unsigned 型の比較は意味がありません。
W0520520	[メッセージ]	集集体は "{...}" により初期化してください。
W0520546	[メッセージ]	初期化されないパスがあります。: 種別" シンボル名" (宣言位置 行番号)
W0520549	[メッセージ]	種別" シンボル名" は値が設定される前に使用されました。
W0520550	[メッセージ]	種別" シンボル名" は設定されていますが利用されていません。
W0520614	[メッセージ]	診断制御オプションに無効なエラー番号があります:。
W0520618	[メッセージ]	構造体か共用体に名前のないメンバがあります。
W0520815	[メッセージ]	返却型に対する型修飾子は意味がありません。
W0520902	[メッセージ]	型修飾子を無視しました。
W0521000	[メッセージ]	記憶域クラスはここでは指定できません。
W0521053	[メッセージ]	整数がそれより幅の小さなポインタに変換されました。
W0521056	[メッセージ]	ローカル変数へのポインタが返却されました。

W0521105	[メッセージ]	#warning 指令: 文字列。
	[説明]	ソース・ファイル中に #warning 指令がありました。
W0521396	[メッセージ]	連結行のバック・スラッシュと改行の間に空白類がありました。無視します。
W0521422	[メッセージ]	多バイト文字リテラルです。潜在的な移植性の問題があります。
W0521607	[メッセージ]	関数 " 関数名 " はすでに定義されています。#pragma text を指定できません。
	[説明]	関数 " 関数名 " はすでに定義されています。#pragma text を指定できません。指定を無視します。
W0521611	[メッセージ]	関数 " 関数名 " はすでに他の #pragma 文字列が指定されています。" 文字列 " は指定できません。指定を無視します。
W0521632	[メッセージ]	" 文字列 " は認識できない情報行です。無視します。
W0521635	[メッセージ]	変数 " 変数名 " にはシンボル・ファイル中すでにセクション " セクション名 " が指定されています。後の指定を無視します。
W0521636	[メッセージ]	変数 " 変数名 " にはシンボル・ファイル中すでにセクション " セクション名 " が指定されています。#pragma による指定を無視します。
W0533003	[メッセージ]	シフト数 ( 数値 ) が定められた範囲を越えています。
W0533004	[メッセージ]	比較結果が常に文字列です。
W0533005	[メッセージ]	0 で整数除算または整数剰余算を行いました。
W0542101	[メッセージ]	switch 文に対する分岐テーブルが多すぎます。-Xswitch=table オプションを無視します。
	[説明]	switch 文に対する分岐テーブルが多すぎます。ラベルの最大値と最小値の差が 8192 を越える switch 文に対しては、-Xswitch=table オプションを無視します。
W0550001	[メッセージ]	マクロ呼び出し時に指定された実パラメータが多すぎます。
	[対処方法]	実パラメータを確認してください。
W0550002	[メッセージ]	option1 オプションと option2 オプションを同時に指定することはできません。
	[説明]	option1 オプションと option2 オプションを同時に指定することはできません。option2 オプションは無視されます。
	[対処方法]	オプション指定を確認してください。
W0550003	[メッセージ]	option オプションには引数の指定が必要です。
	[説明]	option オプションには引数の指定が必要です。オプション指定は無視されます。
	[対処方法]	オプション指定の引数を確認してください。
W0550004	[メッセージ]	option オプションに指定された値が不正です。
	[説明]	option オプションに指定された値が不正です。オプション指定は無視されます。
	[対処方法]	オプション指定の値を確認してください。
W0550005	[メッセージ]	option オプションに指定されたシンボル symbol が不正です。
	[説明]	option オプションに指定されたシンボル symbol が不正です。オプション指定は無視されます。
	[対処方法]	オプション指定のシンボルを確認してください。
W0550006	[メッセージ]	option オプションに指定された引数が不正です。
	[説明]	option オプションに指定された引数が不正です。オプション指定は無視されます。
	[対処方法]	オプション指定の引数を確認してください。

W0550007	[メッセージ]	core コア共通のオブジェクト生成を指定する <i>option</i> オプションと、-C オプションで指定したデバイス・ファイルに不整合があります。
	[説明]	core コア共通のオブジェクト生成を指定する <i>option</i> オプションと、-C オプションで指定したデバイス・ファイルに不整合があります。 -C オプション指定を無視し、core コア共通オブジェクトを生成します。
	[対処方法]	オプション指定を確認してください。
W0550008	[メッセージ]	<i>option</i> オプションは core コアではサポートしていません。
	[説明]	<i>option</i> オプションは core コアではサポートしていません。オプション指定は無視されます。
	[対処方法]	オプション指定を確認してください。
W0550009	[メッセージ]	プログラマブル周辺 I/O レジスタの情報が存在しません。
	[説明]	プログラマブル周辺 I/O レジスタの情報が存在しません。-Xprogrammable_io オプションは無視されます。
	[対処方法]	オプション指定を確認してください。
W0550010	[メッセージ]	ディスプレイメントの値が指定可能な値の範囲を越えています。
	[説明]	ディスプレイメントの値が指定可能な値の範囲を越えています。 下位の有効な桁数分だけが指定されたものとみなし、アセンブルを続行します。
	[対処方法]	ディスプレイメントの値を確認してください。
W0550011	[メッセージ]	イミューディエトの値が指定可能な値の範囲を越えています。
	[説明]	イミューディエトの値が指定可能な値の範囲を越えています。 下位の有効な桁数分だけが指定されたものとみなし、アセンブルを続行します。
	[対処方法]	イミューディエトの値を確認してください。
W0550012	[メッセージ]	オペランドに指定した値が指定可能な値の範囲を越えています。
	[説明]	オペランドに指定した値が指定可能な値の範囲を越えています。 下位の有効な桁数分だけが指定されたものとみなし、アセンブルを続行します。
	[対処方法]	オペランドの値を確認してください。
W0550013	[メッセージ]	レジスタ (r0)、アセンブラ予約レジスタ (r1) が、 <i>kind</i> レジスタとしてオペランドに指定されています。
	[対処方法]	レジスタの指定を確認してください。
W0550014	[メッセージ]	prepare/dispose 命令のレジスタ・リストに指定した値が不正です。
	[説明]	prepare/dispose 命令のレジスタ・リストに指定した値が不正です。 下位の有効な桁数分だけが指定されたものとみなし、アセンブルを続行します。
	[対処方法]	レジスタ・リストの値を確認してください。
W0550015	[メッセージ]	prepare/dispose 命令のレジスタ・リストに指定したレジスタが不正です。
	[説明]	prepare/dispose 命令のレジスタ・リストに指定したレジスタが不正です。 不正なレジスタを無視して、アセンブルを続行します。
	[対処方法]	レジスタ・リストのレジスタを確認してください。
W0550016	[メッセージ]	オペランドに、異なるアクセス幅の内部周辺 I/O レジスタを指定しています。
	[対処方法]	オペランドの内部周辺 I/O レジスタを確認してください。



W0550017	[メッセージ]	sld/sst 命令のベース・レジスタに ep 以外を指定しています。
	[対処方法]	ベース・レジスタの指定を確認してください。
W0550018	[メッセージ]	inst 命令に指定した番号のシステム・レジスタはアクセス禁止です。
	[対処方法]	システム・レジスタの番号を確認してください。
W0550019	[メッセージ]	オペランドに指定した値は 4 の倍数である必要があります。
	[説明]	オペランドに指定した値は 4 の倍数である必要があります。 端数を切捨てて、アセンブルを続行します。
	[対処方法]	オペランドの値を確認してください。
W0550020	[メッセージ]	-C オプションによる指定と \$PROCESSOR 制御命令による指定が異なります。
	[説明]	-C オプションによる指定と \$PROCESSOR 制御命令による指定が異なります。 -C オプションを優先し、\$PROCESSOR 制御命令によるターゲット・デバイス指定は無視されます。
	[対処方法]	オプションの指定を確認してください。
W0550021	[メッセージ]	string が、以前に指定したレジスタ数と異なる数で指定されています。
	[説明]	string が、以前に指定したレジスタ数と異なる数で指定されています。すでに指定されている数を使用します。この指定は無視されます。
	[対処方法]	レジスタ数を確認してください。
W0550022	[メッセージ]	option が、複数回指定されています。
	[説明]	option が、複数回指定されています。すでに指定されているオプションを使用しません。この指定は無視されます。
	[対処方法]	オプション指定を確認してください。
W0550023	[メッセージ]	-Xprogrammable_io に指定された値が、デバイスの許容する範囲 (0x0-value) 外です。
	[説明]	-Xprogrammable_io に指定された値が、デバイスの許容する範囲 (0x0-value) 外です。 指定された値は無視して、デバイスの初期値を使用します。
	[対処方法]	オプションの値を確認してください。
W0550024	[メッセージ]	option オプションはインプリメントされていません。
	[説明]	option オプションはインプリメントされていません。無視されます。
	[対処方法]	オプションの指定を確認してください。
W0550026	[メッセージ]	奇数番号の付いたレジスタ (rXX) が指定されています。 偶数番号の付いたレジスタ (rYY) を指定したとして、アセンブルを続行します。
	[説明]	奇数番号の付いたレジスタ (r1, r3, ..., r31) が指定されています。 指定できる汎用レジスタは、偶数番号の付いたレジスタ (r0, r2, r4, ..., r30) だけです。 偶数番号の付いたレジスタ (r0, r2, r4, ..., r30) を指定したとして、アセンブルを続行します。
	[対処方法]	レジスタの指定を確認してください。

W0550027	[メッセージ]	<i>control</i> 制御命令による指定が、以前の指定と異なっています。
	[説明]	<i>control</i> 制御命令による指定が、以前の指定と異なっています。以前の指定を優先し、後から指定した <i>control</i> 制御命令によるレジスタ・モード指定は無視されます。
	[対処方法]	<i>control</i> 制御命令の指定を確認してください。
W0550028	[メッセージ]	-Xreg_mode オプションによる指定と \$REG_MODE 制御命令による指定が異なっています。
	[説明]	-Xreg_mode オプションによる指定と \$REG_MODE 制御命令による指定が異なっています。-Xreg_mode オプションを優先し、\$REG_MODE 制御命令によるレジスタ・モード指定は無視されます。
	[対処方法]	オプションの指定を確認してください。
W0560111	[メッセージ]	同じファイルが入力ファイルとして複数回指定されています。
W0560116	[メッセージ]	FPU 使用の不明なファイルが入力されています。
W0560205	[メッセージ]	シンボル “symbol” は、“file” において定義されている同名のシンボルと型が異なっています。
W0560206	[メッセージ]	シンボル “symbol” は、“file” において定義されている同名のシンボルとサイズが異なっています。
W0560207	[メッセージ]	シンボル “symbol” は、“file” において定義されている同名のシンボルと整列条件が異なっています。
W0560212	[メッセージ]	sbss または bss 属性セクションに割り付けられるシンボル <i>symbol</i> のサイズが 0 でした。
W0560214	[メッセージ]	\$EXT_FUNC 制御命令で指定されたグローバル・シンボル “symbol” が定義されていません。
W0560305	[メッセージ]	セクション・タイプ ( <i>section type</i> ) を持つセクション名 “section” のセクションは、本リンクにおいてサポートしていません。無視しました。
W0560308	[メッセージ]	レジスタ・モードの異なるファイルが入力されています。-Xregmode_info オプションを指定すると、より詳細な情報を出力します。
W0560312	[メッセージ]	“string” オプションにより、“section” セクションを上書きします。
W0560313	[メッセージ]	フラッシュ・マスク・オプションの設定不可能機能を設定しました。
W0560314	[メッセージ]	内蔵命令 RAM に配置したセクション “secton” の整列条件は、4 の倍数を指定してください。
W0560315	[メッセージ]	内蔵 ROM/ 内蔵命令 RAM には、書き込み属性を持つセクション “secton” の配置は不適切です。
W0560316	[メッセージ]	レジスタ・モードの異なるファイルが入力されています。
W0560401	[メッセージ]	セクション “section” 内のリロケーション・エントリが不正なりロケーション・タイプ ( <i>number</i> ) を持っています。このエントリは無視されました。
W0560402	[メッセージ]	セクション “section” のオフセット ( <i>offset</i> ) に存在する参照をリロケートするための <i>number</i> 番目のシンボル・テーブル・エントリが見つかりません。このリロケーションは無視しました。
W0560403	[メッセージ]	セクション “section2” のリロケーションに用いられるリロケーション情報セクション “section1” 内のエントリが不正なりロケーション・オフセット ( <i>offset</i> ) を持っています。このエントリは無視しました。



W0560406	[メッセージ]	GP 相対リロケーションのための GP シンボルが存在しません (LOCAL) (ファイル: <i>file2</i> , セグメント: <i>segment</i> , セクション: <i>section2</i> , オフセット: <i>offset</i> , タイプ: <i>relocation type</i> )。ローカル・シンボルは “ <i>section1</i> ” (ファイル: <i>file1</i> ) に存在します。
W0560408	[メッセージ]	GP 相対リロケーションのための GP シンボルが存在しません (GLOBAL)。 (ファイル: <i>file2</i> , セグメント: <i>segment</i> , セクション: <i>section2</i> , オフセット: <i>offset</i> , タイプ: <i>relocation type</i> )。シンボルは “ <i>section1</i> ” (ファイル: <i>file1</i> ) に存在します。
W0560410	[メッセージ]	ブート側実行ファイルのセクション “ <i>section</i> ” に GP 相対リロケーションのための GP シンボルが存在しません。 (ファイル: <i>file2</i> , セクション: <i>section2</i> , オフセット: <i>offset</i> , タイプ: <i>relocation type</i> )。シンボル “ <i>symbol</i> ” は “ <i>section1</i> ” (ファイル: <i>file1</i> ) に存在します。
W0560412	[メッセージ]	分岐系のリロケーション・エントリ (ファイル: <i>file</i> , セクション: <i>section</i> , オフセット: <i>offset</i> , リロケーション・タイプ: <i>relocation type</i> ) によってリロケートされた値 ( <i>value</i> ) が奇数になっています。
W0560413	[メッセージ]	ロード/ストア系のリロケーション・エントリ (ファイル: <i>file</i> , セクション: <i>section</i> , オフセット: <i>offset</i> , リロケーション・タイプ: <i>relocation type</i> ) によってリロケートされた値 ( <i>value</i> ) が奇数になっています。
W0560416	[メッセージ]	出力セクション <i>section2</i> から、出力セクション <i>section1</i> に配置されたシンボル “ <i>symbol</i> ” への分岐命令が、分岐可能範囲を越えています。分岐命令は (値: <i>value</i> , ファイル: <i>file</i> 入力セクション: <i>section3</i> , オフセット: <i>offset</i> , タイプ: <i>relocation type</i> ) に存在します。
W0560418	[メッセージ]	出力セクション <i>section2</i> から、出力セクション <i>section1</i> に配置されたローカル・シンボルへの分岐命令が、分岐可能範囲を越えています。分岐命令は (値: <i>value</i> , ファイル: <i>file</i> 入力セクション: <i>section3</i> , オフセット: <i>offset</i> , タイプ: <i>relocation type</i> ) に存在します。
W0560420	[メッセージ]	出力セクション <i>section1</i> がオーバーフローしました。または、シンボル “ <i>symbol</i> ” の配置されたセクションとラベルの参照方法がファイル “ <i>file</i> ” において不正です。不正な参照は、(値: <i>value</i> , 入力セクション: <i>section3</i> , オフセット: <i>offset</i> , タイプ: <i>relocation type</i> ) に存在します。シンボル “ <i>symbol</i> ” はセクション “ <i>section1</i> ” に配置されました (ファイル: <i>file1</i> )。
W0560422	[メッセージ]	出力セクション <i>section1</i> がオーバーフローしました。または、ローカル・シンボルの配置されたセクションとラベルの参照方法がファイル “ <i>file2</i> ” において不正です。不正な参照は、(値: <i>value</i> , 入力セクション: <i>section3</i> , オフセット: <i>offset</i> , タイプ: <i>relocation type</i> ) に存在します。ローカル・シンボルはセクション “ <i>section1</i> ” に配置されました (ファイル: <i>file1</i> )。
W0560501	[メッセージ]	ライブラリ・シンボル・テーブルが見つかりません。このライブラリ・ファイルを無視します。
W0560625	[メッセージ]	奇数の値 ( <i>number1</i> ) を偶数の値 ( <i>number2</i> ) に整列しました。
W0560628	[メッセージ]	セグメント “ <i>segment</i> ” の割り付けが指示された領域がターゲット・マシンにおける可能なメモリ空間の範囲を越えています。
W0560639	[メッセージ]	-Xrelinkable_object オプションが指定された場合、セグメント・ディレクティブにおいて “ <i>stimg</i> ” を指定することはできません。無視しました。

W0560640	[メッセージ]	-Xrelinkable_object オプションが指定された場合、セクション・ディレクティブにおいて "string" を指定することはできません。無視しました。
W0560642	[メッセージ]	ファイル "file" 内のセクション "section" を割り付けることができるセグメント・タイプ LOAD を持つセグメントが存在しません。このセクションは、プログラム・ヘッダを持たないロード可能でないダミーのセグメントに割り付けられます。
W0560643	[メッセージ]	1パスモードで "string" を指定することはできません。無視しました。
W0560644	[メッセージ]	-Xalign_fill オプション指定時に "string" を指定することはできません。"string" を無視しました。
W0560645	[メッセージ]	セグメント "segment" に対する string シンボルが多重に定義されています。最初に定義されたシンボル "symbol" を用います。
W0560647	[メッセージ]	string シンボルが多重に定義されています。最初に定義された "symbol" を用います。
W0560651	[メッセージ]	セグメント "segment" の割り付けが指示された領域 (number1-number2) が string 相対で参照可能な範囲 (number3-number4) を越えています。
W0560653	[メッセージ]	セグメント "segment" の割り付けが指示された領域 (number1-number2) がターゲット・マシンにおける可能な内蔵メモリ空間の範囲 (number3-number4) を越えています。
W0560654	[メッセージ]	EP シンボルディレクティブにおいて "string" を指定することはできません。無視しました。
W0560655	[メッセージ]	セグメント "segment" の割り付けが指示された領域 (number1-number2) がガード (使用禁止) 領域 (number3-number4) にオーバーラップしています。
W0560656	[メッセージ]	セグメント "segment" の割り付けが指示された領域 (number1-number2) がプログラム周辺 I/O 領域 (number3-number4) にオーバーラップしています。
W0560659	[メッセージ]	セグメント "segment" のアドレス未指定時には指定できません。
W0560702	[メッセージ]	"string2" オプションが指定された場合、"string1" オプションを指定することはできません。 "string1" オプションは無視しました。
W0560706	[メッセージ]	"string" オプションに指定された奇数値 (value1) を偶数値 (value2) に整列しました。
W0560709	[メッセージ]	"string1" オプションは、"string2" コアのデバイスにおいてサポートしていません。
W0560710	[メッセージ]	新しい割り込みタイプを持つデバイス・ファイルが指定されたため、セグメントのアドレス順ソートを実行します。
W0560711	[メッセージ]	"string" オプションは指定したデバイスにおいてサポートしていません。オプション指定を無視しました。
W0561017	[メッセージ]	セクション "section" はすでに -Xrompsec_data オプションにより指定されています。今回の指定を無視します。
W0561018	[メッセージ]	セクション "section" はすでに -Xrompsec_text オプションにより指定されています。今回の指定を無視します。
W0562010	[メッセージ]	-Xhex_symtab=global オプションと -Xhex_symtab=all オプションは、拡張テック・ヘキサ・フォーマットが指定された場合にのみ有効です。
W0562011	[メッセージ]	-Xhex_symtab=global オプションは、拡張テック・ヘキサ・フォーマットが指定されたが指定された場合にのみ有効です。

W0562012	[メッセージ]	-Xhex_symtab=all オプションは、-Xhex_symtab=global オプションと -Xhex_format=T オプションと同時に指定された場合にのみ有効です。
W0562013	[メッセージ]	“string1” オプションが指定されたため、“string2” オプションは無効となります。
W0562015	[メッセージ]	-Xhex_fill 指定時はエラー “section” セクションは、-Xhex_fill オプションで指定した領域の下限を越えています。 -Xhex_fill 指定時されてなければワーニング “section” セクションは、内蔵 ROM 領域の下限を越えています。
W0562016	[メッセージ]	“section” セクションは、内蔵メモリ空間の範囲を越えています。
W0562017	[メッセージ]	“section” セクションは、プログラムメモリの下限を越えています。
W0562018	[メッセージ]	“section” セクションの途中の指定されたアドレスからヘキサ変換を行います。
W0562019	[メッセージ]	“section” セクションの途中の指定された領域までヘキサ変換を行います。
W0562020	[メッセージ]	アドレスが、インテル拡張ヘキサ・フォーマット形式で表現可能なアドレスの最大値 (20 ビット) を越えています。表現可能な範囲をアドレスとして出力する形で処理を続行します。
	[説明]	<p>本メッセージの原因としては、次の理由が考えられます。</p> <p>(1) ROM 化を忘れている</p> <p>ROM に配置したセクションと同時に内蔵 RAM のセクションをヘキサ変換を行おうとしている可能性があります。ヘキサ変換を行う前に ROM 化を行ってください (ROM 化についての詳細は、「CubeSuite コーディング編」を参照してください)。</p> <p>(2) ヘキサ変換対象のセクションが間違っている</p> <p>同時にヘキサ変換するセクションのアドレスが、大きく離れている可能性があります。複数の ROM を使用している場合には、ROM ごとにヘキサ変換を行ってください。また、ヘキサ変換するセクションは正しいか、セクションの配置アドレスが正しいかを確認してください。</p> <p>(3) セクションのサイズ自体が大きい</p> <p>ヘキサ変換を行おうとしている領域が大きく表現可能な範囲を越えている場合には、ヘキサ変換できません。表現可能な範囲まで分割するか、別のヘキサ・フォーマットを使用してください。</p> <p>[注意事項]</p> <p>アドレスの最大値を 20 ビットと表現していますが、実際には 20 ビット付近となります。本メッセージが出力される原因であるインテル拡張ヘキサ・フォーマット形式の 20 ビットのアドレス表現は、上位アドレスを保有する拡張アドレス・レコードと、そこからのオフセットを所有するデータ・レコードから算出されます。拡張アドレス・レコードの上位アドレスが 20 ビットに収まっていれば、それに続くデータ・レコードのオフセットを加算した結果が 20 ビットを越えたとしても、インテル拡張ヘキサ・フォーマット形式として正常な出力であり、エラーにはなりません。</p>

W0562021	[メッセージ]	アドレスがモトローラ S タイプ・ヘキサ・フォーマット (スタンダード・アドレス) 形式で表現可能なアドレスの最大値 (24 ビット) を越えています。 表現可能な範囲をアドレスとして出力する形で処理を続行します。
	[説明]	本メッセージの原因としては、次の理由が考えられます。 (1) ROM 化を忘れている ROM に配置したセクションと同時に内蔵 RAM のセクションをヘキサ変換を行おうとしている可能性があります。ヘキサ変換を行う前に ROM 化を行ってください (ROM 化についての詳細は、「CubeSuite コーディング編」を参照してください)。 (2) ヘキサ変換対象のセクションが間違っている 同時にヘキサ変換するセクションのアドレスが、大きく離れている可能性があります。複数の ROM を使用している場合には、ROM ごとにヘキサ変換を行ってください。また、ヘキサ変換するセクションは正しいか、セクションの配置アドレスが正しいかを確認してください。 (3) セクションのサイズ自体が大きい ヘキサ変換を行おうとしている領域が大きく表現可能な範囲を越えている場合には、ヘキサ変換できません。表現可能な範囲まで分割するか、別のヘキサ・フォーマットを使用してください。
W0562022	[メッセージ]	先頭アドレスが、インテル拡張ヘキサ・フォーマット形式で表現可能なアドレスの最大値 (20 ビット) を越えています。表現可能な範囲をアドレスとして出力する形で処理を続行します。
	[説明]	本メッセージの原因としては、次の理由が考えられます。 (1) セクションのアドレスが大きい セクションの配置されているアドレスが、表現可能な範囲を越えている可能性があります。-Xhex_offset オプションでヘキサ変換する領域の先頭アドレスを指定してそのアドレスからのオフセットとしてください。 (2) -Xhex_offset オプションで指定した値が不適切 -Xhex_offset オプションを指定することで、アドレスを指定した値からのオフセットとして扱うことが可能です。 この値からのオフセットが表現可能な範囲を越えている可能性があります。適切な値を指定してください。
W0562023	[メッセージ]	先頭アドレスが、モトローラ S タイプ・ヘキサ・フォーマット形式で表現可能なアドレスの最大値 (24 ビット) を越えています。表現可能な範囲をアドレスとして出力する形で処理を続行します。
	[説明]	本メッセージの原因としては、次の理由が考えられます。 (1) セクションのアドレスが大きい セクションの配置されているアドレスが、表現可能な範囲を越えている可能性があります。-Xhex_offset オプションでヘキサ変換する領域の先頭アドレスを指定してそのアドレスからのオフセットとしてください。 (2) -Xhex_offset オプションで指定した値が不適切 -Xhex_offset オプションを指定することで、アドレスを指定した値からのオフセットとして扱うことが可能です。 この値からのオフセットが表現可能な範囲を越えている可能性があります。適切な値を指定してください。

W0562024	[メッセージ]	指定されたブロック長の最大値が小さすぎます。デフォルトの値 <i>length</i> に変更し処理を続行します。
W0562025	[メッセージ]	指定されたブロック長の最大値が大きすぎます。指定することのできる値の最大値 <i>length</i> に変更し処理を続行します。
W0562026	[メッセージ]	ブロック長の最大値をデフォルトの値から <i>length</i> に変更し処理を続行します - Xhex_block_size オプション時に指定することのできる値が指定された場合に出力されます。
W0562027	[メッセージ]	シンボル・ブロックのブロック長が指定されたブロック長の最大値を越えています。
W0578306	[メッセージ]	can not open file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> をオープンできません。
W0578307	[メッセージ]	can not close file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> をクローズできません。
W0578308	[メッセージ]	can not read file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> からの読み込みができません。
W0578309	[メッセージ]	can not write file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> への書き込みができません。
W0578310	[メッセージ]	can not seek file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> をシークできません。
W0578311	[メッセージ]	can not find file <i>file</i>
	[説明]	ファイル <i>file</i> を見つけることができません。
W0578315	[メッセージ]	can not find member <i>member</i>
	[説明]	ライブラリ・ファイル内にメンバ <i>member</i> が存在しません。
W0578322	[メッセージ]	this symbol offset not true
	[説明]	ライブラリ・ファイル内のシンボルオフセットが不正です。
W0592009	[メッセージ]	入力ファイル “ <i>file</i> ” のオープンに失敗しました。
	[説明]	リスト・ファイルで、次のファイルが指定されていれば次のファイルの変換に移りません。
W0592011	[メッセージ]	“-i” オプションが指定されたので、入力ファイルの指定は無視されます。
	[説明]	リスト・ファイルと入力ファイルは同時に指定できません。“-i” オプションで指定されたリスト・ファイルの変換が実行され、入力ファイルは無視されます。
W0592012	[メッセージ]	“-c” の指定が、リスト・ファイルとコマンド・ラインで異なります。コマンド・ラインの指定は無視されます ( <i>file</i> )。
	[説明]	リストファイル中で指定された入力ファイル “ <i>file</i> ” に対応する “-c” オプションの指定がリスト・ファイルとコマンド・ラインで異なります。リスト・ファイルの指定で変換します。
W0592017	[メッセージ]	入力ファイル “ <i>file</i> ” が見つかりません。
	[説明]	入力ファイル “ <i>file</i> ” が見つかりませんでした。リスト・ファイルで、次のファイルが指定されていれば次のファイルの変換に移ります。

W0592103	[メッセージ]	認識できない #pragma 'string' がありました。
	[説明]	変換前の C 言語ソース・ファイルで許可されていない #pragma があるため変換できません。
	[対処方法]	C 言語ソース・ファイルを編集して、構文エラーを修正してください。
W0592104	[メッセージ]	マクロ定義内の __interrupt/__multi_interrupt は変換できません。
	[説明]	マクロ定義内に書かれた __interrupt および __multi_interrupt は変換ができません。
	[対処方法]	手作業にて移植を行ってください。
W0592105	[メッセージ]	C ソース内に _rcopy() が記述されています。アセンブラ・ソースからの呼び出しに変更してください。
	[説明]	C ソース・プログラムから _rcopy 関数を参照しています。
	[対処方法]	アセンブラ・ソースからの呼び出しに変更するか、または第 1 引数として指定する変数を const 修飾子をつけて宣言してください。
W0594100	[メッセージ]	ファイル (ファイル名) が見つかりませんでした。ファイル名を指定し直してください。
	[説明]	指定されたファイルが存在しません。
	[対処方法]	ファイル名を指定し直してください。
W0594101	[メッセージ]	ファイル (ファイル名) は読み込み禁止です。 読み込める状態にしてください。
	[説明]	指定されたファイルは読み込み禁止です。
	[対処方法]	ファイルの属性をチェックして、読み込み可能な状態にしてください。
W0594102	[メッセージ]	ファイル (ファイル名) は書き込み禁止です。 ファイルおよびフォルダを書き込める状態にしてください。
	[説明]	指定されたファイルは書き込み禁止です。
	[対処方法]	ファイルおよびフォルダの属性をチェックして、書き込み可能な状態にしてください。
W0594103	[メッセージ]	ファイル (ファイル名) の読み込みでエラーが発生しました。ファイルが読み込み可能な状態にあるか確認してください。
	[説明]	指定されたファイルの読み込みでエラーが発生しました。
	[対処方法]	ファイルが読み込み可能な状態にあるか確認してください。
W0594104	[メッセージ]	ファイル (ファイル名) の書き込みでエラーが発生しました。ファイルが書き込み可能な状態にあるか確認してください。
	[説明]	指定されたファイルの書き込みでエラーが発生しました。
	[対処方法]	ファイルが書き込み可能な状態にあるか確認してください。
W0594105	[メッセージ]	ファイル (ファイル名) の行番号行は一行の文字数限界 (限界値) を越えています。
W0594106	[メッセージ]	ファイル (ファイル名) の行数はファイルの行数限界 (限界値) を越えています。
W0594107	[メッセージ]	ファイル名 (ファイル名) が長すぎます。255 文字以上となるファイルを扱うことはできません。

W0594110	[メッセージ]	使われていない関数名 (関数名) が指定されています (ファイル名: 行番号行)。 C ソース・ファイル中に定義または直接呼び出しがある関数を指定してください。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、プロジェクトで使われていない関数名が指定されています。 指定できるのは、C ソース・ファイル中に定義、または直接呼び出しがある関数のみです。
	[対処方法]	[中止]: 処理を中止します。 [再試行]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W0594111	[メッセージ]	スタティック関数名の前に付けられたファイル名 (ファイル名) が長すぎます (ファイル名: 行番号行)。 255 文字以下にしてください。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、スタティック関数の前に付けられた、その関数の定義を含むファイルの名前が長すぎるものが見つかりました。 255 文字以下にしてください。
	[対処方法]	[中止]: 処理を中止します。 [再試行]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W0594112	[メッセージ]	関数名 (関数名) が長すぎます (ファイル名: 行番号行)。 1,022 文字以下にしてください。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、長すぎる関数名が見つかりました。 1,022 文字以下にしてください。
	[対処方法]	[中止]: 処理を中止します。 [再試行]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。



W0594113	[メッセージ]	“ADD=”の後の値(値)が不正です(ファイル名:行番号行)。 読み込みを中止しますか?
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な加算サイズの指定が見つかりました。 加算サイズは、“ADD=”の後に、10進数、または“0x”か“0X”で始まる16進数で、指定可能な値を指定してください。 指定可能な値は次のとおりです。 0～2,147,483,647
	[対処方法]	[中止]: 処理を中止します。 [再試行]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W0594114	[メッセージ]	複数の“ADD=”が指定されています(ファイル名:行番号行)。 加算サイズは一関数に1つしか指定できません。 読み込みを中止しますか?
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な加算サイズの指定が見つかりました。 加算サイズは一関数に1つしか指定できません。
	[対処方法]	[中止]: 処理を中止します。 [再試行]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W0594115	[メッセージ]	“RECTIME=”の後の値(値)が不正です(ファイル名:行番号行)。 読み込みを中止しますか?
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な再帰回数の指定が見つかりました。 再帰回数は、“RECTIME=”の後に、10進数、または“0x”か“0X”で始まる16進数で正の値を指定してください。
	[対処方法]	[中止]: 処理を中止します。 [再試行]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。



W0594116	[メッセージ]	複数の“RECTIME=”が指定されています（ファイル名：行番号行）。 再帰回数は一関数に1つしか指定できません。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な再帰回数の指定が見つかりました。 再帰回数は一関数に1つしか指定できません。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W0594117	[メッセージ]	再帰関数以外で“RECTIME=”が指定されています（ファイル名：行番号行）。 “RECTIME=”は再帰関数にしか使うことができません。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な再帰回数の指定が見つかりました。 再帰回数の指定“RECTIME=”は再帰関数にしか使うことができません。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W0594118	[メッセージ]	“CALL=”の後に関数名が指定されていません（ファイル名：行番号行）。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な呼び出し関数の指定が見つかりました。 “CALL=”の後に関数名を指定してください。プロジェクトで使用されていない関数を指定することはできません。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを継続します。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。

W0594119	[メッセージ]	“CALL=”の後に複数の関数名が指定されています（ファイル名：行番号行）。 関数ごとに“CALL=”を用いて指定してください。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、不正な呼び出し関数の指定が見つかりました。 “CALL=”の後には1つの関数しか指定できません。複数を指定する場合、“CALL=”も複数指定してください。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを続けます。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを続けます。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W0594124	[メッセージ]	同一関数に対する指定が複数見つかりました（ファイル名：行番号1行と行番号2行）。 片方を削除してください。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルで、同一関数に対する指定が行番号1行と行番号2行で見つかりました。 片方を削除してください。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを続けます。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを続けます。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W0594125	[メッセージ]	ファイル（ファイル名）の行番号行は一行の文字数限界（5,119）を越えています。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルの行番号行は一行の文字数限界（5,119）を越えています。 呼び出し関数の指定を減らしてください。呼び出す関数すべてを登録しても、スタック・サイズに加算されるのは、スタック・サイズが最大となる関数だけです。
	[対処方法]	[中止]： 処理を中止します。 [再試行]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを続けます。 [無視]： エラー行を無視して、次の行から読み込みを続けます。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。

W0594126	[メッセージ]	不正なフォーマットが見つかりました (ファイル名: 行番号行)。 スタックサイズ指定ファイルを確認してください。 読み込みを中止しますか？
	[説明]	スタック・サイズ指定ファイルの行番号行は不正なフォーマットです。 ファイルを確認してください。
	[対処方法]	[中止]: 処理を中止します。 [再試行]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを続けます。 [無視]: エラー行を無視して、次の行から読み込みを続けます。以降の同様の警告は、メッセージ表示部には出力しますが、本ダイアログは表示しません。
W0594127	[メッセージ]	標準ライブラリ用のスタックサイズ指定ファイル (ファイル名) が見つかりませんでした。ファイル名が持っているサイズ情報 (デフォルトファイル名に同じ) を使います。
	[説明]	標準ライブラリ用のスタック・サイズ指定ファイルが見つかりませんでした。 skcx が持っているサイズ情報 (デフォルトファイル名に同じ) を使います。
	[対処方法]	正常にインストールされていない可能性があるため、再インストールしてください。
W0594128	[メッセージ]	標準ライブラリ用のスタックサイズ指定ファイル (ファイル名) で不正なフォーマットが見つかりました (行番号行)。
	[説明]	標準ライブラリ用のスタック・サイズ指定ファイルで不正なフォーマットが見つかりました。
	[対処方法]	正常にインストールされていない可能性があるため、再インストールしてください。
W0594129	[メッセージ]	stk システムファイル (ファイル名) が壊れています。 無視しました。
	[説明]	stk システム・ファイルが不正です。
	[対処方法]	これより前に行ったスタック・サイズの変更が正しく反映されていない可能性があるため、確認のうえ、正しくない場合には再設定してください。
W0594130	[メッセージ]	中間アセンブラ・ファイルが見つかりませんでした。 CubeSuite で C ソース・ファイルを登録し、ビルド・ツールのプロパティ パネルで [コンパイル・オプション] タブを選択し、[出力ファイル] カテゴリの [アセンブラ・ソース・ファイルを出力する] プロパティで [はい (-Xasm_path)] を指定したうえで、リビルドしてください。
	[説明]	中間アセンブラ・ファイルが見つかりませんでした。
	[対処方法]	CubeSuite で C ソース・ファイルを登録し、ビルド・ツールのプロパティ パネルで [コンパイル・オプション] タブを選択し、[出力ファイル] カテゴリの [アセンブリ・ファイルを出力する] プロパティで [はい (-Xasm_path)] を指定したうえで、リビルドしてください。

W0594131	[メッセージ]	中間アセンブラ・ファイル(ファイル名)が見つかりませんでした。 対応するCソース・ファイルのコンパイラオプションの設定を確認したうえで、リビルドしてください
	[説明]	中間アセンブラ・ファイルが見つかりません。
	[対処方法]	CubeSuiteで、対応するCソース・ファイルのプロパティパネルで[個別コンパイラ・オプション]タブを選択し、[出力ファイル]カテゴリの[アセンブリ・ファイルを出力する]プロパティで[はい(-Fs)]を指定したうえで、リビルドしてください。
W0594132	[メッセージ]	不正なフォーマットが中間アセンブラ・ファイル(ファイル名)で見つかりました(行番号行)。 ファイルを確認してください。
	[説明]	中間アセンブラ・ファイルの行番号行は、不正なフォーマットです。
	[対処方法]	CXが生成した中間アセンブラ・ファイルでない可能性があります。ファイルを確認して、リビルドしてください
W0594133	[メッセージ]	コンパイラ名バージョンには対応していません。 対応バージョン以降を使用してください。
	[説明]	コンパイラのバージョンが古いため、ランタイムライブラリ、または標準ライブラリの呼び出しが含まれる場合には、正しいスタック・サイズを計算できません。
	[対処方法]	CXには対応しています。リビルドしてください。
W0594134	[メッセージ]	デバイスが異なるアセンブラ・ソース・モジュール・ファイル(ファイル名)が見つかりました。
	[説明]	ファイルは異なるシリーズ用のコンパイラで生成されたものです。 このファイルは解析できません。
W0594135	[メッセージ]	コンパイラのバージョンが異なるアセンブラ・ソース・モジュール・ファイル(ファイル名)が見つかりました。
	[説明]	アセンブラ・ソース・モジュール・ファイルは異なるバージョンのコンパイラでコンパイルされました。 このファイルは解析できません。
W0594140	[メッセージ]	プロジェクト・ファイル(ファイル名)が不正です。ファイルを確認してください。
	[説明]	プロジェクト・ファイルが正しくありません。ファイルを確認してください。 起動後にメニューから開いたプロジェクト・ファイルが不正な場合に発生します。
W0594150	[メッセージ]	出力結果が32,767行を越えています。関数の選択を変更するか、最大経路のみの出力にしてください。
	[説明]	出力結果が32,767行を越えています。
	[対処方法]	関数の選択を変更するか、最大経路のみの出力にしてください。
W0594151	[メッセージ]	出力結果の一行が5,119文字を越えています。 関数の選択を変更するか、テキスト形式で出力してください。
	[説明]	出力結果の一行が5,119文字を越えています。 関数の選択を変更するか、テキスト形式で出力してください。テキスト形式の場合、改行して表示されます。

W0594160	[メッセージ]	呼び出し関数の数が多すぎます。 1,024 個以下にしてください。
	[説明]	呼び出し関数の指定数が限界値を越えています。 1,024 個以下にしてください。呼び出す関数をすべて登録しても、スタック・サイズに加算されるのは、スタック・サイズが最大となる関数だけです。
W0594161	[メッセージ]	サイズ設定情報が文字数限界 (5,119) を越えています。 呼び出し関数を減らしてください。
	[説明]	サイズ設定情報が文字数限界 (5,119) を越えています。 呼び出し関数の指定を減らしてください。呼び出す関数すべてを登録しても、スタック・サイズに加算されるのは、スタック・サイズが最大となる関数だけです。5,119 文字には、パラメータ名とセパレータ (“,”) を含みます。
W0594162	[メッセージ]	加算サイズの値 (値) が不正です。
	[説明]	加算サイズに不正な値が指定されました。 加算サイズは、10 進数、または “0x” か “0X” で始まる 16 進数で指定可能な値を指定してください。 指定可能な値は次のとおりです。 0 ~ 2,147,483,647
W0594163	[メッセージ]	再帰回数の値 (値) が不正です。
	[説明]	再帰回数に不正な値が指定されました。 10 進数、または “0x” か “0X” で始まる 16 進数で正の値を指定してください。
W0594164	[メッセージ]	加算サイズが大きすぎます。 値以下の値を指定してください。
	[説明]	加算サイズに限界値を越える値が指定されました。 値を修正してください。 指定可能な値は次のとおりです。 0 ~ 2,147,483,647
W0594165	[メッセージ]	関数 (関数名) のスタックサイズが値を越えました。 再帰回数の値を小さくしてください。
	[説明]	関数のスタック使用量が、限界値を越えました。
	[対処方法]	再帰回数の値を小さくしてください。
W0594166	[メッセージ]	関数 (関数名) のスタックサイズが、値を越えました。 最大経路中の関数からスタックサイズを減らしてください。
	[説明]	関数のスタック使用量が、限界値を越えました。
	[対処方法]	最大経路中の関数からスタック・サイズを減らしてください
W0602102	[メッセージ]	変換アダプタの接続を確認してください。
W0603001	[メッセージ]	xxx 未満または yyy を越える文字を指定できません。
	[説明]	xxx 文字以上 yyy 文字以下の文字列を指定できる領域に xxx 文字未満または yyy 文字以上の文字列を指定した場合、メッセージダイアログに表示されます。
	[対処方法]	xxx は、指定できる文字列の最低文字数、yyy は、指定できる文字列の最大文字数です。xxx、yyy の値は、入力領域依存です。

W0603002	[メッセージ]	xxx 文字を越える文字を指定できません。
	[説明]	テキスト編集 ダイアログでダイアログ表示元に設定できる文字数を越えている行がある場合に表示されます。
	[対処方法]	指定できる文字数を越えている行の文字数を <最大文字数> 文字以下にしてください。
W0603003	[メッセージ]	xxx 行を越える行を指定できません。
	[説明]	テキスト編集 ダイアログでダイアログ表示元に設定できる行数を越えている場合に表示されます。
	[対処方法]	行数を <最大行数> 行以下にしてください。
W0603004	[メッセージ]	xxx 桁の 16 進数を指定してください。
	[説明]	16 進数を指定する領域で 16 進数に指定できない文字列を含む場合、または有効な桁数でない場合に表示されます。
	[対処方法]	<有効な桁数> の 16 進数を指定してください。
W0603005	[メッセージ]	アドレス式が不正です。式が正しいか、式に使用しているシンボルの綴りが正しいか確認してください。
	[説明]	メモリ初期化 ダイアログの開始アドレスまたは終了アドレスに不正なアドレス式を指定した場合、エラー・サービス・プロバイダに表示されます。
W0603006	[メッセージ]	数値を指定してください。
	[説明]	数値を指定する領域で数値に指定できない文字を含む場合に表示されます。
	[対処方法]	数値として有効な文字列を指定してください。
W0603007	[メッセージ]	10 進数で指定してください。
	[説明]	10 進数で数値を指定する領域で 10 進数に指定できない文字を含む場合に表示されません。
	[対処方法]	10 進数として有効な文字列を指定してください。
W0603008	[メッセージ]	xxx 未満または yyy を越える値を指定できません。
	[説明]	プロパティなどで数値を入力する領域で、指定できる値の範囲外の値を設定した場合に表示されます。
	[対処方法]	xxx から yyy までの値を指定してください。
W0603009	[メッセージ]	入力可能な文字セットは、ASCII のみです。
	[説明]	数値または ASCII 文字を指定する領域で数値または ACSII 文字に指定できない文字を含む場合に表示されます。
	[対処方法]	数値として有効な文字列または ACSII 文字として有効な文字列を指定してください。
W0603010	[メッセージ]	文字列を指定してください。
	[説明]	空欄になっています。
	[対処方法]	有効な文字列を指定してください。
W0603011	[メッセージ]	パスを指定してください。
	[説明]	空欄になっています。
	[対処方法]	有効なパスを指定してください。
W0603012	[メッセージ]	指定したパスに存在しないフォルダが含まれています。
	[対処方法]	有効なパスを指定してください。

W0603013	[メッセージ]	ファイル名、または、パス名が不正です。文字 (¥/ : * ? " < >  ) は使用できません。
	[説明]	不正な文字が含まれています。
	[対処方法]	有効なファイル名、またはパス名を指定してください。
W0603014	[メッセージ]	フォーマットが不正です。
	[説明]	プロパティなどで文字列を入力する際にフォーマットが指定されている場合に、不正なフォーマットが入力されたときに表示されます。
	[対処方法]	指定されているフォーマットに沿って文字列を入力してください。
W0603015	[メッセージ]	16 進数で指定してください。
	[説明]	16 進数で数値を指定する領域で 16 進数に指定できない文字を含む場合に表示されません。
	[対処方法]	16 進数として有効な文字列を指定してください。
W0603016	[メッセージ]	10 進数、または、16 進数で指定してください。
	[説明]	10 進数 / 16 進数で数値を指定する領域で 10 進数 / 16 進数に指定できない文字を含む場合に表示されます。
	[対処方法]	10 進数 / 16 進数として有効な文字列を指定してください。
W0603017	[メッセージ]	開始アドレスには、終了アドレスより小さい値を入力してください。
	[説明]	アドレス / シンボルの範囲を指定する領域で開始アドレスが終了アドレスより大きな値である場合に表示されます。
	[対処方法]	開始アドレスに終了アドレス以下の値を設定してください。
W0603018	[メッセージ]	xxx から yyy の範囲で値を入力してください。
	[説明]	アドレス / シンボルの範囲を指定する領域で、デバッグ・ツールのアドレス空間よりも大きな値が指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	デバッグ・ツールのアドレス空間に収まるアドレス範囲を指定してください。
W0603019	[メッセージ]	指定したシンボルは存在しません。
	[説明]	アドレス / シンボルの範囲を指定する領域で存在しないシンボルが指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	存在するシンボルを指定してください。
W0603020	[メッセージ]	アドレスの省略はできません。
	[説明]	アドレス / シンボルを指定し、かつ空欄指定を認めていない領域で空欄が指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	アドレス / シンボル / アドレス式を指定してください。
W0603021	[メッセージ]	文字列が長すぎます。xxx 文字以内の文字列を指定してください。
	[説明]	文字列を指定する領域で制限文字数以上の文字列が指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	制限文字数以内の文字列を指定してください。
W0603022	[メッセージ]	アドレス式が不正です。シンボル、または数値を指定してください。
	[説明]	アドレス式を指定する領域でアドレス式として不正な文字列が指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	アドレス式として正しい文字列を指定してください。
W0603030	[メッセージ]	フラッシュ・ライブラリをリンクしたロードモジュールが見つかりません。



W0603031	[メッセージ]	ソフトウェア・ブレークが設定されているため、一瞬ブレークの設定を有効にできません。 すべてのソフトウェア・ブレークを無効にしてください。 【V850-IECUBE】【V850-MINICUBE】
W0603032	[メッセージ]	カバレッジ測定領域の開始アドレスには 1MB バウンダリ単位のアドレスを指定してください。【V850-IECUBE】【V850-シミュレータ】
W0613000	[メッセージ]	一瞬ブレークが許可されていないため、メモリの読み出しができません。
W0613001	[メッセージ]	一瞬ブレークが許可されていないため、メモリへ書き込みができません。
W0613002	[メッセージ]	一瞬ブレークが許可されていないため、レジスタの読み出しができません。
W0613003	[メッセージ]	一瞬ブレークが許可されていないため、レジスタへ書き込みができません。
W0613004	[メッセージ]	一瞬ブレークが許可されていないため、SFR の読み出しができません。
W0613005	[メッセージ]	一瞬ブレークが許可されていないため、SFR へ書き込みができません。
W0613006	[メッセージ]	一瞬ブレークが許可されていないため、ブレークポイントの設定ができません。
W0613007	[メッセージ]	一瞬ブレークが許可されていないため、ブレークポイントの削除ができません。
W0613008	[メッセージ]	一瞬ブレークが許可されていないため、ソフトウェア・ブレークを設定できません。 ハードウェア・ブレークをお使いください。 【V850-IECUBE】【V850-MINICUBE】
W0613009	[メッセージ]	一瞬ブレークが許可されていないため、ソフトウェア・ブレークを削除できません。 ハードウェア・ブレークをお使いください。 【V850-IECUBE】【V850-MINICUBE】
W0613010	[メッセージ]	1つのタイマ・イベントに複数のイベントを設定できません。 【V850-シミュレータ】
W0613011	[メッセージ]	実行を一瞬停止してアクセスするが有効のため、ソフトウェア・ブレークを設定できません。 実行を一瞬停止してアクセスするを無効にしてください。 【V850-IECUBE】【V850-MINICUBE】
W0613012	[メッセージ]	同名のイベントは既に存在するため、イベントを作成できません。
W0810001	[メッセージ]	指定された名前の変数またはレジスタは存在しません。
W0805001	[メッセージ]	10進数で指定してください。
	[説明]	10進数で数値を指定する領域で 10進数に指定できない文字を含む場合に表示されません。
	[対処方法]	10進数として有効な文字列を指定してください。
W0805002	[メッセージ]	10進数、または、16進数で指定してください。
	[説明]	10進数／16進数で数値を指定する領域で 10進数／16進数に指定できない文字を含む場合に表示されます。
	[対処方法]	10進数／16進数として有効な文字列を指定してください。
W0805003	[メッセージ]	文字列が長すぎます。xxx文字以内の文字列を指定してください。
	[説明]	文字列を指定する領域で制限文字数以上の文字列が指定された場合に表示されます。
	[対処方法]	制限文字数以内の文字列を指定してください。



W0805004	[メッセージ]	下限値は上限値よりも小さな値を入力してください。
	[説明]	解析グラフで、表示範囲の下限値、または有効範囲の下限値を入力するときに、上限値と下限値の大きさが逆転したときに表示されます。
	[対処方法]	下限値の入力は、上限値より小さい値で入力してください。 現在の上限値よりも大きな値を入力する場合は先に上限値を大きくしてください。
W0805005	[メッセージ]	上限値は下限値よりも大きな値を入力してください。
	[説明]	解析グラフで、表示範囲の上限値、または有効範囲の上限値を入力するときに、上限値と下限値の大きさが逆転したときに表示されます。
	[対処方法]	上限値の入力は、下限値より大きい値で入力してください。 現在の下限値よりも小さな値を入力する場合は先に下限値を小さくしてください。
W0805008	[メッセージ]	xxx 未満または yyy を越える値を指定できません。
	[説明]	プロパティなどで数値を入力する領域で、指定できる値の範囲外の値を設定した場合に表示されます。
	[対処方法]	xxx から yyy までの値を指定してください。
W0805009	[メッセージ]	ファイル名、または、パス名が不正です。文字 ( ¥ / : * ? " < >   ) は使用できません。
	[説明]	不正な文字が含まれています。
	[対処方法]	有効なパスを指定してください。
W0820001	[メッセージ]	ジャンプ先が不明です。
	[説明]	[ソースヘジャンプ] コマンドなどで、ジャンプ先が不明である場合に表示されます。 ジャンプ先が分からないので指定箇所からのジャンプはできません。
W1001007	[メッセージ]	チップ消去禁止を設定しセキュリティ・コマンドを実行すると、チップ消去コマンドの実行ができなくなり、二度とターゲット・セキュリティ設定のクリアはできなくなりますのでご注意ください。
	[説明]	セキュリティ・フラグである CHIP 消去禁止が設定された場合、フラッシュ・プログラマを使った禁止フラグのクリアができなくなることを警告メッセージです。
W1001008	[メッセージ]	ブート領域書き換え禁止設定を実行すると、指定された領域の書き換えができなくなり、二度と設定のクリアはできなくなりますのでご注意ください。
	[説明]	セキュリティ・フラグであるブート・ブロック領域の書き換え禁止が設定された場合、フラッシュ・プログラマを使った禁止フラグのクリアができなくなることを警告メッセージです。
W1001016	[メッセージ]	指定したヘキサ・ファイルのタイム・スタンプが異なります。現在、最新のヘキサ・ファイルに更新します。
W1200723	[メッセージ]	指定されたトレース・フレーム・サイズをメモリ不足のため縮小しました。
W1203106	[メッセージ]	NO READY 状態をキャンセルしました。
W1204111	[メッセージ]	ターゲットの電源が OFF です。
W1204116	[メッセージ]	値が登録されていません。
W1208197	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 Read Protect 属性の SFR が指定されました。
	[メッセージ]	【V850】 Read Protect 属性の I/O レジスタが指定されました。
W1208205	[メッセージ]	【78K0】【78K0R】 この SFR には初期値の設定がありません。
	[メッセージ]	【V850】 この I/O レジスタには初期値の設定がありません。

W1216412	[メッセージ]	その領域にソフトウェア・ブレイクは設定できません。
W1220491	[メッセージ]	このデバイス・ファイルは内蔵 RAM をリロケートしません。
W1220494	[メッセージ]	デバイス・ファイルに参照しようとしたタグ情報はありません。
W1228688	[メッセージ]	ソース情報がありません。
W1228689	[メッセージ]	ステップ実行結果不明。
W1245086	[メッセージ]	デバッグ情報がありません (-g オプションでコンパイルされていません)。
W1245110	[メッセージ]	現在の PC では指定された変数は参照できません。
W1245122	[メッセージ]	SYM モジュールは初期化されていません。
W1245877	[メッセージ]	シンボルが長すぎます。
W1249175	[メッセージ]	シンボル情報が重複しています。シンボルのリセットをしてください。
W1249178	[メッセージ]	BSS 領域がマッピングされていない領域に割り当てられています。
W1249180	[メッセージ]	プログラマブル IOR のアドレスが設定と異なります。
W1249181	[メッセージ]	選択した品種 (デバイス名) と異なるロード・モジュールをロードしました。
W1401201	[メッセージ]	未定義のシンボル (シンボル名) が存在します。
	[対処方法]	未定義シンボルを解決してください。
W1402000	[メッセージ]	再配置できなかったファイルがあります。詳細はファイル名を参照してください。
	[対処方法]	自動配置できませんでした。「CubeSuite 78K0 ビルド編」を参照して手動で修正してください。
W1790000	[メッセージ]	オーバーフローが発生しています。
W1790001	[メッセージ]	タイマ機能が未サポートです。

## 付録 A ウィンドウ・リファレンス

この付録では、メッセージが出力されるパネル／ダイアログについて説明します。

### A.1 説 明

以下に、メッセージが出力されるパネル／ダイアログの一覧を示します。

表 A 1 パネル／ダイアログ一覧

パネル／ダイアログ名	機能概要
出力パネル	各ツール（ビルド・ツール／デバッグ・ツールなど）から出力されるメッセージ、または検索・置換ダイアログによる一括検索を行った際の結果を表示
メッセージダイアログ	各種メッセージを表示

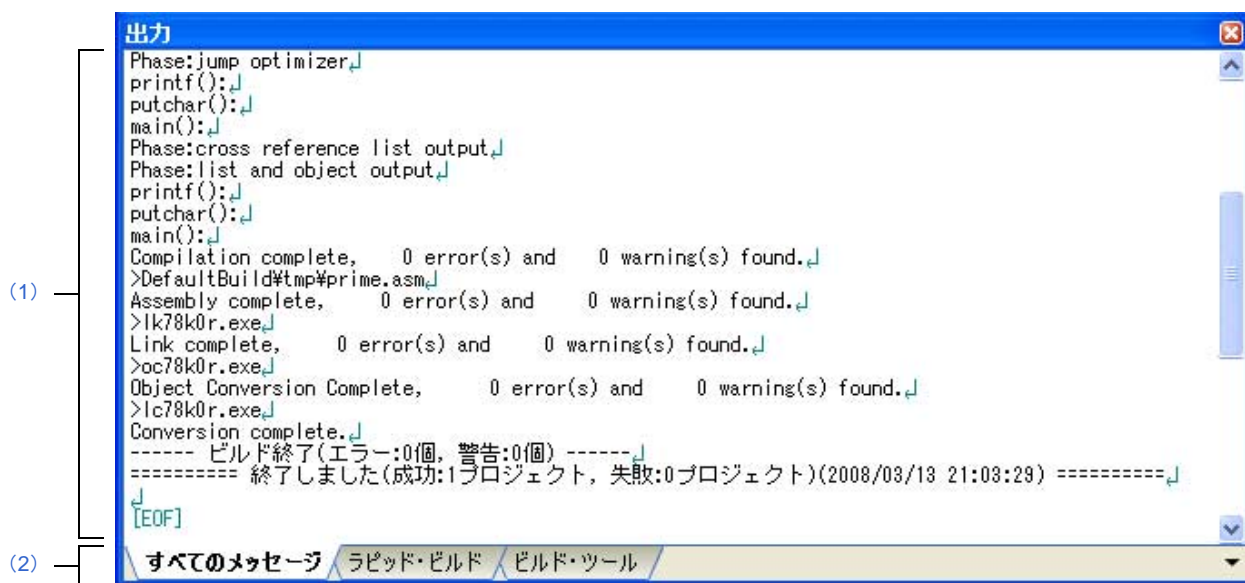
## 出力パネル

各ツール（ビルド・ツール／デバッグ・ツールなど）から出力されるメッセージ，または検索・置換 ダイアログによる一括検索を行った際の結果を表示します。

メッセージは，出力元のツールごとに分類されたタブ上でそれぞれ個別に表示します。

[すべてのメッセージ] タブでは，すべての出力メッセージを集約して表示します。

図 A 1 出力パネル



ここでは，次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]
- [[ファイル] メニュー（出力パネル専用部分）]
- [[編集] メニュー（出力パネル専用部分）]
- [コンテキスト・メニュー]

### [オープン方法]

- [表示] メニュー→ [出力] の選択

## [各エリアの説明]

### (1) メッセージ・エリア

各ツールから出力されたメッセージ，および検索結果を表示します。

[すべてのメッセージ] タブでは，すべての出力メッセージを集約して表示します。

なお，メッセージの表示色は，出力メッセージの種別により，次のように異なります（表示の際の文字色／背景色は，オプション ダイアログにおける [全般 - フォントと色] カテゴリの設定に依存します）。

メッセージ種別	表示例（デフォルト）		説明	
通常メッセージ	AaBbCc	文字色	黒	何らかの情報を通知する際に表示されます。
		背景色	白	
警告メッセージ	AaBbCc	文字色	青	操作に対して，何らかの警告を通知する際に表示されます。
		背景色	標準色	
エラー・メッセージ	AaBbCc	文字色	赤	致命的なエラー，または操作ミスにより実行が不可能な場合に表示されます。
		背景色	薄グレー	

このエリアは，次の機能を備えています。

#### (a) タグ・ジャンプ

出力されたメッセージをダブルクリック，またはメッセージにキャレットをあわせて [Enter] キーを押下することにより，エディタ パネルをオープンして該当ファイルの該当行番号を表示します。

これにより，ビルド時に出力されたエラー・メッセージなどから，ソース・ファイルの該当するエラー行へジャンプすることができます。

#### (b) ヘルプの表示

警告メッセージ，またはエラー・メッセージが表示されているときに，コンテキスト・メニューの [メッセージに関するヘルプ] を選択するか，または [F1] キーを押下することにより，表示されたメッセージ，または現在のキャレット位置のメッセージに関するヘルプを表示します。

#### (c) ログの保存

[ファイル] メニュー → [名前を付けて出力 - タブ名を保存 ...] を選択することにより，名前を付けて保存 ダイアログをオープンし，現在選択しているタブ上に表示されている内容をテキスト・ファイル (\*.txt) に保存することができます（非選択状態のタブ上のメッセージは保存の対象となりません）。

### (2) タブ選択エリア

メッセージの出力元を示すタブを選択します。

表示されるタブは次のとおりです。

タブ名	説明
ビルド・ツール	ビルド／リビルド／バッチ・ビルドの実行により，ビルド・ツールから出力されたメッセージを表示します。

タブ名	説明
ラピッド・ビルド	ラピッド・ビルドの実行により、ビルド・ツールから出力されたメッセージを表示します。
デバッグ・ツール	デバッグ・ツールから出力されたメッセージを表示します。
コード生成	コード生成から出力されたメッセージを表示します。
プログラム解析	解析ツールから出力されたメッセージを表示します。
参照の検索	解析ツールによる関数／変数の参照箇所一覧を表示します。
書き込みツール	書き込みツールから出力されたメッセージを表示します。
検索・置換	検索・置換 ダイアログによる一括検索結果を表示します。
すべてのメッセージ	上記のすべてのメッセージを出力順に一括して表示します。

**注意** 新たなメッセージが非選択状態のタブ上に出力されても、自動的なタブの表示切り替えは行いません。  
この場合、タブ名の先頭に\*が付加し、新たなメッセージが出力されていることを示します。

## [[ファイル] メニュー (出力パネル専用部分)]

出力パネル専用の [ファイル] メニューは次のとおりです (その他の項目は共通です)。

出力 - タブ名を保存	現在選択しているタブ上に表示されている内容を、前回保存したテキスト・ファイル (*.txt) に保存します (「(c) ログの保存」参照)。 なお、起動後にはじめてこの項目を選択した場合は、[名前を付けてタブ名を保存 ...] の選択と同等の動作となります。 ただし、ビルド実行中は無効となります。
名前を付けて出力 - タブ名を保存 ...	現在選択しているタブ上に表示されている内容を、指定したファイル・ファイル (*.txt) に保存するために、名前を付けて保存 ダイアログをオープンします (「(c) ログの保存」参照)。 ただし、プログラム実行中は無効となります。

## [[編集] メニュー (出力パネル専用部分)]

出力パネル専用の [編集] メニューは次のとおりです (その他の項目はすべて無効となります)。

コピー	選択している文字列をクリップ・ボードにコピーします。
すべて選択	このパネルに表示しているすべてのメッセージを選択状態にします。
検索 ...	検索・置換 ダイアログを [クイック検索] タブが選択状態でオープンします。
置換 ...	検索・置換 ダイアログを [一括置換] タブが選択状態でオープンします。

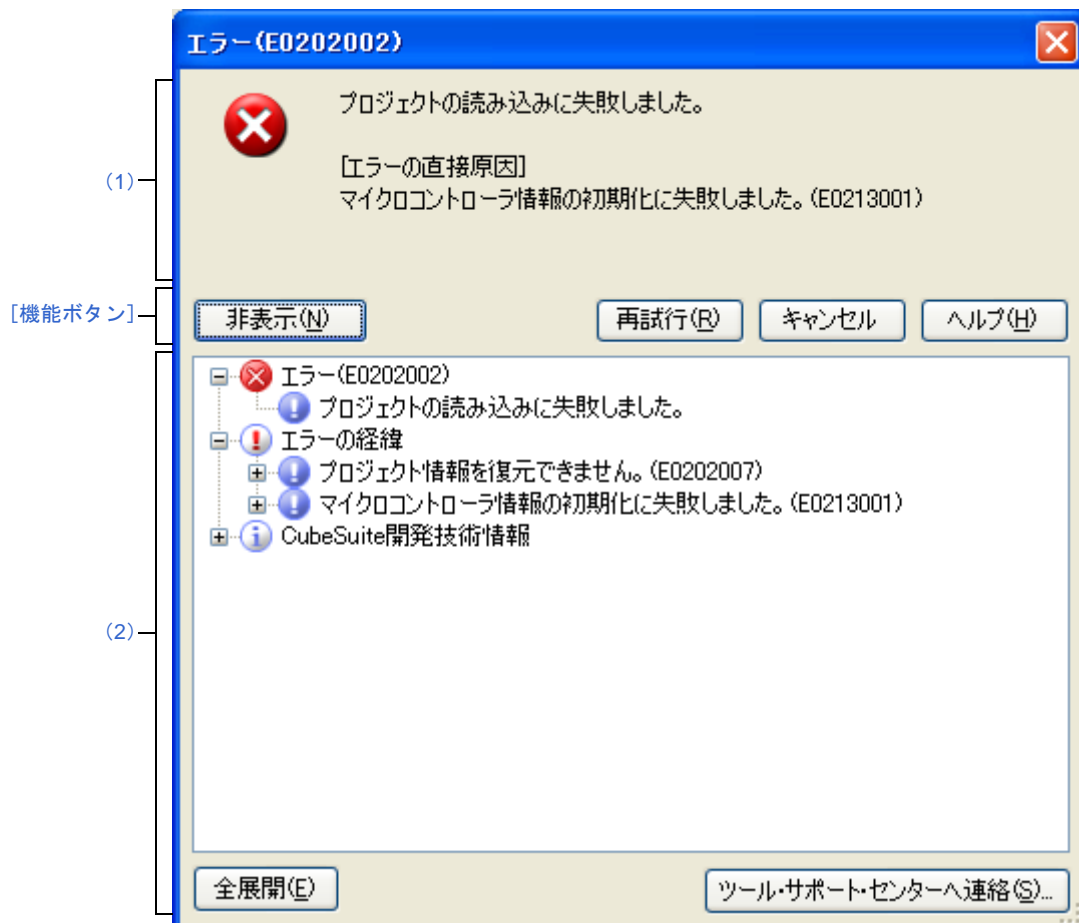
## [コンテキスト・メニュー]

コピー	選択している文字列をクリップ・ボードにコピーします。
すべて選択	このパネルに表示しているすべてのメッセージを選択状態にします。
クリア	このパネルに表示しているすべてのメッセージを消去します。
タグ・ジャンプ	キャレット行のメッセージに対応するエディタ（ファイル、行、桁）へジャンプします。
メッセージに関するヘルプ	表示されたメッセージ、または現在のキャレット位置のメッセージに関するヘルプを表示します。 ただし、警告メッセージ/エラー・メッセージのみが対象となります。

## メッセージ ダイアログ

各種メッセージを表示します。

図 A 2 メッセージ ダイアログ



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]
- [[編集] メニュー (メッセージ ダイアログ専用部分)]
- [コンテキスト・メニュー]
- [機能ボタン]

### [オープン方法]

- 出力されるメッセージがある場合に自動的に表示







## [各エリアの説明]

### (1) メッセージ・エリア

通知するメッセージをアイコン、およびメッセージ内容で表示します（編集不可）。

なお、メッセージは次のメッセージ種別で分類され、表示の際にはそのレベルを示す英字を ID 番号の先頭に付与します。

アイコン	メッセージ種別		説明
	C	内部エラー	内部エラーが発生したため、処理を終了（中断）します。
	E	フェイタル・エラー	フェイタル・エラーが発生したため、処理を終了（中断）します。
	M	インフォメーション	情報を通知します。メッセージを確認後、処理を継続します。
	Q	選択	次の操作に対して何らかの選択が必要な場合に出力し、選択した処理を実行します。
	W	ワーニング	警告を通知します。メッセージを確認後、処理を継続します。

### (2) 詳細表示エリア







出力されたメッセージに詳細情報がある場合のみ対象となるエリアで、[詳細] ボタンをクリックすることにより表示されます（デフォルトでは表示されません）。

#### (a) 表示内容

メッセージの詳細を、次の項目ごとにツリー形式で表示します（編集不可）。

項目	説明
エラー	出力されたエラー・メッセージ文を表示します。
エラーの経緯	エラー原因を示すメッセージ文ごとに、エラーが発生した関数とそのエラーを処理した関数（群）を列挙します（エラー原因を示すメッセージ文が同一の場合はまとめて表示します）。
CubeSuite 開発技術情報	エラーが発生したモジュール名ごとに、エラー発生メソッド名を表示します。

表示の際には、次のアイコンが付加されます。

アイコン	説明
	エラー
	エラーの経緯
	開発技術情報
	エラーの原因を表す文字列
	エラーが発生したモジュール名
	エラーが発生したメソッド名

## (b) ボタン・エリア

全展開	一覧内のノードをすべて展開表示します。
ツール・サポート・センターへ連絡 ...	ツール・サポート・センターへの連絡情報 ダイアログをオープンします。

## [[編集] メニュー (メッセージ ダイアログ専用部分)]

メッセージ ダイアログ専用の [編集] メニューは次のとおりです (その他の項目はすべて無効となります)。

コピー	メッセージ・エリアで選択している文字列をクリップ・ボードにコピーします。
すべて選択	メッセージ・エリアの表示文字列をすべて選択状態にします。

## [コンテキスト・メニュー]

【メッセージ・エリア】

コピー	メッセージ・エリアで選択している文字列をクリップ・ボードにコピーします。
すべて選択	メッセージ・エリアの表示文字列をすべて選択状態にします。
メッセージに関するヘルプ	表示されたメッセージに対応したヘルプを表示します。

## [機能ボタン]

表示するメッセージの種別により、配置される機能ボタンの種類は異なります。

次のボタン以外の機能については、各メッセージの [対処方法] を参照してください。

ボタン	機能
詳細／非表示	詳細表示エリアを表示／非表示します。 ただし、詳細情報がある場合にのみ表示されます。
OK	このダイアログをクローズします。
ヘルプ	表示されたメッセージに対応したヘルプを表示します。

## 付録B 索引

### 【か行】

コンポーネント番号 … 14

### 【さ行】

出力形式 … 11

出力パネル … 292

### 【た行】

タグ・ジャンプ … 293

### 【ま行】

メッセージ … 17

    アボート・エラー … 143

    インフォメーション … 199

    選択 … 206

    内部エラー … 18

    フェイタル・エラー … 21

    ワーニング … 214

メッセージ種別 … 13

メッセージダイアログ … 296

メッセージ番号 … 15

## 改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2010.10.01	－	初版発行

---

CubeSuite Ver.1.40 ユーザーズマニュアル  
メッセージ編

発行年月日 2010年10月1日 Rev.1.00  
発行 ルネサス エレクトロニクス株式会社  
〒211-8668 神奈川県川崎市中原区下沼部 1753

---



ルネサスエレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所・電話番号は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス販売株式会社 〒100-0004 千代田区大手町2-6-2 (日本ビル)

(03)5201-5307

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。

総合お問合せ窓口 : <http://japan.renesas.com/inquiry>

CubeSuite Ver.1.40